上臣四郎委員十一名、幹事帝都復興院職員出席。

議第四號、横濱都市計畫並都市計畫事業及其執行年割ノ件を付議す平沼委員(亮三)より横濱市會の決議に成る修正意見の提出ありて之を審議す。

議第四號議案修正意見

一、原案一號路線ノ經過地及路線幅員ヲ左表ノ通リ變更ス。

番號	路線(起終點及經過地)	延長	幅員
一	内 子安郡市界ヨリ神奈川町、高砂町六、七丁目、平沼町、西平沼町、西戸部町、久保町道上ヲ經テ程ケ谷問ニ至ル	八、四三四米	一八乃至三六米
	譯 子安郡市界ヨリ神奈川町十番町迄	三、一五五	二七
	神奈川町十番町ヨリ青木町七軒町迄	一、〇一九	三三
	青木町七軒町ヨリ高島町六丁目迄	一、七〇九	三三
	高島町六丁目ヨリ西戸部町扇田迄	一、二三六	二二
	西戸部町扇田ヨリ久保町道上迄	一、〇五五	二二
	久保町道上ヨリ程ケ谷町岩間迄	一、七〇	一八
二	高島町七丁目ヨリ横濱驛前ヲ經テ櫻木町驛前ニ至ル	二、一四〇米	三六米
	内 高島町七丁目ヨリ横濱驛前迄	一、四五〇	三六
	譯 横濱驛前ヨリ櫻木町驛前	一、四五〇	三六

二、一號路線ノ次ニ左表ノ二號路線ヲ加ヘ原案路線番號ノ二ヲ三ニ改メ以下順次繰下ク。

番號	路線(起終點及經過地)	延長	幅員
二	高島町七丁目ヨリ横濱驛前ヲ經テ櫻木町驛前ニ至ル	二、一四〇米	三六米
	内 高島町七丁目ヨリ横濱驛前迄	一、四五〇	三六
	譯 横濱驛前ヨリ櫻木町驛前	一、四五〇	三六

横濱都市計畫街路修正對照表

原案 番號	路線(起終點及經過地)	延長(約)	幅員	修正案 番號	路線(起終點及經過地)	延長(約)	幅員	修正要旨
一	内 子安町市郡界ヨリ神奈川町十番町迄	三、一五五	二二	一	内 子安町市郡界ヨリ神奈川町十番町迄	三、一五五	二五	此ノ區間幅員擴張並路線變更
	神奈川町十番町ヨリ横濱驛前迄	二、四九五	二七		神奈川町十番町ヨリ青木町七軒町迄	一、〇五四	三五	
	譯 横濱驛前ヨリ久保町道上迄	一、八四九	二二		譯 青木町七軒町ヨリ横濱驛前ヨリ久保町道上迄	一、二七二	三六	
	久保町道上ヨリ保土ケ谷町岩間迄	一、一七一	一八		久保町道上ヨリ保土ケ谷町岩間迄	一、八四九	二二	
						一、一七一	一八	原案ノ通
五	内 青木町七軒町ヨリ神奈川町二ツ谷迄	六二七	一六	五	青木町七軒町ヨリ神奈川町二ツ谷ヲ經テ市郡界六角橋南詰ニ至ル	二、一八二	二二	全線ヲ通シテ二十二メートルトス
	譯 神奈川町二ツ谷ヨリ六角橋南詰迄	一、五五五	二五					
九	櫻木町一丁目ヨリ野毛町三丁目日ノ出町南太田町ヲ經テ日ノ出町一丁目ニ至ル	三、一八二	一六	九	櫻木町一丁目ヨリ野毛町三丁目ヲ經テ日ノ出町一丁目ニ至ル	五四六	一六	全線ヲ通シテ日ノ出町一丁目以西ヲ一三號線トス
一〇	平沼橋南詰ヨリ横濱驛前ニ至ル	五六七	三三	一〇	平沼橋南詰ヨリ横濱驛前ニ至ル	五六七	二二	全線幅員ヲ二十二メートルトス
一三	本町一丁目地内	一〇九	一八	一三	日ノ出町一丁目ヨリ井戸ケ谷町ニ至ル	二、六三六	一六	元一三號線ヲ全部削除元九號ノ一部ヲ一三號トス
一五	青木町東經井澤ヨリ神奈川町二ツ谷ニ至ル	一、七四九	一六	一五	高島町八丁目ヨリ西戸部町廣田ニ至ル	一、五六四	一五	元一五號線ヲ全部削除シ本線ヲ加フ
					水野會長開會を宣し、議第四號横濱都市計畫並都市計畫事業及其ノ執行年割ノ件を付議し、特別委員會長をして報告する所あらしむ。			
					報告			
					本特別委員會ハ、大正十三年二月八日及十八日ノ二回會議ヲ開キ、付託セラレタル議第四號議案ニ付、愼重審議ノ結果、左ノ通決定致候、此段及報告候也。			
					大正十三年二月二十八日　特別委員長　子爵　井上匡四郎			
					特別都市計畫委員會會長　水野錬太郎殿			

記

三、原案五號路線幅員ハ一六乃至二五米ナルモ之ヲ通シテ二二米ト變更ス。

四、原案一〇號路線ノ幅員ハ三三米ナルモ之ヲ二二米ニ變更ス。

第二回　二月十八日内務大臣官邸に開催し、出席者前に同じく、復興院鐵道省及横濱市關係者との間に協議せられ、修正案の修正案付議せられ、之を可決す。

横濱都市計畫街路ノ新設改修ノ件修正案

番號	路線(起終點及經過地)	延長(約)	幅員
一	子安町市郡界ヨリ神奈川町横濱驛前西戸部町久保町道上ヲ經テ保土ケ谷町岩間ニ至ル	八、五〇一	一八乃至三六
	内 子安町市郡界ヨリ神奈川十番町迄	三、一五五	二五
	譯 神奈川十番町ヨリ青木町七軒町迄	一、〇五四	三三
	青木町七軒町ヨリ横濱驛前迄	一、二七二	三三
	横濱驛前ヨリ久保町道上迄	一、八四九	二二
	久保町道上ヨリ保土ケ谷町岩間迄	一、一七一	一八
五	青木町七軒町ヨリ神奈川町二ツ谷ヲ經テ市郡界六角橋南詰ニ至ル	二、一八二	二二
九	櫻木町一丁目ヨリ野毛町三丁目ヲ經テ日ノ出町一丁目ニ至ル	五四六	一六
一〇	平沼橋南詰ヨリ横濱驛前ニ至ル	五六七	二二
一三	日ノ出町一丁目ヨリ井土ケ谷町ニ至ル	二、六三六	一六
一五	高島町八丁目ヨリ西戸部町廣田ニ至ル	一、五六四	一五

一、街路ノ計畫中、一號五號九號十號十三號十四號及十五號路線ヲ左ノ通修正シ、他ノ路線ハ原案ヲ適當ト認ム。

二、前項以外ノ事項ハ、總テ原案ヲ適當ト認ム。

記

番號	路線（起終點及經過地）	延長（約）	幅員
一	子安町市郡界ヨリ神奈川町、横濱驛前戸部町久保町道上ヲ經テ保土ケ谷町岩間ニ至ル 内譯（子安町市郡界ヨリ神奈川町十番町迄 神奈川町十番町ヨリ青木町七軒町迄 青木町七軒町ヨリ横濱驛前迄 横濱驛前ヨリ久保町道上迄 久保町道上ヨリ保土ケ谷町岩間迄	八、五〇一米 三、一五五 一、〇五四 一、二七二 一、八四一 七一九	一八乃至三六乃米 二五 三三 三六 二二 三三
五	青木町七軒町ヨリ神奈川町二ツ谷ヲ經テ市郡界六角橋南詰ニ至ル	二、一八二	二二
九	櫻木町一丁目ヨリ野毛町三丁目ヲ經テ日ノ出町一丁目ニ至ル	五四六	一六
一〇	平沼橋南詰ヨリ横濱驛前ニ至ル	五六七	二二
一三	日ノ出町一丁目ヨリ井戸ケ谷町ニ至ル	二、六三六	一六
一四	青木町七軒町ヨリ淺間町社宮司ニ至ル 内譯（青木町七軒町ヨリ淺間町社宮司迄 青木町七軒町ヨリ淺間町社宮司迄 高島町八丁目ヨリ西戸部町鹿田ニ至ル	二、七六八 二、七〇四 一、五六四	一八乃至二七 六四 一八七 一五
一五	横濱都市計畫街路修正對照表略ス。		

委員井上子爵の説明あり、二三質問の後全會一致を以て特別委員長の報告を可決す。

次に常務委員委任事項を付議し、金井幹事議案を朗讀す。

議第五號　常務委員會委任事項議定ノ件

常務委員會委任事項

特別都市計畫委員會官制第十一條第一項ノ規定ニ依リ本會ノ權限ニ屬スル事項ノ内、左記ノモノハ、之ヲ常務委員會ニ委任ス。

一、關係各官廳公署ヨリ協議ヲ受ケタル事項ニシテ、都市計畫上重大ナル影響ヲ及ホスノ虞ナキモノ。

二、事業ノ執行上必要ヲ生シタル都市計畫事業ノ些少ノ變更。

三、既定ノ年度ヲ延長セサル都市計畫事業ノ執行年割ノ變更。

四、面積百坪以内ノ河岸地ノ賣却讓與。

異議なく原案に決し、次に東京都市計畫案を對議する事と爲り、乃ち特別委員長の報告を受く。

報告

本特別委員會ハ大正十三年二月七日第一回會議ヲ開キ、付託セラレタル議第二號及議第三號議案ニ付調査ニ着手シ、爾來回ヲ重ヌルコト五回ニ及ヒタルカ、二月十三日第三回會議ニ於テ小委員會ヲ設ケテ調査ヲ分擔スルコトヽシ、第一區神田川以北、第二區本所深川方面、第三區神田川以南ニ分チテ調査ヲ行ヒ、其ノ間必要ニ應シテ實地ノ踏査ヲ爲シ、愼重審議ノ結果、左記ノ通修正ノ上可決スルヲ適當ト認メ、尙希望事項トシテ別記ノ通決定致候、此段及報告候也。

大正十三年二月二十八日　特別委員長　子爵　大河内正敏

特別都市計畫委員會

會長　水野錬太郎殿

修正事項

第一、議第二號東京都市計畫並都市計畫事業及其ノ執行年割ノ件

一、第一項街路計畫路線中左ノ通修正ス。

番號	路線（起終點及經過地）	延長（約）	幅員
五	築地三丁目ヨリ入舟町、亀島町、濱町三丁目、淺草橋南元町北田原町ヲ經テ金杉下町ニ至ル	八、〇四八米	三三米

	東京驛東口ヨリ下槇町、亀島橋ヲ經テ越前堀一丁目ニ至ル	一、一一〇	二二乃至四四
	内譯（東京驛東口ヨリ下槇町迄 下槇町ヨリ亀島橋西詰迄 亀島橋西詰ヨリ越前堀一丁目迄	四二〇 三四五 三四五	四四 三三 二二
二三	淺草區田町三丁目ヨリ金杉下町ニ至ル	七八二	二二
二八	濱町三丁目ヨリ中洲町東屋橋町ヲ經テ砂町ニ至ル	四、〇七二	二二
二九	濱町三丁目ヨリ新大橋、鐵右衛門町、蔦川橋ヲ經テ大島町ニ至ル 内譯（濱町三丁目ヨリ鐵右衛門町迄 鐵右衛門町ヨリ大島町迄	三、二二〇 一、四三八 一、七八二	二二乃至二七 二二 二二
三一	山ノ宿ヨリ今戸橋北詰ニ至ル	三八五	二二
三二	淺草區材木町ヨリ吉野橋ヲ經テ南千住町常磐線路踏切ニ至ル 内譯（淺草區材木町ヨリ吉野橋南詰迄 吉野橋南詰ヨリ常磐線踏切迄	二、六五五 一、二五五 一、四〇〇	二二乃至二五 二二 二二
三七	三ノ輪町ヨリ白鬚西詰ニ至ル	一、六三七	二二
三八	入谷町ヨリ山ノ宿町淺草驛前ヲ經テ中ノ郷業平町ニ至ル	二、八三六	二二
四八	芝公園增上寺門前ヨリ濱松町一丁目ニ至ル	六一一	二七
四九	雉子橋内ヨリ美土代町二丁目ヲ經テ三崎町ニ至ル	一、八四五	二二
五〇	村松町ヨリ豐島町ニ至ル	五七三	二二
五一	湯島天神町三丁目ヨリ厩橋ヲ經テ押上町ニ至ル	三、八七七	二二
五二	池ノ端仲町地内	三〇〇	二二
五三	越中島町ヨリ濱園町ニ至ル	一、〇二五	二二
	補助線		
番號	路線（起終點及經過地）	延長（約）	幅員
一	今戸橋北詰ヨリ橋場町ヲ經テ南千住町方橋場ニ至ル 今戸橋北詰ヨリ橋場町迄	一、五二〇 一、一七五	一乃至一五 一五

	橋場町ヨリ南千住町地方橋場迄	三四五	一一
三	靈岸町ヨリ石島町ヲ經テ砂町ニ至ル	二、一九一	一一
五	押上町ヨリ四ノ橋ヲ經テ東平井町ニ至ル	四、二三六	二二
八	元衞町ヨリ御茶ノ水橋ヲ經テ春木町二丁目ニ至ル	二、〇七三	二二
一〇	南千住町千束ヨリ同町地方橋場ニ至ル	七九二	一一
一一	小梅業平町ヨリ木場町ニ至ル	四、三三八	二二
一五	千束町一丁目地内	一四五	一五
二六	東淺町一丁目ヨリ新船松町ニ至ル	三五五	一八
三〇	坂本裏町ヨリ聖天町ニ至ル	一、九四七	一五
三六	花川戸町ヨリ淺草區田町二丁目ニ至ル	一、三一四	二二
三七	今戸町ヨリ橋場町ヲ經テ南千住町地方橋場至ル 内譯（今戸町ヨリ橋場町迄 橋場町ヨリ地方橋場迄	一、七〇七 一、二二五 一、四八二	一一乃至一五 一五 一一
四〇	元町ヨリ清住町ニ至ル	一、四〇〇	一五
四二	中ノ郷業平町ヨリ本所驛脇ヲ經テ洲崎ニ至ル	四、四三七	一五
四五	砂町八右衞門新田地内	五二七	一五
五八	柳町ヨリ淺草橋南詰ニ至ル	一、二一八	一五
七九	千束町三丁目ヨリ淺草區田町一丁目ヲ經テ今戸町ニ至ル 内譯（千束町三丁目ヨリ田町一丁目迄 田町一丁目ヨリ金杌町迄	八三三 二二九 六〇四	一一乃至五五 一一 一一
八〇	吉野町ヨリ南千住町地方橋場ニ至ル	八五五	一一
八二	千束町一丁目ヨリ亀岡町三丁目ニ至ル	一、二七六	一五
八九	永堀町ヨリ深川區大島町ニ至ル	八六七	一一
九九	清住町ヨリ深川區大島町ニ至ル	一、四六五	一五
一〇八	中ノ郷町ヨリ荒井町ヲ經テ數矢町ニ至ル 内譯（中ノ郷竹町ヨリ荒井町迄 荒井町ヨリ數矢町迄	三、八七七 四四九 三、四二八	一一乃至二二 一一 一一

一一二　押上町ヨリ柳島町ニ至ル　七六四　一一
一一四　佐賀町一丁目ヨリ龜住町ニ至ル　六一二　一一
一一七　柳原町ヨリ豐住町ニ至ル　二、一三九　一一
一一八　猿江裏町ヨリ大島町ニ至ル　六三七　一一
一一九　靈岸町ヨリ本山町ヲ經テ砂町ニ至ル　二、三四八　一一
一二三　創除
一二四　創除
一二五　創除
一二六　創除
一二七　創除

二、第二項中「前項ノ計畫中幹線街路」ノ下「（第三號路線ノ內第五號路線接合點以東及第三〇號路線ノ內環狀線交叉點以北ヲ除ク）」ヲ加フ。

第二、議第三號東京都市計畫事業中變更ノ件街路ノ部中左ノ通修正ス。

一等大路第三類第十五幅員十二間
前號路線終點ヨリ南千住町大字三河島ニ至リ鐵道線路下ヲ過キ市郡界ニ至ルノ路線

希望事項

都市計畫事業促進ニ關スル件

今回本會ニ付議セラレタル東京都市計畫事業ハ、帝都ノ復興促進上速カニ之レカ完成ヲ期スヘキハ言ヲ俟タサル所ニシテ、政府ハ素ヨリ此ノ方針ニ基キテ着々其ノ計畫ヲ進メラルヽヤ明ナリ、然レトモ該事業ノ遂行ハ街路ノ幹線タルト補助線タルトヲ問ハス、將又土地區劃整理ニシテ國ノ執行スルモノト否トヲ論セス、互ニ相關連シテ實行スルヲ必要トシ、之ヲ分離シテハ到底其ノ完璧ヲ期シ難キハ勿論ナリ、然ルニ國ノ執行スル事業ニ付テハ、冀ニ臨時帝國議會ノ協贊ヲ經テ其ノ豫算確定シタリト雖、市ニ於テ執行スヘキ補助街路及土地區劃整理ノ事業ニ對シテ政府ノ財政的援助未タ確立セサルモノアルヲ以テ、政府ハ速ニ適當ノ方法ニ依リ、市ニ對スル財政的援助ヲ確立シ、將來事業進捗上何等ノ不安ナカラシメラレンコトヲ望ム。

市內鐵道線路ニ關スル件

政府ノ經營ニ係ル市內通過鐵道線路ハ市內交通ノ安全ヲ圖ル爲メ未設線ハ勿論、既設線ト雖總テ之ヲ高架若ハ地下線路トセラレンコトヲ望ム。

運河ニ關スル件

東堀留川龍閑川及濱町川ハ、東京市ニ於ケル水陸交通ノ趨勢ニ鑑ミ、將來運河トシテ之ヲ存置スルノ必要ヲ認メス、依テ既定ノ計畫タル東堀留川ノ改修ヲ廢止シ、西堀留川ヲ神田川ニ延長シ、若シ財源ニ於テ不足ノ場合ニハ、橫十間川ハ土地買收ニ止メ工事ヲ延期セラレム事ヲ望ム、尙西堀留川ニ代フルニ東堀留川ヲ以テスル方便宜ナル場合ハ、其ノ選擇ハ之ヲ當局ノ決定ニ委ス。

補助路線延長ニ關スル件

補助路線中第二七號路線及第二一號路線ヲ延長シテ東京驛ニ連絡セラレムコトヲ望ム。

東京都市計畫街路修正說明書

路線番號　幹線ノ部　記

三　原案幹線三號線中東平井町以東ノ部分ハ計畫ノ𝑚ニ止メタリ。

五　千束町一丁目地內及村松町附近ノ經過地一部變更シ、延長ニ些少ノ異動ヲ生シタリ。

七　原案幹線七號線ノ內東京驛東口ヨリ下槇町ニ至ル間ノ幅員ヲ四十四米ニ縮少シ、且ツ現在街路ノ左右ニ平等ニ擴張スル爲メ少シク南方ニ移シタリ。

二三　原案二三號線ノ內材木町吉野橋南詰間ヲ修正幹線三二號ニ加ヘ、吉野橋南詰田町二丁目間ヲ削除シ、金杉下町三ノ輪間ヲ修正幹線三十七號線ニ編入シ、殘部ヲ本線トシ、尙幅員ヲ二十二米ニ改メタリ。

二八　深川區內及砂町內ノ經過地ノ大部分ヲ變更セル結果延長增加セリ。

二九　原案補助線二九號線中濱町三丁目德右衞門町間ノ幅員ヲ二十七米ニ改メ德右衞門町以東ハ原案通リトセリ。

三〇　原案幹線三〇號中寺島町字新田以東ノ部分ヲ計畫ノミニ止メタリ。

三一　原案幹線三十一號線中今戶橋北詰以北ノ幅員ヲ減少シ、之ヲ補助路線トセシ爲メ、延長縮少セリ。

三二　原案二三號路線ノ內材木町吉野橋南詰間ヲ本線ニ加ヘタル爲メ延長增加セリ。

三七　金杉下町白鬚橋西詰間ノ幅員二十二米ノ新路線ト原案幹線二十三號線ノ內三ノ輪金杉下町間ノ幅員二十五米ヲ二十二米ニ改メタルモノトヲ併セ本線トセリ。

三八　原案幹線三十八號線中中ノ郷業平町以南ヲ幅員十五米ニ縮少シ、中ノ郷業平町以北ハ原案通リトセリ。

四八　芝公園增上寺門前ヨリ濱松町一丁目ニ至ル幅員二十七米突ノ路線ヲ設置セリ。

四九　原案補助線ヲ美倉橋南詰迄延長シ、且幅員ヲ二十二米ニ擴張シ、幹線ニ編入セリ。

五〇　原案補助線五八號線ノ幅員ヲ二十二米ニ擴張シ、且ツ幹線五號線ノ變更ニ依リ延長ヲ短縮シ、幹線ニ編入セリ。

五一　湯島天神町三丁目ヨリ厩橋ヲ經テ本所押上町ニ至ル間ニ幅員二十二米ノ路線ヲ新設セリ。

五二　池ノ端仲町地內ニ幅員二十二米ノ路線ヲ新設セリ。

五三　原案補助線三號ノ幅員ヲ全線ニ亘リ二十二米ニ擴張セリ。

補助線ノ部

一　原案補助線三十一號路線中今戶橋北詰以北ノ幅員ヲ十五米ニ縮少シ且ツ橋場町地方橋場迄幅員十一米ノ路線ヲ新設セリ。

三　原案補助線四十五號線ノ變更ニ伴ヒ幹線二八號線ト原案補助線一一九號トノ中間ヲ靈岸町ヨリ砂町ニ至ル幅員十一米ノ路線ヲ新設セリ。

五　原案補助線五號線及同四十二號線ヲ連結シ幅員ヲ全線ニ亘リ二十二米ニ擴張セリ。

八　原案補助線八號線同一〇號線及同九九號線ノ三路線ト其中間ヲ連絡シ幅員ヲ二十二米ニ改メタリ。

九　原案幹線五號線ノ變更ニ伴ヒ村松町附近ニ於テ經過地ニ些少ノ變更ヲ來セリ。

一〇　南千住町千束ヨリ同町地方橋場ニ至ル幅員十一米ノ路線ヲ新設セリ。

一一　原案補助線十一號線ヲ延長シテ幅員ヲ二十二米ニ改メ、小梅業平町ニ於テ之ヲ幹線三〇號線ニ連結セリ。

一五　舊路線全部ヲ削除シ千束町一丁目地內ニ幹線五號線ト補助線三〇號線トヲ連結スル幅員十五米ノ路線ヲ新設シ本號トセリ。

二六　原案補助線二六號線ノ幅員ヲ十八米ニ擴張セリ。

三〇　幹線五號線ノ變更ニ伴ヒ千束町一丁目地內經過地一部變更セシタメ延長ヲ增加セリ。

三六　原案補助線三六號線ノ內田町一丁目今戶橋間ヲ修正補助線七九號線ニ編入シ、更ニ田町二丁目迄延長シ幅員ヲ二十二米ニ改メタリ。

三七　橋場町ヨリ地方橋場ニ至ル幅員十一米ノ路線ヲ追加セリ。

四〇　原案補助線四〇號線中元町清住町間ハ原案通リトシ清住町以南ヲ削除セリ。

四二　原案幹線三八號線ノ內中ノ郷業平町以南ヲ幅員十五米ニ改メタリ。

四五　原案幹線二八號線ノ變更ニ伴ヒ大部分削除或部分ヲ修正幹線二八號線ニ連結セリ。

東京都市計畫街路修正對照表

幹線ノ部

注意（番號ノ頭ニ補助線ヲ示ス中㊟印ヲ付シ）

原案 番號	原案 路線名	原案 延長	原案 幅員	修正案 番號	修正案 路線名	修正案 延長	修正案 幅員	說明
二九	橋濱ヲ町經三ヲ丁目島町ヨリ=新玉大橋、菊川	三、二二〇	二二	二九	=濱町濱ル町三丁目ヨリ橋ヲ經テ大島橋右衛門川ヨリ新玉大橋、菊右衛門町右迄	三、二二〇	二二	番號內ノ頭ニ補助線ヲ加ヘ幅員ヲ十五米ニ擴張セリ
二八	町濱ヲ町經三ヲ丁目砂ヨリ=玉中洲町、石島	三、八九〇	二二	二八	橋濱町ヲ三經丁目ヲ砂ヨリ=玉中洲町、寶町	四、〇七二	二二	番號內ノ頭ニ補助線ヲ加ヘ幅員ヲ十五米ニ擴張セリ
八二	目ヲ=玉町ル二丁目ヨリ千束町三丁	三、二二	一一	⑧八二	目千ヲ=玉町ル二丁目ヨリ千束町三丁	三、二二	一一	番號ノ頭ニ補助線ヲ加ヘ幅員ヲ十五米ニ擴張セリ
七	橋濱ヲ京經蹴ヲ東越口ヨリ一下丁目町、=玉亀ル島	一、一〇	五二五〇乃	七	橋濱ヲ京經蹴ヲ東越口ヨリ一下丁目町、=玉亀ル島	一、一〇	五二四二乃	番號內ノ頭ニ補助線ヲ加ヘ幅員ヲ十五米ニ擴張セリ
五	=町町築玉ル小濱田町ヲ目、入經テ淺船金草町、杉橋、下南亀町元島	八、〇四〇	三三	五	=町町築玉ル小濱田町ヲ目、入經テ淺船金草町、杉橋、下南亀町元島	八、〇四八	三三	內村ノ經過附埋匠一及部千變東更町一丁目地
三	經吳テ服砂橋ヨリ=玉ル永代橋深海橋ヲ	五、二五五米	三、三米員	三	經吳テ服砂橋ヨリ=玉ル永代橋深海橋ヲ	五、二五五米	三、三米員	ヨリ合東點除七井丸町一地米內ヘ補都縫市五計畫道路幹線業務

幹線ノ部

原案 番號	原案 路線名	原案 延長	原案 幅員	修正案 番號	修正案 路線名	修正案 延長	修正案 幅員	說明
三〇	中ノ郷元町ヨリ寺島町=玉ル	一、九二〇	二二	三〇	中ノ郷元町ヨリ寺島町=玉ル	一、九二〇	二二	
三一	場山町ノ=宿玉町ヨリ亀島ヲ經テ橋	一、五六〇	二二	⑧三一	場山ノ宿町ヨリ今戸橋北詰=玉	一、五二〇	二二	區地北原間方詰案ヘ橋以北郡場北郡間ヘ幅內市ヘ縫都市五計畫道路幹線業務
三二	切吉野=玉橋ヨリ南千住町常磐線路	一、四〇〇	二二	三二	切吉詰淺草區千住材木町ヨリ常磐線路	一、四〇〇	二二	番號內ヲ淺草區千住材木町ヨリ常磐線路
三三	ヲ淺草三ノ區輪村木=玉町ヨリ吉野橋ヲ經	二、五四五	二五	三三	淺草區千住材木町ヨリ吉野橋ヲ經	二、五四五	二五	番號內ヲ淺草區千住材木町ヨリ吉野橋ヲ經
三七	千束町一丁目ヨリ亀島町=玉ル	一、一四五	二二	三七	千束町一丁目ヨリ亀島町=玉ル	一、一四五	二二	番號內ヲ千束町一丁目ヨリ亀島町=玉ル
⑧二八	目千=玉町ル二丁目ヨリ千束町三丁	三、二二	一一	⑧二八	目千=玉町ル二丁目ヨリ亀岡町三丁	三、二二	一一	番號ノ頭ニ補助線ヲ加ヘ幅員ヲ十五米ニ擴張セリ
三八	入谷ヲ經町ヨリ中ノ洲郷ノ業宿平町、=淺玉ル蹴	二、八三六	二二	三八	入谷ヲ經町ヨリ中ノ洲郷ノ業宿平町、=淺玉ル蹴	二、八三六	二二	番號內ヲ入谷ヲ經町ヨリ中ノ洲郷ノ業宿平町、=淺玉ル蹴
⑧四二	經中ヲノ洲郷崎業平=玉ル町ヨリ本所驛馬ヲ	四、四三七	一五	⑧四二	經中ヲノ洲郷崎業平=玉ル町ヨリ本所驛馬ヲ	四、四三七	一五	番號ノ頭ニ補助線ヲ加ヘ幅員ヲ十五米ニ擴張セリ
四八	一之公丁目岡界=玉上寺ル門前ヨリ渡松町	六一一	二七	四八	一之公丁目岡界=玉上寺ル門前ヨリ渡松町	六一一	二七	番號內ヲ一之公丁目岡界=玉上寺ル門前ヨリ渡松町
五一	經濱ヲ島押天神町町=三玉丁目ヨリ版橋ヲ	三、八七七	二二	五一	經濱ヲ島押天神町町=三玉丁目ヨリ版橋ヲ	三、八七七	二二	番號內ヲ經濱ヲ島押天神町町=三玉丁目ヨリ版橋ヲ
五二	池ノ端仲町殘內	三〇〇	二二	五二	池ノ端仲町殘內	三〇〇	二二	番號內ヲ池ノ端仲町殘內

補助線ノ部

番號	路線名	原案 延長	原案 幅員	修正案 番號	修正案 路線名	修正案 延長	修正案 幅員	説明
一	錦町三丁目ヨリ一ツ橋通町ニ至ル	一〇九米	一八米	㊟四九	煉子橋内ヨリ美土代町二丁目ヲ經テ豐島町ニ至ル	一、八四五米	二二米	延長增加並幅員擴張幹線ニ編入ノ上都市計畫事業トス
三	越中島町ヨリ濱園町ニ至ル	一、〇二五	一八	㊟五三	越中島ヨリ濱園町ニ至ル	一、〇二五	二二	幅員ヲ擴張シ幹線ニ編入ノ上都市計畫事業トス
四五	東平井町内押上町ヨリ柳島町ニ至ル	一、三〇〇	二〇	三	豐岸町ヨリ石島町ヲ經テ砂町ニ至ル	二、一九一	一一	幹線二八號線補助線四五號線修正ニ伴ヒ追加
八	元衞町ヨリ錦町三丁目ニ至ル	一、四九一	一五	五	押上町ヨリ四ツ橋ヲ經テ東平井町ニ至ル	四、二三六	二二	二線連結幅員及延長ヲ增加シ增加ノ分ハ市電氣事業經濟ノ負擔
一〇	渴島五丁目ヨリ東竹町ニ至ル	二一八	一六	八	元衞町ヨリ御茶ノ水橋ヲ經テ春木町二丁目ニ至ル	二、〇七三	二二	原案三路線及其ノ中間ヲ連絡シ幅員ヲ全線ニ亦ヲ增ス增加ノ分ハ市電氣事業經濟ノ負擔
九九	春木町一丁目ヨリ春木町二丁目ニ至ル	二六〇	一六					
		三五五	一六					
九	北綿町ヨリ矢ノ倉町ニ至ル	一、六六七	一六	九	北綿町ヨリ矢ノ倉町ニ至ル	一、六六七	一六	村松町附近ニ於テ路線些少ノ變更
一一	德右衞門町ヨリ木場町ニ至ル	二、一一一	一六	一〇	南千住町千束ヨリ同町地方橋場ニ至ル	七九二	一一	新設
一五	字田川町ヨリ汐留町二丁目ニ至ル	二四六	一五	一一	小梅業平町ヨリ木場町ニ至ル	四、三三八	二二	幹線三〇號路線迄延長シ幅員ヲ二米突ト增加ス增加ノ分ハ市電氣事業經濟ノ負擔
二六	東湊町一丁目ヨリ新船松町ニ至ル	三五五	一五					削除
三〇	坂本裏町ヨリ聖天町ニ至ル	一、九〇六	一五	二六	東湊町一丁目ヨリ新船松町ニ至ル	三五五	一八	幅員擴張
				三〇	坂本裏町ヨリ聖天町ニ至ル	一、九四七	一五	第五號線變更ニ伴ヒ一部路線ヲ變更シ延長ヲ增加ス
三六	花川戸町ヨリ地方今戸町ヲ經テ今戸町ニ至ル	一、六一四	一五	三六	花川戸町ヨリ淺草區田町二丁目ニ至ル	一、三一四	二二	原案三六號線ノ內田町一丁目今戸町間ヲ削リ田町二丁目迄延長シ幅員ヲ二米突ト增加ノ部分ハ市電氣事業經濟ノ負擔

注　㊟（番號欄中㊟印ヲ付シタルハ幹線ヲ示ス）

七九	千束町三丁目ヨリ田町一丁目ニ至ル	二九一	一一	七九	千束町三丁目ヨリ淺草區田町一丁目ヲ經テ今戸町ニ至ル內一千束町三丁目ヨリ田町一丁目迄	八三三	一一乃至一一五
三七	今戸町ヨリ橋場町ニ至ル	一、二二五	一五	三七	今戸町ヨリ橋場町ヲ經テ南千住町地方橋場ニ至ル內今戸町ヨリ橋場町迄一橋場町ヨリ地方橋場迄	二二九	一一
						六〇四	一五
四〇	元町ヨリ諸町ニ至ル	二、四八四	一五	四〇	元町ヨリ清住町ニ至ル	一、七〇七	一一乃至一一五
四五	清住町ヨリ砂町ニ至ル	三、〇四三	一五	四五	砂町八右衞門町新田地內	一、二二五	
						四八二	
五八	濱町一丁目ヨリ豐島町ニ至ル	八一五	一一	㊟五〇	村松町ヨリ豐島町ニ至ル	一、四〇〇	一五
				五八	柳町ヨリ淺草橋南詰ニ至ル	五七三	二二
八〇	吉野町ヨリ玉姬町ニ至ル	六三七	一一	八〇	吉野町ヨリ南千住町地方橋場ニ至ル	一、二一八	一五
八九	餌鳥町ヨリ新片町ニ至ル	七九七	一一			八五五	一一
一〇八	中ノ郷竹町ヨリ數矢町ニ至ル	三、八七七	一一	一〇八	中ノ郷竹町ヨリ荒井町ヲ經テ數矢町ニ至ル內一中ノ郷竹町ヨリ荒井町迄	三、八七七	一一乃至一一三
一一二	柳島元町ヨリ柳島町ニ至ル	一一	一一			三、四四九	
一一四	錦絲町ヨリ深川區本村町ニ至ル	七五三	一一			三、四二八	
一一七	東扇橋町ヨリ千田町ニ至ル	四〇四	一一				
		三二八	一一				
一一九	豐岸町ヨリ千田町ニ至ル	一、八九三	一一	一一二	押上町ヨリ柳島町ニ至ル	七六四	一一
				一一九	豐岸町ヨリ山本町ヲ經テ砂町ニ至ル	二、三四八	一一
一二四	清住町ヨリ深川區大島町ニ至ル	一、四六五	一一	一二四	清住町ヨリ深川區大島町ニ至ル	一、四六五	一五

委員大河內子爵より議第二號議第三號兼議の結果を報告し、幾多の質問あり、多數を以て特別委員の修正を可決す、午後五時三十八分散會。

三、第三回總會　特別都市計畫委員會は、大正十三年二月五日二十八日の會議に於て、東京横濱兩市の都市計畫中、街路運河に關する計畫及實施方法を審議決定すと雖、尙新に決定を要する公園、市場、土地區劃整理、土地區劃整理に伴ふ街路、下水等の計畫及實施方法あり、愈に計畫を決定したる補助街路の實施方法あり、是に於て大正十三年

三月十日左の諸問題同會の審議に付せられ、十四日第三總會の開催と爲る。

議　案

一、議第六號

東京都市計畫並都市計畫事業及其ノ執行ノ年割ノ件

官計發第十三號　特別都市計畫委員會

東京都市計畫並都市計畫事業及其ノ執行ノ年割、左ノ通決定セムトス。

右都市計畫法第三條ノ規定ニ依リ、其ノ會ノ審議ニ付ス。

大正十三年三月十日　内務大臣　水野錬太郎

記

第一、東京都市計畫公園新設ノ件、左ノ通定ム。

番號	名稱	位置	面積(約)
一	濱町公園	日本橋區濱町一丁目及濱町二丁目ノ内	一萬一千坪
二	隅田公園	本所區新小梅町、向島小梅町、及向島須崎町ノ内並浅草區花川戸町、山ノ宿町、金龍山瓦町及今戸町ノ内	三萬一千坪
三	錦糸公園	本所區太平町二丁目ノ内	一萬八千坪

第二、前項ノ計畫ハ都市計畫事業トシテ、大年十二年度ヨリ大正十七年度迄六ケ年度ニ、繼續執行スルモノトシ、其ノ年割左ノ通定ム。

大正十二年度	約二分四厘
大正十三年度	約六割二分四厘
大正十四年度	約三割一分五厘
大正十五年度	約一割二厘
大正十六年度	約一割一分六厘
大正十七年度	約一割一分九厘

四、議第九號

東京都市計畫土地區劃整理施行區域ノ件

官計發第十六號　特別都市計畫委員會

東京都市計畫土地區劃整理施行區域、左ノ通決定セムトス。

右都市計畫法第三條ノ規定ニ依リ、其ノ會ノ審議ニ付ス。

大正十三年三月十日　内務大臣　水野錬太郎

東京都市計畫土地區劃整理施行區域、左ノ通定ム。

一、東京市

區域	面積(約)
麹町區：一、上六番町、元園町一丁目、麹町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、山元町一丁目、同二丁目、同三丁目、元平河町、平河町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、飯田河岸、飯田町四丁目、同五丁目、大手町二丁目、道三町、錢瓶町、元衛町、有樂町三丁目ノ全部　二、三番町、富士見町一丁目、上二番町、下二番町、三番町、五番町、元園町二丁目、麹町五丁目、平河町、五丁目、飯田町一丁目、飯田町二丁目、飯田町六丁目、大手町一丁目、内幸町一丁目、華町、有樂町二丁目、同二丁目ノ一部	四八三、五〇〇坪
神田區：和泉町、佐久間町二丁目、同三丁目、同四丁目、平河町ヲ除ク	八三六、七二六坪
日本橋區全部	八一三、八九六坪
京橋區：築地四丁目、佃島、新佃島西町一丁目、同二丁目、同三丁目、新佃島東町一丁目、同二丁目、月島東河岸通一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目、同六丁目、同七丁目、同八丁目、同九丁目、同十丁目、同十一丁目、同十二丁目、月島西仲通一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目、同六丁目、同七丁目、同八丁目、同九丁目、同十丁目、同十一丁目、同十二丁目、月島西河岸通一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目、同六丁目、同七丁目、同八丁目、同九丁目、同十丁目、同十一丁目、同十二丁目、月島通一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目、同六丁目、同七丁目、同八丁目、同九丁目、同十丁目、同十一丁目、同十二丁目、明石町ノ全部及南小田原町一丁目ノ一部ヲ除ク	六八〇、五八〇坪
芝區：一、新幸町、琴平町、南佐久間町一丁目、同二丁目、櫻田備前町、櫻田鍛冶町、櫻田和泉町、櫻田左衛門町、櫻田、久保町、櫻田菩右衛門町、櫻田伏見町、兼房町、烏森町、芝口一丁目、同二丁目、同三丁目、日蔭町一丁目、同二丁目、源助町、愛宕下町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、神明町、新錢座町、宮本町、新網町、濱松町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、土手町、浜町、中門前一丁目、片門前一丁目、同二丁目、同三丁目、愛宕町一丁目、同二丁目、同三丁目、田村町、四久保櫻川町、四久保巴町、露月町、保寅町、西久保明船町、二葉町ノ全部　二、芝公園地、貴手町、神谷町、汐留町一丁目、同二丁目、櫻田本郷町ノ一部	四六二、〇二六坪
赤坂區：一、新町一丁目、同二丁目、田町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目、同六丁目、同七丁目、溜池町ノ全部　二、新町三丁目ノ一部	七〇、五〇〇坪
本郷區：一、湯島天神町一丁目、同二丁目、同三丁目、湯島梅園町、湯島新花町、湯島三組町、麥懲町、湯島一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目、同六丁目、金助町、春木町一丁目、同二丁目、同三丁目、本郷一丁目、東竹町、西竹町、元町一丁目、湯島切通坂町、本郷三丁目、弓二、湯島同朋町ノ全部	二四四、八五三坪
下谷區：一、三ノ輪町、金杉下町、入谷町、新坂本町、山伏町、萬年町、一丁目、同二丁目、豐住町、下車坂町、上車坂町、車坂町、北稲荷町、南稲荷町、四町、御徒町一丁目、同二丁目、同三丁目、仲御徒町、竹町、二長町、下谷町、一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、五條町、上野三橋町、上野元黒門町、上野北大門町、數寄屋町、西黒門町、東黒門町、坂町、同朋町、長者町一丁目、同二丁目上野南大門町、練塀町、善養寺町ノ全部　二、龍泉寺町、金杉上町、坂本町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、上野山下町、下根岸町池ノ端仲町ノ一部	六八二、九〇八坪
浅草區：新吉原五十間町、新吉原江戸町一丁目、同二丁目、新吉原揚屋町、新吉原京町一丁目、同二丁目、新吉原角町ノ全部及千束町二丁目ノ一部ヲ除ク	一、三二八、七一七坪
本所區：向島須崎町、向島請地町、向島小梅町、向島中ノ郷町、小梅瓦町、向島押上町ヲ除ク	一、四〇三、八二〇坪
深川區：洲崎辨天町一丁目、同二丁目、鹽園町、濱園町ノ全部及東平井町、西平井町、越中島町ノ一部ヲ除ク	一、七九九、二五四坪

二、北豐島郡

區域	面積(約)
日萬里町　大字金杉ノ一部	
三河島町　大字三河島ノ一部	
南千住町：一、大字千住ノ全部　二、大字三ノ輪、大字千住南、大字地方橋場ノ一部	一九二、九八五坪

三、南葛飾郡

區域	面積(約)
砂町：一、大字永代ノ全部　二、大字八右衛門、大字本砂町ノ一部	一二〇、〇一〇坪

（圖面裏示）

五、議第十號

東京都市計畫土地區劃整理ニ依ル街路ノ新設、改修ノ件

官計發第十七號　特別都市計畫委員會

東京都市計畫土地區劃整理ニ依ル街路ノ新設、改修ノ件、左ノ通決定セムトス。

右都市計畫法第三條ノ規定ニ依リ、其ノ會ノ審議ニ付ス。

大正十三年三月十日　内務大臣　水野錬太郎

記

東京都市計畫土地區劃整理ニ依ル街路ノ新設、改修ノ件左ノ通定ム。

幅員	延長(約)
新設	一〇六、六七四米
改修	七八、〇二四米
計	一八四、六九八米

八	七八、一六六	一〇八、一五四	一八六、三二〇
一一	一三、一七五	六七、一九〇	八〇、三六五
一五	四三六	四、〇六四	四、五〇〇
一六	—	一、一八七	一、一八七

（圖面表示）

六、議第十一號

東京都市計畫土地區劃整理事業及其ノ執行年割ノ件

官計發第十八號

特別都市計畫委員會

東京都市計畫土地區劃整理事業及其ノ執行年割、左ノ通決定セムトス。

右都市計畫法第三條ノ規定ニ依リ、其ノ會ノ審議ニ付ス。

大正十三年三月十日　　內務大臣　水野錬太郎

記

東京都市計畫土地區劃整理ハ、之ヲ都市計畫事業トシテ大正十二年度ヨリ大正十六年迄五ケ年度ニ繼續執行スルモノトシ、其ノ年割左ノ通定ム。

土地區劃整理事業執行年割

大正十二年度	約三分四厘
大正十三年度	約三割九分三厘
大正十四年度	約三割六分九厘
大正十五年度	約一割八厘
大正十六年度	約一割三厘

七、議第十二號

東京都市計畫街路ノ部中補助線ノ新設、改修事業及其ノ執行年割ノ件

官計發第十九號

特別都市計畫委員會

東京都市計畫事業及其ノ執行年割、左ノ通決定セムトス。

右都市計畫法第三條ノ規定ニ依リ、其ノ會ノ審議ニ付ス。

大正十三年三月十日　　內務大臣　水野錬太郎

第一、東京都市計畫街路ノ部中、補助線ノ新設改修ハ、都市計畫事業トシテ大正十二年度ヨリ大正十六年迄六ケ年度ニ繼續執行スルモノトシ、其ノ年割左ノ通リ定ム。

街路ノ新設、改修事業執行年割

大正十二年度	約一分九厘
大正十三年度	約二割六分一厘
大正十四年度	約二割五分七厘
大正十五年度	約一割九分五厘
大正十六年度	約一割五分三厘
大正十七年度	約一割一分五厘

第二、前項ノ事業ノ一部ハ、其ノ年割ノ範圍內ニ於テ土地區劃整理事業トシテ之ヲ執行スルコトヲ得ルモノトス。

八、議第十三號

東京都市計畫下水道復舊事業及其ノ執行年割ノ件

官計發第三十號

特別都市計畫委員會

東京都市計畫下水道復舊事業及其ノ執行年割、左ノ通決定セムトス。

右都市計畫法第三條ノ規定ニ依リ、其ノ會ノ審議ニ付ス。

大正十三年三月二十五日　　內務大臣　水野錬太郎

第一、東京都市計畫下水道復舊ノ件、左ノ通定ム。

一、三河島汚水處分場

沈澱池竝導水渠合流渠修理	約五、三三三尺
壁部據置	約五、四〇〇尺
笠石據替	約六四個所
壁龜裂	約六個所
沈澱地床	約六個所
道水渠合流橋梁	約八個所
濾過池修築	約二四個所
高置給水槽折損修築	
排水渠竝コンクリート管修理	
主喞筒送水管據付修理	約二五個所
護岸木柵修築其ノ他	約九本

二、淺草喞筒場

雨水渠門扉修理	一組
喞筒竝附屬機械修理	喞筒起重機 一九臺 一臺
電動機配電盤	電動機配電盤 九臺 一〇臺
場內電線路其ノ他	
喞筒場本館	約一五八坪
事務所	約五四、五坪
倉庫及便所	約四八坪
公舍	三棟
門電燈水道設備其ノ他	

三、下水管渠

事務所、附屬家、倉庫、門其ノ他	約三〇〇個所
人孔修理	約一、二〇〇個所
桝竝取付管修理	約一〇個所
角落竝柄蓋修理	約二個所
橋梁修理	約一、八〇〇尺
雨水開渠修理	約三〇〇尺
藍染排水路修理	約一〇、〇〇〇尺
枝線路修理	約一、〇〇〇尺
幹線路修理	約一、〇〇〇尺
速成線路修理	約一、〇〇〇尺

第二、前項ノ計畫ハ、都市計畫事業トシテ大正十二年度ヨリ大正十三年度迄二ケ年度ニ繼續執行スルモノトシ、其ノ年割左ノ通定ム。

下水道復舊事業執行年割

大正十二年度	約八割一分二厘
大正十三年度	約一割八分八厘

九、議第十四號

大正十年五月十三日內閣認可東京都市計畫事業中東京府知事ノ執行スヘキ街路ノ新設及擴張ノ執行年限延長竝年度割變更ノ件

官計發第三十一號

特別都市計畫委員會

大正十年五月十三日內閣認可東京都市計畫事業中、東京府知事ノ執行スヘキ街路ノ新設及擴張ノ執行年限延長竝年度割變更ノ件、左ノ通決定セムトス。

右都市計畫法第三條ノ規定ニ依リ、其ノ會ノ審議ニ付ス。

大正十三年三月二十五日　　內務大臣　水野錬太郎

大正十年五月十三日內閣認可東京都市計畫事業中東京府知事ノ執行スヘキ街路ノ新設及擴張事業ハ、大正十年度ヨリ大正二十三年度迄十四箇年度ニ繼續執行スルコトニ更メ、大正十二年度ヨリ大正十三年度ニ至ル年度割ヲ左ノ通定ム。

街路ノ新設及擴張事業執行年度割

大正十二年度	約八分六厘
大正十三年度	約五分五厘
大正十四年度	約七分八厘
大正十五年度	約八分八厘
大正十六年度	約九分二厘
大正十七年度	約九分七厘
大正十八年度	約七分七厘

大正十九年度	約七分七厘
大正二十年度	約七分七厘
大正廿一年度	約七分八厘
大正廿二年度	約七分八厘
大正廿三年度	約七分六厘

十、議第十五號

大正十三年三月十一日內閣認可東京都市計畫竝都市計畫事業及大正十三年三月十九日內閣認可東京都市計畫街路ノ部中補助線ノ新設改修事業及其ノ執行年割中變更ノ件

官計發第三十四號　　特別都市計畫委員會

大正十三年三月十一日內閣認可東京都市計畫竝都市計畫事業及大正十三年三月十九日內閣認可東京都市計畫街路ノ部中、補助線ノ新設、改修事業及其ノ執行年割中、左ノ通變更セムトス。

右都市計畫法第三條ノ規定ニ依リ其ノ會ノ審議ニ付ス。

大正十三年三月二十七日　　內務大臣　水野錬太郎

第一　大正十三年三月十一日內閣認可東京都市計畫竝事業中、左ノ通變更ス。

街路ノ部

幹線

第一號路線ヲ左ノ通改ム

番號	路線（起終點及經過地）	延長（約）	幅員
一	品川町ヨリ本芝一丁目、芝口一丁目、木挽町、江戸橋、和泉橋、車坂町、三ノ輪町ヲ經テ常磐線踏切ニ至ル	一三、五九七米	二二乃至四四米
內	品川ヨリ本芝一丁目迄	三、三六〇	三三
內	本芝一丁目ヨリ芝口一丁目迄	二、〇九〇	三六
內	芝口一丁目ヨリ車坂町迄	五、七三〇	四四
譯	車坂町ヨリ三ノ輪町迄	二、二九〇	三三
譯	三ノ輪町ヨリ常磐線踏切迄	一二七	二二

補助線

第二八號路線、第七〇號路線、第八一號路線ヲ、左ノ通改ム。

番號	路線（起終點及經過地）	延長（約）	幅員
二八	小網伸町ヨリ濱町二丁目ニ至ル	六七三米	一五米
七〇	龍泉寺町ヨリ三ノ輪ニ至ル	九二一	一一
八一	山谷町ヨリ田中町ニ至ル	七四九	一一

第六七號路線ヲ創ル。

左ノ路線ヲ加フ。

番號	路線（起終點及經過地）	延長（約）	幅員
一二三	烏森町ヨリ有樂町三丁目ニ至ル	五一八米	八米

第二、大正十三年三月十九日內閣認可東京都市計畫街路ノ部中、補助線ノ新設改修事業及其ノ執行年割中左ノ通變更ス。

第一項中「補助線」ノ下ニ「（第一一三號路線ヲ除ク）」ヲ加フ。

十一、議第十六號

東京都市計畫運河埋立竝改修事業及其ノ執行年割ノ件

官計發第三十五號　　特別都市計畫委員會

東京都市計畫運河埋立竝改修事業及其ノ執行年割、左ノ通決定セムトス。

右都市計畫法第三條ノ規定ニ依リ、其ノ會ノ審議ニ付ス。

大正十三年三月二十七日　　內務大臣　水野錬太郎

第一、東京都市計畫運河埋立竝改修ノ件、左ノ通定ム。

埋立ノ部

西堀留川	延長約三七四米	幅員約三〇米	
東堀留川	延長約五四五米	幅員約三三米	深度約一八米

改修ノ部

第二、前項ノ計畫ハ、都市計畫事業トシテ大正十三年度ニ於テ執行スルモノトス。

十二、議第十七號

橫濱都市計畫街路ノ新設、改修事業及其ノ執行年割ノ件

官計發第五五號　　特別都市計畫委員會

橫濱都市計畫事業及其ノ執行年割ノ件、左ノ通決定セムトス。

右都市計畫法第三條ノ規定ニ依リ其ノ會ノ審議ニ付ス。

大正十三年四月十六日　　內務大臣　水野錬太郎

第一、大正十三年三月十一日內閣認可橫濱都市計畫中、第十三號乃至第十八號、第二十號乃至第二十一號ノ街路ノ新設改修ハ、都市計畫事業トシテ大正十三年度ヨリ大正十七年度迄五箇年度ニ繼續執行スルモノトシ、其ノ年割左ノ通定ム。

街路ノ新設、改修事業	執行年割
大正十三年度	約二割六分四厘
大正十四年度	約二割三分七厘
大正十五年度	約二割四厘
大正十六年度	約一割六分五厘
大正十七年度	約一割三分

第二、前項ノ事業ノ一部ハ、其ノ年割ノ範圍內ニ於テ土地區劃整理事業トシテ之ヲ執行スルコトヲ得ルモノトス

委員異動（大正十三年三月末日現在）

七、

二五、	東京府會議員	久保三友
六三、	東京府會議員	矢野鉉吉
六四、	正五位勳四等	佐野利器
六五、	從四位勳三等 正三位勳一等功二級	松本幹一郎 長岡外史
六六、	正五位	直木倫太郎
幹事	從五位	菊池愼三

（他は二月末日現在に同じ）

第三總會は、三月十四日午後二時三十八分內務大臣の官邸に開き、水野會長及委員四十八名、幹事三名（金井、長谷川、西村）、復興局職員直木長官五都長外關係職員出席す、會長開會を宣し、議第六號を議題とす、即ち公園新設の件なり、直木長官の說明あり、大火災の際、川筋若くは川筋に接せる稍ゝ廣き公園は、旋風を起す媒介たるべしとの說、水陸兩飛行機を受くるに足るべき飛行場を設けたしとの論等出で、小委員會を設け、次の問題を併せて委員付託と爲すことに決す。

議第七號、第八號、市場問題議題と爲り、直木長官の說明あり、越中島線完成の日、越中島分場の必要を感ずべきを以て、適當の時に追加すべしとの議あり、議第六七八號を一括して、特別委員に付託す。

次に議第九號土地區域整理施行區域を議題とし、直木長官より、燒失地全部土地區劃整理を施行する方針なれども、自然の地形に依り多少の出入なきを得ず、現に區劃井然たる築地洲崎吉原明石町居留地の一劃を除き、郡部日暮里町三河島町南千住町等の一部砂町の一部を加へ、計九百十一萬七千坪を六十八區に劃分し、一地區平均十四萬坪宅地面積十萬坪を目的とするものなりとの說明あり、多數を以て原案を可決す。

其より議第十號區劃整理に依る街路を議題とし、長官の說明後、特別委員に付託し、次は議第十一號即ち區劃整理の執行年割を附議し、即決の要なりとして、多數を以て原案を可決す、次の議第十二號亦原案通り即決し、特別委員の指名ありて、午後四時三十分散會す。

公園市場特別委員

赤池濃、宇佐美勝夫、永田秀次郎、岡田啓介、鶴見佐吉雄、伯爵柳澤保惠、上山滿之進、磯部荷、渡邊錢藏、矢野恒太、潮惠之輔、直木倫太郎。

區劃整理特別委員

赤池濃、宇佐美勝夫、永田秀次郎、男爵中島久萬吉、近藤達兒、小坂梅吉、三木武吉、佐野利器、堀切善次郎、田邊治通、直木倫太郎。

區劃整理特別委員會

第一回　大正十三年三月十七日午前十時五十分內務大臣官邸に開く出席者委員長男爵中島久萬吉、委員十名、幹事二名、復興局職員直木長官四部長其他。

中島委員長開會を宣し、直木長官伊部技師說明し、種々意見ありて、先づ地區の割方を承認し、市內墓地問題と爲り、寺院をも併せて、多摩墓地に實費移轉を許されたしとの說出で、其より日本橋川より神田川に至る運河新鑿にして不能ならんか寧ろ四堀留川を埋立て換地用に供されたし。

杭打を始めること。

の希望條件を決議し、午後零時二十五分散會す。

第二回　三月十八日午前十時三十分內務大臣官邸に開會す、出席者は委員長及委員九名、兩幹事、長官五部長等復興局職員なり。

前日に引續き是日より各區の區劃割審議に入り、神田區より始め、笠原建築部長(敏郎)の說明あり。

八米(四間四分)六米(三間三分)の狹き道路も、既決の幹線と系統を採り、脈絡相照應する如く設計したる事、在來の道路は成るべく尊重したる事、地方埋設物は成るべく助けたる事、間の割方は、大體大路に面して成るべく平行して區劃を立てたる事、區劃の大さ即ち奧行は地域を考慮し、例へば住居地域は十二間即ち背中合せ六間を大體とし、大なるものは四十間、更に大なるものは六十間と爲す所もあり、商業地域は三十間、即ち背中合せ十五間づゝ以下十二間位、工業地域は概して大に八十間のものもあれは、大體は六十間以下に收めたる類、運河の線に路を取らず、荷揚場倉庫地帶と成すの餘地を存したる事、區劃整理の路線の幅は、八米(四間四分)を標準としたる事、細かき借地權ある所にして、外に四米路線を要するものは、整理委員の意見に依り、常務委員の決議を得ることとす、角地は幹線に於て大體角地の傾斜を六間とすることを原則とすれども一律なる能はざる事、橋臺地は實測の上角地に及ぼす事、區劃整理の路線も幹線と同じく成るべく永久的建築物を尊重する事。

を大體の方針としたりと云ふに在りたるやに聞く、各委員反覆研究後、午後零時十二分散會。

第三回　三月十九日午前十時三十八分復興局會議室に開催す、中島委員長及委員十一名、幹事三名、復興局より長官三部長其他關係職員出席す、前回に引續き會議を開き、神田區の路線區劃を原案に決し、日本橋區京橋區の區劃整理を議題とし、

修　正

一、築地香雪軒ノ裏ニ八米ノ道路ヲ追加スルコト。
二、三越別館横ノ道路ヲ六米ニ整理シテ之ヲ存置スルコト。
三、日本橋藥研堀町ニ更ニ一區劃ヲ增加スルコト。
四、日本橋區新材木町ニ六米ノ道ヲ追加スルコト。

希　望　條　件

一、交番、便所、自働電話、ポスト、是等ノ位置ヲ撰地設計上ニ指定スルコト。
一、撒水井戸、塵芥置場、砂利置場、是等ノ設置ニ對シテモ、亦相當ノ考慮ヲ加ヘラレタシ。
一、小公園ヲ各小學校ニ配置スルコトヲ區劃整理ニ依テ處理スルコト。
一、著シク宅地ノ減少スル地區間ニ於テハ、地區ノ併合ニ付キ相當考慮ヲ加ヘラレタキコト。

を以て日本橋區京橋區の分を可決す、散會午後零時四十分。

第四回　三月二十日午前十時三十分內務大臣官邸に開會す、出席者委員長及委員十名、幹事二名、復興局職員長官四部長其他。

芝區赤坂區の區劃整理を付議し、

修　正

一、愛宕山ト青松寺トノ間ニ幅員八米道路ヲ設クルコト。
二、區役所ト警察署トノ間ニ幅員八米ノ道路ヲ設クルコト。
三、黑田侯爵邸ヨリ米國大使館ニ至ル幅員十一米ノ道路ヲ設クルコト。

を以て可決し、神田下谷淺草の部を付議す、亦左の修正及希望を以て神田區を可決し、午後零時二十分散會す。

修　正

一、昌平橋ノ通リヨリ花房町ヲ經テ和泉橋ニ至ル在來ノ道路ヲ二十二米ニ擴張スルコト。
二、神田區萬世橋驛前ノ在來ノ道路ヲ幅員十五米ニ減縮スルコト。
一、仲御徒町四丁目地內現在鐵道線路附近ニ於ケル計畫ヲ多少變更スルコトコト。

希　望　條　件

一、小學校ノ敷地ハ、成ルヘク十二間以上ノ幹線道路ニ沿フコトヲ避ケタキコト。
一、神社佛閣ノ位置ハ、換地ニ際シテハ、相當考慮ヲ加ヘラレタキコト。

第五回　三月二十二日午前十時二十分內務大臣官邸に開き、委員長、委員十名、幹事二名、復興局職員長官三部長外關係職員の出席あり。

引續き下谷淺草の部を審議し、

修　正

一、松永町地內鐵道用地沿ヒノ路線ヲ變更スルコト。
二、仲御徒町二丁目地內鐵道用地沿ヒノ路線ノ屈曲ヲ矯正スルコト。
三、上野驛北方燒殘リ地區內ノ計畫路線ヲ全部削ルコト。
四、豐住町地內ニ於テ新舊道路ヲ連絡スル幅員二十七米ノ道路ヲ新設スルコト。
五、竹町地內ノ道路ヲ變更スルコト。
六、淺草仲見世裏側ニ各四米ノ道路ヲ新設スルコト、仲見世ノ通リハ現在ノ儘トシ、東側ノ道路ヲ大通ニ通セシムルコト。

尙ホ此線ニ丁字形ヲ爲ス左右ノ道路ハ四米ニ變更スルコト。
七、淺草公園內電氣館前ノ道路ヲ幅員十一米ニ改ムルコト。
八、淺草公園地內ノ道路約十二本ヲ削ルコト。
九、淺草藏前專賣局前ノ道路ヲ削ルコト。
十、橋場町燒殘區域內ノ道路計畫ヲ削除スルコト。

希　望　條　件

燒殘區域左記ノ二箇所ヲ整理施行區域ヨリ除外セラレンコトヲ望ム。
一、下谷坂本町方面。
二、淺草橋場方面。

を以て可決散會す、時に午後零時五十五分。

第六回　三月二十四日午前十時三十一分內務大臣官邸に開催す、出席者は委員長、委員十名、復興局職員長官三部長其他なり。

本郷區區劃整理審議、可決。

麴町區區劃整理審議、日比谷公園附近の道路に就き議論あり、宿題と爲る。

本所區深川區區劃整理審議。

修　正

一、本郷三丁目ト春木町二丁目トノ境界ニアル道路ヲ六米突ニ改修シ、其東側新設六米突道路ヲ廢止スルコト。(本郷區ノ部)
一、麴町區大手町ノ內務省南側ニ沿フ道路ノ改修ヲ廢メ、現在ノ儘トスルコト。(麴町區ノ部)

希　望　條　件

一、三番町燒殘ノ地區ヲ整理區ヨリ除外シ、地區內計畫道路ヲ除外サレタシ。(麴町區ノ部)

午後零時四十分散會。

第七回　三月二十六日午前十時十八分內務大臣官邸に開く、出席者委員長、委員九名、幹事一名、復興局職員長官四部長其他。

引續き深川本所の部を審議す。

修正

一、深川區四平井町地內道路計畫ノ一部ヲ變更スルコト。

を以て一應決定し、希望條件を後廻しとす、其より本所深川區地盛の說出で、深川本所河岸地の廣き所に數箇所の土棄場設置の希望あり、日比谷公園傍の路線計畫に移り、

一、麹町區山下橋ヨリ高架線西側ニ沿ヒ政友會本部東側ニ至ル幅員八米ノ道路ヲ新設セラレタキコト。

二、麹町區內幸町一丁目政友會本部前通ヨリ京橋區ニ通スル新橋ヲ外濠ニ架設セラレタキコト。

を希望條件とし、

一、有樂町三丁目一丁目地內道路計畫ノ一部ヲ變更スルコト。

の修正を爲すに決す。

斯くて中島委員長は、七回の會議に依り、多少の修正及附帶希望條件を以て原案を是認することゝ成りたれども、箇所區々に亘るを以て、念の爲め繰返して之を確むる事とすべしとて、

修正

麹町區內

一、三番町地內道路計畫ノ一部ヲ削除スルコト。

二、前號道路計畫ノ削除ニ伴ヒ、三番町地內道路計畫ノ一部ヲ變更スルコト。

三、飯田町六丁目地內道路計畫ノ一部ヲ削除スルコト。

四、前號道路計畫ノ削除ニ伴ヒ、飯田町六丁目地內道路計畫ノ一部ヲ變更スルコト。

五、有樂町三丁目同一丁目地內道路計畫ノ一部ヲ變更スルコト。

神田區內

一、萬世橋驛前須田町ヨリ昌平橋ニ至ル幅員十五間ノ在來道路ヲ幅員十五米ニ改修スルコト。

二、昌平橋ヨリ花房町ヲ經テ佐久間橋東詰ニ至ル幅員十間ノ在來道路ヲ幅員二十二米ニ改修スルコト。

日本橋區內

一、駿河町三越呉服店別館南側ノ往來ヲ幅員六米ニ改メ存置スルコト。

二、新材木町地內ニ幅員六米ノ道路ヲ新設スルコト。

三、米澤町一丁目二丁目三丁目吉川町藥研堀町矢ノ倉町地內ノ道路計畫ヲ變更スルコト。

京橋區內

一、築地府立工藝學校西南側ニ幅員八米ノ道路ヲ新設スルコト。

芝區內

一、琴平町地內道路計畫ノ一部ヲ削除スルコト。

二、巴町天德寺前ヨリ愛宕山公園地南側ヲ經テ、慈惠病院北側補助道路ニ通スル幅員八米ノ道路ヲ新設スルコト。

三、愛宕町三丁目地內道路計畫ヲ變更スルコト。

赤坂區內

一、新町一丁目田町一丁目地內道路計畫ノ一部ヲ削除スルコト。

二、新町一丁目田町二丁目地內ニアル新設道路ノ幅員八米ヲ十一米ニ改ムルコト。

三、黑田邸前ヨリ米國大使館前ニ至ル幅員十一米ノ道路ヲ新設スルコト。

四、前號、道路ノ新設ニ伴ヒ、田町七丁目地內道路計畫ノ一部ヲ變更スルコト。

本郷區內

一、本郷三丁目ト春木町二丁目トノ境界ニ在ル道路ヲ幅員六米ニ改修シ、ソノ東側ニ平行スル原案ノ道路ヲ廢スルコト。

三、天神町二丁目地內道路計畫ノ一部ヲ變更スルコト。

下谷區內

一、仲御徒町四丁目地內鐵道用地附近ノ道路計畫ノ一部ヲ變更スルコト。

二、仲御徒町二丁目地內鐵道用地ニ沿フ道路計畫ノ一部ヲ變更スルコト。

三、練塀町地內鐵道用地東側ニ沿フ道路計畫ノ一部ヲ變更スルコト。

四、下谷區竹町地內道路計畫ノ一部ヲ變更スルコト。

五、豐住町五十七番地々先ヨリ計畫幹線第一號ニ接續スル幅員二十七米ノ道路ヲ新設スルコト。

六、善養寺町坂本町一丁目同二丁目同三丁目豐住町及入谷町地內道路計畫ノ一部ヲ削除スルコト。

七、前號道路計畫削除ニ伴ヒ豐住町入谷町地內道路計畫ノ一部ヲ變更スルコト。

八、池端仲町通ヲ幅員十一米ニ改修スルコト。

淺草區內

一、南元町地內專賣局敷地西側ニ沿フ幅員六米ノ道路ヲ削除スルコト。

二、淺草公園地內道路計畫ノ一部ヲ削除スルコト。

三、淺草公園六號常磐座前通ヲ北田原町電車通迄幅員十一米ニ變更スルコト。

四、淺草仲見世通リヲ現在ノ儘トシテ裏通リヲ幅員四米ニ改修シ、馬道町二丁目、同一丁目地內ノ道路ノ內、之ト丁字形ニ交ルモノヲ幅員四米ニ變更シ、同二丁目地內ノ分ハ全部幅員二十二米ノ幹線ニ接續セシメ、南北ニ通スル道路ヲ削除スルコト。

五、橋場町地內ノ道路計畫ノ一部ヲ削除スルコト。

六、前號道路計畫ノ削除ニ伴ヒ、橋場町地內道路計畫ノ一部ヲ變更スルコト。

七、田中町地內道路計畫ノ一部ヲ變更スルコト。

郡部

南千住町內

一、大字地方橋場地內ノ道路計畫ノ一部ヲ變更シ、幅員六米ヲ十一米ニ變更スルコト。

一、大字千束地內ノ道路計畫ノ一部ヲ變更スルコト。

第二篇　善後措置　第二章　各紀

日暮里、三河島內

一、三河島町二、六九〇番地ヨリ日暮里町一、九六三番地ニ至ル南北ニ通スル幅員六米ノ道路ヲ十一米ニ變更スルコト。

深川區內

一、西平井町地內道路計畫ノ一部ヲ變更スルコト。

希望條件

一、左記燒失區域外ノ土地ヲ整理施行區域內ヨリ除外セラレタシ。

一、麹町區三番町ノ一部。

二、同富士見町一丁目ノ一部。

三、同飯田町六丁目ノ一部、同飯田河岸ノ一部。

四、赤坂區新町一丁目ノ一部、田町一丁目。

五、芝區琴平町ノ一部。

六、本郷區湯島切通坂町ノ一部、天神町二丁目ノ一部、梅園町ノ一部。

七、下谷區豐住町ノ一部、入谷町ノ一部、坂本一丁目ノ一部、同二丁目ノ一部、同三丁目ノ一部、同四丁目ノ一部、善養寺町。

八、淺草區橋場町ノ一部。

二、左記區域內ノ土地ヲ整理施行地區ニ編入セラレタシ。

一、北豐島郡日暮里町大字金杉ノ一部、同三河島町大字三河島ノ一部。

二、南葛飾郡砂町ノ一部。

三、本所區新小梅町、小梅町、曳舟通ノ一部、須崎町ノ一部、小梅瓦町ノ一部。

一般ニ關スル希望條件

一、既ニ決定シタル六間以上ノ街路ニ付テハ、出來得ルタケ速ニ杭打ヲ實行セラレタシ。

二、日本橋川ヨリ神田川ニ通スル運河ノ開鑿モ不可能ナレハ、寧ロ此際衞生上ハ勿論、土地ヲ得ル爲ニ西堀留川ノ埋立ヲ爲サレタシ。

三、交番、便所、自働電話、變壓塔等ノ位置ヲ換地ノ各設計圖ニ指定サレタシ。

四、揚水設備、砂利置場、塵埃捨場等ニ付考慮サレタシ。
五、小公園ヲ燒失區域全部ノ小學校ニ併置スル樣土地區劃整理ヲ施行サレタシ。
六、宅地ノ減少著シキ地域ニ付テハ、地區ノ按配ニ考慮サレタシ。
七、小學校ノ敷地ハ、成ルヘク二十二米以上ノ幹線街路ニ沿フコトヲ避ケラレタシ。
八、神社佛閣ノ位置ハ、換地ニ際シ考慮ヲ加ヘラレタシ。

希望條件追加

麹町區內

一、麹町區山下橋ヨリ高架線西側ニ沿ヒ政友會本部側ニ至ル幅員八米ノ道路ヲ新設セラレタキコト。
一、麹町區內幸町一丁目政友會本部前通ヨリ京橋區ニ通スル新橋ヲ外濠ニ架設セラレタシ。

外ニ、

一、議定補助線第七十號路線ノ一部及第八十一號路線ノ一部ヲ變更セラレタシ。
一、議定線第一號路線ノ終點ヨリ南千住町大字通新町鐵道線路ドマテ幅員二十二米ニ改修セラレタシ。

を議場に問ひ、何れも異議なく決定す、更に田邊委員(治通)の發議に依り、一般に關する希望條件

一、行政區域、町名並ニ地番ノ整理ヲ此際斷行セラレタシ。

を可決し、更に監督權を强行し區劃整理の設計は國に於て之を爲すべしとの希望多數なるより、多數委員希望意見の在る所を當局に於て參酌する事と爲り、午後一時二十分散會す。

公園市場特別委員會

第一回　大正十三年三月十七日午前十時十五分內務大臣官邸に開議す、出席者委員長伯爵柳澤保惠、委員十名、幹事二名、復興局職員長官四部長其他。

委員長伯爵柳澤保惠開會を宣し、公園計畫議題と爲るや、向島公園及地震の際に於ける旋風の經驗より、公園周圍の建物を耐火構造と爲すこと等問題と爲り、市場問題に入り、公園市場の豫定地を實地踏査することゝなりて、午後零時二十五分散會す。

第二回　三月十九日午後一時四十七分復興局會議室に開會す、委員長及委員十一名、復興局職員長官四部長其外の出席あり、濱町公園の區域並に市場に關する陳情、其他公園周圍の耐火構造、公園內の建物制限、公園周圍を美觀地區と指定すること、森林帶を以て公園の周圍を圍み、中に水溜りを設くる事及市場の分場を千住方面池袋方面に設くる事等に關し、種々の議論あり、採決に及び、濱町公園、錦絲公園は原案に決し、隅田公園は修正說を可決し、希望條件等亦可決せらる。

一、公園內及周圍ノ防火設備ニ付テハ特別ニ注意ヲ拂ハンコトヲ望ム。
一、公園內ニハ其機能ヲ害スル建築物ノ建設ヲ許可セサル樣注意セラレンコトヲ望ム。

等亦可決せらる。

市場は築地本場、神田分場、江東分場を一括して議題とし、原案を可決し、議第八號市場計畫廢止の分亦全部異議なく原案に決し、午後四時十分散會す。

四、第四回總會　特別都市計畫委員會第四回總會は大正十三年三月二十八日を以て內務大臣官邸に開催せらる、議事日程は、

第一、議第十四號、大正十年五月十三日內閣認可東京都市計畫事業中東京府知事ノ執行スヘキ街路ノ新設及擴張ノ執行年限延長並年度割變更ノ件。

第二、議第十三號、東京都市計畫下水道復舊事業及其執行年割ノ件。

第三、議第十號、東京都市計畫土地區劃整理ニ依ル街路ノ新設改修ノ件。(特別委員長報告)

第四、議第十五號、大正十三年三月十一日內閣認可東京都市計畫並都市計畫事業及大正十三年三月十九日內閣認可東京都市計畫街路ノ部中、補助線ノ新設改修事業及其ノ執行年割中變更ノ件。

第五、議第十六號、東京都市計畫運河埋立並改修事業及其ノ執行年割ノ件。

第六、議第六號、東京都市計畫並都市計畫事業及其ノ執行年割ノ件
議第七號、東京都市計畫中央市場ノ件。
議第八號、東京市區改正設計市場ノ部中變更ノ件。

〔參考〕環狀線及放射線道路執行年度割變更調

年度	大正十一年三月二十八日內閣認可 工費	歩合(約)	大正十二年八月三十日內閣認可 工費	歩合(約)	今回提案議第一四號 工費	歩合(約)
大正十年度	二、九四三、一二三・〇〇〇円	七分	四七、三一二・一円	一厘	四七、三一二・一円	一厘
大正十一年度	二、五一七、五〇九・〇〇〇	六分	一、六八九、二〇一・九〇〇	三分九厘	一、七六九、六一五・九四〇	四分
大正十二年度	五、四三八、二二九・〇〇〇	一割二分	五、三八四、九七〇・〇〇〇	一割二分	三、七七五、八三四・〇〇〇	八分六厘
大正十三年度	五、五六四、四八四・〇〇〇	一割三分	五、五六四、四八四・〇〇〇	一割三分	二、四三三、七五六・〇〇〇	五分五厘
大正十四年度	五、四八一、〇七〇・〇〇〇	一割二分	六、八〇六、八六三・〇〇〇	一割六分	三、四〇七、〇二三・〇〇〇	七分八厘
大正十五年度	五、八六七、五七五・〇〇〇	一割三分	五、九九三、三六七・〇〇〇	一割六分	三、八六一、七二五・〇〇〇	八分八厘
大正十六年度	五、八二五、七八一・〇〇〇	一割三分	六、九五一、五七三・〇〇〇	一割六分	四、〇二七、六九四・〇〇〇	九分二厘
大正十七年度	五、八八三、八〇六・〇〇〇	一割四分	五、八八三、八〇六・〇〇〇	一割三分	四、二六三、〇六五・〇〇〇	九分七厘
大正十八年度	四、三六三、八七五・〇〇〇	一割	四、五六三、八七五・〇〇〇	一割	三、三八三、二六八・〇〇〇	七分七厘
大正十九年度					三、三六九、一九八・〇〇〇	七分七厘
大正二十年度					二、三九五、九二三・〇〇〇	七分七厘
大正二十一年度					三、四〇八、七三〇・〇〇〇	七分八厘
大正二十二年度					三、四一四、七八六・〇〇〇	七分八厘
大正二十三年度					三、三二七、五二一・九六〇	七分六厘
計	四三、八八五、四五二・〇〇〇	一個	四三、八八五、四五二・〇〇〇	一個	四三、八八五、四五二・〇〇〇	一個

(以上三件特別委員長報告)

にして、水野會長及委員四十名、幹事三名、復興局職員長官四部長其他出席し、午後二時三十分を以て開議す。

會長開會を宣し、幹事より三月十一日久保三友木內傳之助に代りて委員に任ぜられたることを報ず。

議第十四號を付議し、直木長官の說明あり、案は東京府執行の環狀線放射線道路を大正十年度より十八年度に至る年割額を五箇年延長せんとするものに係ると。

異議なく原案を可決し、議第十六號下水道復舊事業及其年度割に關する問題を付議す、即ち經費三十八萬二千五百圓を以て、震災に損破したる三河島汚水處分場、淺草卸筒場及道路下埋設の下水管渠を十二十三年度に執行せんとするものなり、亦異議なく原案を可決したり。

次に第十號、東京都市計畫土地區劃整理に依る街路の新設改修の件を付議し、特別委員長の報告あり。

報　告

本特別委員會ハ付託セラレタル議第十號東京都市計畫土地區劃整理ニ依ル街路ノ新設改修ノ件ニ付、三月十七日、三月十八日、三月十九日、三月二十日、三月二十二日、三月二十四日、三月二十六日ノ七回會議ヲ開キ、更ニ三月二十四日實地ノ踏査ヲ爲シ、愼重審議ノ結果、左ノ通リ修正シ、他ハ全部原案ヲ適當ト認メ、尙希望トシテ別記事項ヲ議決致候此段及報告候也。

大正十六年三月二十七日　特別委員長　男爵　中島久萬吉

特別都市計畫委員會長　水野錬太郎殿

修正事項

一、東京都市計畫土地區劃整理ニ依ル街路ノ新設改修ノ件、左ノ通修正ス。

幅員	延長 新設	延長 改修	延長 計
四	二八〇米	三二〇米	六〇〇米
六	一〇一、一九九	七五、九四三	一七七、一四二
八	七八、四〇五	一〇八、二八七	一八六、六九二
一一	一二、九九三	六七、六二六	八〇、六一九
一五	四三六	四、三一〇	四、七四六
一六	〇	一、〇八五	一、〇八五
二二	一〇七	二九〇	三九七
二七	二五	〇	二五

二、前項修正ノ內容、別紙ノ通。

土地區劃整理ノ計畫道路修正內容（圖面省略）

麹町區（別紙圖面ノ通）

一、三番町地內道路計畫ノ一部ヲ削除スルコト。

二、前號道路計畫ノ削除ニ伴ヒ三番町地內道路計畫ノ一部ヲ變更スルコト。

三、飯田町六丁目地內道路計畫ノ一部ヲ削除スルコト。

四、前號道路計畫ノ削除ニ伴ヒ飯田町六丁目地內道路計畫ノ一部ヲ變更スルコト。

五、大手町一丁目憲兵隊官舍北側ノ道路ハ在來ノ儘存置シ之ヲ改修セサルコト。

六、有樂町三丁目同一丁目地內道路計畫ノ一部ヲ變更スルコト。

神田區（別紙圖面ノ通）

一、萬世橋驛前須田町ヨリ昌平橋ニ至ル幅員十五間ノ在來道路ヲ幅員十五米ニ改修スルコト。

二、昌平橋ヨリ花房町ヲ經テ佐久間橋東詰ニ至ル幅員十間ノ在來道路ヲ幅員二十二米ニ改修スルコト。

日本橋區（別紙圖面ノ通）

一、駿河町三越呉服店別館南側ノ在來道路ヲ幅員六米ニ改メ存置スルコト。

二、新材木町地內ニ幅員六米ノ道路ヲ新設スルコト。

三、米澤町一丁目、同二丁目、同三丁目、吉川町、藥研堀町、矢ノ倉町地內ノ道路計畫ヲ變更スルコト。

京橋區（別紙圖面ノ通）

一、築地府立工藝學校西南側ニ幅員八米ノ道路ヲ新設スルコト。

芝　區（別紙圖面ノ通）

一、琴平町地內道路計畫ノ一部ヲ削除スルコト。

二、巴町天德寺前ヨリ愛宕山公園地南側ヲ經テ慈惠病院北側補助道路ニ通スル幅員八米ノ道路ヲ新設スルコト。

三、愛宕町三丁目地內道路計畫ヲ變更スルコト。

赤坂區（別紙圖面ノ通）

一、新町一丁目、田町一丁目、地內ノ道路計畫ノ一部ヲ削除スルコト。

二、新町一丁目、田町二丁目地內ニアル新設道路ノ幅員八米ヲ十一米ニ改ムルルコト。

三、黑田邸前ヨリ米國大使館前ニ至ル幅員十一米ノ道路ヲ新設スルコト。

四、前號道路ノ新設ニ伴ヒ田町七丁目地內道路計畫ノ一部ヲ變更スルコト。

本郷區（別紙圖面ノ通）

本郷三丁目ト春木町二丁目トノ境界ニ在ル道路ヲ幅員六米ニ改修シソノ東側ニ平行スル原案ノ道路ヲ廢スルコト。

二、切通坂町地內道路計畫ヲ削除スルコト。

三、天神町二丁目地內ノ道路計畫ノ一部ヲ變更スルコト。

下谷區（別紙圖面ノ通）

一、仲御徒町四丁目地內鐵道用地附近ノ道路計畫ノ一部ヲ變更スルコト。

二、仲御徒町二丁目地內鐵道用地ニ添フ道路計畫ノ一部ヲ變更スルコト。

三、練塀町地內鐵道用地東側ニ沿フ道路計畫ノ一部ヲ變更スルコト。

四、竹町地內道路計畫ノ一部ヲ變更スルコト。

五、豐住町五十七番地々先ヨリ計畫幹線第一號ニ接續スル幅員二十七米ノ道路ヲ新設スルコト。

六、善養寺町、坂本町一丁目、同二丁目、同三丁目、豐住町及入谷町地內道路計畫ノ一部ヲ削除スルコト。

七、前號道路計畫ノ削除ニ伴ヒ豐住町入谷町地內道路計畫ノ一部ヲ變更スルコト。

八、池ノ端仲町通リヲ幅員十一米ニ改修スルコト。

淺草區（別紙圖面ノ通）

一、南元町地內專賣局敷地西側ニ沿フ幅員六米ノ道路ヲ削除スルコト。

二、淺草公園地內道路計畫ノ一部ヲ削除スルコト。

三、淺草公園六區常磐座前通ヲ北田原町電車通迄幅員十一米ニ變更スルコト。

四、淺草仲見世前通リヲ現在ノ儘トシ裏通リヲ幅員四米ニ改修シ、馬道二丁目同一丁目地內ノ道路ノ內之ト丁字形ニ交ルモノヲ幅員四米ニ變更シ同二丁目地內ノ分ハ全部幅員二十二米突ノ幹線ニ接續セシメ南北ニ通スル道路ヲ削除スルコト。

五、橋場町地內ノ道路計畫ノ一部ヲ削除スルコト。

六、前號道路計畫ノ削除ニ伴ヒ橋場町地內道路計畫ノ一部ヲ變更スルコト。

七、田中町地內道路計畫ノ一部ヲ變更スルコト。

深川區（別紙圖面ノ通）

一、四平井町地內道路計畫ノ一部ヲ變更スルコト。

南千住町（別紙圖面ノ通）

一、大字地方橋場地內ノ道路計畫ノ一部ヲ變更シ幅員六米ヲ十一米ニ變更スルコト。

二、大字千束地內ノ道路計畫ノ一部ヲ變更スルコト。

日暮里町三河島町（別紙圖面ノ通）

一、三河島町二、六九〇番地先ヨリ日暮里町一、九六三番地先ニ至ル南北ニ通スル幅員六米ノ道路ヲ十一米ニ變更スルコト。

希望事項

一、左記燒失區域外ノ土地ヲ整理施行區域內ヨリ除外セラレタシ。（別紙圖面ノ通）

一、麹町區三番町ノ一部。

二、同富士見町一丁目ノ一部。

三、同　飯田町六丁目ノ一部、同飯田町河岸ノ一部。

四、赤坂區新町一丁目ノ一部、田町一丁目。

五、芝區琴平町ノ一部。

六、本郷區湯島切通坂町ノ一部、天神町二丁目ノ一部、梅園町ノ一部。

七、下谷區豐住町ノ一部、入谷町ノ一部、坂本一丁目ノ一部、同二丁目ノ一部

同三丁目ノ一部、同四丁目ノ一部、善養寺町。

八、淺草區橋場町ノ一部。

二、左記區域内ノ土地ヲ整理施行地區ニ編入セラレタシ。（別紙圖面ノ通）
一、北豐島郡日暮里町大字金杉ノ一部。
同　三河島町大字三河島ノ一部。
二、南葛飾郡砂町ノ一部。
三、本所區新小梅町、小梅町、曳舟通リノ一部、須崎町ノ一部、小梅瓦町ノ一部。
三、麹町區山下橋ヨリ高架線西側ニ沿ヒ内幸町一丁目二番地先ニ至ル幅員八米ノ道路ヲ新設セラレタシ。
四、麹町區内幸町一丁目二番地先ヨリ京橋區ニ通スル新橋ヲ外濠ニ架セラレタシ。
五、議定補助線第七〇號路線ノ一部及第八一號路線ノ一部ヲ變更セラレタシ。
六、議定幹線第一號路線ノ終點ヨリ南千住町大字通新町鐵道線路下迄幅員二十二米ニ改修セラレタシ。
七、既ニ決定シタル十一米以上ノ街路ニ就テハ出來得ル限リ速ニ杭打ヲ實行セラレタシ。
八、日本橋川ヲ神田川ニ通スル運河ノ開鑿カ不可能ナレハ寧ロ此際衛生上ハ勿論土地ヲ得ル爲ニ西堀留川ノ堙立ヲ爲サレタシ。
九、交番、便所、自働電話、變壓塔等ノ位置ヲ換地ノ設計圖ニ指定セラレタシ。
十、撒水設備、砂利置場、塵埃捨場等ニ付考慮セラレタシ。
十一、小公園ヲ燒失區域全部ノ小學校ニ併置スル樣土地區劃整理ヲ施行サレタシ。
十二、宅地ノ減少著シキ地區ニ付テハ地區ノ按配ニ考慮サレタシ。
十三、小學校敷地ハ成ル可ク二十二米以上ノ幹線街路ニ沿フコトヲ避ケラレタシ。
十四、神社佛閣ノ位置ハ換地ニ際シ考慮ヲ加ヘラレタシ。
十五、行政區域町名及地戸番ノ整理ヲ此際斷行セラレタシ。
十七番委員中島男爵土地區劃整理に依る街路新設改修に關する特別委員會の審議次第を報告し、日本橋川より神田川に通ずる運河に關して質問あり、直木長官より

龍閑川は之を埋立つるも、工費に對して幅狹きため其地を換地に使用するの價値多からざれば之を後廻しとし、濱町川は之を埋立つるに於ては換地の都合も好ければ、再考する所あるべし、西堀留川は埋立つる爲めこゝに議案を提出したり、東堀留川は之を改修し置き他日之を神田川に通ずる必要を生ずるに及び、別途の經費を以て別に提案するやも知れず。

と言明す、質問討議の後特別委員の報告通り可決す。

議第十六、運河埋立計畫に移り、直木長官の說明二三の質問討議あり、原案を可決す。

議第六號七號八號を、一括して特別委員長の報告を求む。

報　告

本特別委員會ハ、付託セラレタル議第六號東京都市計畫竝都市計畫事業及其執行年割ノ件、議第七號、東京都市計畫中央卸賣市場ノ件及議第八號、東京市區改正設計市場ノ部中變更ノ件ニ付、三月十七日及三月十九日ノ二回會議ヲ開キ、更ニ三月十八日實地踏査ヲ爲シ、愼重審議ノ結果、議第六號議案中、隅田公園ノ區域ニ本所區新小梅町二十九番地ヲ加フルコト、シテ、面積「三萬一千坪」トアルヲ「三萬二千坪」ト修正シ、他ハ全部原案ヲ適當ト認メ、尙公園ニ關スル希望トシテ左記ノ專項ヲ議決致候、此段及報告候也。

大正十三年三月二十五日　特別委員長　伯爵　柳澤　保惠
特別都市計畫委員會長　水野錬太郎殿

公園ニ關スル希望

一、公園及周圍ノ防火設備ニ付テハ、特ニ注意セラレムコトヲ望ム。
二、公園内ニハ、其ノ機能ヲ害スル建設物ノ建設ヲ許可セサル樣注意セラレムコトヲ望ム。

六十番委員柳澤伯より委員會の經過結果を報告す、議第六號を問題として討議し、委員長岡外史より將來市區改正共の他兵營移轉の場合成るべく多く廣き公園を設けられたきこと及び都心即ち中央郵便局所在地附近より三邦里以内、自動車程十四五分の地に國際水陸飛行場を設けたしとの希望條件決議を望み、討議後、濱町公園南側縮小の修正說は否決せられ、隅田公園區域擴張に關する特別委員の報告は可決し、錦絲公園は原案可決せらる、而して長岡委員の希望條件中、飛行場は建議案として之を提出する事とし、公園增置希望は、左の如く可決す。

將來特別都市計畫區域及ヒ其附近ニ適當ニ公園ニ適スル公園ヲ設置スル爲ニ、公共營造物移轉其他ノ場合ニ於テ、右ノ目的ヲ到達スルニ必要ナル方法ヲ講セラレンコトヲ望ム。

議第七號八號議案は、特別委員の再議に附する事となり、議第六號の事業年度割及議第十五號は、之を可決し、後者中神田分場關係の路線は之を削れり、散會午後五時五十五分。

公園市場特別委員會

第三回　大正十三年三月三十一日内務大臣官邸に之を開く、出席者は委員長及委員十名、幹事三名、復興局職員長官建築部長其他なり、午前十時三十分開議す。

委員長伯爵柳澤保惠開會を宣し、神田分場魚市場分場を議題とす、神田分場の換地案に關する攻究ありて、午後零時十分散會す。

第四回　四月二日午前十時三十五分内務省大臣室に開議す、是日の出席者は委員長及委員十名、幹事四名、職員側長官三部長其他なり。

委員長より前回に引續き開會する旨を宣し、魚市場分場並に神田分場に就きて攻究を續け、尙再研究を爲すため決定を延期する事となり散會す、時に午後零時十分なり。

第五回　村井邸内復興局に開會す、實に三月五日午前十時四十分なり、委員長九委員三幹事、職員側長官三部長共外出席す。

鐵道省側の意見陳述あり、結局決議に附帶して、委員長より、總會に

今回新ニ市場計畫ニ編入シタル神田區花岡町鐵道用地約二千八百坪ニ對シテハ、東京市ヨリ鐵道省ニ神田川佐久間河岸ニ於テ約千三百坪ノ交換代地ヲ提供シ、其他ノ交換殘地ニ對シテハ、有償拂下ニ應スルニ於テハ、鐵道省ハ五年後ニ市場用地ニ充當シテ支障ナキ旨、鐵道次官ヨリ言明アリ、之ニ對シ全委員ノ諒解アリタリ。

との報告を爲すに決し、左の修正決議を爲す。

神田分場ノ位置ヲ左ノ如ク修正ス。

神田區山本町、相生町、花田町及下谷區練塀町ノ内。

午後零時二十分散會。

五、第五回總會　大正十三年四月二十三日内務省會議室に第五回特別都市計畫委員會を開く、水野會長、委員三十八名、幹事三名、復興局職員長官兩部長其他の出席あり、午後二時三十二分を以て開議し、會長開會を宣す、柳澤委員長報告、

報　告

本特別委員會ハ大正十三年三月二十八日再ヒ調査を付託セラレタル議第七號東京都市計畫中央卸賣市場ノ件及議第八號東京市區改正設計市場ノ部中變更ノ件ニ付、三月三十一日、四月二日及五日ノ三回會議ヲ開キ、愼重調査ノ上、議第七號議案中、神田分場ニ關シ、左ノ通修正シ、其ノ他ハ原案ヲ適當ト認メ候、此段及報告候也。

大正十三年四月八日　特別委員長　伯爵　柳澤　保惠
特別都市計畫委員會會長　水野錬太郎殿

神田分場ノ位置ヲ左ノ如ク修正ス。

神田區山本町、相生町、花田町、花岡町及下谷區練塀町ノ内（圖面表示）

伯爵柳澤保惠委員會の經過結果を報告し、覺書を朗讀す、採決する

に及び異議なく委員長報告通決定す、次で左の希望條件決議あり。

秋葉原驛ニ於ケル現在及將來ノ青物着荷噸數、市場ノ建築樣式、設備等ヲ尙詳細ニ研究設計ノ上、市場用地面積ヲ縮小スルノ可能ナルコトヲ認メタル時ハ、適宜ノ手段ヲ執ラレンコトヲ望ム。

次に議第十五號大正十三年三月十一日內閣認可東京都市計畫事業及大正十三年三月十九日內閣認可東京都市計劃街路の部中、補助線の新線改修事業及其の執行年割中變更の件を議題とす、直木長官說明して言ふ、既に決議したる都市計畫事業中神田分場を縱貫する幅員十一米の道路を削除せんとするものなり、神田分場の位置定まりて、其必要なきに至りたればなりと、異議なく原案に決す。

議第十七號橫濱都市計畫街路新設改修事業及其年割の件議題となり異議なく原案に決し、午後三時十二分散會す。

六、第六回總會　大正十三年五月十七日に至り、內務大臣は、左の議案を特別都市計畫委員會に付議す。

一、議第十八號

大正十年五月十三日內閣認可東京都市計畫事業河川運河ノ部中變更ノ件

官計發第八二號　特別都市計畫委員會

大正十年五月十三日內閣認可東京都市計畫事業中左ノ通變更セムトス。

右都市計畫法第三條ノ規定ニ依リ、其ノ會ノ審議ニ付ス。

大正十三年五月十七日　內務大臣　水野錬太郎

大正十年五月十三日內閣認可東京都市計畫事業河川運河之部中左ノ河川運河ヲ創ル。

四等第二類第二　東淸留川

二、議第十九號

東京都市計畫小公園ノ新設及其ノ事業執行年割ノ件

官計發第八三號　特別都市計畫委員會

東京都市計畫小公園ノ新設及其ノ事業執行年割ノ件左ノ通決定セムトス。

右都市計畫法第三條ノ規定ニ依リ其ノ會ノ審議ニ付ス。

大正十三年五月十七日　內務大臣　水野錬太郎

第一　東京都市計畫小公園新設ノ件、左ノ通定ム。

番號	名稱	位置	面積(約)
一	上六公園	麴町區上六番町ノ內	九〇〇坪
二	西小川公園	神田區仲猿樂町ノ內	七五〇〃
三	錦華公園	同　區裏猿樂町ノ內	九〇〇〃
四	淡路公園	同　區淡路町二丁目	七五〇〃
五	神田公園	同　區多町二丁目及新銀町ノ內	八〇〇〃
六	練成公園	同　區五軒町ノ內	九〇〇〃
七	橋本公園	同　區橋本町一丁目、同二丁目、豐島町及江川町ノ內	九〇〇〃
八	芳林公園	同　區末廣町ノ內	九〇〇〃
九	常磐公園	日本橋區本石町一丁目ノ內	九〇〇〃
一〇	久松公園	同　區久松町ノ一	六〇〇〃
一一	十恩公園	同　區小傳馬上町ノ內	九〇〇〃
一二	箱崎公園	同　區箱崎町三丁目及箱崎町四丁目ノ內	八〇〇〃
一三	日本橋公園	同　區鯛殼町二丁目ノ內	九〇〇〃
一四	鐵砲洲公園	京橋區新湊町二丁目及新湊町三丁目ノ內	九〇〇〃
一五	京橋公園	同　區水挽町一丁目ノ內	七〇〇〃
一六	築地公園	同　區築地二丁目ノ內	九〇〇〃
一七	越前堀公園	同　區越前堀一丁目ノ內	九〇〇〃
一八	佃島公園	同　區月島西中通二丁目ノ內	九〇〇坪
一九	月島公園	同　區月島西中通八丁目及月島西中通九丁目ノ內	一、六〇〇〃
二〇	櫻田公園	芝　區愛宕下町一丁目ノ內	九〇〇〃
二一	南櫻公園	同　區南佐久間町二丁目ノ內	九〇〇〃
二二	新花公園	本郷區湯島新花町ノ內	九〇〇〃
二三	元町公園	同　區元町一丁目ノ內	九〇〇〃
二四	東盛公園	下谷區三ノ輪町ノ內	一、〇〇〇〃
二五	山伏公園	同　區山伏町ノ內	七〇〇〃
二六	入谷公園	同　區入谷町及金杉上町ノ內	一、〇〇〇〃
二七	西町公園	同　區南稻荷町及西町ノ內	一、〇〇〇〃
二八	御徒町公園	同　區御徒町二丁目ノ內	一、〇〇〇〃
二九	石濱公園	淺草區玉姬町ノ內	九〇〇〃
三〇	千束公園	同　區千束町二丁目ノ內	八〇〇〃
三一	小島公園	同　區小島町ノ內	九〇〇〃
三二	富士公園	同　區象潟町ノ內	八〇〇〃
三三	田原公園	同　區田原町二丁目ノ內	一、〇〇〇〃
三四	金龍公園	同　區新谷町ノ內	八〇〇〃
三五	松葉公園	同　區松葉町ノ內	九〇〇〃
三六	精華公園	同　區北富坂町及榮久町ノ內	九〇〇〃
三七	柳北公園	同　區向柳原町二丁目ノ內	九〇〇〃
三八	玉姬公園	同　區玉姬町及淺草町ノ內	一、〇〇〇〃
三九	中和公園	本所區林町三丁目ノ內	九〇〇〃
四〇	柳島公園	同　區柳島元町ノ內	一、〇〇〇〃
四一	橫川公園	同　區中ノ郷橫川町ノ內	九〇〇〃
四二	江東公園	同　區相生町三丁目ノ內	九〇〇〃
四三	茅場公園	同　區茅場町三丁目及柳原町二丁目ノ內	九〇〇〃
四四	外手公園	同　區若宮町ノ內	九〇〇〃
四五	菊川公園	同　區菊川町一丁目ノ內	九〇〇〃
四六	永倉公園	本所區永倉町ノ內	九〇〇坪
四七	元加賀公園	深川區元加賀町ノ內	九〇〇〃
四八	八名川公園	同　區西元町ノ內	九〇〇〃
四九	彝下公園	同　區東彝下町ノ內	九〇〇〃
五〇	臨海公園	同　區門前仲町黑江町及給町二丁目ノ內	八〇〇〃
五一	東陽公園	同　區東平井町ノ內	九〇〇〃
五二	扇橋公園	同　區石島町ノ內	九〇〇〃

第二、前項ノ計畫ハ都市計畫事業トシテ大正十三年度ヨリ大正十七年度迄五箇年度ニ繼續執行スルモノトシ、其年割左ノ通定ム。

小公園新設事業執行年割

大正十三年度	約二割八分五厘
大正十四年度	約一割九分
大正十五年度	約一割九分
大正十六年度	約一割九分
大正十七年度	約一割四分五厘

第三、前項ノ事業ノ一部ハ其ノ年割ノ範圍內ニ於テ土地區劃整理事業トシテ之ヲ執行スルコトヲ得ルモノトス。

三、議第二十號

東京都市計畫土地區劃整理施行區域中及土地區劃ニ依ル街路ノ新設改修中變更竝其ノ施行ニ關スル件

官計發第八四號　特別都市計畫委員會

東京都市計畫土地區劃整理施行區域中及土地區劃整理ニ依ル街路ノ新設改修中變更竝其ノ執行ニ關スル件、左ノ通決定セムトス。

右都市計畫法第三條ノ規定ニ依リ其ノ會ノ審議ニ付ス。

大正十三年五月十七日　內務大臣　水野錬太郎

第一、大正十三年三月二十日內務省告示第百三十一號東京都市計畫土地區劃整理施行區域中左ノ通定ム。

區域	面積(約)
本所區（向島請地町、向島押上町ノ全部及向島須崎町、小梅町、新小梅町向島中ノ郷町小梅瓦町ノ一部ヲ除ク）	一、五一三、一七〇坪
日暮里町　大字金杉ノ一部	二〇三、九八五坪
三河島町　大字三河島、大字千住南、大字三ノ輪ノ一部	
南千住町（一、大字千東ノ全部　二、大字三ノ輪、大字千住南、大字地方橋場（大字下谷通新）ノ一部）	
砂町（一、大字永代ノ全部　二、大字八右衛門大字本砂町ノ一部）	一二〇、三一〇坪

（圖面表示）

第二　大正十三年四月一日内務省告示第百七十一號東京都市計畫土地區域整理ニ依ル街路ノ新設改修中、左ノ通改ム。

幅員	延長(約) 新設	延長(約) 改修	延長(約) 計
一〇米	一〇四、六〇四米	七九、七九一米	一八四、三九五米
八〇米	七八、二〇一	一〇八、八五五	一八七、〇五六
一一米	一三、二三七	六七、九五四	八一、一九一

（圖面表示）

第三　前記ノ計畫ハ之ヲ都市計畫事業トシテ既定年割ノ範圍内ニ於テ執行スルモノトス。

四、議第二十一號

東京市區改正設計火葬場及共葬墓地ノ部中變更ノ件

官計發第八五號　　特別都市計畫委員會

東京市區改正設計火葬場及共葬墓地ノ部中變更ノ件

左ノ通變更セムトス。

右都市計畫法第三條ノ規定ニ依リ、其ノ會ノ審議ニ付ス。

大正十三年五月十七日　　内務大臣　水野錬太郎

東京市區改正設計火葬場及共葬墓地ノ部中左ノ墓地ヲ削ル。

第二、澁谷墓地。

總會は五月十三日午後二時三十五分を以て内務省に開く、會長水野錬太郎、委員男爵斯波忠三郎外三十二名、幹事四名、復興局職員長官五部長其他出席し、先づ議第十八號を議題とす、即ち東堀留川改修事業なり、異議なく原案に決し、議第十九號小公園新設問題を審議す、直木長官の説明後二三質問あり、特別委員に付託す、次に議第二〇號區劃整理に依る街路の新設改修中變更に關する問題を議題とし、長官説明後、亦公園關係の特別委員に付託す、其より議第二一號東京市區改正計畫設計火葬場及共葬墓地中、澁谷墓地削除問題を付議し、異議なく原案を可決したり。

議第十九號二十號の特別委員は、左の人々を指名す。

松浦鎮次郎、澤柳政太郎、子爵八條隆正、宇佐美勝夫、永田秀次郎、鳩山一郎、花井源兵衛、福田又一、小島七郎、直木倫太郎。

散會は午後三時なりき。

小公園特別委員會　大正十三年五月二十二日内務省に開催す、委員長澤柳政太郎及委員六名、幹事四名、復興局職員長官五部長其他出席し、午後三時五分を以て開議す。

澤柳委員長開會を宣し、直木長官、笠原建築部長、稲葉整地部長及委員福田、八條、佐野（利器）花井（源兵衛）等人々の問に問答あり、議第十九號議第二十號共に異議なく原案を可決し、午後三時三十七分散會す。

七、第七回總會　大正十三年六月十一日内閣更迭し、特別都市計畫委員會に對し新に左の諸案提出せらる。

五、議第二十二號

大正十二年一月内務省令第四號東京都市計畫土地區劃整理事業ニ伴フ道路新設擴築受益者負擔ニ關スル件中改正ノ件

官計發第八七號　　特別都市計畫委員會

大正十二年一月内務省令第四號東京都市計畫土地區劃整理事業ニ伴フ道路新設擴築受益者負擔ニ關スル件中、左ノ通變更セムトス。

右都市計畫法施行令第十條ノ規定ニ依リ其ノ會ノ審議ニ付ス

大正十三年六月二十日　　内務大臣　若槻禮次郎

大正十二年一月内務省令第四號東京都市計畫土地區劃整理事業ニ伴フ道路新設擴築受益者負擔ニ關スル件第七條中、「工事着手」ヲ「負擔金告知」ニ改ム。

六、議第二十三號

大正十三年三月十一日内閣認可横濱都市計畫及其ノ執行年割中變更ノ件

官計發第一一四號　　特別都市計畫委員會

大正十三年三月十一日内閣認可横濱都市計畫並都市計畫事業及其ノ執行年割中、左ノ通變更ス。

第七號路線、第八號路線、第一三號路線、第一五號路線及第一八號路線ヲ左ノ通改ム。

番號	路線（起終點及經過地）	延長(約)	幅員(約)
七	平岡橋南詰ヨリ伊勢町日出町長者橋ヲ經テ千秋橋南詰ニ至ル	二、七八五米	一八乃至二二米
内譯	平岡橋南詰ヨリ伊勢町迄	一、三九三	二二
	伊勢町ヨリ日出町迄	六三六三	一八
	日出町ヨリ千秋橋南詰迄	七五六	二二

番號	路線（起終點及經過地）	延長(約)	幅員(約)
八	井土ケ谷町川田ヨリ大岡川村永田村水田ヲ經テ保土ケ谷町岩間ニ至ル	一、四二一	一八乃至二二
内譯	井土ケ谷町川田ヨリ大岡川村	八〇三	二二
	永田迄		
	大岡川村永田ヨリ保土ケ谷町岩間迄	六一八	一八
一三	日出町一丁目ヨリ井土ケ谷町川田ニ至ル	二、七八九	一六
一五	表高島町ヨリ西戸部町扇田ニ至ル	一、二六〇	一五
一八	井土ケ谷町川田ヨリ大岡町大橋詰ニ至ル	六〇六	二二

左ノ路線ヲ加フ。

番號	路線（起終點及經過地）	延長(約)	幅員(約)
二二	藤田町廻坪ヨリ南太田町清水耕地ニ至ル	四六四米	一六米

七、議二十四號

横濱都市計畫土地區劃整理施行區域並土地區劃整理事業及其ノ執行年割ノ件

官計發第一一五號　　特別都市計畫委員會

横濱都市計畫土地區劃整理施行區域並土地區劃整理事業及其ノ執行年割ノ通決定セムトス。

右都市計畫法第三條ノ規定ニ依リ其ノ會ノ審議ニ付ス。

大正十三年六月二十三日　　内務大臣　若槻禮次郎

第一、横濱都市計畫土地區畫整理施行區域左ノ通定ム。

區域	面積(約)
一、横濱市	

一、西戸部町、字石崎、同字扇田、同字宮ノ前、同字西ノ前戸部町五丁目、同六丁目、花咲町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目、同六丁目、同八丁目、同九丁目、同十丁目、同十一丁目、福島町、野毛町、一丁目、同二丁目、宮川町一丁目、同二丁目、同三丁目、黄金町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、三春町一丁目、同二

丁目、同三丁目、勿音町二丁目、同三丁目、同四丁目、英町二丁目、同三丁目、霞町二丁目、同三丁目、南太田町字前里耕地、尾張屋町、西平沼町、平沼町二丁目、同三丁目、同三四丁目、同四丁目、仲町二丁目、材木町二丁目、住吉町五丁目、常磐町五丁目、尾上町五丁目、同六丁目、港町五丁目、同六丁目、蓬萊町四丁目、長者町五丁目、同六丁目、同七丁目、同八丁目、同九丁目、雲井町一丁目、同二丁目、足曳町一丁目、同二丁目、若葉町一丁目、同二丁目、同三丁目、末吉町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目、同六丁目、駿河町一丁目、同二丁目、同三丁目、長島町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目、同六丁目、吉岡町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目、同六丁目、蒔田町字一ノ坪、同字宿、同字門田、同字宮ノ脇、同字三反田、同字井領田、同字耕地、同字矢畑、同字一本松、同字六反目、同字廻リ坪、同字町田、同字榎木坪、同字居尻、同字五反田、同字下ノ前、同字蒔田橋、大岡町字釜田、同字大橋詰、同字樋ノ口、同字北ノ前、同字鯖袋ノ全部。

二、四戸部町字反目、同字御所、同字池ノ坂、同字鹽田、同字横枕、同字西ノ原、戸部町二丁目、同三丁目、同四丁目、同七丁目、花咲町七丁目、同十二町目、伊勢町三丁目、同四丁目、同五丁目、野毛町三丁目、同四丁目、日出町一丁目、同二丁目、同三丁目、勿音町一丁目、英町一丁目、南太田町字西中耕地、久保町字鹽田、平沼町一丁目、青木町字内海、仲町一丁目、材木町一丁目、桐生町五丁目、住吉町六丁目、福富町一丁目、同二丁目、同三丁目、松ケ枝町、若竹町、梅ケ枝町、南吉田町字南四ッ目、同字南五ッ目、同字北五ッ目、同字西川外、蒔田町字四、同字山ノ根、同字堂面、同字東谷、大岡町字石島、同字宮ノ前、同字中島、同字堀ノ上、同字前田、北方町字竹ノ花、同字上野、同字四ノ谷、本牧町字上臺、千代崎町一丁目、同二丁目、上野町、根岸町字泰田、同字立野竹ノ丸鶯山、同字立野ノ一部

（圖面表示）

第二、横濱都市計畫土地區劃整理ニ依ル街路ノ新設改修ノ件、左ノ通定ム。

幅員	延長（約）
新設	
四米	三、三九三米
六	二八、二〇六
八	一一、七二六
一一	三、一一八
一五	四九五
改修	
二、三三七米	五、七三〇米
九、九三四	三八、一四〇
一〇、一九八	二一、九二四
一四、八五七	一七、九七五
二、二八一	二、七七六

（圖面省略）

第三　横濱都市計畫土地區劃整理ハ之ヲ都市計畫事業トシテ大正十三年度ヨリ大正十六年度迄四箇年度ニ繼續執行スルモノトシ、其ノ年割左ノ通定ム。

土地區劃整理事業執行年割

大正十三年度	約三割八分八厘
大正十四年度	約三割七分五厘
大正十五年度	約一割六分四厘
大正十六年度	約七分三厘

委員異動（大正十三年六月末日現在）

會長　内務大臣　若槻禮次郎

委員

一〇、法制局長官塚本清治　一一、内務次官湯淺倉平

一二、農商務次官三土忠造　一五、

一八、遞信次官桑山鐵男　二〇、神奈川縣知事清野長太郎

二五、　二九、

四四、海軍次官安保清種　四八、遞信省通信局長畠山敏行

五二、鐵道次官早速整爾　五三、大藏次官小野義一

五四、内閣書記官長江木翼　五六、

第七總會ハ大正十三年六月二十七日内務省に開き、

第一、議第十九條、東京都市計畫土地區劃整理施行區域中及土地區劃整理ニ依ル街路ノ新設改修中變更並其ノ執行ニ關スル件。

（以上二件、特別委員員長報告）

第二、議第二十二號、大正十二年一月内務省令第四號東京都市計畫土地區劃整理事業ニ伴フ道路新設擴築受益者負擔ニ關スル件中改正ノ件。

第三、議第二十三號、大正十三年三月十一日内閣認可横濱都市計畫並都市計畫事業及其ノ執行年割中變更ノ件。

第四、議第二十四號、横濱都市計畫土地區劃整理施行區域並土地區劃整理事業及其ノ執行年割ノ件。

を上程す、出席者會長若槻禮次郎委員五十一名、幹事四名、復興局職員長官四部長其他にして、午後四時二十分開議し、若槻會長の挨拶あり、今度の臨時議會に責任支出を爲したる二百三十六萬圓の承認を求め、新に區劃整理及補助道路完成のため追加豫算一億二百六十四萬圓を提出し、都市計畫事業中殘る所の施行地域指定、防火地區設定等を爲し、同時に横濱市の區劃整理及之に伴ふ路線、運河公園を遂行し、燒失區域外の都市計畫亦案を定めて、研究を請ふ所あるべしと述ぶ。

日程に入るに先ち、二三の發言あり、是日の日程に入り、議第一九號議第二〇號に關する特別委員の報告あり。

報　告

本特別委員會ハ、大正十三年五月二十二日付託セラレタル議第十九號及議第二十號議案ニ付、同日會議ヲ開キ、愼重審議ノ結果、原案ヲ適當ト認メ候此段及報告候也。

大正十三年五月二十三日　特別委員長　澤柳政太郎

特別都市計畫委員會々長　水野錬太郎殿

委員（澤柳政太郎）二案の特別委員會に於ける經過結果を報告し、異議なく委員長報告通り可決す。

次に議第二二號を議題とし、直木長官說明す。

大正十年三月四谷區大火あり、同年四月淺草區にも大火あり、當時土地區劃整理事業を實施し、新設擴築成れり、受益者負擔規定内務省令第四號を以て發布せられ、其第七條に「負擔會ハ、事業着手ノ日ノ現在ニ依リ、受益者ヨリ納付セシム、但シ工事着手ノ日ヨリ二年内ニ分納セシムルコトヲ得」と有り、今は此の「工事着手」を「負擔金告知」に改めんとするなり、大正十一年工事に着手し、分納二ケ年期限本年四月又は九月を以て滿了すべきも、震災のため、負擔區を細分して市長より告示するに至らず、從て分納せしむるを得ず、故に此際「着手ノ日」を「告示ノ日ヨリ」に改め、實際に適合せしむるを要す。

と、異議なく原案を可決し、議第二三號を議題とし、長官說明す、亦異議なく原案に決す。

議第二七號、横濱都市計畫土地區劃整理施行區域並土地區劃整理事業及其の執行年割の件議題となり、長官の說明に次ぎ、燒失區域外に於ける區劃整理及外人居住地帶の永代借地々域の區劃整理に關する希望あり異議なく原案に決す。

共より長岡委員より左の建議案を提出す。

建　議　案

提出者　委員　長岡外史
賛成者　同　八條隆正
同　同　渡邊鐵藏

東京市附近ニ國際水陸飛行場設置相成度件、特別都市計畫委員會ノ規定ニ依リ別紙及建議候也。

大正十三年六月二十七日　特別都市計畫委員會々長名

總理、陸軍、海軍、文部、遞信各大臣宛

東京市附近ニ國際水陸飛行場設置相成度件

都心即チ中央郵便局所在地附近ヨリ三方里以内自動車程十四五分ノ地ニ、國際水陸飛行場ヲ設置セラレンコトヲ要ス。

其ノ廣サハ、十五六萬坪トス、但シ海岸ニ埋立ノ見込アル場所ナルニ於テハ、將來ノ擴張ヲ豫期シテ若干坪ヲ減スルモ差支ナシ。

理　由

歐米各國ニ於テハ、首都ハ勿論、稍〻繁華ノ市町ニ於テハ、都心附近三里以内ノ地ニ廣大ナル飛行場ヲ設ケサルモノナシ、夙ニ萬國航空條約ニ加入シタル帝國ニ於テ、帝都ニ一ノ飛行場無シト云フハ一大缺點ナリ、又之無キカ爲ニ、民間飛行界ノ進歩發達ヲ阻止ス。

參　考

佛國ニ於テハ、三十一ヶ所ノ飛行場中、都心ヨリ三里以内ノ地ニ在ル飛行場二十一ヶ所アリ、其ノ平均坪數三十三萬坪ナリ。

米國ニ於テハ民官飛行場ノ數二千三百三十三ヶ所以上アリテ、其ノ過半數ハ、都ヨリ自動車程十分以内ニ到着シ得ラルヘシト云フ。

六十五番委員建議の旨趣を説明し、直に之を議題とし、異議なく原案を可決す、午後五時五十分散會。

八、第八回總會は、大正十三年十二月十日午後一時三十分内務省會議室に開會す、出席者委員男爵斯波忠三郎外三十九名、幹事三名、復興局職員建築土木兩部長其他なり。

第一、議第二十五號、大正十二年八月十日都市計畫東京地方委員會議々決東京都市計畫地域及地區變更指定の件。

第二、議第二十六號、大正十三年三月十一日内閣認可東京都市計畫事業及其執行年割中變更ノ件(幹線第二十八號路線外五線關係)

第三、議第二十七號、東京都市計畫東京市下水道變更ノ件。

第四、議第二十八號、東京都市計畫東京市下水道事業及其ノ執行年割決定ノ件。

第五、議第二十九號、東京都市計畫事業東京市下水道設計第二區工事執行年限延長及年割變更ノ件。

第六、議第三十號、横濱都市計畫公園ノ新設及其ノ事業執行年割決定ノ件。

第七、議第三十一號、横濱都市計畫運河の改修及其ノ事業執行年割決定ノ件。

を是日の議事日程とす、委員湯淺倉平會長代理たり、吉田幹事より第七回總會後の委員異動を報告す。

退任辭任　三土忠造(退)、花井源兵衛(同)、伊澤多喜男(辭)、加藤銀藏(退)、秦豐助(辭)、永田秀次郎(退)、早速整爾(退)、小野義一(同)、長尾半平(同)、上野清助(同)、伯爵柳澤保惠(同)、大石保(死)。

新任　東京府會議員朝倉虎治郎、貴族院議員菅原通敬、神奈川縣會議員河野治平、衆議院議員矢野鉉吉、東京市長中村是公、鐵道次官青木周三、大藏次官田昌、神奈川縣會議員池上幸操。

議事に入るに先ち、二三の質問あり、直木長官之に答へ、日程第一、第二十五號議案を付議す。

議第二五號

大正十二年八月十日都市計畫東京地方委員會議決東京市計畫地域及地區變更指定ノ件

官計發第一五二號　特別都市計畫委員會

大正十二年八月十日都市計畫委員會議決東京都市計畫地域及地區、左ノ通變更ノ上指定セムトス。

右都市計畫法第三條ノ規定ニ依リ其ノ會ノ審議ニ付ス。

大正十三年九月十五日　内務大臣　若槻禮次郎

記　（太字ハ朱書、ハ抹殺）

第一　商業地域ノ部

一　東京市内

イ　左記區域内ニ在ル建築物ノ敷地

麹町區内

一　大手町一丁目、同二丁目、元衞町、竹平町、道三町、錢瓶町、永樂町一丁目、同二丁目、八重洲町一丁目、同二丁目、有樂町一丁目、同二丁目、同三丁目、西日比谷町、内山下町一丁目、同三丁目、外櫻田町、霞ヶ關二丁目、内幸町一丁目、同二丁目、飯田町四丁目、飯田河岸ノ全部。

二　霞ヶ關二丁目、永田町一丁目、飯田町一丁目、同二丁目、同五丁目、富士見町一丁目、三番町ノ一部。(圖面表示)

神田區内

一　鍛冶町、鍋町、下白壁町、黒門町、小柳町、紺屋町、材木町、富山町、松枝町、大和町、平永地、柳町、元柳原町、富松町、久右衞門町、元佐久間町、佐久間町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、和泉町、花岡町、平河町、花房町、松永町、相生町、花田町、伸町一丁目、同二丁目、山本町、旅籠町一丁目、同二丁目、同三丁目、末廣町、榮町、龜住町、松富町、五軒町、八名川町、元久右衞門町一丁目、同二丁目、餌鳥町、通新石町、須田町、松田町、東福田町、西福田町、南乘物町、北乘物町、美倉町、東今川町、元岩井町、東紺屋町、東松下町、岩本町、東龍閣町、豐島町、江川町、金澤町、橋本町一丁目、同二丁目、同三丁目、田代町、臺所町、松住町、一ッ橋通町、南神保町、今川小路一丁目、同二丁目、同三丁目、北神保町、表神保町、西小川町一丁目、同二丁目、同三丁目、中猿樂町、表猿樂町、美土代町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、三河町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、連雀町、錦町一丁目、同二丁目、同三丁目、雉子町、鎌倉町、松下町、皆川町、關口町、蠟燭町、永富町、旭町、新銀町、佐柄木町、千代田町、新石町、堅大工町、多町一丁目、同二丁目、西今川町、塗師町、上白壁町、岩井河岸、鎌倉河岸、鮫地河岸、柳原河岸、佐久間河岸、三崎河岸、昌平河岸ノ全部。

二　湯島神保町、表猿樂町、佐柄木町、宮本町、同朋町ノ一部。(圖面表示)

日本橋區ノ全部

京橋區内

一　南槇町、北槇町、桶町、南大工町、南鍛冶町、五郎兵衞町、疊町、南紺屋町、西紺屋町、北紺屋町、中橋廣小路町、南傳馬町一丁目、同二丁目、同三丁目、中橋和泉町、大鋸町、南鞘町、松川町、鈴木町、常磐町、具足町、因幡町、柳町、本材木町、同三丁目、元數寄屋町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、山下町、山城町、南佐柄木町、加賀町、八官町、丸屋町、弓町、新肴町、彌左衞門町、鈴屋町、南鍋町一丁目、同二丁目、瀧山町、惣十郎町、目吉町、金六町、南水谷町、銀座一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、尾張町一丁目、同二丁目、尾張町新地、竹川町、出雲町、南金六町、三十間堀一丁目、同二丁目、同三丁目、木挽町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目、同六丁目、同七丁目、同八丁目、同九丁目、同十丁目、柔女町、南八丁堀一丁目、同二丁目、同三丁目、新富町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目、同六丁目、同七丁目、入船町一丁目、同二丁目、同三丁目、

同四丁目、同五丁目、同六丁目、新榮町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目、新湊町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目、本湊町、船松町、築地一丁目、同二丁目、**同三丁目、南小田原町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、南飯田町、南本郷町、上柳原町**、松屋町一丁目、同二丁目、同三丁目、高代町、岡崎町一丁目、同二丁目、元島町、水谷町、八丁堀仲町、永島町、長澤町、幸町、日比谷町、本八丁堀一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目、富島町、南新堀町一丁目、同二丁目、濱町、鹽町、四日市町、銀町一丁目、同二丁目、靈岸島町、大川端町、長崎町一丁目、同二丁目、越前堀一丁目、同二丁目、川口町、東湊町一丁目、同二丁目、新船松町、稲荷河岸、西豐國河岸、本材河岸、龜島河岸、佃河岸、竹河岸、大根河岸、越前堀河岸、蛸河岸、北新河岸、北櫻河岸、南新堀河岸、南櫻河岸、湊河岸、新富河岸、將監河岸、白魚河岸、日比谷河岸、東豐玉河岸、船松河岸、**上柳原町地先、小田原河岸、南飯田河岸**ノ全部。

二　築地三丁目、**築地四丁目**ノ一部。（圖面表示）

芝　區　內

一　芝口一丁目、同二丁目、同三丁目、源助町、露月町、柴井町、汐留町一丁目、同二丁目、今入町、新幸町、二葉町、南佐久間町一丁目、同二丁目、新櫻田町、櫻田本郷町、同太左衞門町、同善右衞門町、同佛前町、同伏見町、同鍛冶町、同久保町、同和泉町、兼房町、烏森町、日蔭町一丁目、同二丁目、田村町、宇田川町、宇田川横町、神明町、愛宕町三丁目、愛宕下町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、濱松町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、新錢座町、新網町、三島町、宮本町、七軒町、中門前一丁目、同二丁目、同三丁目、片門前一丁目、同二丁目、土手跡町、金杉一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、金杉川口町、金杉濱町、新堀町、西應寺町、田町三丁目、横新町、松本町、本芝一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、本芝材木町、本芝下町、本芝横町、三田四國町、三田同朋町、南金杉河岸、北金杉河岸、芝口河岸、新堀河岸ノ全部。

二　**濱崎町、芝公園地**、愛宕町二丁目、田町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目、同六丁目、同七丁目、同八丁目、同九丁目、車町、通新町、湊町、南濱町ノ一部（圖面表示）

麻布區內

一　網代町ノ全部

二　坂下町、山元町、新廣尾町一丁目ノ一部。（圖面表示）

赤坂區內

一　田町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目、同六丁目、表町一丁目、傳馬町一丁目、新町一丁目、同二丁目ノ全部。

二　傳馬町三丁目、新町三丁目、田町七丁目、溜池町ノ一部。（圖面表示）

四谷區內

一　新堀江町ノ全部。

二　傳馬町一丁目、同二丁目、同三丁目、箪笥町、荒木町、永住町、麹町十一丁目、同十二丁目、同十三丁目、新宿二丁目、同三丁目、旭町ノ一部。（圖面表示）

牛込區內

一　神樂町三丁目、上宮比町ノ全部。

二　神樂町一丁目、同二丁目、肴町、若宮町ノ一部。（圖面表示）

小石川區內

一　市兵衞河岸ノ全部。

二　揚ケ谷町ノ一部（圖面表示）

本郷區內

一　春木町一丁目、同二丁目、湯島一丁目、湯島天神町二丁目、三丁目、湯島梅園町、湯島同朋町ノ全部。

二　本郷一丁目、同二丁目、同三丁目、金助町、青木町三丁目、湯島六丁目、湯島三組町、湯島天神町一丁目、駒込東片町、駒込浅嘉町、駒込神明町ノ一部。（圖面表示）

下谷區內

一　二長町、竹町、御徒町一丁目、同二丁目、同三丁目、伸御徒町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、長者町一丁目、同二丁目、同朋町、數寄屋町、南稲荷町、坂町、下谷町一丁目、同二丁目、錬塀町、上野町一丁目、同二丁目、上野元黑門町、東黑門町、西黑門町、上野南大門町、上野北大門町、上野廣小路町、上野三橋町、上野山下町、五條町、龍泉寺町、**西町、車坂町、上車坂町、下車坂町、高年町二丁目、暮養寺町**ノ全部。

二　車坂町、**南稲荷町、北稲荷町、豐住町、坂本町一丁目**、金杉上町、金杉下町、三ノ輪町、入谷町、池ノ端仲町、中根岸町、西町、**誇泉寺町**ノ一部。（圖面表示）

淺草區內

一　茅町一丁目、同二丁目、上平右衞門町、下平右衞門町、左衞門町、榊町、森田町、新片町、旅籠町一丁目、同二丁目、新旅籠町、須賀町、新須賀町、瓦町、福井町一丁目、同二丁目、同三丁目、新福井町、猿屋町、新猿屋町、御藏前片町、南元町、北元町、南富坂町、新森田町、北富坂町、福富町、新福富町、老松町、元鳥越町、西鳥越町、東三筋町、西三筋町、小島町、八幡町、三好町、黑船町、諏訪町、壽町、三間町、駒形町、材木町、並木町、茶屋町、東仲町、田原町一丁目、同二丁目、同三丁目、北田原町、新畑町、北仲町、馬道町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目、同六丁目、同七丁目、同八丁目、花川戸町、山ノ宿町、金龍山瓦町、聖天町、聖天横町、猿若町一丁目、同二丁目、同三丁目、山川町、田町一丁目、二丁目、東町、象潟町、光月町、千束町二丁目、同三丁目、田中町、淺草公園地、向柳原町一丁目、同二丁目、新吉原揚屋町、新吉原角町、新吉原京町一丁目、同二丁目、駒形海岸、淺草海岸、鳥越海岸、代地海岸、小島海岸、左衞門海岸ノ全部。

二　新谷町、北三筋町、榮久町、**永住町、神吉町**、元吉町、淺草森下町、千束町一丁目、地方今戸町ノ一部。（圖面表示）

本所區內

一　向島請地町、同須崎町ノ一部。（圖面表示）

深川區內

一　洲崎弁天町一丁目、同二丁目ノ全部。

二　富岡門前町、門前海岸ノ一部。（圖面表示）

ロ　左記道路ノ兩側ニ於ケル建築線ニ接スル建築物ノ敷地。

一　麹町區麹町一丁目一番地ノ二地先ヨリ四谷見附橋ヲ經テ四谷區新宿三丁目四十八番地ノ一地先ヲ左折シ旭町三十六番地地先市郡境界ニ至ルノ路線。

二　麹町區隼町七番地地先ヨリ麹町二丁目九番地ノ一地先ニ至ルノ路線。

三　麹町區飯田町二丁目五十四番地ノ一地先ヨリ市ケ谷橋南詰ニ至ルノ路線。

四　麹町飯田町二丁目五十四番地ノ一地先ヨリ飯田橋ヲ經テ牛込區津久戸町、肴町及市ケ谷柳町ヲ經テ若松町六番地ノ一地先ヲ左折シ同四十九番地ノ二地先ニ至ルノ路線。

五　麹町區牛込橋東詰ヨリ飯田町六丁目十四番地地先ニ至ルノ路線。

六　麹町區飯田町六丁目十七番地ノ一地先ヨリ飯田町三丁目十番地ノ一地先ニ至ルノ路線。

大正十三年三月十一日內閣認可東京都市計畫街路ノ部中幹線（以下單ニ幹線ト謂フ）

七　神田區昌平橋南詰ヨリ小川町一番地ノ一地先及猿樂町一丁目四番地地先ヲ**第三十五號ノ內神田區昌平橋南詰ヨリ佐柄木町幹線第二號交叉點迄、幹線第二**經テ三崎町一丁目十二番地ノ一地先ニ至ルノ路線。

號ノ內幹線第三十五號交叉點ヨリ表猿樂町大正十三年三月十一日內閣認可東京都市計畫街路ノ部中補助線（以下單ニ補助線ト謂フ）第二十九號接合點迄及補助線第二十九號。

八　芝區琴平町一番地ノ五地先ヨリ神谷町、麻布區飯倉町三丁目及赤羽橋ヲ經テ芝區田町四丁目十二番地地先ニ至ルノ路線。

九　芝區田町四丁目十二番地地先ヨリ車町、高輪北町及高輪南町ヲ經テ八ツ山橋西詰市郡境界ニ至ルノ路線。

十　芝區南佐久間町一丁目一番地ノ七地先ヨリ田村町三番地地先ニ至ルノ路線

十一　芝區琴平町二番地ノ五地先ヨリ赤坂區溜池町ヲ經テ弁慶橋南詰ヲ左折シ傳馬町三丁目二番地ノ地先ニ至ルノ路線。

十二　芝區愛宕町二丁目八番地地先ヨリ同三丁目六番地地先ニ至ルノ路線。

十三　芝區赤羽町一番地地先ヨリ麻布區一ノ橋宮下町及北日ケ窪ヲ經テ六本木町三十六番地ノ一地先ニ至ルノ路線。

十四　芝區三田二丁目二十番地地先ヨリ同四丁目二十四番地ノ一地先ニ至ルノ路線。

十五　芝區三田三丁目一番地地先ヨリ同十一番地ノ二地先ニ至ルノ路線。

十六　芝區君塚町一番地地先ヨリ二本榎西町二番地ノ十九番地地先ヲ右折シ白金猿町二番地ノ一地先ヲ左折シ同十三番地地先市郡境界ニ至ルノ路線。

十七　芝區三田豐岡町一番地ノ七地先ヨリ白金志田町ヲ經テ白金臺町二丁目三十一番地地先市郡境界ニ至ルノ路線。

十八　芝區車町二十六番地ノ四地先ヨリ同三十五番地ノ三地先ニ至ルノ路線。

十九　芝區白金志田町三番地ノ一地先ヨリ麻布區古川橋ヲ經テ新廣尾町二丁目百八番地ノ二地先ヲ右折シ新堀町ヲ經テ新廣尾町一丁目百十二番地ノ一地先二ノ橋西詰ニ至ルノ路線。

二十　芝區白金志田町十二番地ノ七地先ヨリ老增町ヲ經テ白金三光町二百番地ノ一地先市郡境界ニ至ルノ路線。

二十一　麻布區市兵衛町二丁目六十三番地ノ一地先ヨリ三河臺町二十三番地ノ一地先ニ至ルノ路線。

二十二　麻布區新網町二丁目九番地ノ三地先ヨリ坂下町ヲ經テ山元町四十九番地地先ニ至ルノ路線。

二十三　麻布區新廣尾町二丁目百六番地地先ヨリ豐多摩郡澁谷町大字下澁谷天現寺橋東詰ヲ右折シ同字麻布廣尾町ヲ經テ麻布笄町五十四番地ノ四地先ニ至ルノ路線。

二十四　赤坂區一ツ木町五番地ノ一地先ヨリ裏町二丁目十六番地ノ一地先ニ至ルノ路線。

二十五　赤坂區傳馬町三丁目六番地地先ヨリ表町二丁目一番地ノ一地先ニ至ルノ路線。

二十六　赤坂區青山南町一丁目八番地ノ一地先ヨリ六丁目五十四番地ノ乙地先市郡境界ニ至ルノ路線。

二十七　赤坂區青山北町四丁目九番地地先ヨリ同七十五番地地先ヲ左折シ豐多摩郡千駄ヶ谷町大字原宿字竹ノ下六十番地地先ヲ右折シ四谷區霞ヶ丘町ヲ經テ麹町三丁目二十一番地地先ニ至ルノ路線。

二十八　赤坂區溜池町三番地ノ一地先ヨリ田町七丁目十三番地ノ二地先ヲ右折シ同二番地ノ二地先ニ至ルノ路線。

二十九　赤坂區溜池町六番地ノ一地先ヨリ麻布區簞笥町霞町笄町及赤坂區青山北町六丁目四十六番地ノ一地先ヲ經テ同四十八番地地先市郡境界ニ至ルノ路線

三十　赤坂區新町三丁目三十一番地地先ヨリ同五丁目ヲ經テ檜町五番地ノ十地先ニ至ルノ路線。

三十一　四谷區麴町十一丁目一番地地先ヨリ簞笥町ヲ經テ北伊賀町一番地ノ二地先ヲ右折シ片町二十九番地ノ二地先ニ至ルノ路線。

三十二　四谷區霞ヶ丘町四十五番地ヨリ同四十六番地地先市郡境界ニ至ル路線

三十三　四谷區忍町十八番地ノ一地先ヨリ東信濃町十一番地ノ三地先ニ至ルノ路線。

三十四　四谷區三光町百二十七番地ノ一地先ヨリ豐多摩郡大久保町大字西大久保ヲ經テ陸軍用地ニ至リ曲折シ戸塚町大字源兵衛面影橋南詰ニ至ルノ路線。

三十五　四谷區永住町十九番地地先ヨリ牛込區市ケ谷富久町二十七番地ノ一地先ヲ經テ四谷區片町十二番地地先ヲ右折シ牛込區市ケ谷本村町及船河原橋ヲ經テ小石川區市兵衛河岸十號地ニ至ルノ路線。

三十六　牛込區神樂町一丁目四番地ノ二地先ヨリ同一丁目十一番地ノ一地先ニ至ルノ路線。

三十七　牛込區肴町三十二番地ノ一地先ヨリ通寺町及東榎町三番地ノ一地先ヲ經テ榎町三十番地ノ一地先ヲ右折シ早稻田鶴巻町百七十一番地ノ一地先ニ至ルノ路線。

三十八　牛込區津久戸町二十番地ノ一地先ヨリ東五軒町十八番地地先ヲ左折シ四五軒町改代町及山吹町ヲ經テ早稻田鶴巻町四百三十二番地ノ一地先市郡境界ニ至ルノ路線。

三十九　牛込區改代町二十七番地地先ヨリ山吹町三百二十番地ノ一地先ニ至ルノ路線。

四十　牛込區天神町三番地ノ一地先ヨリ山吹町小石川區關口水道町及江戸川橋ヲ經テ音羽一丁目二十番地ノ一地先ヲ右折シ大塚仲町ヲ經テ氷川下町六十三番地ノ一地先ニ至ルノ路線。

四十一　牛込區細工町二十七番地ノ二地先ヨリ拂方町一番地ニ至ルノ路線。

四十二　牛込市ケ谷仲ノ町二十九番地ノ一地先ヨリ市ケ谷柳町八番地ノ一地先ニ至ル路線。

四十三　牛込區寺久井町三十七番地ノ一地先ヨリ馬場下町ヲ經テ高田町十二番地地先市郡境界ニ至ルノ路線。

四十四　牛込區若松町三十四番地ノ一地先ヨリ同四十番地ノ一地先ニ至ルノ路線。

四十五　牛込區市ケ谷谷町九十二番地ノ五地先ヨリ余丁町二十六番地ノ一地先市郡境界ニ至ルノ路線。

四十六　牛込區改代町十六番地地先ヨリ古川橋ヲ經テ小石川區小日向水道町八番地ノ一地先ヲ左折シ櫻木町五番地地先ニ至ルノ路線。

四十七　小石川區水道橋北詰ヨリ春日町、白山前町、本郷區駒込東片町及駒込淺嘉町ヲ經テ駒込動坂町二百八番地地先市郡境界ニ至ルノ路線。

四十八　小石川區指ケ谷町四十三番地ノ一地先ヨリ同二十六番地地先ニ至ルノ路線。

四十九　小石川區掃除町四十七番地ノ一地先ヨリ同三十六番地ノ二地先ヲ右折シ柳町二十九番地ノ四地先ニ至ルノ路線。

五十　小石川區柳町二十二番地ノ一地先ヨリ同一番地地先ニ至ルノ路線。

五十一　小石川區東古川町十番地ノ一地先ヨリ關口水道町ヲ經テ關口町四番地地先市郡境界ニ至ルノ路線。

五十二　小石川區音羽町五丁目六番地ノ一地先ヨリ關口町及高田老松町ヲ經テ高田豐川町四十三番地ノ二地先市郡境界ニ至ルノ路線。

五十三　小石川區大塚辻町八番地ノ一地先ヨリ同十番地ノ一地先市郡境界ニ至ルノ路線。

五十四　小石川區音羽町一丁目一番地ノ一地先ヨリ西青柳町ヲ經テ高田豐川町一番地地先ニ至ルノ路線。

五十五　小石川區大塚坂下町九番地ノ一地先ヨリ同百二十九番地地先市郡境界ニ至ルノ路線。

五十六　本郷區湯島一丁目十五番地ノ一地先ヨリ本郷三丁目及駒込追分町ヲ經テ駒込上富士前町十九番地ノ二地先市郡境界ニ至ルノ路線。

五十七　本郷區湯島六丁目五番地ノ一地先ヨリ青木町三丁目十三番地ノ二地先ニ至ルノ路線。

五十八　本郷區東竹町二十九番地ノ三地先ヨリ本郷一丁目十五番地ノ一地先ニ至ルノ路線。

五十九　本郷區湯島天神町二丁目五番地ノ一地先ヨリ本郷三丁目、眞砂町、小石川區春日町、上富坂町及竹早町ヲ經テ大塚辻町十一番地ノ一地先市郡境界ニ至ルノ路線。

六十　本郷區本郷二丁目十九番地ノ一地先ヨリ弓町一丁目一番地ノ一地先ニ至ルノ路線。

六十一　本郷區本郷四丁目二十二番地地先ヨリ菊坂町ヲ經テ田町四十五番地ノ一地先ヲ左折シ小石川區初音町十六番地々先戸崎町及白山町殿町四十九番地ノ一地先ヲ經テ氷川下町七十一番地ノ一地先市郡境界ニ至ルノ路線。

六十二　本郷區駒込東片町八番地々先ヨリ小石川區白山前町ヲ經テ鷄籠町二百四十八番地地先市郡境界ニ至ルノ路線。

六十三　本郷區駒込東片町八十番地ノ一地先ヨリ駒込肴町、駒込千駄木町及下谷區谷中三崎町ヲ經テ谷中茶屋町一番地地先ヲ右折シ上野櫻木町二十三番地ノ二地先ニ至ルノ路線。

六十四　本郷區根津八重垣町四十九番地ノ一地先ヨリ根津片町十九番地ノ一地先ニ至ルノ路線。

六十五　本郷區根津八重垣町三十一番地ノ一地先ヨリ根津藍染町二十五番地ノ一地先ニ至ルノ路線。

六十六　下谷區池ノ端七軒町二十八番地ノ一地先ヨリ本郷區駒込千駄木町、駒

込坂下町及駒込神明町ヲ經テ駒込上富士前町五番地ノ二地先ニ至ル ノ路線。

下谷區豊住町十五番地ヨリ鶯横町用地裏側ニ沿ヒ曲折シ坂本町一丁目、同二

六十七　下谷區東坂町二十二番地ノ一地先ヨリ下東坂町十六番地ノ一地先ヲ左

丁目、同三丁目、同四丁目及金杉上町ヲ經テ金杉下町鉄道線第一號及同第五號接

折シ坂本町一丁目一番地ノ一地先ヲ右折シ三ノ輪町四十番地ノ一地先市郡境界

合能ニ至ル ノ路線。

ニ至ル ノ路線。

鉄道線第六號ノ内下谷區北稲荷町鉄道線第三十四號交叉能ヨリ浅草區金瓶、鉄

六十八　下谷區東坂町十六番地ノ一地先ヨリ浅草區須賀橋ヲ經テ松清町三番地

道線第五號交叉能迄。

ノ二地先ニ至ル ノ路線。

鶯助線第七十四號ノ内下谷區萬年町二丁目鉄道線第一號交叉能ヨリ浅草區芝

六十九　下谷區東坂町十二番地ノ一地先ヨリ萬年町ヲ經テ浅草區芝崎町十六番

崎町鉄道線第五號交叉能迄。

地地先ニ至ル ノ路線。

鉄道線第一號ノ内下谷區萬年町二丁目鶯助線第七十四號交叉能ヨリ金杉上町

七十　下谷區萬年町二丁目六十六番地ノ二地先ヨリ入谷町十七番地地先ニ至ル

鶯助線第三十三號接合能迄。

ノ路線。

及鉄道線第五號接合能ヨリ三ノ輪町四十番地ノ一地先市郡境界迄

七十一　下谷區金杉町百十番地地先ヨリ三ノ輪町七十六番地ノ一地先市郡境界

ニ至ル ノ路線。

七十二　浅草區新谷町十四番地ノ五地先ヨリ下谷區坂本町三丁目ヲ經テ上根岸

町四十八番地先ヲ右折シ同百三十一番地地先市郡境界線ニ至ル ノ路線。

鉄道線第三十四號ノ内浅草區七軒町鉄道線第五十一號交叉能ヨリ下谷區入谷町

七十三　浅草區七軒町二番地ノ一地先ヨリ下谷區北稲荷町山伏谷町入谷町ヲ經テ

鶯詰迄。

金杉上町七十八番地々先ニ至ル ノ路線。

七十四　浅草區七軒町一番地ノ一地先ヨリ粟久橋ヲ經テ森下町四番地ノ三地先

ニ至ル ノ路線。

鶯助線第三十三號ノ内下谷區入谷町鉄道線ヨリ浅草區七軒町鉄道線第五十一號

七十五　浅草區七軒町四番地ノ七地先ヨリ南清島町ヲ經テ北清島町百二十三番

交叉能迄。

地々先ニ至ル ノ路線。

浅草區北三筋町三十八番地ノ一地先ヨリ北貫町鶯助線第六號鉄道線ニ至ル ノ

七十六　浅草區北三筋町三十八番地ノ一地先ヨリ新谷町一番地ノ三地先ニ至ル

路線及鶯助線第六號ノ内鉄道線ヨリ下谷區鉄道線寺町鶯助線第七十一號交叉能迄。

ノ路線。

鉄道線第五號ノ内浅草區森下町鉄道線第五十一號交叉能ヨリ下谷區鉄道線寺町鶯

七十七　浅草區森下町四番地ノ三地先ヨリ松清町及笹崎町ヲ經テ新谷町十四番

助線第七十一號交叉能迄。

地ノ五地先ニ至ル ノ路線。

七十八　浅草區碧天町三十六番地ノ二地先ヨリ地方今戸町九十三番地ノ六地先

ニ至ル ノ路線。

七十九　浅草區吉野橋北詰ヨリ吉野町及山谷町ヲ經テ田中町五十一番地ノ一地

先市郡境界ニ至ル ノ路線。

八十　浅草區今戸橋北詰ヨリ今戸町ヲ經テ橋場町四十五番地地先市郡境界ニ至

ル ノ路線。

八十一　浅草區地方今戸町九十三番地ノ六地先ヨリ玉姫町ヲ經テ橋場町六十三

番地地先ニ至ル ノ路線。

鶯助線第八十二號ノ内浅草區地方今戸町鉄道線第二十三號接合能ヨリ鶯岡町

八十二　浅草區地方今戸町八十四番地々先ヨリ吉野町四十番地ノ一地先ニ至ル

三丁目鉄道線迄及鶯助線第三十九號。

ノ路線。

鶯助線第七十九號ノ内浅草區地方今戸町七十七番地ノ一地先ヨリ吉野町鉄

八十三　浅草區地方今戸町七十八番地ノ一地先ヨリ吉野町二十番地地先ニ至ル

線第三十二號交叉能迄。

ノ路線。

本所區亀戸業種實習場ヨリ中ノ橋原座町三十三番地ノ三地先ニ至ル ノ路線。

八十四　本所區吾妻橋東詰ヨリ業平橋ヲ經テ押上町百二番地ノ一地先ニ至ル ノ

路線。

鉄道線第五十一號ノ内本所區區役所前詰ヨリ横川橋西詰迄。

八十五　本所區番場町一番地ノ一地先ヨリ横川橋西詰ニ至ル ノ路線。

八十六　本所區石原町二十番地ノ三地先ヨリ法恩寺橋ヲ經テ天神橋西詰市郡境

界ニ至ル ノ路線。

八十七　本所區両國橋東詰ヨリ江東橋ヲ經テ深川町三丁目十一番地ノ四地先ニ

至ル ノ路線。

鉄道線第十號

八十八　本所區厩橋東詰ヨリ外手町十二番地ノ一地先ヲ右折シ二ノ橋、鶴賀寺橋

、深川區高橋、海邊橋東詰及黒船橋ヲ經テ深川區扇橋町二十九番地ノ一地先ニ至ル ノ

路線。

鶯助線第十一號ノ内本所區小梅業平町鉄道線ヨリ深川區富川町鶯助線第四十

八十九　本所區深川橋詰ヨリ三笠町及三ノ橋ヲ經テ深川區宮川町二番地ノ四

四號交叉能迄。

地先ニ至ル ノ路線。

九十　深川區新大橋東詰ヨリ北ノ橋、仲橋橋及霊川橋ヲ經テ浜江町百二十七

番地ノ一地先ニ至ル ノ路線。

九十一　深川區永代橋東詰ヨリ福島橋汐見橋及舟木橋ヲ經テ深梅橋西詰ニ至ル

ノ路線。

鉄道線第二十七號ノ内深川區扇住町鉄道線ヨリ扇住町鉄道線第十號交叉能迄。

九十二　深川區門前仲町二十一番地ノ一地先ヨリ相生橋北詰ニ至ル ノ路線。

九十三　鉄道線第二十二號ノ内本郷區湯島四丁目鉄道線ヨリ神田區同朋町二十一番

地地先迄。

九十四　鉄道線第四十四號

九十五　鶯助線第三十號ノ内下谷區坂本町鉄道線ヨリ浅草千束町一丁目鉄道線第

五號交叉能迄。

九十六　鶯助線第七十一號ノ内下谷區金杉上町鉄道線ヨリ下谷區鉄道寺町鉄道線第

五號交叉能迄。

九十七　鶯助線第三十二號及鶯助線第七十一號ノ内下谷區金杉上町鉄道線ヨリ浅

草區鉄道寺町鉄道線第五號交叉能迄。

九十八　鶯助線第一號ノ内浅草區今戸橋北詰鉄道線ヨリ浅草町鶯助線第三十八號

交叉能迄。

九十九　鉄道線第六號ノ内本所區隅田川新業種實習場ヨリ仲上町鉄道迄。

百　鉄道線第三十八號ノ内本所區隅田川新業種實習場ヨリ中ノ橋業平橋鉄道迄。

百一　鉄道線第二十四號

百二　鉄道線第三十號ノ内本所區中ノ橋元町鉄道線ヨリ向島須崎町市郡境界迄。

二　荏原郡内

イ　左記區域内ニ在ル建築物敷地。

品川町ノ内

一　大字北品川宿、大字品川歩行新宿、大字南品川宿。

大字二日五日市ノ一部。（圖面表示）

大森町ノ一部。（圖面表示）

大井町ノ一部。（圖面表示）

ロ　左記道路ノ両側ニ於ケル建築線ニ接スル建築物ノ敷地。

一　一東京市内ロ第九號路線鉄道ヨリ品川町品川橋北詰ニ至ル ノ路線。

二　品川町大字北品川宿八ツ山百七十番地地先ヨリ大字北品川宿字御殿山及大字

二日五日市字東淺間ヲ經テ大井町字一本松二千四百六十番地ノ一地先ニ至ル ノ

路線。

三　大井町字一本松二千四百六十番地ノ一地先ヨリ大森町字前方三千四百八十

三番地先浦田町境界ニ至ル ノ路線。

四　大井町字瀧王子四千三百六十四番地地先ヨリ入新井町大字新井宿ヲ經テ同

字小毋澤九百十三番地先池上境界ニ至ル ノ路線。

五　入新井町大字不入斗字八幡十九番地ノ一地先ヨリ同字堀後ヲ經テ大字新井宿字八景坂二千三百七十番地ノ六十一地先ニ於テ前號路線ニ接續スルノ路線。

六、大森町字千代田二千七百六十三番地地先ヨリ中ノ橋南詰羽田町境界ニ至ルノ路線。

七　一東京市ロ第十六號路線終點ヨリ大崎町大字五反田二百八十四番地地先ヲ、左折シ大崎橋ヲ經テ同字谷在家三百二十四番地ノ一地先ヲ右折シ大字桐ケ谷字向原三番地地先ヲ左折シテ字原百二十九番地ノ二地先平塚村境界ニ至ルノ路線

八　一東京市ロ第十七號路線終點ヨリ大崎町大字上大崎字永峰通五百八十四番地地先ニ至ルノ路線。

九　目黑町大字上目黑字氷川六百二十番地地先ヨリ大字中目黑ヲ經テ大字下目黑字下耕地二百五十二番地地先大崎町境界ニ至ルノ路線。

十　目黑町大字中目黑字八幡四百六十一番地ノ二地先ヨリ大字三田字鈴ケ崎一番地地先澁谷町境界ニ至ルノ路線。

十一　三豐多摩群郡內ロ第七號路線終點ヨリ目黑町大橋ヲ經テ大字上目黑字東山九百八十二番地地先世田谷町境界ニ至ルノ路線。

三　豐多摩郡內

イ　左記區域內ニ在ル建築物ノ敷地。

淀橋町ノ內

一　大字角筈ノ一部。（圖面表示）

千駄ケ谷ノ內

一　大字千駄ケ谷ノ一部。（圖面表示）

澁谷町ノ內

一　大字中澁谷ノ一部。（圖面表示）

ロ　左記道路ノ兩側ニ於ケル建築物ノ敷地。

一　澁谷町大字麻布廣尾町六十一番地ノ六地先ヨリ同六十九番地ノ一地先ヲ左折シ大字下澁谷字新地五十二番地地先ヲ右折シ澁谷橋ヲ經テ二俣原郡內ロ第十號路線終點ニ至ルノ路線。

二　澁谷町天現寺橋西詰ヨリ大字澁谷下廣尾町四番地地先ニ至ルノ路線。

三　澁谷町大字麻布廣尾町七十四番地ノ一地先ヨリ同八十七番地ノ一地先ニ至ルノ路線。

四　一東京市內ロ第二十三號路線ノ內澁谷町大字麻布廣尾町ニ屬スル部分。

五　一東京市內ロ第二十號路線終點ヨリ澁谷町大字下澁谷字町田千五百三十一番地ノ一地先ヲ右折シ一本橋ヲ經テ同千六百四十六番地地先ニ至ルノ路線。

六　澁谷町大字中澁谷字堀ノ內二番地ノ四地先ヨリ大字下澁谷字居村四百五十二番地地先ニ至ルノ路線。

七　一東京市內ロ第二十六號路線終點ヨリ澁谷町宮益橋及大字中澁谷道玄坂ヲ經テ同字豐澤五百八十四番地ノ一地先目黑町境界ニ至ルノ路線。

八　一東京市內ロ第二十九號路線ノ內澁谷町大字青山北町七丁目ニ屬スル部分

九　澁谷町大字中澁谷豐澤六百二十八番地地先ヨリ同六百二十三番地地先目黑町境界ニ至ルノ路線。

十　澁谷町大字中澁谷字字田川九百五十六番地々先ヨリ同九百七十番地ノ一地先同九百八十二番地ノ一地先及千駄ケ谷大字穩田ヲ經テ大字原宿字石田二百五十番地ノ一地先ニ至ルノ路線。

十一　澁谷町大字中澁谷字田川九百二十八番地地先ヨリ同字大向八百八十八番地ノ一地先ニ至ルノ路線。

十二　淀橋町大字角筈字矢場七百六十一番地ノ四地先ヨリ大字柏木字成子町北側八十八番地ノ一地先及淀橋ヲ經テ中野町大字中野字西町三千五百九十五番地地先杉並町境界ニ至ルノ路線。

十三　淀橋町大字角筈字新町一丁目二十八番地ノ一地先ヨリ代々幡大字幡ケ谷字北笹塚千百二十二番地地先和田堀內村境界ニ至ルノ路線。

十四　一東京市內ロ第三十二號路線終點ヨリ千駄ケ谷町大字千駄ケ谷字下タ道ヲ經テ同字新町九百三十四番地ノ一地先ニ至ルノ路線。

十五　一東京市內ロ第一號路線終點ヨリ千駄ケ谷町大字千駄ケ谷字廐通ヲ經テ同字下タ道七百五十四番地地先ニ至ルノ路線。

十六　大久保町大字西大久保字北裏二十五番地地先ヨリ大字百人町字仲通北側三百八十九番地地先ニ至ルノ路線。

十七　一東京市內ロ第二十七號路線ノ內千駄ケ谷大字原宿ニ屬スル部分。

十八　一東京市內ロ第四十五號路線終點ヨリ大久保町大字東大久保天神前二百十番地ノ一地先同字高場及大字西大久保ヲ經テ大字百人町字仲通二百一番地地先淀橋町境界ニ至ルノ路線。

十九　一東京市內ロ第四十三號路線終點ヨリ戸塚町大字下戸塚字荒井山五百六十六番地ヲ左折シ大字下戸塚、大字源兵衞、大字戸塚小瀧橋及中野町大字中野字大塚ヲ經テ同字園三千百二十五番地ノ一地先野方町境界ニ至ルノ路線。

二十　一東京市內ロ第三十四號路線ノ內大久保町大字西大久保、戸塚町大字源兵衞、大字戸塚及大字下戸塚ニ屬スル部分。

二十一　一東京市內ロ第五十一號路線終點ヨリ戸塚町大字下戸塚三島二百七十九番地ノ一地先及同字石田前百四十番地地先ヲ左折シ同百三十九番地地先ヲ右折シテ同字松原五百八十五番地地先ニ至ルノ路線。

二十二　淀橋町大字角筈字矢場七百四十三番地ノ二地先ヨリ大久保町大字百人町字仲通ヲ經テ大字柏木小瀧橋南詰ニ至ルノ路線。

二十三　中野町大字中野字上町二千七百二十七番地ノ二地先ヨリ桃園橋ヲ經テ同字千光前三千八十一番地ノ二地先ヲ右折シ同字園三千百二番地ノ二地先ヲ左折シ同字園三千百二十八番地ノ三地先野方町境界ニ至ルノ路線。

二十四　四北豐島郡內ロ第一號路線ノ內落合町大字下落合ニ屬スル部分。

四　北豐島郡內

イ　左記區域內ニ在ル建築物ノ敷地

巢鴨町ノ內

一　大字巢鴨ノ一部。（圖面表示）

板橋町ノ內

一　大字板橋ノ一部。（圖面表示）

ロ　左記道路ノ兩側ニ於ケル建築線ニ接スル建築物ノ敷地。

一　一東京市內ロ第五十二號路線終點ヨリ高田町大字高田字千登世町、高田橋、豐多摩郡落合町及北豐島郡長崎村字五郎窪ヲ經テ上板橋町境界ニ至ルノ路線。

二　一東京市內ロ第五十五號路線終點ヨリ西巢鴨町大字巢鴨字向原三千二百七十六番地ノ一地先ニ至ルノ路線。

十六番地ノ一地先ニ至ルノ路線。

三、一東京市ロ第五十九號路線終點ヨリ巢鴨町大字巢鴨ヲ經テ字下新田千八番地ノ四地先ニ至ルノ路線。

四　一東京市內ロ第五十三號路線終點ヨリ西巢鴨町大字池袋及板橋町大字下板橋字平尾裏九百四十六番地地先ヲ經テ同九百四十五番地地先ニ至ルノ路線。

五　板橋町大字下板橋字平尾裏八百九十番地地先ヨリ同字境久保ヲ經テ同字山中千六百十五番地ノ一地先上板橋村境界ニ至ルノ路線。

六、一東京市內ロ第六十二號路線終點ヨリ巢鴨町大字巢鴨、瀧野川町大字瀧野川及板橋町板橋ヲ經テ大字下板橋字東宿裏一番地地先志村境界ニ至ルノ路線。

七　一東京市內ロ第五十六號路線終點ヨリ瀧野川町大字西ケ原字殿ノ上五十一番地地先及大字西ケ原ヲ經テ王子町大字王子字山ノ下四十六番地ノ三地先ニ至ルノ路線。

八　一東京市內ロ第四十七號路線終點ヨリ瀧野川町大字田端字狹附七百六十九番地地先ニ至ルノ路線。

九　王子町大字王子字山ノ下四十六番地ノ三地先ヨリ大字下十條ヲ經テ岩淵町荒川放水路南岸ニ至ルノ路線。

十　王子町大字王子字大門千二百八十五番地地先ヨリ同字北宿ヲ經テ大字下十條字高本千八百五十三番地地先ニ至ルノ路線。

十一　一東京市內ロ第六十一號路線終點ヨリ巢鴨町大字巢鴨字富下千七百五十九番地ノ一地先ニ至ルノ路線。

十二　三豐多摩郡內ロ第二十號路線終點ヨリ高田町大字高田、千登世町及西巢鴨町大字池袋字蟹ケ窪ヲ經テ大字瀧野川町字飛鳥山前六十八番地ノ二地方ニ至ルノ路線。

十三　西巢鴨町大字池袋字西山五百七十六番地ノ一地先ヨリ同字蟹ケ窪六百二十九番地ノ一地先ヲ經テ同七百五十五番地ノ一地先ニ至ルノ路線。

十四　一東京市內ロ第七十二號路線終點ヨリ三河島町大字三河島字織戸三千百十一番地ノ三地先ニ至ルノ路線。

十五　一東京市內ロ第七十一號路線終點ヨリ三河島町大字三河島字正庭二千八

百十八番地ノ一地先ニ至ルノ路線。

七十

十六　一東京市内ロ第六十七號路線終點ヨリ南千住町大字下谷通新ヲ經テ大字千住南千住大橋南詰ニ至ルノ路線。

十七　一東京市内ロ第七十九號路線終點ヨリ南千住町大字千住南ヲ經テ同字南二十二番地ノ一地先ニ至ルノ路線。

五　南足立郡内

イ　左記區域内ニ在ル建築物ノ敷地

千住町ノ内

一　大正八年一月三十一日警視廳告示第九號告示貨座敷營業地。

ロ　左記道路ノ兩側ニ於ケル建築線ニ接スル建築物ノ敷地。

一　千住町千住大橋北詰ヨリ大字千住中組同千住一丁目。同二丁目、同三丁目、四丁目及同五丁目ヲ經テ荒川放水路南岸ニ至ルノ路線。

六　南葛飾郡内

イ　左記區域内ニ在ル建築物ノ敷地

龜戸町ノ内

一　大字龜戸町、大字龜戸、大字柳島ノ一部。（圖面表示）

ロ　左記道路ノ兩側ニ於ケル建築線ニ接スル建築物ノ敷地。

一　一東京市内ロ第八十六號路線終點ヨリ龜戸町大字龜戸町三十三番地先ヲ經テ大字龜戸字水神西宅地三千五百二番地ノ三地先ニ至ルノ路線。

第二　工業地域之部

一　東京市内

イ　左記區域内ニ在ル建築物ノ敷地但シ第一商業地域ノ部ニ掲クルモノヲ除ク

下谷區内

一　三ノ輪町ノ一部。（圖面表示）

淺草區内

一　橋場町、山谷町、玉姫町、淺草町ノ一部。（圖面表示）

本所區内

一　龜澤町二丁目、相生町五丁目、綠町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目、花町、入江町、長崎町、長岡町、永倉町、清水町、吉田町、吉岡町、三笠町、南二葉町、北二葉町、錦絲町、松代町、一丁目、同二丁目、同三丁目、芋場町一丁目、同二丁目、同三丁目、柳原町一丁目、同二丁目、同三丁目、若宮町、横川町、太平町一丁目、同二丁目、柳島町、番場町、荒井町、裏町、北新町、松倉町一丁目、同二丁目、林町一丁目、同二丁目、同三丁目、菊川町一丁目、同二丁目、德右衛門町、中ノ郷竹町、同原庭町、同元町、同兵町、中ノ郷八軒町、同横川町、同業平町、小梅業平町、柳島横川町、同元町、同梅森町、押上町、向島押上町、藥師前河岸、青物河岸、源森河岸、菊河岸、本横川河岸、西横川河岸、松代河岸ノ全部。

二　龜澤町一丁目、外手町、同石原町、番場町、荒井町、中ノ郷瓦町、小梅瓦町、向島小梅町、向島中ノ郷町、向島須崎町、同請地町、北堅河岸、南堅河岸ノ一部。（圖面表示）

深川區ノ全部但シ左記區域ヲ除ク。

一　佐賀町一丁目、同二丁目、松賀町、小松町、相川町、熊井町、富吉町、新町、福住町、伊澤町、一色町、松村町、黑江町、中島町、蛤町一丁目、大島町、大住町、東永代町、西永代町、材木町、堀川町、中川町、富田町、今川町、清住町、伊勢崎町、西大工町、仲大工町、裏大工町、萬年町一丁目、永堀町、新安宅町、西元町、八名川町、安宅町、御船藏前町、常磐町一丁目、同二丁目、東六間堀町、西六間堀町、西森下町、伊澤河岸、一色河岸、西六間堀河岸、濱邊河岸、西永代河岸、大住河岸、奥ノ河岸、近江屋河岸、小名木河岸、大島河岸、巽河岸、加賀河岸、松村河岸、松賀河岸、萬年河岸、小松河岸、永代河岸、佐賀堀河岸、清住河岸、北仙臺堀河岸、芝浦河岸、東六間堀河岸ノ全部。

二　蛤町二丁目、龜住町、萬年町二丁目、和倉町、門前河岸ノ一部。（圖面表示）

臺堀河岸、北仙臺堀河岸、南五間堀河岸、門前仲町、油堀河岸、南仙

ロ　左記道路ノ片側ニ於ケル建築線ニ接スル建築物ノ敷地。

一　本所區小梅瓦町十三番地先ヨリ向島請地町百五十七番地先市郡境界ニ至ルノ路線。

二　荏原郡内

イ　左記區域内ニ在ル建築物ノ敷地但シ第一商業地域ノ部ニ掲クルモノヲ除ク

品川町ノ内

一　大字二日五日市ノ全部。

二　大字北品川宿大字南品川宿ノ一部。（圖面表示）

大森町ノ全部。

大井町ノ一部。（圖面表示）

大崎町ノ内

一　大字上大崎、大字下大崎、大字谷山、大字桐ケ谷、大字居木橋ノ一部

（圖面表示）

入新井町ノ内

一　大字不入斗、大字新井宿ノ一部。（圖面表示）

三　北豐島郡内

イ　左記區域内ニ在ル建築物ノ敷地但シ第一商業地域ノ部ニ掲クルモノヲ除ク

板橋町ノ内

一　大字下板橋町ノ一部。（圖面表示）

南千住町ノ全部、但シ大字三ノ輪ノ一部（圖面表示）ヲ除ク。

岩淵町ノ全部。

王子町ノ内

一　大字豐島、大字堀ノ内、大字下十條、大字上十條、大字船方、大字瀧野川ノ全部。

一　大字王子ノ一部。（圖面表示）

三河島ノ全部、但シ大字三河島ノ一部（圖面表示）ヲ除ク。

尾久町ノ全部。

日暮里町ノ全部。

一　大字谷中本大字日暮里ノ一部。（圖面表示）

瀧野川町ノ内

一　大字下十條ノ全部。

二　大字西ヶ原、大字上中里、大字中里、大字田端、大字瀧野川ノ一部。（圖面表示）

志村ノ全部。

四　南足立郡内

イ　左記區域内ニ在ル建築物ノ敷地但シ第一商業地域ノ部ニ掲クルモノ及荒川放水路以北ノ部分ヲ除ク。

千住町ノ全部。

五　南葛飾郡内

イ　左記區域内ニ在ル建築物ノ敷地但シ第一商業地域ノ部ニ掲クルモノヲ除ク

龜戸町ノ全部。

大島町ノ全部。

小松川ノ全部。

吾嬬町ノ全部。

隅田村ノ全部。

寺島町ノ全部。

砂町ノ全部。

葛西村ノ全部。

第三　工業地域内特別地區ノ部

一　甲種特別地區

左記區域内ニ在ル建築物ノ敷地。

北豐島郡内

志村ノ全部。

南葛飾郡内

葛西村ノ内

一　大字堀江ノ全部。

二　大字桑川、大字長島、大字東宇喜田、大字西宇喜田、大字二ノ江、大字下今井ノ一部。（圖面表示）

二　乙種特別地區

左記區域內ニ在ル建築物ノ敷地。
南葛飾郡內
砂町ノ全部。
小松川ノ全部。
葛西村ノ全部、但シ前號甲種特別地區ニ揭クルモノヲ除ク。
第四　住居地域ノ部
一　東京市內
イ　左記區域內ニ在ル建築物ノ敷地但シ第一商業地域及第二工業地域ノ部ニ揭クルモノヲ除ク。
麹町區ノ全部。
神田區ノ全部。
京橋區內
一　明石町、築地三丁目、築地四丁目、南小田原町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、南飯田町、上柳原町、南本郷町、小田原河岸、明石河岸、南飯田河岸、上柳原町地先ノ全部。
芝區ノ全部、但シ左記區域ヲ除ク。
一　濱崎町湊町、金杉新濱町、田町一丁目、同二丁目、南濱町、車町河岸、芝浦町一丁目、同二丁目、同三丁目、月見町一丁目、同二丁目、同三丁目、新芝町、日出町、品川鐵道埋立地、品川衆場ノ全部。
二　車町、濱崎町、高輪北町、高輪南町ノ一部。（圖面表示）
明治二十二年五月二十日東京府告示第三十七號告示東京市區改正設計白金屠場敷地。
麻布區ノ全部。
赤坂區ノ全部。
四谷區ノ全部。
牛込區ノ全部。
小石川區ノ全部。
本郷區ノ全部。
下谷區ノ全部、但シ左記區域ヲ除ク。
一　金杉下町三ノ輪町ノ全部。
二　金杉上町、下根岸町ノ一部。（圖面表示）
淺草區ノ全部。
本所區ノ內
一　番場町、森町、荒井町、北新町、松倉町、一丁目、中ノ郷竹町、同瓦町、同原庭町、小梅瓦町、新小梅町、向島小梅町、向島中ノ郷町、同請地町、同須崎町、北源兼河岸ノ全部。
同元町、同原庭町、藤森河岸、青物河岸、藤師前河岸ノ全部。
二　外手町ノ一部。（圖面表示）
二　荏原郡內
イ　左記區域內ニ在ル建築物ノ敷地但シ第一商業地域及第二工業地域ノ部ニ揭クルモノヲ除ク。
品川町ノ內
一　大字南品川宿ノ全部。
二　大字北品川宿ノ一部。（圖面表示）
大井町ノ全部。
大崎町ノ全部、但シ明治二十二年一月二十日東京府告示第三十七號告示東京市區改正設計桐ケ谷火葬場敷地ヲ除ク。
入新井町ノ全部。
目黑町ノ全部、但シ大字下目黑、大字中目黑ノ一部（圖面表示）ヲ除ク。
三　豐多摩郡內
イ　左記區域內ニ在ル建築物ノ敷地、但シ第一商業地域及第二工業地域ノ部ニ揭クルモノヲ除ク。
淀橋町ノ全部。
中野町ノ全部。
千駄ケ谷町ノ全部。
渋谷町ノ全部。

大久保町ノ全部。
戸塚町ノ全部、但シ大字下戸塚ノ一部（圖面表示）ヲ除ク。
落合町ノ全部但シ大字下落合、大字上落合ノ一部（圖面表示）明治二十二年五月二十日東京府告示第三十七號告示東京市區改正設計落合火葬場敷地ヲ除ク。
代々幡町ノ全部、但シ明治二十二年五月二十日東京府告示第三十七號告示東京市區改正設計代々木火葬場敷地ヲ除ク。
四　北豐島郡內
イ　左記區域內ニ在ル建築物ノ敷地但シ第一商業地域及第二工業地域ノ部ニ揭クルモノヲ除ク。
板橋町ノ全部。
巣鴨町ノ全部。
王子町ノ全部。
滝野川町ノ全部。
日暮里町ノ全部。
一　大字日暮里、大字谷中本ノ一部。（圖面表示）
高田町ノ全部、但シ大字高田ノ一部（圖面表示）ヲ除ク。
西巣鴨町ノ全部。
長崎村ノ全部。

東京都市計畫トシテ決定シタル

第五　第一項及第二項ニ揭クル路線ニシテ大正十年五月十三日都市計畫公告ヲ以テ告示セラレタル道路ノ一部若ハ全部ニ一致スル部分ハ之ニ依ル。

東京市計畫住居地域、商業地域、工業地域指定變更理由書

東京都市計畫區域內ニ於ケル市街地建築物法ニ依ル住居、商業、工業三種區域ノ指定ニ關シテハ曩ニ大正十二年七月二十七日ヲ以テ都市計畫東京地方委員會ニ付議シ同委員會ニ於テハ同年八月十日ノ會議ニ於テ之ヲ議定シタルヲ以テ將ニ內閣ノ認可ヲ得テ指定セシムトシタルニ偶然九月一日ノ大震災ニ遭遇シ主要市街地ノ大半烏有ニ歸シ土地發達ノ現狀一時全ク其ノ體ヲ失ヒ之ト共ニ一方街路、運河ノ新設改修等都市計畫ノ施設新ニ決定シタルモノアリ水陸運輸關ノ狀勢又自ラ多少ノ變化ヲ生ジタルニ依リ玆ニ曩ニ議定セラレタル區域ノ一部ヲ變更シテ各種區域ノ位置ヲシテ一層其ノ性質ニ適應セシメムトスルモノナリ。

東京都市計畫住居地域、商業地域、工業地域指定變更理由細說

市內ニ於ケル各種地域ノ概括的配置ニ付テハ震火災ノ有無ニ拘ラズ、自ラ定マル處アリ、山手ノ住居區域、下町ノ商業地域、江東ノ工業地域ノ如キ沿革ヨリスルモ、地勢ヨリスルモ、何等變更ヲ要スベキ理由ナク、斯ル地域ノ選定ニ關スル大體方針ニ關シテハ殆ド異動ヲ要スルモノナクシテ地域制ノ原則ニ照應スルコトヲ得ベシ。

唯曩ニ議定シタル地域ノ中（一）各種地域相互ノ境界ニ於テ計畫街路線ニ據レルモノヽ異動假令神田、芝、下谷區內ノ數ケ所ニ於ケルガ如キ、（二）住居地域內ニ存在スル主要街路ノ兩側ヲ路線的商業地域トスルモノ、（三）工業地域內ニ存在スル路線的商業地域新設變更ニ伴フモノニシテ又已ムヲ得ザルニ出ヅルモノナリ、外ニ下町商業地域內ニ介在セル住居地ノ內築地明石町附近ノ一團地ノ如キハ中央卸賣市場ノ位置等ヲ考慮シ其ノ範圍ヲ縮少シテ舊居留地ノ一郭ニ止メ下谷、淺草、兩區ノ一部ヲ寺院墓地ノ集團地ノ北方ニ聯結シテ主要街路ノ兩側ヲ除キ住居地域ニ變更シタルガ如キハ土地ノ實情ニ順應シタルモノニ外ナラズ又本所區中ノ郷方面ニ於テ計畫確定セル隅田公園ニ近接シテ土地甚シク低濕ナラズ又火災前ノ情況比較的大工場少カリシ一團ノ地ヲ撰ビ特ニ職工、勞働者ニ快適ナル居住地ヲ配置スルノ意味ヲ以テ之ヲ住居地域ニ改メタリ斯クノ如クニシテ各地域面積ノ分配ノ如キハ變更極メテ局地的ニ止ルヲ以テ曩ニ議定シタルモノト殆ンド大差ナク各其ノ面積ヲ比較スレバ概略左ノ如シ。

一、市街地建築物法適用區域內各種地區域比較表

地域別	面積（坪）	全面積ニ對スル百分比		面積（坪）	全面積ニ對スル百分比	
住居地域	約二六,400,000	四四・六	曩ニ定議セラレタルモノトノ比較	約100,000減	0・1減	

商業地域	約 九、八〇〇、〇〇〇	一四・七	約 三〇〇、〇〇〇増	〇・三増		
工業地域	約 三四、七〇〇、〇〇〇	三七・二	約 一〇〇、〇〇〇減	〇・一減		
未指定地域	約 二、三〇〇、〇〇〇	三・五	—	—		
計	六六、四〇〇、〇〇〇					

二、都市計畫地域全部指定豫定比較表

地域別	面積（坪）	全面積ニ對スル百分比	畫ニ定議セラレタルモノトノ比較 面積（坪）	畫ニ定議セラレタルモノトノ比較 全面積ニ對スル百分比
住居地域	約 一〇六、四〇〇、〇〇〇	六七・〇	約 一〇〇、〇〇〇減	〇・一減
商業地域	約 九、八〇〇、〇〇〇	六・一	約 三〇〇、〇〇〇増	〇・三増
工業地域	約 四〇、三〇〇、〇〇〇	二五・四	約 一〇〇、〇〇〇減	〇・一減
未指定地域	約 二、三〇〇、〇〇〇	一・五		
計	一五九、八〇〇、〇〇〇			

三、地域指定後市内各種地域ニ於ケル人口、住宅豫想表

地域別	面積	飽和人口	住宅總延坪	住宅延坪ト全面積トノ比較（百分比）	豫想戸數總計（一戸當リ五人）
住居地域	二三、三〇〇、〇〇〇坪	一、一四〇、〇〇〇人	四、五六〇、〇〇〇坪	三六・四	三二八、〇〇〇戸
商業地域	六、七〇〇、〇〇〇	八五〇、〇〇〇	二、三四〇、〇〇〇	三七・五	一六九、〇〇〇
工業地域	三、三〇〇、〇〇〇	三四〇、〇〇〇	一、〇一〇、〇〇〇	三〇・〇	六八、〇〇〇
未指定地域	一、四〇〇、〇〇〇	一四〇、〇〇〇	四四〇、〇〇〇	三〇・〇	二九、〇〇〇
計	二四、一〇〇、〇〇〇	二、四二〇、〇〇〇	八、三三〇	—	四九四、〇〇〇

東京市計畫住居地域商業地域、工業地域竝特別地區指定理由書

地域ノ指定ハ現代都市計畫ノ基本的事項ニシ土地ノ發達性質之ニ依リテ定マリ百般ノ施設、計畫之ニ依リテ其ノ則ル所ヲ知ル、曩ニ東京都市計畫地域ノ決定ヲ見タルヲ以テ次デ各種地域ノ指定ヲ爲サムトス。

地域ノ設定ハ都市計畫地域ノ全部ニ亘ルヲ以テ理想トスベシ然レドモ其ノ設定ガ據ツテ以テ效果ヲ實現スベキ市街地建築物法ノ適用範圍ハ今尙東京市及近接三十六箇町村ニ限ラル、ヲ以テ指定ノ範圍モ亦自ラ之ニ限ラル、自餘ノ郊外ニ對シテハ、該法適用範圍ノ擴張ニ伴テ指定ヲ爲サムコトヲ期スルモノナリ。

地域指定ノ要件ハ各種地域ノ位置ヲシテ其ノ性質ニ適要セシムルト共ニ各種地域面積ノ配分亦其ノ宜ヲ得ルニ在リ。

各種地域ガ其ノ位置ニ對シテ要望スル所ノ特徴ハ住居地域ニ於テハ安靜快適ニ在リ、商業地域ニ於テハ繁榮利便ニ在リ、工業地域ニ於テハ生產能率ノ增進ニ在リ、故ニ其ノ位置ノ撰定ハ土地發達ノ現狀及沿革、地勢、天象、水陸運輸機關ノ狀勢其ノ他各般ノ天然的竝人爲的條件ヲ綜合斟酌シテ最多ク各種地域ガ要望スル所ノ特徴ヲ滿足セシムルヲ期スベシ。

今東京ノ狀態ヲ大觀スルニ市ノ西半ハ所謂山ノ手ノ高臺ニシテ、北ハ上野ヨリ飛鳥山ニ連ル高地ヨリ南ハ目黑高輪ニ及ブ一帶ノ部分ハ丘陵起伏スト雖モ、土地高燥、風物快適ニシテ土地ノ現狀亦主トシテ住宅ノ用ニ供セラルヽヲ以テ之ヲ住居地域ト定ムベシ、市ノ東半、隅田川ニ至ルノ間ハ所謂下町ニシテ北ハ浸草、下谷ヨリ神田、日本橋、京橋、麹町ノ東部ヲ經テ南ハ芝ノ一半ヲ含ミ、土地平坦、街衢非然トシテ交通ノ便稍ミ整ヒ土地發達ノ現狀ヨリスルモ之ヲ商業地域ト定ムヘシ、工業地域ハ之ヲ南北ノ二團地ニ相ス、北方ノ一團地ハ隅田川以東荒川放水路ニ至ル所謂江東ノ平野及更ニ北部ニ連續スル舊荒川流域ノ一帶ノ平野ニシテ河川從橫ニ流貫シテ水運ノ利多ク土地ノ現況亦既ニ工場ノ用地トシテ開發セラレタル所多ク將來ニ於ケル水陸運輸ノ施設モ亦之ヲ整備スルニ難カラズ、而シテ其ノ位置ノ方向ハ略ミ住居地域及商業地域ニ對シ煤煙、惡氣ノ撒布ヲ免レシムルヲ得ベク、南方ノ一團地ハ大崎、品川ニ於ケル目黑川下流ノ流域及大井、大森方面ニ於ケル海岸一帶ノ低地ニシテ現ニ工場地トシテ開發セラレツツアリ、其ノ地勢又水陸運輸ノ施設ヲ爲スニ適ス、工業地域內特別地區ニツキテハ乙種特別地區ヲ市ノ北郊ニ於テハ志村ニ、東郊ニ於テハ葛西村東半地ノ二團地ニ擇ビ乙種特別地區ヲ市ノ東郊砂町、小松川町及葛飾村、西半部ノ三團地ニ擇ビタリ、前者ハ著シク保安上危險ノ虞アル用途ニ供スル工場及貯藏所等ノ所在ニ充テ後者ハ著シク衞生上有害ノ虞アル用途ニ供スルモノノ所在ニ充テシテ、其ノ位置ハ共ニ市ノ中樞部ニ對シテ最遠隔シタル一團地ニシテ諸河川運河ノ利ヲ占メ、就中志村ノ如キハ其ノ地勢丘陵起伏多クシテ甲種地區ニ存在スベキ諸工業施設ノ配置ニ適スベシ。

地域ノ位置ノ選定ニ關スル如上ノ大體方針ハ地域制ノ原則ニ照シテ大過ナキヲ信ズト雖モ、之ヲ都市ノ實情ニ適應セシムルガ爲ニハ其ノ設定ニ尙幾多ノ工夫ヲ要スルモノアリ、即チ住居地域ニ就キテハ前記山ノ手一帶ノ外商業地域或ハ工業地域ノ中ニ介在スト雖モ土地開發ノ現狀又ハ將來ノ推定ガ之ヲ住居地域トシテ保留スルヲ以テ其居住者ノ安寧ヲ保護シ快適利便ヲ進ムルニ適スト思惟セラルル一團地ハ之ヲ此ノ地域ニ包含セリ、例之南方工業地域ニ接スル荏原郡山王臺ノ高地、築地明石町居留地ヨリ芝離宮ニ至ル一帶ノ河岸地淺草ニ於ケル寺院、墓地ノ集團地及隅田川ヲ狹ム、橋場及向島三園附近ノ住宅地ノ如キ之ナリ、商業地域ニ就キテハ前記下町一帶ノ外住居地域內ニ存在スル主要ナル街路ノ兩側一帶ノ建築物ノ敷地及既ニ局地的商業ノ中心ヲ爲ス小團地ハ之ヲ商業地域トシテ配在セシムルコトニ依リテ住居日常ノ利便享樂ニ備ヘ、且土地利用上實情ニ適セシムルモノナリ、工業地域ト雖モ特ニ主要ナル商業街路ニ付テハ亦斯クノ如クニシテ沿線商業ノ繁榮ヲ保護シ得ベシ。

市街地建築物法ニ依レバ其ノ適用地域內ニ地域トシテ指定セラレザル部分ヲ殘存シ得ベシ、之ヲ假ニ未指定地域ト名クレバ、此ノ地域ニ於テハ工場ニシテ法規ニ依リ工業地域ニ非ザレバ建築シ得ザル工場ノ外ハ凡テノ種類ノ建築物ノ存在スルヲ妨ゲザルモノナリ、即チ規模稍ゝ小ナル工場又ハ衞生上、保安上、危險有害ノ程度甚シカラザルモノハ此ノ地域ニ存在シ得ベキモノニシテ其ノ性質略ゝ歐米都市地域制ノ所謂輕工業地域ニ類似ス。都市內ノ既成部分ニ於テハ各種地域ノ間ニ此ノ未指定地域ヲ適宜配置スルコトニ依リテ都市ノ實情ニ順應スル場合ナキニアラズ、即チ小石川目白臺高地ノ南方ナル江戸川流域ノ如キハ現在既ニ中小工場ノ集團地ニシテシカモ土地低濕住宅地トシテ適當ニ非ズ、然レドモ此處ニ大工場ノ發出シテ煤煙、臭氣ヲ發散スルガ如キハ亦附近住宅地ノ忍ブ所ニ非ザルヲ以テ之ヲ未指定地域ニ保留スルハ地勢及現狀ニ適應スルモノアリト思考ス、又工業地域ト住居地域又ハ商業地域ノ接觸スル部分ニシテ現在商店、工場混合ノ狀態ヲ呈スル一帶ノ土地ハ之ヲ未指定地域ニ保留スルコトニ依リテ一ハ工業地域ノ及ボス影響ヲ緩和シ土地ノ現狀ニ適從スル所以ナリト思考ス、即チ本所深川兩區內隅田川東岸一帶ノ部分及日暮里町方面ノ一團地ハ此ノ意味ニ於テ未指定地域トセリ、又月島及芝區海岸ノ一帶ノ埋立地ノ如キハ土地ノ現狀既ニ大小工場ノ存スルヲ見ルモ常風ノ方向ハ背後ノ住居地域及商業地域ニ對スル不斷ノ脅威ナルノミナラズ、築港計畫未定ノ今日未ダ將來利用ノ豫測困難ナルモノアリ又既記南方工業地域ノ西北部ニ連續スル目黑川ノ流域ノ如キハ同川改修ノ計畫確定セル今日ニ於テハ地勢並現狀ニ徵スルモ之ニ沿フテ小工業發展ハ豫測シ得ルニ難カラズ共ニ之亦未指定地域トシテ保留スルヲ以テ妥當ナリト信ズ。

元來都市計畫上ニ於ケル地域ノ選定ハ都市計畫地域全部ニ對スル大體方針ヲ定メテ然ル後ニ始メテ其ノ一部タル市內及近郊ノ地域ノ合理的指定ハ行ハルベキモノナルコトハ勿論ナリ、故ニ今回指定セントスル地域ハ建築物法適用地域ニ限ルト雖其ノ選定ハ又同時ニ將來東京都市計畫地域全部ニ指定セラル可キ豫想的地域ノ位置ト相照應シテ配合的考慮ノ下ニ始メテ立案セラルベキモノタルヤ論ナシ、其ノ概略的豫定ハ即チ別圖ニ示スガ如クニシテ曩ニ記述セル東京ノ地理狀態ニ據ル大體方針ニ從ツテ住居地域及工業地域ヲ豫定セルモノニシテ商業地域ニ至リテハ將來土地發展ノ狀勢ト交通系統ノ確立ヲ待テ適當ニ之ヲ配置セントスルモノナリ。

次ニ各地域面積ノ分配ニ關シテハ前述ノ如クニシテ選定セラレタル各地域ノ面積ヲ比較スルニ概略左ノ如シ。

一、市街地建築物法適用地域即チ目下指定セントスル範圍ニ付テ見ルニ

地域別	面積	全面積ニ對スル百分比
住宅地域	約 二九、七〇〇、〇〇〇坪	四四・七

商業地域	約	九、六〇〇、〇〇〇坪	一四・五
工業地域	約	二四、八〇〇、〇〇〇坪	三七・三
未指定地域	約	二、三〇〇、〇〇〇坪	三・五
計	約	六六、四〇〇、〇〇〇坪	一〇〇・〇

二、都市計畫地域全部ニ對シテ概略豫定圖ニ付テ見ルニ

地域別		面積	全面積ニ對スル百分比
住宅地域	約	一〇六、八〇〇、〇〇〇坪	六七・〇
商業地域	約	九、六〇〇、〇〇〇坪	六・〇
工業地域	約	四〇、六〇〇、〇〇〇坪	二五・五
未指定地域	約	二、三〇〇、〇〇〇坪	一・五
計	約	一五九、三〇〇、〇〇〇坪	一〇〇・〇

（備考）前表ニ於テハ荒川放水路、中川、江戸川、隅田川及多摩川ノ河川敷地ノ面積ヲ除キタル部分ニ付キテ算出セルモノナリ、又第二表ニ於テ商業地域ノ面積過小ナルハ市街地建築物法適用地域外ニ於ケル部分ニ對シ地域豫想圖ニ商業地域ヲ指示セザルニ依ル。

之ヲ歐米都市ノ二三ノ事例ニ徵スルニ大略左ノ如シ。

	フランクフルトアムマトン	セントルイ	ニューヨーク	レツチウオースト田園都市	デカター
住宅地域	六三・〇	五七・〇	五一・〇	七八・〇	八六・〇
商業地域	三二・〇	一三・〇	一九・〇	八・〇	四・〇
工業地域	五・〇	三〇・〇	三〇・〇	一四・〇	一〇・〇

（備考）前表ニ於テフランクフルトアムマトンニ於テハ、混合地域ヲ商業地域トシ又組育及セントルイニ於テハ無制限地域ヲ工業地域トセリ、之各都市ノ規定ニ依リ地域性質ノ類似ニ依ルモノナリ。

斯クノ如クニシテ其ノ比率ノ區々タルハ都市ノ地勢又ハ產業ノ特徵等ノ異ルモノアルニ依ルモノアリト雖主トシテ其ノ地域制ノ規定スル建築制限ノ性質ニ基クモノニシテ單ニ本表ノ數字ヲ以テ比較スルハ當ヲ得ザルモノアリト雖吾邦ノ地域制ハ此ノ中ニ就キテハ稍〻セントルイ又ハニューヨークノ夫レニ近キモノトナスベシ。

吾邦地域制ノ建築制限ノ性質ハ頗ル寬容的ニシテ概言スレバ住宅ハ如何ナル地域ニ存在スルモ妨ゲズ、商店、事務所ノ如キモ亦然リ、唯工場ノ類ノミガ其ノ規模又ハ作業ノ性質ニ應ジ或ルモノハ工業地域ニ限ラルヽモ或ルモノハ未指定地域ニモ存在シ得可ク或ルモノハ更ニ商業地域ニモ存在シ得可ク家內工業ノ如キハ住居地域ト雖存在スルヲ妨ゲズ、故ニ各地域ハ事實上各種建築物ノ混合所在地タルニ於テ妨ゲズ此等ノ建築物ガ如何ナル比例ニ於テ各地域ヲ飽和スベキヤハ推測頗ル困難ニシテ從ツテ各地域ノ適確ナル所要面積ヲ算出スルガ如キハ到底不可能事ニ屬スト雖左ニ各種地域ニ於ケル建築物ノ用途ノ現況ヲ比較ノ標準トシテ概略各種地域面積ノ將來ニ於ケル包容力ヲ考察スルノ參考ニ供ス。

（參考）

各種地域ニ於ケル建築物充實狀態ニ關スル推定

曩ニ都市計畫地域設定ニ際シ大東京ノ規模ヲ豫定スルニ當リ從來ノ人口ノ增加ノ趨勢ヲ以テスレバ向後三十年ニテ略〻全區域內ニ豫定ノ密度ヲ以テ飽和スベキコトヲ推定セルガ故ニ玆ニ同ジク地域設定ニ於テモ約三十年ノ將來ヲ其ノ考察ノ目途トセムトス。

先ヅ工業地域ニ付テ考察スルニ我邦工場統計ノ稍〻整備セル工場法施行以來ニ於ケル同法適用工場數增加ハ頗ル急激ナルモノアリト雖之大戰以後工業勃興時代ノ現象ナルヲ以テ之ヲ明治三十七年以來一般工場增加ノ趨勢ニ照應觀察スレバ別表ノ如クニシテ統計正確ヲ保シ難シト雖其大勢ヲ推定スルニ足ルモノアリ、即チ過去十八年間ニ增加セル平均數ヲ以テ今後モ等シク增加スルモノト假定スレバ大正十四年ニ於テ工場法適用工場數ハ約一〇、〇〇〇ニ達スベシ、而シテ其ノ內建築物法ニ依ル職工數及動力ノ制限ヨリ工業地域ニ非ザレバ建築シ得ザル大工場數（施行令第三條第一項參照）ハ其ノ內約十五%ニシテ其數地面積ノ平均約三千坪ナリ、將來ニ於テモ斯クノ如キ比率ヲ有スルモノトセバ大正十四年ニ於テハ其ノ數約一、五〇〇ニ達シ又其數地ノ平均面積現在ノ如シト假定セバ大工場數地面積ノ總計ハ約四、五〇〇、〇〇〇坪ヲ要ス、之將來工業地域ニ必ズ包容スベキ大工場ニ就キテノ推測ナリ、然レドモ我邦地域制ノ規定ニ於テ工業地域ハ事實上ノ無制限地域ナルコト前記ノ如ク此ノ他ニ中小工場及住宅商店等如何ナル種類ノ建築物ヲ含有スルモ妨ゲナキヲ以テ將來吾工業地域ガ如何ナル程度迄大工場ヲ以テ飽和スベキカハ猶將來ニ於ケル產業組織ノ變化及水陸運輸等工業地トシテ必要ナル各種施設ノ充實スルト否トニ因リテ支配セラルベキモ假ニ此ノ種ノ大工場ガ工業地域內總面積ノ一割ヲ占有シテ其飽和ノ域ニ到達スルモノトセバ全工業地域ノ所要面積約四五、〇〇〇、〇〇〇坪トナリ稍〻吾人ノ豫定セル工業地域全面積ノ廣サニ類似スルヲ知ル、因ニ記ス、現今東京市及其ノ近郊ニ於ケル工業地ノ一般工場數地總面積ト其ノ市町村ノ全面積ノ比例ノ多キモノハ大島町、南千住町、龜戶町、大井町、吾嬬町、王子町、寺島町、京橋區、品川町、本所區、大崎町等ニシテ何レモ一割乃至二割ニ達ス。

猶工業地域內特別地域ニ非ザレバ建築シ得ザル工場ニ付キテ考察スルニ現在東京府下ニ於テ甲種特別地區ニ限定セラルヽモノハ其ノ數七十二、其ノ數地面積ノ總計六〇、〇〇〇坪、乙種ノ夫レハ其ノ數二百三十四、其ノ地域面積ノ總計ハ二九〇、〇〇〇坪ニシテ過去ニ於ケル增加ノ趨勢ニ就テハ的確ナル統計ナク是ガ將來ニ於ケル發展ノ豫想ノ如キハ極メテ難事ニ屬スト雖之ヲ既記適用工場ノ例ニ徵シ又二三特種工場ノ事例ニ照應シ將來ニ於ケル其ノ員數竝數地面積總計ハ約現在ノ二倍乃至三倍ニ達スルモノト看做スモ大過ナカルベシ、之ヲ指定地區全面積ト比較對照スルニ凡ソ左ノ如シ。

		全面積	利用面積（全面積ノ二分ノ一假定ス）	豫想工場數地面積總計（甲種ハ現在ノ三倍、乙種ハ二倍ト假定ス）	利用面積ト豫想工場數地面積合計トノ比較（百分比）
甲種特別地區	約	四、七三〇、〇〇〇坪	二、三六〇、〇〇〇坪	一八〇、〇〇〇坪	七・六
乙種特別地區	約	三、三三〇、〇〇〇坪	一、六三〇、〇〇〇坪	三六〇、〇〇〇坪	三二・六

次ニ商業地域ニ付テハ其ノ比較ノ標準ト爲スベキ建築物ノ用途多種ニ亘リシカモ其ノ主體タルベキ商店ハ住宅ト兼用セラルヽモノ多クシテ今後三十年ノ將來ニ於テモ各地建築物用途ノ間ニ截然タル區別ヲ附スルガ如キハ豫想シ得ズ。

從ツテ商業地域面積ノ將來ノ包容力ヲ推定スベキ標準ノ選定ハ困難ナルヲ以テ竝ニ各種地域ニ對人口竝住宅ノ包容力ヲ推算シテ以テ商業地域住宅地域ノ規模ヲ考察シ併セテ工業地域未指定地域ニ於ケル人口竝住宅分布ノ狀況ト其ノ包容ニ付テ考察セムトス。

曩ニ都市計畫區域設定ニ際シ區域內ニ於ケル包容人口ノ算定ニ於テ其ノ飽和密度ヲ市內ハ一人當リ十坪近郊ハ二十坪外郊ハ四十坪ト豫定シタリ、今此處ニ各種用途地域設定ヲ見ルモ斯カル密度ノ求心的差異ニ就テハ大體異動ナカルベキヲ推測スルモ唯各種地域別ニ據リ多少密度ノ差異ヲ見ルベキハ又當然ナリ、今假ニ市內ニ於テ商業地域ノ人口飽和密度ヲ八坪トシ（現在ノ神田、日本橋、京橋、芝、下谷、淺草ノ六區平均一人當リ約八坪四合ナリ）工業地域ノ密度ヲ十坪トシ（現在ノ本所、深川兩區ノ平均一人當リ九坪九合ナリ）未指定ノ部分モ之ニ準スルモノトセバ市內ニ於ケル住居地域ノ飽和密度ハ市內全部ノ人口飽和ノ域ニ達セル時ノ豫想總數約二、四七〇、〇〇〇ナル推定ニ基ケバ一人當リ約十坪九合トナル現在ノ東京市十五區ノ內前記八區及皇城濠渠ノ面積其ノ大部分ヲ占ムル麹町區ヲ除ケル殘餘六區ノ現在平均密度ハ三坪五合ナリ、又近郊ニ於テハ其ノ商業地域ノ人口飽和密度ヲ其ノ將來ノ發展ヲ豫想シテ市內同樣一人當リ十八坪トシ工業地域竝未指定ノ部分ハ之ヲ龜戶町、品川町等ノ現在密度ニ徵シテ二十坪ト假定セバ近郊ニ於ケル住居地域ノ密度ハ近郊全部ノ人口飽和ノ域ニ達セル時ノ豫想總數約一、九五〇、〇〇〇ナル推算ニ基ケバ一人當リ約二十二坪八合トナル之現在ノ赤坂區大久保町、澁谷町等ノ密度ニ近似ス、又外郊ニ於テハ既記ノ如ク住居地域、商業地域ノ概略方針ヲ豫定スルニ止リ商業地域ノ豫定ハ暫ク之ヲ將來ニ保留セルヲ以テ之ガ人口飽和ノ域ニ達セル時ノ各種地域ノ平均密度ノ豫測ノ如キハ尙早ニ失スト雖住居地域竝工業地域モ一人當リ約四十坪內外ニアルベシ之ヲ現狀ニ徵スレバ淀野川町、吾嬬町等ノ夫レニ近キモノト推定スルコトヲ得次ニ地域設定後ニ於ケル各種地域別住宅分布ノ豫想ヲ試ミムニ東京ニ於ケル住宅ニ關スル調査統計ヲ檢スルニ猶未ダ住宅抑底ノ辭少カリシ大正三年ニ於ケル、東京市內住宅延坪ハ人口一人當リ三・四四坪ニシテ之ガ地域別

ノ差異ハ其ノ推定困難ナリト雖之ヲ大正九年ノ現狀ニ於ケル麹町、芝、麻布、赤坂四谷、牛込、小石川、本郷ノ八區ノ一人當リ住宅延坪ト他ノ七區ノ夫レトノ比較ニ準據シテ住宅延坪平均ヲ四坪トシ其ノ他ノ地域ノ住宅延坪平均ヲ三坪ト看做スモ大過ナカル可シ、此ノ標準ヲ以テスレバ都市計畫區域內地域設定後ニ於ケル各種地域ニ付テノ住宅延坪總計ト土地全面積トノ比率戶數總計ノ豫想凡ソ左表ノ如シ。

註　全面積ト稱スルハ荒川放水路、中川、江戶川、隅田川及多摩川ノ面積ヲ控除シタルモノナリ。

		全面積	飽和人口	住宅總延坪	全面積ニ對スル住宅延坪ノ百分比	豫想戶數總計（一戶當リ五人）
市內	住宅地域	一三、六三〇、〇〇〇坪	一、一六〇、〇〇〇人	四、六三〇、〇〇〇坪	三六・七坪	三三一、〇〇〇戶
〃	商業地域	六、五四〇、〇〇〇	八三〇、〇〇〇	二、四三〇、〇〇〇	三七・五	一六四、〇〇〇
〃	工業地域	三、四八〇、〇〇〇	三三〇、〇〇〇	一、〇三〇、〇〇〇	三〇・〇	七〇、〇〇〇
〃	未指定地域	一、四六〇、〇〇〇	一四〇、〇〇〇	四四〇、〇〇〇	三〇・〇	二九、〇〇〇
	計	二四、一〇〇、〇〇〇	二、四三〇、〇〇〇	八、五四〇、〇〇〇	—	四九四、〇〇〇
住居	地域	一七、一一〇、〇〇〇	七三〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	一七・五	一五〇、〇〇〇
近郊	商業地域	三、〇九〇、〇〇〇	三九〇、〇〇〇	一、一八〇、〇〇〇	三七・五	七七、〇〇〇
〃	工業地域	一五、三七〇、〇〇〇	七九〇、〇〇〇	二、三一〇、〇〇〇	一五・〇	一五四、〇〇〇
〃	未指定地域	八九〇、〇〇〇	四〇、〇〇〇	一四〇、〇〇〇	一五・〇	九、〇〇〇
	計	三六、四六〇、〇〇〇	一、九九〇、〇〇〇	六、六〇〇、〇〇〇		三九〇、〇〇〇

別表　東京ニ於ケル工場法適用工場數累年比較

年次	第一	第二		第三
明治三七	五一二	—	△	八八六
〃 三八	六二〇	—	△	一、〇七三
〃 三九	六三〇	—	△	一、〇九〇
〃 四〇	六二四	—	△	一、〇七九
〃 四一	七〇三	—	△	一、二一六
〃 四二	七六一	—	△	一、三一七
明治四三	八一六	—	△	一、四一二
〃 四四	九五一	—	△	一、六四五
大正一	一、〇九一	—	△	一、八八七
〃 二	一、〇四二	—	△	一、八〇三
〃 三	一、〇七四	—	△	一、八五八
〃 四	一、一九一	—	△	二、〇六〇
〃 五	一、五一二	二、六二〇		二、六二〇
〃 六	—	二、七六四		二、七六〇
〃 七	—	三、〇六四		三、〇六四
〃 八	—	三、六八二		三、六八二
〃 九	—	三、六四三		三、六四三
〃 一〇	—	四、三〇九		四、三〇九
四〇			△	一、〇三四〇

摘要

工場法ノ適用ハ大正五年ヲ以テ開始セラレタルモノニシテ上表第二ハ農商務省工場監督年表ニ依ル工場法適用工場東京府所在總數ナリ、第一ハ工場法適用以前ノ工場數ニシテ工場ノ性質工場法適用工場ニ該當スルモノニアラザルモ參視應統計書ニ依ルモノニシテ工場法適用以前ニ東京府下工場數累年增加ノ趨勢ヲ示スモノト見ルコトヲ得、第三ハ第一及第二ヲ大正五年ニ於ケル比較ニ照應換算シテ工場法適用以前ニ於ケル同法適用工場ノ推定ヲ試ミタルモノナリ、第三ニ於ケル△印ハ實數ニ非ザルハ勿論ナリ。

第三ノ最後ニ掲ゲタル四十年ノ數字ハ第三ノ累年工場數ヲ基本トシ其ノ累年增加數ヲ平均シタルモノニヨリ將來ノ總數ヲ算出セル結果ナリ。

因ニ東京府下工場法適用工場總數東京都市計畫區域內工場法適用工場數トノ比較ハ一・〇〇對〇・九八ニ等シ其ノ大部分ハ計畫區域內ニ存スルモノト看做スコトヲ得。

〔參考〕都市計畫東京地方委員會東京都市計畫地域制議決經過

東京都市計畫住居商業工業地域指定ハ、大正九年三月二十六日第一回都市計畫東京地方委員會ニ於テ、指制委員ヲ設け、東京都市計畫區域と併せて關係職員をして調査立案せしめたるものにして、之が委員は、

和田豐治（中途辭任）、內田祥三、杉原榮三郎、磯村豐太郎、農商務省商務局長岡本英太郎（中途退任）、同鶴見左吉雄、內務大臣官房計畫課長池田宏（中途退任）、內務省都市計畫課長山縣次郎（中途退任）、同長岡隆一郎、警視廳保安部長蕉谷巖、同笹井幸一郎、東京市長子爵後藤新平（中途退任）、同永田秀次郎、東京府會議員中島守利、同森田節、東京市會議員早川庄太郎、同近藤達兒、同戶倉嘉市、同吉田勘右衞門。

なり、委員は大正九年四月十三日來二十數回の會議を開き、其間實地踏査其他の調査を爲し、或は關係當局の意見を徵し、審議して大正十二年六月九日之を東京地方委員會に報告し、地方委員會內務大臣に具申し、其採用する所となりて同年七月二十七日の東京地方委員會に付議せらる、八月一日常務委員會の內議に付し、十日東京地方委員會の議定を經、決定並に內閣の認可を受くる手續中九月一日の震災に遭遇したり。

直木長官の說明あり、東京及接續町村に於ける住居地域商業地域工業地域の分配案は、嚮に東京都市計畫委員會に於て、大正九年より、十二年六月に至り二十四回の會議を重ねて審議議定し、內閣に認可申請中、震災に遭ひて其儘と爲りたるもの、特別都市計畫委員會各種問題議決の結果、燒跡の部分に多少の變更を加へたるもの即ち本案なるを述べ、變更の重なるものを擧げて、京橋區築地の住居地域を縮めて中央卸賣市場新設地附近を商業地域に入れ、下谷淺草方面に道路の關係上住居地域を增し、江東に在りても新設公園に沿へる地に住居地域を取り、更に街路に伴ふ商業地域か住居地域工業地域を貫ける場所に多少の變更を見たりと爲す、斯くて議は委員付託に決し、會長より委員十一名、男爵斯波忠三郎、太田政弘、近藤達兒、宇佐美勝夫、朝倉虎治郎、小島七郎、中村是公、直木倫太郎、佐野利器、長岡隆一郎を指名す。

日程第二

議第二十六號

大正十三年三月十一日內閣認可東京都市計畫竝都市計畫事業及其ノ執行年割中變更ノ件（幹線二十八號路線外五線關係）

官計發第二一一號　　特別都市計畫委員會

大正十三年三月十一日內閣認可東京都市計畫竝都市計畫事業及其ノ執行年割中左ノ通變更セムトス。

右都市計畫法第三條ノ規定ニ依リ其ノ會ノ審議ニ付ス。

大正十三年十一月十七日　　內務大臣　若槻禮次郎

大正十三年三月十一日內閣認可東京都市計畫竝都市計畫事業及其ノ執行年割中左ノ通變更ス。

街路ノ部

幹線

第二十八號路線ヲ左ノ通改ム補助線

番號	路線（起終點及經過地）	延長（約）	幅員
二八	濱町三丁目ヨリ中洲町東扇橋町ヲ經テ砂町ニ至ル	三、九八米	二二米

補助線

第三號路線、第三十六號路線第四十五號路線、第七十八號路線及第七十九號路線ヲ左ノ通改ム。

番號	路線（起終點及經過地）	延長（約）	幅員
三	靈岸町ヨリ石島町ヲ經テ砂町ニ至ル	二、一三五米	一一米
三六	花川戶町ヨリ淺草區田町二丁目ニ至ル	一、三五六	二二
四五	東扇橋町ヨリ砂町八右衞門新田ニ至ル	七四三	一五
七八	象潟町地內	三一七	一一
七九	淺草區田町一丁目ヨリ今戶町ニ至ル	五〇四	一五

說明

一、幹線第二十八號路線ハ深川區海邊町及砂町地內ニ於テ境川ヲ埋立テ右埋立

地上ニ路線ノ一部ヲ移サムトスルモノニシテ延長九十一米ヲ短縮ス。

二、補助線第三號路線ハ前項路線ノ位置變更ニ伴ヒ終點位置ヲ變更スルモノニシテ延長五十六米ヲ短縮ス。

三、補助線第三十六號路線ノ終點附近ハ淺草區田町一丁目ヨリ同二丁目迄直線ニ施設スルノ計畫ナリシモ之カ經過地ヲ變更シ大正十年度淺草區大火後ニ於テ施行シタル區劃整理路線ヲ利用シ且日本堤ニ沿フコトニ變更セムトスルモノニシテ延長四十二米ニ增加ス。

四、補助線第四十五號路線ハ幹線第二十八號路線横十間川東側ヨリ分岐スル計畫ナリシモ右二十八號路線ノ變更ニ伴ヒ起點位置ヲ變更セムトスルモノニシテ延長二百十六米ヲ增加ス。

五、補助線第七十八號路線及第七十九號路線ハ補助線第三十六號路線ノ變更竝區劃整理施行ノ關係上各路線ノ田町及千束町地内ノ部分ヲ廢止セムトスルモノニシテ、第七十八號路線ハ延長百五十六米ヲ減シ第七十九號路線ハ延長三百二十九米ヲ減ス。

直木長官說明し、異議なく可決す。

日程第三、

議第二十七號

東京都市計畫東京市下水道變更ノ件

官計發第一九四號

特別都市計畫委員會

東京都市計畫東京市下水道左ノ通變更セムトス。

右都市計畫法第三條ノ規定ニ依リ其ノ會ノ審議ニ付ス。

大正十三年十一月二十一日　内務大臣　若槻禮次郎

東京都市計畫東京市下水道設計左ノ通改ム。

東京都市計畫東京市下水道。

第一　下水排除區域ハ東京市區域内トス、但シ地勢ノ關係ニヨリ雨水汚水ノ市内ニ流入スル隣接町村一部ノ下水ハ之ヲ收容スル計畫トス。

第二　下水排除量ハ汚水量ハ全市人口ヲ三百萬ト豫想シ一人當リ一日平均六立方尺ノ率量ヲ八時間内ニ排泄スルモノトシ、雨水量ハ一時間最大降雨量ヲ五十粍トシテ之ヲ定ム。

第三　下水排除方法ハ主トシテ合流法ニ依リ雨勢ニ應シ之ヲ各別ノ管渠ニ依リ排除スル分流法ヲ併用ス而シテ高地區ノ下水ハ自然流下ニ依リ低地區ノ下水ハ喞筒ヲ用ヒ之ヲ排出ス。

第四　下水處分ニ付テハ雨水ハ適所ニ雨水吐ヲ設ケ河川濠池等ニ放流スル汚水ハ凡テ之ヲ處分場ニ導キ處理シタル後品川灣隅田川及中川沖ニ排出ス、但シ合流法ニ依ル地域ニ在リテハ最大汚水量ニ達スル迄ノ雨水ハ汚水ト共ニ之ヲ處理ス。

第五　下水管渠ノ構造ニ付テハ雨水渠雨水吐等特殊ノ場合ノ外總テ暗渠式トシ排水量ノ多少ニ應シ陶管鐵筋混凝土管竝ニ鐵筋混凝土暗渠ノ三種ヲ併用ス。

第六　地勢ニ依リ全市排除區域ヲ第一第二第三ノ三大區ニ分チ、第一區ハ更ニ高段中段低段ノ三區ニ分割ス。

各區ノ面積下水道配布ノ延長及設備ノ大要左ノ如シ但シ實際工事ノ情況ニ依リ多少變更ヲ見ルコトアルヘシ。

第一區

イ　高段

區　域　麻布赤坂ノ全部麹町芝四谷ノ一部

面　積　約四百四拾參萬七千坪

下水道延長　約拾壹萬七千壹百間

ロ　中段

區　域　本郷ノ大部、小石川、牛込、四谷、麹町、神田、下谷、芝ノ一部

面　積　約六百七拾九萬參千坪

下水道延長　約貳拾四萬參千間

ハ　低段

區　域　日本橋、京橋（月島ヲ除ク）ノ全部神田麹町ノ一部竝ニ江戸川沿岸

面　積　約參百貳拾五萬六千坪

下水道延長　約拾參萬參千六百間

ニ　錢瓶町喞筒場

位　置　麹町區錢瓶町

面　積　約四千百五拾坪

ホ　芝浦喞筒場

位　置　芝浦第四號埋立地先

面　積　約五千四百六拾坪

第一區汚水處分場完成ニ至ル迄芝浦喞筒場ニ吐口竝ニ一時的假處分施設ヲ附設ス。

ヘ　芝浦羽田間汚水幹線　芝浦喞筒場ヨリ鮫洲地先迄埋立地經由鮫洲以南海面ヲ埋立テ埋築ス。

延　長　約五千八百間

ト　第一區汚水處分場

位　置　六郷川口

面　積　約拾萬坪

主要設備　沈砂池、喞筒場、沈澱池、消毒設備等

第二區

イ

區　域　淺草ノ全部及下谷神田本郷ノ一部

面　積　約貳百四拾九萬五千坪

下水道延長　約九萬八千間

ロ　和泉町喞筒場

位　置　神田區和泉町

面　積　約百四拾坪

ハ　田町喞筒場

位　置　淺草區田町

面　積　約九百五拾坪

ニ　第二區汚水處分場

位　置　三河島町

面　積　約五萬九千坪

主要設備　沈砂池、喞筒場、沈澱池、細菌床等

第三區

イ

區　域　本所深川ノ全部京橋ノ内月島

面　積　約參百七拾八萬七千坪

下水道延長　約拾貳萬參百間

ロ　業平橋喞筒場

位　置　本所區業平橋附近

面　積　貳千坪

ハ　三ノ橋喞筒場

位　置　本所區三ノ橋附近

面　積　約千九百坪

ニ　木場喞筒場

位　置　深川區末廣橋附近

面　積　約參千九百坪

ホ　月島喞筒場

位　置　初見橋附近

面　積　約貳百九拾坪

ヘ　木場砂町間汚水幹線　二十間川竝砂町運河ノ南岸ニ沿ヒテ東シ砂町八幡社北ヨリ南折處分場ニ入ル。

延　長　約貳千五百四拾間

ト　第三汚水處分場

位　置　荒川放水路口

面　積　約七萬五千坪

主要設備　沈砂地、沈澱池、喞筒場、消毒設備等（圖面表示）

之に對する直木長官の說明に言ふ、東京市の下水道事業は、明治四

十年設計を定めて執行中に係ると雖、都市發展のため排水路流域等擴まり、幹支線分配の仕方、其系統は將た下水處分方法等、更に攻究を要するものを生じ、大正十、十一兩年東京市に於て專門委員を囑託して臨時下水道調査會を設け、十二年三月調査を了したるもの、玆に提案する所にして、當初計畫修正の眼目は、接續町村の下水道に連絡を取るに在りて、種々變更の點あり、就中芝浦附近の汚水處分工場を東京築港の考慮等より六郷川口羽田附近に轉じ、芝浦は一時それまでの假處分工場となし、自然流下法に依り汚水を砂町に導き喞筒を以て川に放流する筈なりし本所深川の設計を改め、三喞筒工場を置き、人工を以て之を荒川新放水路に排出する事としたるが如き、共最も重なるものなりと、一二質問あり、異議なく原案を可決す。

日程第四、

議第二十八號

東京都市計畫東京市下水道事業及其ノ執行年割決定ノ件

官計發第二〇五號

東京都市計畫東京市下水道事業及其ノ執行年割左ノ通決定セムトス

大正十三年十一月二十一日　内務大臣　若槻禮次郎

特別都市計畫委員會

右都市計畫法第三條ノ規定ニ依リ共ノ會ノ審議ニ付ス。

第一　東京都市計畫東京市下水道ハ、之ヲ都市計畫事業ト爲ス。

第二　前項事業中第二期事業殘工事及震災ニ因ル燒失區域中神田區ニ屬スル幹線ノ全部同枝線ノ一部麴町區芝區ニ屬スル高段幹線ノ全部、本所深川兩區ニ屬スル喞筒場、處分場、幹枝線ノ内排水上必要ナル其礎工事ハ、復興事業トシテ大正十三年度ヨリ大正十七年度迄五箇年度ニ繼續執行スルモノトシ、其ノ年割左ノ通定ム。

大正十三年度	約二割	大正十四年度　約二割
大正十五年度	約二割	大正十六年度　約二割
大正十七年度	約二割	

第三　東京都市計畫下水道第二期事業既定執行年割ハ大正十二年度ヲ以テ打切ルモノトス。

説明

東京都市計畫東京市下水道中排水區割第二區（淺草ノ全部下谷神田本郷ノ一部）ノ大部ハ第一期事業トシテ明治四十四年度ヨリ大正十二年度ニ至ル十三ケ年度ニ（今回一ケ年延長シテ大正十三年度ニ於テ完成スルモノトス）繼續執行シ、第一區（芝、麻布、赤坂、麴町、四谷、牛込、小石川、日本橋ノ八區及本郷、神田、京橋ノ大部下谷ノ一部）中低段ニ屬スル日本橋區、京橋區、麴町區丸ノ内ノ一部、中段ニ屬スル芝區ノ一部ハ第二期事業トシテ大正九年度ヨリ大正十六年度ニ至ル八ケ年度ニ繼續執行シ（但大正十三年度以降ノ分ハ復興事業トシテ執行スルコトトシタリ）又芝、赤坂、四谷、牛込、下谷ノ各區ニ亘ル一部下水渠ヲ速成工事トシテ大正六年度ヨリ大正九年度ニ至ル四ケ年度ニ繼續執行シタリ、而シテ今回復興事業トシテ執行セムトスレハ前記第一期及第二期事業トシテ施行シタル區域ヲ除キタル區域内ニ於テ既定第二期事業ノ殘工事及震災ニ因ル燒失區域中神田ニ屬スル幹線ノ全部、同枝線ノ一部、麴町區芝區ニ屬スル高段幹線全部、本所區深川區ニ屬スル喞筒場處分場幹枝線ノ内排水上必要ナル其礎工事ヲ大正十三年度ヨリ大正十七年度ニ至ル五ケ年度ニ繼續執行スルモノナリ。

東京市下水道復興事業（自大正十三年度至大正十七年度）一覽表

排水區割別	工事種別	事務費	工事費	機械器具並雜費	豫備費	計
		円	円	円	円	円
第一區 中段及低段（既定第二期事業殘工事）	下水幹線	四一、七四〇	二、八五〇、一五七			二、八九一、八九七
	同　枝線	四九八、八六〇	八、三二一、六九七	五〇〇、〇〇〇		一、三二九、〇〇〇
	錢瓶町喞筒場					一、五〇〇、〇〇〇
	芝浦喞筒場					
第一區 高段	下水幹線	三五、八四一	一、〇四八、〇四〇			一、〇八四、八八一
	同	二〇、一三一	一、二二二、七四四			一、二四二、八七五
第一區 中段	同　枝線	一九、七〇五	二三三、三三六			二三三、三三六
	同　幹線	一〇、一八七	二七七、一八五			二七七、一八五
第一區 低段	同　枝線	六三、一三八	一、〇〇七、八一五			一、〇〇七、八一五
	同　幹線	三五、三〇一	三、六九八、三一四			三、六九八、三一四
	同　枝線	一八、三六三	六、六〇四、六七六			六、六〇四、六七六
第三區	砂町汚水處分場		二、六三三、〇〇〇			二、六三三、〇〇〇
	業平橋喞筒場		一、四〇〇、〇〇〇			一、四〇〇、〇〇〇
	三ノ橋喞筒場		一、五四〇、〇〇〇			一、五四〇、〇〇〇
	木場喞筒場					
計		二、三一九、二九六	三七、三三三、八五四	一、九五〇、〇〇〇	五二三、〇〇〇	四〇、七八七、一二五

東京市下水道復興事業費（自大正十三年度至大正十七年度）一覽表

種目	總費額	年度	大正十三年度	大正十四年度	大正十五年度	大正十六年度	大正十七年度
	円		円	円	円	円	円
第二期事業殘工事費	一四、二六一、八五四		三、三三三、八五四	三、〇三三、〇〇〇	三、〇三三、〇〇〇	三、〇三三、〇〇〇	一、三三〇、〇〇〇
第一區工事費	四、四九九、〇〇〇		九〇〇、〇〇〇	九〇〇、〇〇〇	九〇〇、〇〇〇	九〇〇、〇〇〇	八九九、〇〇〇
第三區工事費	一八、四三三、〇〇〇		二、九九八、〇〇〇	三、七〇〇、〇〇〇	三、七〇〇、〇〇〇	三、七〇〇、〇〇〇	三、三三三、〇〇〇
第二篇　善後措置　第二章　各紀							一二二五

事務費	二、三二九、三五九	四八、〇五九	四五七、八〇〇	四五七、八〇〇
機械器具並雜工費	一、八四〇、〇〇〇	八五〇、〇〇〇	六五〇、〇〇〇	一八〇、〇〇〇
雇傭費	三二、〇〇〇	二二、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇
計	四、〇一六、二三	八、四一六、二三	八、四〇〇、〇〇〇	八、四〇〇、〇〇〇
年割	一〇、〇	二、〇	二、〇	二、〇

備考

下水道事業費中復興豫算（自大正十二年度繼續費至大正十七年度繼續費）トシテ計上セラレタルハ災害復舊事業費三八二、五〇〇圓、第二區第一期事業費ハ明治四十四年三月二十八日東京市區改正委業費四二、八九五・五〇〇圓ニシテ、總計四三、五〇〇・〇〇〇圓ナリ。

以上ノ内災害復舊事業費ハ大正十三年三月二十八日特別都市計畫委員會ノ議決ヲ經タル該工事費ノ大正十三年度分ニ各充當シタリ。

復興事業費四二、八九五・五〇〇圓ノ内八七九・三八七圓ハ、既定第二期事業費ノ大正十二年度分ニ充當シ、其殘額即チ大正十三年度以降ノ分四二、〇一六、一三圓ニ付今回提案シタル執行年割ヲ算出シタリ。

即ち前議案下水道變更設計の執行年割を決定せんとするものたり。東京市下水道事業は、第一期工事に屬する第二區即ち下谷淺草の作業を略了りて、第二期工事に屬する第一區中日本橋區京橋區及丸ノ内一部芝方面を作業するに際し、震災に逢ひたるものにして、乃ち第二期工事全部、麹町芝殘工事、本所深川の一部工事を合せて、復興事業に移し、大正十三年度より十七年度に至る五箇年繼續の事業とし、市の第二期下水道事業は、大正十三年度を以て打切らんがため、こゝに本案の提出を見たるものとす、直木長官の説明後、異議なく原案を可決したり。

日程第五、

議第二十九號

東京都市計畫事業東京市下水道設計第二區工事執行年限延長及年度割變更の件

官計發第一五四號

特別都市計畫委員會

東京市計畫事業東京市下水道設計第二區工事執行年限延長及年度割變更ノ件左ノ通決定セムトス。

右都市計畫法第三條ノ規定ニ依リ其ノ會ノ審議ニ付ス。

大正十三年八月二十一日　内務大臣　若槻禮次郎

東京都市計畫事業東京市下水道設計第二區工事ハ明治四十四年度ヨリ大正十三年度ニ至ル十四年度ニ繼續執行スルコトニ更メ、大正十三年度ノ年度割ヲ左ノ通定ム。

大正十三年度　約一分五厘

説明

東京都市計畫事業東京市下水道第二區（淺草ノ大部下谷神田ノ一部）工事ハ明治四十四年度ヨリ大正十二年度迄十三ケ年度繼續事業トシテ執行中ノ處大正十二年度施行豫定ナリシ淺草區燒失跡下水管渠埋設工事並三河島汚水處分場事務所及附屬建物建設工事ハ這般ノ震災ニ因リ一時中止シ且材料勞力ノ供給困難ナリシ爲之ヲ施行シ得サリシヲ以テ大正十三年度ニ繰延施行スルコトトシ依テ年割ヲ變更セムトスルモノナリ。

（參照）

下水道第二區工事執行年割更正表

年度	既定工費	既定年割	更正工費	更正年割
自明治四十四年度至大正十一年度	一四、六二九、五八九、三二九圓	一・六圓	一四、五三〇、八〇九、三六九圓	一・七九圓
大正十二年度	三三〇、四一〇、九二一	一・二四	九一、七三三、〇〇〇	〇・〇六
大正十三年度	—	—	三三三、〇〇〇、〇〇〇	一・三五
計	一五、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	一・〇〇	一四、八六四、五六二、五八九	一・〇〇

即ち大正十二年竣成豫定なりし下谷淺草第二區工事震災に依り約一分五厘殘りたる爲め、之を十三年度に繰延べんとするものたり、直木長官説明し、異議なく可決す。

日程第六、

議第三十號

横濱都市計畫公園ノ新設及其ノ事業執行年割決定ノ件

官計發第二一五號

特別都市計畫委員會

横濱都市計畫公園ノ新設及其ノ事業執行年割左ノ通決定セムトス。

右都市計畫法第三條ノ規定ニ依リ其ノ會ノ審議ニ付ス。

大正十三年十一月六日　内務大臣　若槻禮次郎

第一　横濱都市計畫公園新設ノ件左ノ通定ム。

番號	名稱	位置	面積
一	山下公園	山下町及山下町地先海面ノ内	二二、〇〇〇坪
二	野毛山公園	西戸部町、老松町及南太田町ノ内	二二、〇〇〇
三	神奈川公園	青木町ノ内	四、〇〇〇

第二、前項ノ計畫ハ都市計畫事業トシテ大正十三年度ヨリ大正十七年度迄五箇年度ニ繼續執行スルモノトシ、其ノ年割左ノ通定ム。

公園新設事業執行年割

大正十三年度	約八分七厘	
大正十四年度	約八分一厘	
大正十五年度	約八分四厘	
大正十六年度	約二割四分五厘	
大正十七年度	約五割三厘	

説明

山下公園

横濱市山下町海岸通ハ從來内外人唯一ノ散歩道トシテ利用セラレ、又地先海面ハ水深比較的淺ク且震災後燒土塵場トシテ許可セラレタルニ因リ約貳萬坪ノ埋立地ヲ生シタルニ因リ現存官有地ト併セテ之ヲ臨海公園タラシムル目的ヲ以テシ面積約貳萬貳千坪ヲ選定シタリ。

野毛山公園

横濱市水道野毛山貯水池ハ從來市内ノ一部給水用ニ充當セラレタルモノナレトモ震災ニ因リ破壞甚シク其ノ大半ハ使用ニ堪ヘサルニ至レルヲ以テ隣接民有地ヲ合シ新ニ公園ヲ設定セムトシ面積約貳萬貳千坪ヲ選定シタリ。

神奈川公園

横濱市青木町地内ニ在ル區有水面ハ水深淺ク且水路トシテモ利用皆無ナルヲ以テ從來屢々埋立ノ議アリシ箇所ナリ、横濱市發展ノ狀況ニ鑑ミ神奈川方面ニ相當面積ヲ有スル公園ヲ設定スルノ必要ヲ認メ前記區有水面ノ一部ト附近民有地ヲ合シ新ニ公園ヲ設立セムトシ面積約四千坪ヲ選定シタリ。

直木長官の説明後、渡邊委員（勝三郎）の動議に基き、九名の特別委員に付託す。

日程第七、

議第三十一號

横濱都市計畫運河ノ改修及其ノ事業執行年割左ノ通決定セムトス。

官計發第二一〇號

特別都市計畫委員會

横濱都市計畫運河ノ改修及其ノ事業執行年割左ノ通決定セムトス。

右都市計畫法第三條ノ規定ニ依リ其ノ會ノ審議ニ付ス。

大正十三年十一月十日　内務大臣　若槻禮次郎

第一　横濱都市計畫運河改修ノ件左ノ通定ム。

番號	名稱	區域	延長(約)	幅員	深度(零點下)
一	大岡川	南吉田町南七ツ目地先中村川ヨリ北仲通六丁目地先ニ至ル	二・六九米	二七乃至六九米	一・五米
二	帷子川	久保町市郡境界ヨリ表高島町地先ニ至ル	二・一五	二七乃至三六	一・五

第二、前項ノ計畫ハ都市計畫事業トシテ大正十三年度ヨリ大正十七年度迄五箇年度ニ繼續執行スルモノトシ、其ノ年割左ノ通定ム。

運河改修事業執行年割

大正十三年度	約一割八分二厘
大正十四年度	約一割七分
大正十五年度	約二割二分
大正十六年度	約二割一分六厘
大正十七年度	約二割一分二厘

第三、前項ノ事業ノ一部ハ其ノ年割ノ範圍内ニ於テ土地區劃整理事業トシテ之ヲ執行スルコトヲ得ルモノトス。

説明

國ノ復興事業トシテ執行スル横濱市内ノ運河事業ハ、當初中村川堀川及堀割川ヲ改修スルノ計畫ナリシモ、横濱市ノ意見ヲ參酌シ、旁々横濱市ハ市ノ事業トシテ右運河ニ對シ幅員ヲ現在ノ儘トシ、水深ヲ堀川ハ零點下四尺、其ノ他ハ零點下一尺ニ浚渫シ、船揖ノ航行ニ支障ナカラシメ、且護岸ニ對シテモ相當整理ヲ爲スノ計畫アルヲ以テ國ニ於テハ横濱市ノ重要河川タル大岡川及帷子川ノ改修ヲ行ヒ、之ガ船揖ノ便ヲ開キ、沿岸土地ノ開發ニ資セムトスルモノナリ。

横濱都市計畫運河改修事業費年割表

年度	事業費	執行歩合
大正十三年度	一、〇二四、〇〇〇円	一割八分二厘
大正十四年度	九五五、〇〇〇	一・七〇
大正十五年度	一、二三二、〇〇〇	二・二〇
大正十六年度	一、二一二、〇〇〇	二・一六
大正十七年度	一、一八九、〇〇〇	二・一二
計	五、六一二、〇〇〇	一〇・〇〇

直木長官説明す、異議なく原案を可決す。

地域地區特別委員會　開催するもの兩回。

一、第一回　大正十三年十二月十五日午後一時十分内務大臣官邸に開會す、出席者斯波男爵外九名、幹事二名及復興局職員建築土木兩部長其他なり。斯波男爵委員長として、大正十二年八月十日都市計畫東京地方委員會議決東京都市計畫地域及地區變更指定の件を付議す、委員と復興局員との間に、遊廓を商業地域とする事に關して問答あり、笠原建築局長案の大體を説明し、築地明石町附近の住居地域を中央市場の關係より商業區たるべきを豫想し、之を商業地域となしたる事等に説明し、討議に入り、中村委員(是公)より淺草に於ける補助線を商業地域に入るべしとの説出で、他には同樣の地ありとて次回までに調査することゝ爲り、芝浦及月島の未指定地を工業地域とするの説同く中村委員之を唱へ、十九日を以て實地踏査することと爲り閉會す、時に午後三時。

第二回　二十日午後二時二十分内務大臣官邸に開催す、出席者は斯波委員長外委員七名、太田警視總監代理竹内警視廳建築課長(六藏)、復興局員建築土木整地三部長其外なり、前回の問題たりし補助線の商業地域編入に關する調査に就き、笠原建築部長(敏郎)の説明あり、異議なく之を可決し、芝浦月島及郡部に關しては數説あり、希望條件も出でたり、午後四時散會す。

横濱公園特別委員會　大正十三年十二月十日午後二時四十分内務省會議室に開會す、出席者及委員七名、幹事三名、復興局員長官、建築部長計畫課長(菊池愼三)其他なり、議事に先ち子爵八條隆正を委員長に推し、審議して事實實施に際し、左記事項につき相當の考慮を當局に要求し、滿場一致して原案を可決す。

記

一、野毛山公園ハ、實施ニ當リ、市長公會敷地トノ境界ヲ高地ノ頂部ヨリ相當後退セラレタキコト。

二、現水道用地ノ内、野毛山公園ニ編入セラルヘキ部分ニハ、配水池ヲ存置スルコト。

九、第九回總會　大正十三年十二月二十七日午後一時二十分内務省會議室に開會す、出席者は委員男爵斯波忠三郎外三十二名、幹事三名、復興局員直木長官三部長其他。

湯淺委員(倉平)會長代理たり、一番委員斯波男爵特別委員會の經過結果を報告す。

報告

本特別委員會ハ、大正十三年十二月十日付託セラレタル議第二十五號議案大正十二年八月十日都市計畫東京地方委員會議決東京都市計畫地域及地區變更指定ノ件ハ、大正十三年十二月十五日同二十日ノ二回會議ヲ開キ、更ニ同十九日實地調査ヲ爲ス等、愼重審議ノ結果左ノ通修正シ、他ハ全部原案ヲ適當ト認メ、尚希望トシテ別記事項ヲ議決致候、此段及報告候也。

大正十三年十二月二十日　特別委員長　男爵　斯波忠三郎

特別都市計畫委員會々長　若槻禮次郎殿

修正事項

一、第一商業地域之部　一、東京市内　第八十三號ヲ左ノ通修正ス。

八十三　補助線第七十九號ノ内淺草區地方今戸町七十七番地ノ一地先ヨリ今戸町補助線第三十七號接合點迄。

二、第一商業地域之部　一、東京市内　第百二號ノ次ニ左ノ通追加ス。

百三　補助線第七十三號。

百四　補助線第七十五號ノ内淺草區神吉町幹線第三十四號交叉點ヨリ、松清町幹線第五號接合點迄。

百五　淺草區千束町一丁目百二十四番地ノ一地先ヨリ、同町補助線第八十三號起點ニ至ル、ノ路線及補助線第八十三號内千束町一丁目起點ヨリ森下町幹線第五十一號交叉點迄。

百六　補助線第八十四號ノ内、下谷區金杉上町補助線第七十二號交叉點ヨリ淺草區北三筋町幹線第五十一號交叉點迄。

百七　補助線第四十一號ノ内、本所區中ノ郷原庭町幹線第六號交叉點ヨリ北新町幹線第五十一號交叉點迄。

百八　補助線第百八號ノ内、本所區中ノ郷竹町起點ヨリ荒井町幹線第五十一號交叉點迄。

百九　補助線第百三號本所區中ノ郷原庭町起點ヨリ、松倉町一丁目補助線第十一號交叉點迄。

三、第二工業地域之部　一、東京市内　イ、下谷區内ノ前ニ、左ノ通追加ス。

芝區内

一、芝浦町三丁目、月見町二丁目、同三丁目ノ全部。

二、月見町一丁目ノ一部(圖面表示)

四、第四住居地域之部　一、東京市内　イ、芝區但書中左ノ通修正ス。

一ノ内芝浦町三丁目、月見町二丁目、同三丁目ヲ削除ス。

希望事項

一、芝浦埋立地ノ一部ヲ工業地域ニ指定セラルヽニ付テハ、其ノ地域ニ工場設置ヲ許可セラルヽニ當リ、特ニ防煙裝置ヲ爲スコトヲ條件トセラレムコトヲ望

ム。

二、震災後隣接郡部ノ狀勢ニ變化ヲ來シ、大正十二年八月十日都市計畫東京地方委員會ノ決議ニ變更ヲ加フベキ必要アリト認ム、當局ニ於テ可成速ニ調査ヲ遂ゲ、其ノ變更案ヲ本會ニ提案セラレムコトヲ望ム。

特別委員會修正說明

第一、下谷淺草兩區ノ北部、淺草區龜岡町附近及本所區中ノ郷原庭町附近ニ於ケル住居地域內ノ路線的商業地域ヲ增加シタルコト。

原案ニ於テハ主要ナル線路ノ沿道ニ限リ商業地域トスルモ、震災後ニ於ケル狀況及將來ヲ考慮シ、補助線街路又ハ之ト同等ノ街路沿道ヲモ併セテ路線的商業地域ニ指定スルヲ相當トスルニ因ル。

第二、芝浦埋立地第三號第四號第五號及第六號ヲ工業地域トシタルコト。

震災後芝浦沖ニ於ケル船舶ノ出入著シク增加シ、隅田河口施設ノ大體ヲ豫想スルヲ得ルヲ以テ、倉庫地帶其ノ他港灣施設進捗ト共ニ、地域ノ性質ヲ定ムルヲ相當トスル地域ハ、之ヲ未指定地域トスルモ、水運ヲ利用スル加工工場設置ニ適當ナル南方一帶ヲ工業地域ト指定スルヲ相當トスルニ因ル。

委員會の修正を原案とし、異議なく報告通り可決す、次に十九番八條子爵(隆正)より橫濱公園に關する特別委員會ノ報告アリ。

報　告

本特別委員會ハ、大正十三年十二月十日付託セラレタル議第三十號議案橫濱都市計畫公園ノ新設及其ノ事業年割決定ノ件ニ付、同日會議ヲ開キ、愼重審議ノ結果原案ヲ適當ト認メ候、此段及報告候也。

大正十三年十二月十一日　特別委員長　子爵　八條　隆正

特別都市計畫委員會々長　若槻禮次郎殿

亦異議なく可決し、議第三十二號を議題とす。

議第三二號

大正十一年八月內務省告示第百九十二號東京都市計畫防火地區變更ノ件

特別都市計畫委員會

大正十一年八月內務省告示第百九十二號東京都市計畫防火地區左ノ通變更セムトス。

右都市計畫法第三條ノ規定ニ依リ其ノ會ノ審議ニ付ス。

大正十三年十二月十六日　內務大臣　若槻禮次郎

一、甲種防火地區

イ、左記區域內ニ在ル建築敷地

麴町區內

一　段ケ關一丁目、同二丁目、外櫻田町內幸町、一丁目、同二丁目、內山下町一丁目、有樂町一丁目、同二丁目、同三丁目、八重洲町一丁目、同二丁目、永樂町一丁目同二丁目、錢瓶町、道三町、大手町一丁目、同二丁目、元衞町、竹平町ノ全部

二　永田町一丁目、西日比谷町ノ一部（圖面表示）

日本橋區內

一　金吹町、十軒店町、本町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、岩附町、本革屋町、駿河町、本兩替町、北鞘町、品川町、室町一丁目、同二丁目、同三丁目、瀨戶物町、安針町、本小田原町、長濱町、西河岸町、吳服町、元大工町、數寄屋町、檜物町、上槇町、下槇町、箔屋町、縛正町、新右衞門町、川瀨石町、平松町、佐內町、青物町、萬町、元四日市町、通一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、伊勢町、本船町、魚河岸、四日市河岸ノ一部（圖面表示）

京橋區內

一　南傳馬町一丁目、同二丁目、同三丁目、松川町、疊町、南大工町、鈴木町、北槇町、具足町、南鍛冶町、南鞘町、中橋廣小路、炭町、常磐町、榊町、因幡町、北紺屋町、大鋸町、五郎兵衞町、桶町、南槇町、銀座一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、弓町、新肴町、彌左衞門町、鉛屋町、南紺屋町、西紺屋町、三間堀一丁目、二丁目、同三丁目、南水谷町、元數寄屋町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、尾張町一丁目、同二丁目、竹川町、南金六町、日吉町、八官町、南佐柄木町、惣十郎町、南鍋町一丁目、同二丁目、瀧山町、丸屋町、加賀町、出雲町、山城町、山下町、木挽町四丁目、同五丁目、同六丁目、同七丁目、西豐玉河岸、大根河岸、城邊河岸ノ全部。

二　中橋和泉町、金六町、木挽町一丁目、同二丁目、同三丁目、采女町、白魚河岸、竹河岸、東豐玉河岸ノ一部（圖面表示）

芝區內

一　芝口一丁目、二葉町、櫻田本郷町、新幸町、今入町、芝口河岸ノ全部。

ロ　左記道路ノ兩側ニ於ケル建築線ト之ヨリ六間ヲ後退セル線トノ間ニ在ル建築敷地。

一　大正十三年三月十一日內閣認可東京都市計畫街路ノ部中幹線（以下單ニ幹線ト謂フ）第一號ノ內芝區金杉橋北詰ヨリ下谷區入谷町幹線第三十八號接合點迄。

二　幹線第二號ノ內九段下起點ヨリ本所區江東橋西詰迄。

三　幹線第三號ノ內日本橋區佐內町幹線第一號交叉點ヨリ深川區汐見橋西詰迄。

四　幹線第四號ノ內京橋區木挽町三丁目幹線第一號交叉點ヨリ京橋區南飯田河岸隅田川西岸迄。

五　幹線第五號ノ內京橋區築地三丁目幹線第四號交叉點ヨリ淺草區新谷町幹線第三十八號交叉點迄。

六　幹線第四十六號、神田區萬世橋南詰幹線第四十六號終點ヨリ下谷區東黑門町幹線第四十五號起點ニ至ルノ路線、幹線第四十五號、下谷區上野廣小路町幹線第四十五號終點ヨリ上野公園前幹線第六號起點ニ至ルノ路線第六號ノ內上野公園前起點ヨリ本所區業平橋西詰迄。

七　幹線第七號ノ內日本橋區下槇町幹線第一號交叉點ヨリ京橋區水谷町幹線第五號交叉點迄。

八　幹線第十號ノ內深川區門前仲町幹線第三號交叉點ヨリ本所區石原町幹線第二十二號交叉點迄。

九　幹線第十一號ノ內日本橋區本石町一丁目幹線第十九號交叉點ヨリ淺草橋終點迄。

十　幹線第十二號ノ內神田區神田橋北詰ヨリ小川町幹線第二號交叉點及本郷區湯島三丁目一番地先ヨリ本郷三丁目終點迄。

十一　幹線第十三號ノ內神田區一ツ橋北詰幹線第十九號交叉點ヨリ水道橋南詰迄。

十二　幹線第十六號ノ內芝區櫻田本郷町幹線第十八號交叉點ヨリ愛宕町二丁目幹線第四十號交叉點迄。

十三　幹線第十七號ノ內京橋區常磐町幹線第一號交叉點ヨリ永代橋西詰終點迄。

十四　幹線第十八號ノ內芝區芝口一丁目起點ヨリ琴平町幹線第十五號接合線迄。

十五　幹線第十九號ノ內神田區神田橋北詰幹線第十二號交叉點ヨリ日本橋區本石町一丁目幹線第十一號交叉點迄。

十六　幹線第二十二號ノ內本郷區湯島四丁目起點ヨリ本所區吉岡町大正十三年三月十一日內閣認可東京都市計畫街路ノ部中補助線（以下單ニ補助線ト謂フ）第十一號交叉點迄。

十七　幹線第二十八號ノ內日本橋區濱町三丁目起點ヨリ深川區扇橋町一丁目大橋川新架橋西詰迄。

十八　幹線第二十九號ノ內日本橋區濱町三丁目起點ヨリ深川區德右衞門町補助線第十一號交叉點迄。

十九　幹線第三十三號ノ內日本橋區本船町幹線第一號交叉點ヨリ日本橋區濱町一丁目一番地ノ一地先迄。

二十　幹線第三十四號ノ內神田區龍閑橋北詰起點ヨリ下谷區南稻荷町幹線第六號交叉點迄。

二十一　幹線第三十五號ノ內神田區鍛倉河岸幹線第十九號交叉點ヨリ昌平橋南詰迄。

二十二　幹線第三十八號ノ內下谷區入谷町起點ヨリ淺草區山ノ宿町幹線第三十二號交叉點迄。

二十三　幹線第四十號ノ內芝區愛宕町三丁目幹線第十六號交點ヨリ宇田川町終

點迄。

二十四　幹線第四十九號。

二十五　幹線第五十號。

二十六　幹線第五十一號ノ內本郷區湯島天神町三丁目、幹線第三十五號交叉點ヨリ本所區松倉町一丁目補助線第十一號交叉點迄。

二十七　補助線第八號ノ內神田區錦町三丁目幹線第十九號交叉點ヨリ本郷區本郷一丁目幹線第十二號交叉點迄。

二十八　補助線第九號ノ內日本橋區伊勢町幹線第一號交叉點ヨリ村松町幹線第五號交叉點迄。

二十九　補助線第十一號ノ內本所小梅業平町起點ヨリ深川區東大工町幹線第二十八號交叉點迄。

三十　日本橋區本石町二丁目十六番地ノ一地先ヨリ神田區今川橋ヲ經テ須田町二番地ノ一地先ニ至ルノ路線。

三十一　日本橋區本材木町一丁目九番地ノ一地先ヨリ海運橋ヲ經テ兜町五番地先ニ至ルノ路線。

三十二　日本橋區本材木町一丁目四番地ノ一地先ヨリ兜橋及兜町六番地先ヲ經テ南茅場町十四番地先ニ至ルノ路線。

三十三　日本橋區兜町四番地ノ一地先ヨリ坂本町三十番地ノ一地先ニ至ルノ路線。

三十四　日本橋區兜町三番地先ヨリ同五番地先ニ至ルノ路線。

三十五　日本橋區本材木町一丁目十七番地地先ヨリ本材木町一丁目四番地地先ニ至ルノ路線。

三十六　日本橋區坂本町三十四番地ノ一地先ヨリ鎧橋ヲ經テ小網町四丁目四番地ノ一地先ニ至ルノ路線。

三十七　日本橋區大傳馬町一丁目一番地地先ヨリ鎧橋ヲ經テ横山町三丁目十一番地地先ニ至ルノ路線。

三十八　神田區和泉橋南詰ヨリ九道橋ヲ經テ日本橋區土州橋北詰ニ至ルノ路線。

三十九　神田區裏神保町二番地ノ四地先ヨリ八番地地先ニ至ルノ路線。

四十　淺草區田原町三丁目二番地ノ一地先ヨリ吾妻橋西詰ニ至ルノ路線。

四十一　淺草區新吉原江戸町一丁目八番地地先ヨリ同京町一丁目三十二番地ノ一地先ニ至ルノ路線。

四十二　淺草區新吉原江戸町一丁目三十七番地地先ヨリ同二丁目三十五番地地先ニ至ルノ路線。

四十三　淺草區新吉原揚屋町三十四番地地先ヨリ同角町三十六番地地先ニ至ルノ路線。

四十四　淺草區新吉原京町一丁目四十五番地地先ヨリ同二丁目四十一番地地先ニ至ルノ路線。

四十五　深川區洲崎辨天町二丁目一番地地先ヨリ同十五番地ノ二地先ニ至ルノ路線。

四十六　深川區洲崎辨天町一丁目十二番地地先ヨリ同二丁目十一番地ノ一地先ニ至ルノ路線。

二、乙種防火地區

イ、左記區域內ニ在ル建築敷地。

一　淺草區新吉原江戸町一丁目、同二丁目、新吉原角町、新吉原揚屋町、新吉原京町一丁目、同二丁目、深川區洲崎辨天町一丁目、同二丁目ノ全部。

二　四谷區新宿二丁目、同三丁目ノ內大正七年三月六日警視廳告示第十七號及大正十年八月九日警視廳告示第六十四號ニ指定セル貸座敷營業地。

ロ、左記道路ノ兩側ニ於ケル建築線ト之ヨリ六間ヲ後退セル線トノ間ニ在ル建築敷地。

一　麹町區飯田町二丁目五十四番地ノ一地先ヨリ同三丁目七番地地先ニ至ルノ路線及幹線第十四號ノ內飯田町三丁目七番地地先ヨリ飯田橋北詰終點迄。

二　麹町區麹町一丁目一番地ノ二地先ヨリ四谷見附橋及四谷區麹町ヲ經テ新宿三丁目十二番地ノ一地先ニ至ルノ路線。

三　幹線第一號ノ內芝區金杉橋南詰ヨリ田町四丁目十八番地地先迄。

四　芝區芝園橋南詰ヨリ本芝四丁目八番地ノ一地先ニ至ルノ路線。

五　芝區赤羽橋南詰ヨリ田町四丁目十二番地地先ニ至ルノ路線。

六　赤坂區青山南町一丁目八番地ノ一地先ヨリ同六丁目五十四番地ノ乙地先ニ至ルノ路線。

七　赤坂區田町一丁目一番地地先ヨリ裏町二丁目十六番地ノ一地先ニ至ルノ路線。

八　牛込區神樂町一丁目九番地ノ二地先ヨリ天神町三番地ノ一地先ヲ右折シ小石川區江戸川橋南詰ニ至ルノ路線。

九　小石川區春日町五十二番地ノ三地先ヨリ本郷區本郷三丁目ヲ經テ湯島三丁目二番地ノ二地先ニ至ルノ路線。

十、小石川區伸町十番地ノ一地先ヨリ同心町二十三番地地先ニ至ルノ路線。

十一、本郷區本郷四丁目一番地ノ一地先ヨリ駒込追分町ヲ經テ駒込肴町十一番地ノ一地先ヲ左折シ駒込東片町八十番地ノ一地先ニ至ルノ路線。

十二、下谷區池ノ端七軒町三十七、三十八、三十九番地合併ノ二地先ヨリ本郷區駒込坂下町四番地ノ一地先ニ至ルノ路線。

三、前項ニ掲グル路線ニシテ東京都市計畫トシテ決定シタル街路ノ一部若ハ全部ニ一致スル部分ハ之ニ依ル。

東京都市計畫防火地區指定變更理由書

東京都市計畫區域內ニ於ケル市街地建築物法ニ依ル防火地區ノ指定ハ去ル大正十一年八月一日內務省告示第一九二號ヲ以テ告示シ同年九月一日ヨリ施行セシガ爾來年ヲ閱スルコト僅ニ二歲ニシテ客年九月一日ノ大震火災ノ變ニ處トナリ主要市街地ノ大半焦土ト化シ建築物ノ過半亦烏有ニ歸ス、之ニ因リテ生シタル生命財產ノ喪失損害ノ莫大ナリシコト蓋シ古今東西其ノ比肩スベキ例アルヲ知ラズ是ガ原因ハ種々アルベシト雖畢竟スルニ其ノ主タル原因ハ法規ヲ以テ規定セラレタル防火的構造建築物ニ依ル地區ノ完成尙漸タ其ノ端緒ニアリシノミナルニ因ル。

故ニ地區ノ指定ヲ變更シ一團地ノ甲種防火地區ノ範圍ヲ擴メ主要街路兩側ノ地帶ヲ指定スル防火線ハ計畫路線ノ議定ヲ參酌シテ其ノ數ヲ增シ以テ火災ヲ未然ニ防ギ失火ノ虞ヲ去リ延燒ノ區域ヲ縮少シテ災害ニ備ヘムトス。

十六番委員小坂梅吉、今回の變更に依りて集團區域に入りたる京橋日本橋は、バラック期間經過後直に市街建築法を適用するや、及築地鐵砲洲木挽町方面に路線式火防地域少なきは何故なりやを質問す、直木長官防火地域擴張の理由を說明し、討議の末、十五名の特別委員に付託す、特別委員は、左の人々に指名せらる。

子爵大河內正敏、藤山雷太、太田政弘、宇佐美勝夫、久保三友、小坂梅吉、片岡安、鳩山一郎、中村是公、直木倫太郎、佐野利器、渡邊鐵藏、長岡外史、大橋新太郎、津野一輔。

其より區劃整理の進行に關し、大橋委員の質問、直木長官の答辯あり、午後四時二十分散會す。

〔附〕常務委員會　特別都市計畫委員會常務委員會は、特別都市計畫委員會官制第十一條に依り、會長指名の委員を以て之を組織し、大正十三年二月二十八日特別都市計畫委員會に於て、委任事項を議定す。

委員席次（大正十三年十月十四日現在）

會長　若槻禮次郎

一、清野長太郎　二、近藤　達兒　三、湯浅　倉平
四、直木倫太郎　五、鳩山　一郎　六、鈴木　喜三郎
七、三木　武吉　八、平沼　亮三　九、池田勝次郎
一〇、中村　是公　一一、井阪　孝　一二、佐野　利器
一三、太田　政弘　一四、宇佐美勝夫　一五、渡邊勝三郎
一六、藤山　雷太

第一回　大正十三年十月十四日午後一時四十分內務大臣官舍に開く、出席者は若槻會長及委員十二名、幹事四名、復興局職員建築土木兩部長なり。

會長の挨拶あり、常委議第一號議案を討議す。

常委議第一號

大正十三年四月一日內務省告示第百七十一條東京都市計畫土地區劃整理ニ依ル街路ノ新設改修中變更ノ件。

官計發第一六八號　　特別都市計畫委員會

大正十三年四月一日內務省告示第百七十一號東京都市計劃土地區劃整理ニ依ル街路ノ新設改修ノ件、左ノ通リ變更セントス。

右都市計畫法第三條ノ規定ニ依リ、其ノ會ノ審議ニ付ス。

大正十三年九月十五日　　內務大臣　若槻禮次郎

一、大正十三年四月一日內務省告示第百七十一號東京都市計畫土地區劃整理ニ依ル街路ノ新設改修中左ノ通リ改ム。

幅員	延長約 新設	延長約 改修	延長約 計
四米	九五七米	五四八米	一、五〇五米
六	一〇五、〇六二	八〇、〇六〇	一八五、一二二
八	七八、一一六	一〇八、八一三	一八六、九二九

河北整地部技術課長說明す、駿河臺の地區變更に係るものにして、整理委員會の希望に基く、近藤委員(達兒)平沼委員(亮三)等の質問あり、笠原建築部長より、議定を得れば、十日位の間に執行し得べしとの答辯あり、異議なく原案に決す。

常委議第二號

大正十年五月十三日內閣認可東京都市計畫事業街路の部中變更の件。

官計發第一八五號　　特別都市計畫委員會

大正十年五月十三日內閣認可東京都市計畫事業中、左ノ通リ變更セムトス。

右都市計畫法第三條ノ規定ニ依リ其ノ會ノ審議ニ付ス。

大正十三年十月十日　　內務大臣　若槻禮次郎

東京都市計畫事業街路ノ部

二等大路第一路第十　幅員十間半(中央車道七間半左右歩道各一間半)

澁谷町大字下澁谷上廣尾町九番地ノ一地先ヨリ澁谷橋ヲ渡リ、鐵道線路下ヲ過ギ、目黑町大字上目黑ヲ經テ、中目黑字八幡四百六十一番地ノ二一等大路第三類線ニ接續スルノ路線。

即チ東京府知事執行の路線中起點終點に小變更を爲さんとするの案なり、直木長官說明し、異議なく原案を可決す。

常委議第三號

大正十三年四月一日內務省告示第百七十二號東京市計畫下水道復舊事業執行年割變更ノ件。

官計發第一九二號　　特別都市計畫委員會

大正十三年四月一日內務省告示第百七十二號東京都市計畫下水道復舊事業執行年割、左ノ通變更セムトス。

右都市計畫法第三條ノ規定ニ依リ其ノ會ノ審議ニ付ス。

大正十三年十月十日　　內務大臣　若槻禮次郎

大正十三年四月一日內務省告示第百七十二號東京都市計畫下水道復舊事業大正十三年度執行年割、左ノ通改ム。

下水道復舊事業年割

大正十三年度　　約九割九分五厘

質問の後異議なく原案に決す。

常委議第四號

大正十三年三月十一日內閣認可橫濱都市計畫並都市計畫事業及其ノ執行、年割變更ノ件。

官計發第一八二號　　特別都市計畫委員會

大正十三年三月十一日內閣認可橫濱都市計畫並都市計畫事業及其ノ執行年割中、變更ノ件。

官計發第一七四號　　特別都市計畫委員會

大正十三年三月十一日內閣認可橫濱都市計畫並都市計畫事業及其ノ執行年割中、左ノ通變更セス。

第二號路線、第三號路線及第四號路線ノ內、左ノ區間ヲ圖面ノ通改ム。

路線番號	變更區間 起點	變更區間 終點	延長(約)米
二米	自弊天橋東詰	至萬國橋南詰	六二七米
三	自本町三丁目	至梅ヶ枝町	七八〇
四	自尾上町一丁目	至尾上町四丁目	四〇〇

大正十三年三月十一月內閣認可橫濱都市計畫並都市計畫事業及其ノ執行年割中、左ノ通變更セントス。

右都市計畫法第三條ノ規定ニ依リ、其ノ會ノ審議ニ付ス。

大正十三年十月八日　　內務大臣　若槻禮次郎

第一號路線ヲ左ノ通改ム。

番號	路線	延長(約)	幅員
一	子安町市郡界ヨリ神奈川町橫濱驛前、西戶部、久保町道上ヲ經テ保土ヶ谷町岩間ニ至ル	八、五〇五米	一八乃至三六米
	子安町市郡界ヨリ神奈川町十番町迄	三、一五九	二五
	神奈川町十番町ヨリ青木町七軒町迄	一、〇五四	三三
內譯	青木町七軒町ヨリ橫濱驛前迄	一、二七二	三六
	橫濱驛前ヨリ久保町道上迄	一、八四九	二二
	久保町道上ヨリ保土ヶ谷町岩間迄		

直木長官說明し、異議なく原案に決す。

常委議第五號

大正十三年三月十一日內閣認可橫濱都市計畫並都市計畫事業及其ノ執行年割中、變更ノ件。

官計發第一七五號　　特別都市計畫委員會

大正十三年三月十一日內閣認可橫濱都市計畫並都市計畫事業及其ノ執行年割中、左ノ通變更ス。

第二號路線、第三號路線及第四號路線ノ內、左ノ區間ヲ圖面ノ通改ム。

路線番號	變更區間 起點	變更區間 終點	延長(約)米
二米	自弊天橋東詰	至萬國橋南詰	六二七米
三	自本町三丁目	至梅ヶ枝町	七八〇
四	自尾上町一丁目	至尾上町四丁目	四〇〇

直木長官の說明あり、異議なく原案を可決す、是時直木長官は、整理委員會に於て審議中の吳服橋より日本橋を貫き永代橋に至る幹線及元材木町の八間道路に關し、陳情あれども原案を執行するの外なき理由を述べて、委員の意向を問ひ、午後二時三十七分を以て散會す。

第二回　大正十三年十一月二十一日內務大臣官邸に開會す、清野長太郎外十一名の委員及幹事三名、復興局職員建築土木兩部長出席し、午前十時三十五分開議す。

會長開議ありて出席せず、湯淺委員代り開會を宣す。

常委議第六號

大正十三年四月一日內務省告示第百七十一號東京都市計畫土地區劃整理ニ依ル街路ノ新設改修中變更ノ件(第十二整理施行地區關係)

官計發第二二六號　　特別都市計畫委員會

大正十三年四月一日內務告示第百七十一號東京都市計畫土地區劃整理ニ依ル街路ノ新設改修ノ件、左ノ通變更セムトス。

右都市計畫法第三條ノ規定ニ依リ、其ノ會ノ審議ニ付ス。

大正十三年十一月十日　　內務大臣　若槻禮次郎

大正十三年四月一日內務省告示第百七十一號東京都市計畫土地區劃整地ニ依ル街路ノ新設改修中、左ノ通改ム。

幅員	延長(約) 新設	延長(約) 改修	延長(約) 計
三米	四五一米	二八三米	七三四米
四	一、六六七	六五四	二、三二一
六	一〇五、四四三	八〇、九三四	一八六、三七七
七	—	四五九	四五九
八	七八、〇六八	一〇八、三六一	一八六、四二九

| | | |

第十三號路線、第十九號路線、及第四十二號路線ヲ左ノ通改ム。

番號	路線（起終點及經過地）	延長（約）	幅員
一三	一ツ橋内ヨリ南神保町、壹岐坂下ヲ經テ春日町ニ至ル	一、九七三米	二七米
一九	雄子橋外ヨリ鎌倉河岸、城邊河岸ヲ經テ新橋驛ニ至ル 内譯（雄子橋外ヨリ鎌倉河岸、城邊河岸ヲ經テ二葉町迄 二葉町ヨリ新橋驛迄）	四、〇六四 三、九七六 八八	二二乃至二七 二七 二二
四二	永田町三丁目地内	三四五	二七

補助線

第八十一號路線ヲ、左ノ通改ム。

番號	路線（起終點及經過地）	延長（約）	幅員
八一	山谷町ヨリ田中町ニ至ル	七一八米	一一米

說明

一、幹線第十三號路線ハ、壹岐坂下マデ執行ノ計畫ナリシモ、此ノ際陸軍造兵廠横全部ニ涉リ改修スルノ必要ヲ認メ、終點ヲ春日町ニ移シ、計畫延長三百三米ヲ增加セムトスルモノナリ。

二、幹線第十九號路線ハ、全部幅員二十七米トナス計畫ナリシモ幹線第十八號路線交叉點ヨリ新橋驛ニ至ル延長八十八米ニ對シ、其ノ幅員ヲ二十二米ニ縮少シ、且路線ノ位置ヲ幾分同驛反對側ニ移サムトスルモノナリ。

三、幹線第四十二號路線ハ、赤坂見附内ニ於テ執行ノ計畫ナリシモ、事業執行ノ都合上、終點ヲ赤坂見付下ニ移シ、延長百五十五米ヲ增加セムトスルモノナリ。

四、補助線第八十一號路線ハ、其ノ一部田中町地内延長約三百米間ニ於ケル迂曲ヲ直線トシ、既成道路ヲ利用スルコトニ改メ、且終點位置ヲ變更スルモノニシテ、延長三十一米ヲ短縮ス。

長官の說明あり、二三質問の後、異議なく原案を可決す、午前十一時四十分散會。

3　計畫公示

特別都市計畫街路計畫並に、之が東京の幹線執行年割は、大正十三年二月二十八日特別都市計畫委員會に於て議定し、三月十一日内閣の認可を得て、即日公示し、補助線の執行年割は、三月十四日議定、十九日認可二十日公示と爲り、横濱の之が市執行年割は、四月二十三日議定、三十日認可五月二日公なり、運河計畫東京の部並に其執行年割は街路計畫並に其年割に同じく議定認可公示し、横濱の部は、十二月十日議定し、二十四日認可、二十九日公示したり、土地區劃整理計畫東京の部並に其年割は、三月十四日議定、十九日認可、二十日公示し、之が政府及市の執行分擔公示は三月二十七日也、而して所謂區劃整理に依る街路計畫に至りては、三月二十八日議定し、三十一日認可し、四月一日を以て公示す、横濱の部の計畫並に其年割及之が街路計畫は、六月二十七日議定し、七月二日の認可後、四日公示し、其政府に於て執行する部分の公示は七月二十三日之を爲せり、公園計畫中東京の大公園計畫並に年割は、三月二十八日議定、三十一日認可、四日一日公示小公園計畫並に年割は、六月二十七日議定七月二日認可、四日公示し市場計畫並に年割は、三月二十八日議定、三十日認可、五月二日公示を見、地域地區變更指定計畫亦十二月二十七日に至り議定せられ、防火地區變更計畫の如きも、是日特別都市計畫委員會の討議に上る、復興事業の中心計畫略定まりたるを見るべき也、此外復興事業として執行せらるべきものに、上下水道、塵芥處分、衞生、教育、社會、電氣各施設あり。

一、街路計畫　大正十三年三月十一日運河計畫と共に公示せらるゝことと左の如し。

東京第一

左記東京都市計畫並都市計畫事業及其ノ執行年度割ヲ認可ス。

記

第一　東京都市計畫街路ノ新設改修、及運河ノ新鑿改修ノ件左ノ通定ム。

道路ノ部

幹線

番號	路線（起終點及經過地）	延長（約）	幅員
一	品川町ヨリ本芝一丁目口一丁目木挽町江戸橋和泉橋車坂町ヲ經テ三ノ輪町ニ至ル 内譯（品川ヨリ本芝一丁目迄 本芝一丁目ヨリ芝口一丁目迄 芝口一丁目ヨリ車坂町迄 車坂町ヨリ三ノ輪迄）	一三、四七〇米 三、三六〇 二、〇九〇 五、七三〇 二、二九〇	三三乃至四四米 三二 三六 四四 三三
二	九段坂下ヨリ南神保町兩國橋ヲ經テ龜戸町ニ至ル 内譯（九段坂下ヨリ南神保町迄 南神保町ヨリ兩國橋西詰迄 兩國橋西詰ヨリ龜戸町迄）	六、二〇〇 五六〇 二、七一〇 二、九三〇	二七乃至三六 三三 三六 二七
三	吳服橋外ヨリ永代橋澤海橋ヲ經テ砂町ニ至ル	五、二五五	三三
四	有樂町一丁目ヨリ尾張町木挽町三丁目築地三丁目ヲ經テ月島二號地ニ至ル（隅田川ヲ含マズ）	二、二七〇	二七乃至二六
	内譯（有樂町一丁目ヨリ木挽町三丁目迄 木挽町三丁目ヨリ築地三丁目迄 築地三丁目ヨリ月島二號地迄）	八七〇 四二〇 九八〇	三六 三三 二七
五	築地三丁目ヨリ入船町亀島町濱町三丁目淺草橋南元町北田原町ヲ經テ金杉下町ニ至ル	八、〇四八	三三
六	上野公園前ヨリ駒形町ヲ經テ押上町ニ至ル	三、六四〇	三三
七	東京驛東口ヨリ下横町亀島橋ヲ經テ越前堀一丁目ニ至ル 内譯（東京驛東口ヨリ下横町迄 下横町ヨリ亀島橋西詰迄 亀島橋西詰ヨリ越前堀一丁目迄）	一、一一〇 四二〇 三五四 三四五	二二乃至四四 四四 三三 二二
八	永樂町一丁目湊橋ヨリ元千代田町ニ至ル	二〇〇	七三
九	櫻田門外ヨリ新議事堂前ニ至ル	五八〇	五五
一〇	相生橋南詰ヨリ和倉町相生町ヲ經テ中ノ郷竹町ニ至ル 内譯（相生橋南詰ヨリ和倉町迄 和倉町ヨリ中ノ郷竹町迄）	五、〇五〇 一、二五〇 三、八〇〇	二五乃至三三 三三 二五
一一	東京驛北口錢瓶町ヨリ新常磐橋小傳馬町一丁目ヲ經テ淺草橋ニ至ル	一、五八〇	二七
一二	神田橋内ヨリ小川町湯島四丁目本郷一丁目ヲ經テ本郷三丁目ニ至ル 内譯（神田橋内ヨリ小川町迄 小川町ヨリ湯島四丁目迄 湯島四丁目ヨリ本郷一丁目迄 本郷一丁目ヨリ本郷三丁目迄）	二、〇七五 五三〇 七二〇 五四五 二八〇	二七乃至三三 三三 二七 三三 二七
一三	一ツ橋内ヨリ南神保町ヲ經テ壹岐坂下ニ至ル	一、六七〇	二七
一四	大手町一丁目ヨリ一ツ橋内雉子橋ヲ經テ飯田橋北詰ニ至ル 内譯（大手町一丁目ヨリ一ツ橋迄 一ツ橋内ヨリ飯田橋北詰迄）	二、六〇五 六二〇 一、六八五	二七乃至三六 三六 二七
一五	虎ノ門ヨリ西久保神谷町ニ至ル	九七〇	二七
一六	櫻田本郷町ヨリ芝公園ニ至ル	一、〇五五	三三
一七	鍛冶橋外ヨリ柳町彈正橋高橋ヲ經テ永代橋四詰ニ至ル	一、七一八	二二乃至三三

| | | |

一　小川本町二丁目ヨリ元宮上鳥居町地先字小間山ヨリ新宮宅地地先字田中ヨリ大島川ヨリ元宮上鳥居町地先字小間山ヨリ北十間川ヨリ本町通ヨリ大橋ヨリ元宮上鳥居町

大正十三年度　約二割四分八厘
大正十四年度　約二割五分一厘
大正十五年度　約二割六厘
大正十六年度　約一割六分九厘
大正十七年度　約一割九厘

二、運河新鑿改修事業執行年割

大正十二年度　約一分三厘
大正十三年度　約二割一分一厘
大正十四年度　約二割八厘
大正十五年度　約二割
大正十六年度　約二割
大正十七年度　約一割六分八厘

第三　前項ノ事業ノ一部ハ、其ノ年割ノ範圍内ニ於テ土地區劃整理事業トシテ之ヲ執行スルコトヲ得ルモノトス。

右廣告ス

大正十三年三月十一日　内閣總理大臣　子爵　清浦　奎吾

左記東京都市計畫事業ノ變更ヲ認可ス。

記

大正十年五月十三日内閣認可東京都市計畫事業中、左ノ通變更ス。

東京都市計畫事業街路ノ部

一等大路第三類第十五　幅員十二間
前號路線點ヨリ南千住町大字三河島ニ至リ、鐵道線路下ヲ過ギ、市郡界ニ至ルノ路線。

一等大路第三類第十七　幅員十二間
前號路線終點ヨリ、北十間川福神橋ヲ經テ、龜戸町ニ於テ鐵道線路城東電車線路ヲ横切リ、五ノ橋及新開橋ヲ經テ、砂町大字平井新田字南元〆耕地六百二十八番地々先ニ至ルノ路線。

二等大路第一類第十四　幅員十間
寺島町大字寺島町千四百五十六番地々先ヨリ、曳船川ニ沿ヒ、新荒川堤防ニ至ルノ路線。

二等大路第二類第十五　幅員八間
下谷區金杉上町五十九番地ノ一地先電車道ヨリ、下根岸町ヲ經テ日暮里町大字金杉九百七十三番地ニ至ルノ路線。

二等大路第二類第三十　幅員八間（車道歩道ヲ區別セズ）
大島町四丁目百八十七番地々先ヨリ、同五丁目ヲ經テ、同八丁目二百十四番地ニ至ルノ路線。

二等大路第二類第三十三　幅員八間（車道歩道ヲ區別セズ）
砂町久左衛門新田字小名木川附四十二番地ノ二〇地先ヨリ、同治兵衛新田高萩新田ヲ經テ、同町又兵衛新田百三十一番地ニ至ルノ路線。

左ノ路線ヲ削ル。

廣路第一

一等大路第二類第一
一等大路第二類第二
一等大路第三類第一
一等大路第三類第五
一等大路第三類第六
二等大路第一類第一
二等大路第一類第二
二等大路第一類第八
二等大路第二類第二
二等大路第二類第三
二等大路第二類第四
二等大路第二類第五
二等大路第二類第六
二等大路第二類第十六
二等大路第二類第十七
二等大路第二類第十八
二等大路第二類第二十九
二等大路第三類第十一
二等大路第三類第十二
二等大路第三類第十三
二等大路第三類第十四
二等大路第三類第十五

東京都市計畫事業河川運河ノ部

左ノ河川運河ヲ削ル。

新　鑿
四等第二類第一大島川

改　修
三等第二類第一小名木川
四等第三類第一入船川

埋　立
第二　大島川

右廣告ス。

大正十三年三月十一日　内閣總理大臣　子爵　清浦　奎吾

内務省告示第百三十三號

大正十三年三月十一日内閣認可東京都市計畫街路ノ部中、補助線ノ新設改修事業及其ノ執行年割ノ件、左ノ通大正十三年三月十九日内閣ノ認可ヲ受ケタリ。

大正十三年三月二十日　内務大臣　水野錬太郎

第一　東京都市計畫街路ノ部中、補助線ノ新設改修ハ、都市計畫事業トシテ大正十二年度ヨリ大正十七年度迄六箇年度ニ繼續執行スルモノトシ、其ノ年割左ノ通定ム。

街路ノ新設改修事業執行年割

大正十二年度　約一分九厘
大正十三年度　約二割六分一厘
大正十四年度　約二割五分七厘
大正十五年度　約一割九分五厘
大正十六年度　約一割五分三厘
大正十七年度　約一割一分五厘

第二、前項ノ事業ノ一部ハ、其ノ年割ノ範圍内ニ於テ土地區劃整理事業トシテ之ヲ執行スルコトヲ得ルモノトス。（東京市執行ノ分）

一部變更　大正十三年四月一日内務省告示第百七十四號を以て幹線補助線の一部を變更し、五月二日内務省告示第二百七號を以て補助線の一部を、十二月五日内務省告示第七百七十三號第七百七十四號及十二月二十九日内務省告示第七百九十四號を以て幹線補助線の一部を變更す。

内務省告示第百七十四號

東京都市計畫並都市計畫事業變更ノ件、左ノ通り大正十三年三月三十一日内閣ノ認可ヲ得タリ。

大正十三年四月一日　内務大臣　水野錬太郎

第一、大正十三年三月十一日内閣認可東京都市計畫並都市計畫事業左ノ通り變更ス。

街路ノ部

幹線

第一號路線ヲ、左ノ通定ム。

番號	路線（起終點及經過地）	延長（約）	幅員
一	品川町ヨリ本芝一丁目、芝口一丁目、木挽町、江戸橋、和泉橋、車坂町、三ノ輪ヲ經テ常磐線ニ至ル	一三、五九七米	二二乃至四四米
	内譯（品川町ヨリ本芝一丁目迄 三、三六〇 本芝一丁目ヨリ芝口一丁目迄 二、九〇〇 芝口一丁目ヨリ車坂町迄 五、七三〇 車坂町ヨリ三ノ輪町迄 二、二〇〇 三ノ輪町ヨリ常磐線迄 一、二九〇）		三三 三六 四四 二三

補助線

第二十八號路線、第七十號路線、第八十一號路線ヲ、左ノ通定ム、

番號	路線（起終點及經過地）	延長（約）	幅員
二八	小網伸町ヨリ濱町二丁目ニ至ル	六七三米	一五米
七〇	龍泉寺町ヨリ三ノ輪町ニ至ル	九二一	一一
八一	山谷町ヨリ田中町ニ至ル	七四九	一一

左ノ路線ヲ加フ。

番號	路線（起終點及經過地）	延長（約）	幅員
一二三	鳥森町ヨリ有樂町三丁目ニ至ル	五一八米	八米

第二、大正十三年三月十九日內閣認可東京都市計畫街路ノ部中、補助線ノ新設改修事業及其ノ執行年割中、左ノ通變ス。

第一項中「補助線」ノ下ニ、「（第一一三號路線ヲ除ク）」ヲ加フ。

內務省告示第二百七號

大正十三年三月十一日內閣認可東京都市計畫中變更ノ件、左ノ通

大正十三年四月三十日內閣ノ認可ヲ得タリ。

大正十三年五月二日　內務大臣　水野錬太郎

大正十三年三月十一日內閣認可東京都市計畫中、左ノ通變更ス。

第六十七號、路線ヲ削ル。

內務省告示第七百七十三號

大正十三年三月十一日內閣認可東京都市計畫竝都市計畫事業及其ノ執行年割中、左ノ通變更スルノ件、大正十三年十二月一日內閣ノ認可ヲ得タリ。

大正十三年十二月五日　內務大臣　若槻禮次郎

街路ノ部

幹線

第十三號路線、第十九號路線、及第四十二號路線ヲ左ノ通改ム。

番號	路線（起終點及經過地）	延長（約）	幅員
一三	一ツ橋內ヨリ南神保町、壹岐坂下ヲ經テ春日町ニ至ル	一、九七三米	二七米
一九	雉子橋外ヨリ鎌倉河岸、城邊河岸ヲ經テ新橋驛ニ至ル	四、〇六四	二二乃至二七
	內譯（雉子橋外ヨリ鎌倉河岸、城邊河岸ヲ經テ二葉町迄 三、九七六 二葉町ヨリ新橋驛迄 八八）		二七 二二
四二	永田町二丁目地內	三四五	二七

補助線

第八十一號路線ヲ左ノ通改ム。

番號	路線（起終點及經過地）	延長（約）	幅員
八一	山谷町ヨリ田中町ニ至ル	七一八米	一一米

內務省告示第七百七十四號

大正十三年三月十一日內閣認可東京都市計畫竝都市計畫事業及其ノ執行年割中、左ノ通變更ス。

大正十三年十二月五日　內務大臣　若槻禮次郎

街路ノ部

幹線

第二十九號路線ヲ左ノ通改ム。

番號	路線（起終點及經過地）	延長（約）	幅員
二九	濱町三丁目ヨリ新大橋、德右衞門町、菊川橋ヲ經テ大島町ニ至ル	三、二二六米	二二乃至二七米
	內譯（濱町三丁目ヨリ德右衞門町迄 一、四三八 德右衞門町ヨリ大島町迄 一、七八八）		二七 二二

二、第五十三號路線ヲ圖面ノ通改ム。

補助線

第四十一號路線ヲ左ノ通改ム。

番號	路線（起終點及經過地）	延長（約）	幅員
四一	中ノ郷瓦町ヨリ越中島町ニ至ル	五、四三九米	一五米

內務省告示第七百九十四號

大正十三年三月十一日內閣認可東京都市計畫竝都市計畫事業及其ノ執行年割中、左ノ通リ變更スルノ件、大正十三年十二月二十四日內閣ノ認可ヲ得タリ。

大正十三年十二月二十九日　內務大臣　若槻禮次郎

街路ノ部

幹線

第二十八號路線ヲ左ノ通改ム。

番號	路線（起終點及經過地）	延長（約）	幅員
二八	濱町三丁目ヨリ中洲町、東扇橋町ヲ經テ砂町ニ至ル	三、九八一米	二二米

補助線

第三號路線、第三十六號路線、第四十五號路線、第七十八號路線及第七十九號路線ヲ、左ノ通改ム。

番號	路線（起終點及經過地）	延長（約）	幅員
三	蠶岸町ヨリ石島町ヲ經テ砂町ニ至ル	二、一三五米	一一米
三六	花川戸町ヨリ淺草區田町二丁目ニ至ル	一、三五六	二二
四五	東扇橋町ヨリ砂町八右衞門新田ニ至ル	七四三	一五
七八	象潟町地內	三一七	一一
七九	淺草區田町一丁目ヨリ今戸町ニ至ル	五〇四	一五

內告示第百七十三號

大正十年五月十三日內閣認可東京都市計畫事業中、東京府知事ノ執行スヘキ街路ノ新設及擴張ノ執行年限延長竝年度割變更ノ件、左記ノ通リ大正十三年三月三十一日內閣ノ認可ヲ得タリ。

大正十三年四月一日　內務大臣　水野錬太郎

大正十年五月十三日內閣認可東京都市計畫事業中東京府知事ノ執行スヘキ街路ノ新設及擴張事業ハ、大正十年度ヨリ大正二十三年度迄十四箇年度ニ繼續執行スルコトニ更メ、大正十二年度ニ至ル年度割ヲ左ノ通リ定ム。

街路ノ新設及擴張事業執行年度割

大正十二年度　約八分六厘

大正十三年度	約五分五厘
大正十四年度	約七分八厘
大正十五年度	約八分八厘
大正十六年度	約九分二厘
大正十七年度	約九分七厘
大正十八年度	約七分七厘
大正十九年度	約七分七厘
大正二十年度	約七分七厘
大正廿一年度	約七分七厘
大正廿二年度	約七分八厘
大正廿三年度	約七分六厘

内務省告示第六百八十號

大正十年五月十三日内閣認可東京都市計畫事業街路ノ部中、左ノ通變更スルノ件、大正十三年十月二十四日内閣ノ認可ヲ得タリ。

大正十三年十月二十七日　内務大臣　若槻禮次郎

二蓼大路第一類第十　幅員十間半（中央車道七間半　左右歩道各一間半）

澁谷町大字下澁谷上廣尾町九番地ノ一地先ヨリ澁谷橋ヲ渡リ、鐵道線路下ヲ過ギ、目黑町大字上目黑ヲ經テ、中目黑字八幡四百六十一番地ノ二一等大路第三類線ニ接續スルノ路線。

區劃整理に依る街路計畫　大正十三年四月一日内務省告示第七十一號を以て、左の如く告示す。

内務省告示第七十一號

東京都市計畫土地區劃整理ニ依ル街路ノ新設、改修ノ件、左記ノ通大正十三年三月三十一日内閣ノ認可ヲ得タリ。

大正十三年四月一日　内務大臣　水野錬太郎

東京都市計畫土地區劃整理ニ依ル街路ノ新設改修ノ件、左ノ通定ム

幅員	延長（約）新設	延長（約）改修	延長（約）計
四米	二八〇米	三二〇米	六〇〇米
六	一〇一、一九九	七五、九四三	一七七、一四二
八	七八、四〇五	一〇八、二八七	一八六、六九二
一一	一二、九九三	六七、六二六	八〇、六一九
一五	四三六	四、三一〇	四、七四六
一六	—	一、〇八五	一、〇八五
二二	一〇七	二九〇	三九七
二七	二五	—	二五

（圖面表示）

内務省告示第四百二十五號

東京都市計畫土地區劃整理施行區域中、並土地區劃整理ニ依ル街路ノ新設改修中變更、及其ノ執行ニ關スル件、左ノ通大正十三年七月三日内閣ノ認可ヲ得タリ。

大正十三年七月四日　内務大臣　若槻禮次郎

中略下文ヲ見ヨ。

第二、大正十三年四月一日内務省告示第百七十一號東京都市計畫土地區劃整理ニ依ル街路ノ新設改修中、左ノ通改ム。

幅員	延長 新設	延長 改修	延長 計
六米	一〇四、六〇四米	七九、七九一米	一八四、三九五米
八	七八、二〇一	一〇八、八五五	一八七、〇五六
一一	一三、二三七	六七、九五四	八一、一九一

後略。

内務省告示第六百七十八號

大正十三年四月一日内務省告示第百七十一號東京都市計畫土地區劃整理ニ依ル街路ノ新設、改修ノ件中、第六整理施行地區ニ於ケル土地區劃整理ニ關シ、幅員四米、六米及八米ノ街路ヲ左ノ通變更スルノ件、大正十三年十月二十四日内閣ノ認可ヲ得タリ。

大正十三年十月二十七日　内務大臣　若槻禮次郎

幅員	延長 新設	延長 改修	延長 計
四米	九五七米	五四八米	一、五〇五米
六	一〇五、〇六〇	八〇、〇六〇	一八五、一二〇
八	七八、一一六	一〇八、八一三	一八六、九二九

内務省告示第七百七十一號

大正十三年四月一日内務省告示第百七十一號東京都市計畫土地區劃整理ニ依ル街路ノ新設、改修ノ件中、第十二整理施行地區ニ於ケル土地區劃整理ニ關シ幅員三米乃至十一米ノ街路ヲ左ノ通變更スルノ件、大正十三年十二月一日内閣ノ認可ヲ得タリ。

大正十三年十二月五日　内務大臣　若槻禮次郎

幅員	延長（約）新設	延長（約）改修	延長（約）計
三米	四五一米	二八三米	七三四米
四	一、六六七	六五四	二、三二一
六	一〇五、四四三	八〇、九三四	一八六、三七七
七	—	四五九	四五九
八	七八、〇六八	一〇八、三六一	一八六、四二九
一一	一三、〇〇〇	六七、九五四	八〇、九五四

内務省告示第七百七十二號

大正十三年四月一日内務省告示第百七十一號東京都市計畫土地區劃整理ニ依ル街路ノ新設、改修ノ件中、第四十九整理施行地區ニ於ケル土地區劃整理ニ關シ、幅員三米乃至六米竝八米乃至十五米ノ街路ヲ左ノ通變更スル件、及大正十三年二月十一日内閣認可、東京都市計畫事業及其ノ執行年割中、幹線街路第二十四號路線ノ延長ヲ約三百二十一米ニ改ムルノ件、大正十三年十二月一日内閣ノ認可ヲ得タリ。

大正十三年十二月五日　内務大臣　若槻禮次郎

幅員	延長 新設	延長 改修	延長 計
三米	二、三一七米	六四七米	二、九六四米
四	一、八六七	九二七	二、七九四
六	一〇六、一〇五	八一、二三二	一八七、三三七
八	七七、四一九	一〇八、二二四	一八五、六四三
一一	一二、九四五	六七、八九〇	八〇、八三五
一三	—	六一	六一
一五	四三六	四、一五二	四、五八八

横濱　第二

左記横濱都市計畫竝都市計畫事業及其ノ執行年度割ヲ認可ス。

記

第一、横濱都市計畫街路ノ新設改修ノ件左ノ通定ム。

番號	路線（起終點及經過地）	延長（約）	幅員
一	子安町市郡界ヨリ神奈川町十番地迄 西戸部町久保町道上ヲ經テ保土ケ谷町岩間ニ至ル 内譯 子安町市郡界ヨリ神奈川町十番地迄 神奈川町十番町ヨリ青木町七軒町迄 青木町七軒町ヨリ横濱驛前迄 横濱驛前ヨリ久保町道上迄 久保町道上ヨリ保土ケ谷町岩間迄	二八、五〇一米 三、一五五 一、〇五四 一、二七二 一、八四九 一、一七一	一八乃至三六米 二五 三三 三六 二二 一八

二	辨天橋東詰ヨリ本町四丁目ヲ經テ萬國橋南詰ニ至ル	六二七	二七	
三	本町四丁目ヨリ眞砂町南吉田町藤田町ヲ經テ大岡町高等工業學校前ニ至ル	四、五二〇	二二乃至二五	
	内譯 本町四丁目ヨリ南吉田町南七ツ目迄	二、七〇二	二五	
	南吉田町南七ツ目ヨリ大岡町高等工業學校前迄	一、八一八	二二	
四	大江橋南詰ヨリ尾上町西ノ橋北方町ヲ經テ本牧町際ニ至ル	四、七一〇	二二乃至二五	
	内譯 大江橋南詰ヨリ西ノ橋北詰迄	一、六五六	二五	
	西ノ橋北詰ヨリ本牧町厚迄	三、〇五四	二二	
五	青木町七軒町ヨリ神奈川町二ツ谷ヲ經テ市郡界六角橋南詰ニ至ル	二、一八二	二二	
六	程ケ谷町帷子ヨリ西戸部町南太田町霞町吉岡町五丁目ヲ經テ南吉田町南四ツ目ニ至ル	三、七三七	一六乃至二二	
	内譯 程ケ谷町帷子ヨリ西戸部町迄	一、三六四	二二	
	西戸部町ヨリ霞町迄	一、四三六	一八	
	霞町ヨリ吉岡町五丁目迄	四三六	二二	
	吉岡町五丁目ヨリ南吉田町南四ツ目迄	五〇一	一六	
七	西平沼町ヨリ伊勢町日ノ出町長者橋ヲ經テ千秋橋南詰ニ至ル	二、六五〇	一八乃至二二	
	内譯 西平沼町ヨリ伊勢町迄	一、二五八	二二	
	伊勢町ヨリ日ノ出町迄	六三六	一八	
	日ノ出町ヨリ千秋橋南詰迄	七三六	二二	
八	井土ケ谷町ヨリ大岡川村永田ヲ經テ保土ケ谷町岩間ニ至ル	一、六四五	一六乃至二二	
	井土ケ谷町境内			
	井土ケ谷町ヨリ大岡川村永田迄	二七三	一六	
	大岡川村永田ヨリ保土ケ谷町岩間迄	七五四	二二	
		六一八	一八	
九	櫻木町一丁目ヨリ野毛町三丁目ヲ經テ日ノ出町一丁目ニ至ル	五四六	一六	
一〇	平沼橋南詰ヨリ横濱驛前ニ至ル	五六七	二二	
一一	神奈川町十番町ヨリ東神奈川驛ニ至ル	二二九	二七	
一二	平沼橋南詰ヨリ淺間町淺間下ニ至ル	七〇五	二二	
一三	日ノ出町一丁目ヨリ井戸ケ谷町ニ至ル	二、六三六	一六	
一四	青木町七軒町ヨリ淺間町社宮司ニ至ル	二、七六八	一八乃至二七	
	内譯 青木町七軒町地内司迄	六四	二七	
	青木町七軒町ヨリ淺間町社宮迄	二、七〇四	一八	
一五	高島町八丁目ヨリ西戸部町靈田ニ至ル	一、五六四	一三	
一六	高島町八丁目ヨリ西戸部靈田ニ至ル	一、三六四	一六	
一七	車橋北詰ヨリ山元町ニ至ル	六〇〇	一八	
一八	藤田町六反田ヨリ井土ケ谷町ニ至ル	八一八	一六	
一九	千歳町二丁目ヨリ南吉田町南六ツ目ニ至ル	一、三八二	二〇	
二〇	中村町二丁目ヨリ南吉田町南六ツ目ニ至ル	九四五	一六乃至二〇	
	内譯 中村町西ノ谷ヨリ南吉田町南六ツ目迄	六七三	二〇	
	南吉田町六ツ目ヨリ南太田町西中耕地迄	二七二	一六	
二一	北方町小湊ヨリ新山下町ニ至ル	六三六	一八	

第二、前項ノ計畫中、第一號乃至第十二號ノ街路ノ新設改修ハ都市計畫事業トシテ大正十二年度ヨリ大正十七年度迄六箇年度ニ繼續執行スルモノトシ、其ノ年割左ノ通定ム。

街路ノ新設改修事業執行年割

大正十二年度	約一分四厘
大正十三年度	約二割八分六厘
大正十四年度	約二割八分七厘
大正十五年度	約一割七分
大正十六年度	約一割四分五厘
大正十七年度	約九分八厘

第三、前項ノ事業ノ一部ハ、其ノ年割ノ範圍内ニ於テ、土地區劃整理事業トシテ之ヲ執行スルコトヲ得ルモノトス。

右公告ス。

大正十三年三月十一日　内閣總理大臣　子爵　清浦　奎吾

内務省告示第二百八號

横濱都市計畫事業及其ノ執行年割ノ件、左ノ通大正十三年四月三十日内閣ノ認可ヲ得タリ。

大正十三年五月二日　内務大臣　水野錬太郎

第一、大正十三年三月十一日内閣認可横濱都市計畫中第十三號乃至第十八號、第二十號及第二十號及第二十一號ノ街路ノ新設改修ハ、都市計畫事業トシテ、大正十三年度ヨリ大正十七年度迄五箇年度ニ繼續執行スルモノトシ、其ノ年割左ノ通定ム。

街路ノ新設改築事業執行年割

大正十三年度	約二割六分四厘
大正十四年度	約二割三分七厘
大正十五年度	約二割四厘
大正十六年度	約一割六分五厘
大正十七年度	約一割三分

第二、前項ノ事業ノ一部ハ、其ノ年割ノ範圍内ニ於テ區劃整理事業トシテ之ヲ執行スルコトヲ得ルモノトス。（横濱市執行ノ分）

一部變更　大正十三年七月四日内務省告示第四百二十六號及十月二十七日内務省告示第六百八十一號を以て一部變更を爲す。

内務省告示第四百二十六號

大正十三年三月十一日内閣認可横濱都市計畫並都市計畫事業及其ノ執行年割變更ノ件、左ノ通大正十三年七月三日内閣ノ認可ヲ得タリ。

大正十三年七月四日　内務大臣　若槻禮次郎

大正十三年三月十一日内閣認可横濱都市計畫並都市計畫事業及其ノ執行年割中、左ノ通變更ス。

第七號路線、第八號路線、第十三號路線、第一五號路線及第一八號路線ヲ、左ノ通改ム。

番號	路線（起終點及經過地）	延長（約）	幅員（約）
七	平岡橋南詰ヨリ伊勢町、日出町、長者橋ヲ經テ千秋橋南詰ニ至ル	二、七八五米	一八乃至二二米
	内譯 平岡橋南詰ヨリ伊勢町迄	一、三九三	二二
	伊勢町ヨリ日出町迄	六三六	一八
	日出町ヨリ千秋橋南詰迄	七五六	二二
八	井土ケ谷町川田ヨリ大岡川村永田ヲ經テ保土ケ谷町岩間ニ至ル	一、四二一	一八乃至二二
	内譯 井土ケ谷町川田ヨリ大岡川村迄	八〇三	二二
	大岡川村永田ヨリ保土ケ谷町岩間迄	六一八	一八
一三	日出町一丁目ヨリ井土ケ谷町川田ニ至ル	二、七八九	一六
一五	表高島町ヨリ西戸部町扇田ニ至ル	一、二六〇	一五
一八	井土ケ谷町川田ヨリ大岡町大橋詰ニ至ル	六〇六	二二

左ノ路線ヲ加フ。

番號	路線（起終點及經過地）	延長（約）	幅員（約）
二二	藤田町廻リ坪ヨリ南太田町清水耕地ニ至ル	四六四米	一六米

内務省告示第六百七十九號

大正十三年三月十一日内閣認可横濱都市計畫竝都市計畫事業及其ノ執行年割中、左ノ通變更スルノ件、大正十三年十月二十四日内閣ノ認可ヲ得タリ。

大正十三年十月二十七日　内務大臣　若槻禮次郎

第二號路線、第三號路線及第四號路線ノ内、左ノ區間改修位置ヲ改ム。

路線番號	變更區間 起点	終点	延長(約)
二	自辨天橋東詰至萬國橋南詰		六二七米
三	自本町三丁目至梅ケ枝町		七八〇
四	自尾上町一丁目至尾上町四丁目		四〇〇

内務省告示第六百八十一號

大正十三年三月十一日内閣認可横濱都市計畫竝都市計畫事業及其ノ執行年割中、左ノ通變更スルノ件、大正十三年十月二十四日内閣ノ認可ヲ得タリ。

大正十三年十月二十七日　内務大臣　若槻禮次郎

第一號路線ヲ左ノ通改ム。

番號	路線(起終點及經過地)	延長(約)	幅員
一	西戸部町、久保町道上ヲ經テ保土ケ谷町岩間ニ至ル	八、五〇五米	一八乃至三六米
	内譯 子安町市郡界ヨリ神奈川町横濱驛前迄	三、一五九	二五
	神奈川町十番町ヨリ青木町七軒町迄	一、〇五四	三三
	青木町七軒町ヨリ横濱驛前迄	一、二七二	三六
	横濱驛前ヨリ久保町道上迄	一、八四九	二二
	久保町道上ヨリ保土ケ谷町岩間迄	一、一七一	一八

區劃整理に依る街路計畫　大正十三年七月四日内務省告示第四百二十七號を以て之を定めて、(前後略)

第二、横濱都市計畫土地區劃整理ニ依ル街路ノ新設改修ノ件、左ノ通定ム。

幅員	延長 新設	延長 改修	延長 計
四米	三、三九三米	二、三三七米	五、七三〇米
六	二八、二〇六	九、九三四	三八、一四〇
八	一一、七二六	一〇、一九八	二一、九二四
一一	三、一一八	一四、八五七	一七、九七五
一五	四九五	二、三八一	二、七七六

(圖面省略)

事業分擔第三

東京に於ける街路新設改修事業は、之を分ちて、幹線を國家の執行とし、補助線を市の執行とす、其國家執行に係るものは、大正十三年三月十七日内務省告示第百二十九號を以て左の如く公示したり。

内務省告示第百二十九號

大正十三年三月十一日内閣認可東京都市計畫事業幹線街路ノ新設改修及運河ノ新鑿改修、並横濱都市計畫事業街路ノ新設改修ハ内務大臣ニ於テ之ヲ執行ス。

大正十三年三月十七日　内務大臣　水野錬太郎

之を外にして、補助街路は言ふまでもなく東京市の執行すべき分なり、大正十三年三月二十日内務省告示第百三十三號を以て市執行事業の年度割を告示す、横濱の街路は全部國家の手に執行する筈なりしも經費削減の結果、一部を横濱市に執行せしむる事とす、大正十三年五月二日内務省告示第二百八號擧ぐる所の街路即ち市執行の分にして、同告示前掲の年度割は實に市執行の年度割なり。

而して謂ふ所の復興計畫に係る街路の延長及面積は、太田復興局長述「帝都復興事業に就て」に據れば、大正十三年八月現在大約

東京	幹線(國執行分)	延長 一一八、五三四米(三十六町里)	面積 九七三、〇〇〇坪
	補助線(市執行分)	延長 一三八、六二一米(三十五里十町)	面積 五三四、〇〇〇坪
	區劃整理街路(國市執行分共)	延長 二八八、八一八米(百十四里卅二町)	面積 一、〇八八、〇〇〇坪
横濱	國執行分	延長 三〇、五三四米(七里卅八町)	面積 二一五、〇〇〇坪
	市執行分	延長 一二、八一四米(三里九町)	面積 六七、〇〇〇坪
	區劃整理街路(國市執行分共)	延長 八六、五四五米(廿二里一町)	面積 一三九、〇〇〇坪

なりとす。

街路設計第四

設計方針　「帝都復興事業に於て」に據れば、街路設計の方針は大要左の如しと云ふ。

1、大體の方針

一、道路幅員は米法を用ふ。

二、現在の市街區劃は特に整理の必要を認むるもの、外現狀を維持するを。

三、高速度鐵道が通ずる可能性多き箇所は、街路の幅員を二七米以上とすること。

四、電車軌道を通ずべき街路は、幅員を二二米以上とすること。

五、舊都市計畫議定路線は可成之を採用すること。

六、舊電車軌道免許線も亦可成之を採用し既に其の用地買收濟のものにつきては、特に之を利用する樣留意すること。

七、地下埋設物の移築を少なからしむる樣注意か拂ふこと。

八、現存街路を擴築する場合に於ては原則として、左右兩側に擴ぐるの方法を採ること。

九、殘存の永久的建築物中被害少なきものは成可く之を避くること。

一〇、二二米以下の補助路線は、喰違ひ又は屈曲を餘り考慮せず、可成現存道路を利用し擴築すると同時に、幹路に對し相當系統的に配置すること。

一一、街路の屈折點は、出來得る限り之を交叉する街路との交叉圖所を撰ぶこと。

一二、運河、河川に沿ふ街路は倉庫工場等の建築に對し其の利用を有效ならしむる爲め、河幅の大小位置の如何により、之に相應ずる樣、河川街路間の敷地に對し相當の幅を存せしむること。

一三、二二米以上の街路の勾配は二十五分の一以下とすること。

一四、二つ以上の街路の交叉は、出來得る丈け之を避け、已むを得ざる場合は敷線が一點に交らざる樣にし出來得れば小なるアイランド等を設くるの餘地を存せしめ、交通整理を容易ならしむる方法を講ずること。

一五、橋梁は可成斜角にならぬ樣其の位置を撰定すること。

一六、大なる下水渠に接する街路を擴張する場合には、之を被覆又は改築して成可く街路敷地に利用すること。

一七、幹線に沿ふ敷地の奥行は補助線に比し大ならしむること。

一八、幹線に平行する敷地の幅は之に直角なる幅より二倍乃至四倍の程度に大きくなる樣に道路區劃割を設計すること、例へば道路區劃割としては日本橋通附近のものよりは、銀座通附近の如き方式を採用すること。

一九、街路區劃にしろ、相當の碁切を爲すこと(其標準は左記「街路の廂除」に依る)。

二〇、橋詰には廣場を設くること（其標準は左記「橋詰に於ける街路幅員」に依る）。

2、街角の剪除

一、幅員六米以下の街路が幅員一一米未滿の街路と交會する箇所の街角は之を剪除せず、但し必要ある場合は特別に設計するものとす。
二、幅員八米以上一一米未滿の街路が互に交會する箇所の街角は幅三米の剪除をなすべし、但し土地の情況により剪除せざることを得。
三、幅員一一米未滿の街路が幅員一一米以上の街路と交會する箇所の街角は之を剪除せず。
四、幅員一一米以上二二米未滿の街路が、幅員一一米以上の街路と交會する箇所の街角は、幅四米の剪除をなすべし。
五、幅員二二米以上の街路が、互に交會する箇所の街角は、幅一二米の剪除をなすべし、但路面電車軌道分岐曲線なき箇所の街角は八米の剪除をなすべし。
六、街路交叉角特に鋭角なる場合は以上の規定に據らず特別に設計するものとす。

3、橋詰に於ける街路幅員

一、橋詰に於ける街路の幅員は次の如く擴大すべし。
Bは、取付街路幅員A（斜橋にありては(2)の如く斜幅A）の二分の一とし最小八米最大一八米とすべし。
Cは、取付街路幅員A（斜橋の場合は前項に同じ）二分の一とし、最小六米最大一一米とすべし。
Dは、Cの二倍とし、最小一二米最大二二米とすべし。
二、斜度特に甚しき橋梁にありては右の規程に據らず特別に設計するものとす。

設計基準　同く「帝都復興事業に就て」に據る。

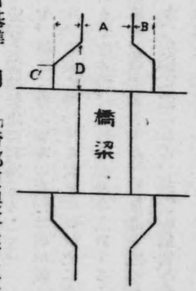
1、車道及歩道の幅員

一、幅員一一米以上の街路に在りては左の標準に據る、但し街路幅員四四米以上のものに在りては、各街路に就き別に之を定むるものとす。
車道の幅員とは歩車境界石肩間の距離を謂ふ。

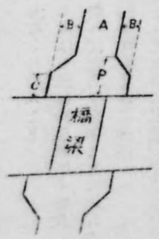
街路幅員	車道幅員	歩道各側幅員
三六米	二四、〇米	六、〇米
三三	二二、〇	五、五
二七	一八、〇	四、五
二五	一六、六	四、二
二二	一四、六	三、七
二〇	一三、〇	三、五
一八	一一、〇	三、五
一六	一〇、〇	三、〇
一五	九、〇	三、〇
一一	六、〇	—

二、路面電車軌道を敷設する街路にして幅員二二米のものに在りては、特に車道幅員を一六米六歩道各側幅員を二米七とす。
三、地域の關係其の他特別の事由ある場合に於ては、前二項の標準に據らざることを得。

(1)



(2)



2、横斷勾配

一、車道の横斷勾配は、左の標準に據る。

路面種類	縱斷勾配
シートアスファルト道	五〇分ノ一以上
鋪木道	五〇分ノ一以上
鋪煉瓦道	二五分ノ一以上
セメントコンクリート道	四〇分ノ一
石道	二五分ノ一以上
瀝青コンクリート道	三五分ノ一
瀝青マカダム道	三〇分ノ一
砂利道	二五分ノ一
碎石道	二五分ノ一

六〇分ノ一	八〇分ノ一
五〇分ノ一	七〇分ノ一
四五分ノ一	六〇分ノ一
三五分ノ一	五〇分ノ一

二、鋪裝車道の横斷面曲線は双曲線を使用すべし。
但し路面電車軌道ある場合には、各外側軌條上端を横斷面曲線の頂點とす。
三、歩道は特殊の箇所を除き車道に向ひ三〇分の一乃至六〇分の一の横斷勾配を附するものとす。

3、縱斷曲線

一、街路兩縱斷面勾配の變化（代數差）が一〇〇分の一以上なる箇所には、大體左の標準に依り縱斷曲線を設くべし。

勾配の變化	曲線長
一〇〇分ノ一—一〇〇分ノ一	一〇米
一〇〇分ノ二—一〇〇分ノ三	二〇
一〇〇分ノ三—一〇〇分ノ四	三〇
一〇〇分ノ四—一〇〇分ノ五	四〇
一〇〇分ノ五—一〇〇分ノ六	五〇
一〇〇分ノ六以上	六〇

二、縱斷曲線は拋物線を用ひ、一〇米以下に於て適當の距離毎に高さを算出して其の間は直線を以て結び付くるものとす。

4、地先側溝及境界側溝

一、地先側溝は其内法外端が街路敷地の境界線に一致する樣設置すべし。
二、歩車道境界石の高さは一一糎を標準とし、九糎より小に又二〇糎より大ならざるものとす。
三、レ形境界側溝縱斷勾配は、三〇〇分の一を標準とすべし。

街角ノ剪除其他規定ニ關スル件

大正十二年四月十五日東京市長宛
復興局長官通牒土發第四〇號

街角ノ剪除及橋詰ニ於ケル街路幅員ニ關スル件、貴市警視廳並當局ノ當事者打合セノ上、別紙ノ通相定候ニ付、及御送付候也。

「別紙」

街角ノ剪除

一、幅員六米ノ街路ガ幅員六米又ハ八米ノ街路ト交會スル箇所ノ街角ハ、之ヲ剪除セズ、但シ必要アル場合ハ、特別ニ設計スルモノトス。
二、幅員八米ノ街路ガ互ニ交會スル箇所ノ街角ハ、幅三米ノ剪除ヲナスベシ、但シ土地ノ情況ニヨリ剪除セザルコトヲ得。
三、幅員六米又ハ八米ノ街路ガ、幅員十一米以上ノ街路ト交會スル箇所ノ街角ハ、之ヲ剪除セズ。
四、幅員十一米乃至十八米ノ街路ガ、幅員十一米以上ノ街路ト交會スル箇所ノ街角ハ幅四米ノ剪除ヲナスベシ。
五、幅員二十二米以上ノ街路ガ互ニ交會スル箇所ノ街角ハ、幅十二米ノ剪除ヲナスベシ、但シ路面電車軌道分岐曲線ナキ箇所ノ街角ハ、八米ノ剪除ヲナスベシ、（附圖省略）

六、街路交叉角特ニ鋭角ナル場合ハ、以上ノ規定ニ據ラズ、特別ニ設計スルモノトス。

附記、街角剪除幅ハ、附圖ノ如ク、剪除線BC(但シAB＝BC＝取リ)トス、(附圖省略)

二、運河計畫　東京の運河計畫が、大正十三年三月十一日街路計畫と共に公示せられたること上記の如し、即ち

東京第一

運河

新鑿

番號	名稱	區域	延長	幅員	深度(零點下)
一	築地川 極川連絡	金六町地先櫻川ヨリ木挽町一丁目地先築地川ニ至ル	二九〇米	三三米	一・八

改修

番號	名稱	區域	延長	幅員	深度(零點下)
一	小名木川	上大島町地先横十間川ヨリ新安宅町地先隅田川ニ至ル	二、四六〇	五五	二・一
二	横十間川	柳島元町地先北十間川ヨリ豐住町地先十間川ニ至ル	三、六七〇	四〇	一・八
三	大島川	木場町地先大横川ヨリ諸町地先隅田川ニ至ル	一、九二〇	四〇	一・八
四	神田川	柳原河岸地先ヨリ新柳町地先隅田川ニ至ル	一、四二〇	四七	一・八
五	日本橋川	富島町地先亀島川ヨリ大川端町地先隅田川ニ至ル	四七〇	四七	一・八
六	楓川	木村河岸地先日本橋川ヨリ柳町地先櫻川ニ至ル	一、二二〇	三三	一・八
七	櫻川	金六町地先京橋川ヨリ港河岸地先亀島川ニ至ル	七五〇	三三	一・八
八	京橋川	北紺屋町地先外濠ヨリ金六町地先櫻川ニ至ル	六〇〇	三三	一・八
九	築地川	木挽町八丁目地先ヨリ築地四丁目地先海ニ至ル	五五〇	四七	一・八
一〇	築地川	木挽町一丁目地先ヨリ木挽町八丁目地先ニ至ル	一、一三〇	三三	一・八
一一	汐留川	木挽町七丁目地先三十間堀川ヨリ木挽町八丁目地先築地川ニ至ル	四〇〇	三三	一・八

新鑿改修事業執行年割

大正十二年度　約一分三厘
大正十三年度　約二割一分一厘
大正十四年度　約二割八厘
大正十五年度　約二割
大正十七年度　約二割
大正十七年度　約一割六分八厘

一部變更　大正十三年五月二日内務省告示第二百九號を以て、左の如く埋立及改修を加ふ。

内務省告示第二百九號

東京都市計畫運河埋立竝改修事業及其ノ執行年割ノ件、左ノ通大正十三年四月三十日内閣ノ認可ヲ得タリ。

大正十三年五月二日　内務大臣　水野錬太郎

第一、東京都市計畫運河埋立竝改修ノ件、左ノ通定ム。

埋立ノ部

西堀留川　延長約三七四米　幅員約三〇米

改修ノ部

東堀留川　延長約五四五米　幅員約三三米　深度約一・八米

第二、前項ノ計畫ハ、都市計畫事業トシテ大正十三年度ニ於テ執行スルモノトス。

内務省告示第二百十號

大正十三年五月二日内務省告示第二百九號東京都市計畫運河埋立竝改修事業ハ、内務大臣ニ於テ之ヲ執行ス。

大正十三年五月二日　内務大臣　水野錬太郎

内務省告示第三百二號

東京都市計畫事業河川運河之部中變更ノ件、左ノ通大正十三年五月二十九日内閣ノ認可ヲ得タリ。

大正十三年五月三十日　内務大臣　水野錬太郎

大正十年五月十三日内閣認可東京都市計畫事業河川運河之部中、左ノ河川運河ヲ削ル。

四本第二類第二　東堀留川

横濱第二

内務省告示第七百九十八號

横濱都市計畫運河ノ改修及其ノ事業執行年割左ノ通決定スルノ件

大正十三年十二月二十四日内閣ノ認可ヲ得タリ。

大正十三年十二月二十九日　内務大臣　若槻禮次郎

第一、横濱都市計畫運河改修ノ件、左ノ通定ム。

番號	名稱	區域	延長(約)	幅員	深度(零點下)
一	大岡川	南吉田町南七ッ目地先中村川ヨリ北仲通六丁目地先ニ至ル	二、六二九米	二七乃至六九米	一・五
二	帷子川	久保町市部境界ヨリ表高島町地先ニ至ル	二、一五一	二七乃至三六	一・五

第二、前項ノ計畫ハ、都市計畫事業トシテ大正十三年度ヨリ大正十七年度迄五箇年度ニ繼續執行スルモノトシ、其ノ年割左ノ通定ム。

運河改修事業執行年割

大正十三年度　約一割八分二厘
大正十四年度　約一割七分
大正十五年度　約二割二分
大正十六年度　約二割一分六厘
大正十七年度　約二割一分二厘

第三、前項ノ事業ノ一部ハ、其ノ年割ノ範圍内ニ於テ土地區劃整理事業トシテ之ヲ執行スルコトヲ得ルモノトス。

内務省告示第七百九十九號

大正十三年十二月二十九日内務省告示第七百九十八號横濱都市計畫運河ノ改修事業ハ、内務大臣ニ於テ之ヲ執行ス。

大正十三年十二月二十九日　内務大臣　若槻禮次郎

設計標準第三

「帝都復興事業に就て」に據れば左の如し。

(イ)運河法線決定要項

一、補强工事に依り利用し得べき在來護岸は成るべく之を利用す。
二、急角度の屈曲は成るべく之を緩和すること。
三、殘存の永久的建物中減害少きものゝ移轉は成るべく之を避くること。
四、地下埋築物の移築を少からしむる樣留意すること。
五、架橋に成るべく斜角を避くること。

六、運河沿ひには成るべく道路を設けざること。
七、共用物揚場は成るべく多く之を設くること。
八、運河の交叉又は分岐の隅角は別記の標準に依り之を剪除し編曲ならしむること。

(ロ)運河交叉點に於ける隅角剪除

運河交叉點に於ける隅角は大略左の半徑を以て剪除するものとす。

一、 $R=1.5L-\left(\frac{W}{2}+C\right)$

隅田川以東の運河及同以西運河の隅田川合流口に適用す。

二、 $R=L-\left(\frac{W}{2}+C\right)$

隅田川以西の運河に適用(隅田川合流口を除く)す。

前式中に於て。

R＝剪除の半徑(米)
L＝航行舟筏長(米)
W＝同　　幅(米)
C＝常數　一、八米

前掲のLは交叉運河が幅員十間以上の場合二八米二(九十尺)とし、交叉運河の一が其幅員に於て一〇間以下なるときは、一五米二(五〇尺)を標準とす。又Wに就ては兩運河共、その幅員十間以上の場合六米三(二一尺)とし交叉運河の一が一〇間以下の幅員を有する場合三米六(十二尺)を標準とす。

三、特別の事由に依り前掲半徑を用ひ得ざるものにして一〇米以下の半徑となる場合には、直線を以て隅角を剪除するものとす。

(ハ)運河幅員及水深決定に關する標準。

一、運河航行船舶の寸法は幅員二一尺、吃水六尺積載量一百噸を標準とす。但し小名木川筋に於ては、幅員二一尺。吃水七尺、積載量一百三十噸を標準とす。
二、繫留船舶は河岸より二米二七の位置に舷側を置く場合とす。
三、航行中に各船舷側間の距離は〇、九九米を標準とす。

前掲標準船舶が兩岸各一艘繫留しある場合に、二艘乃至五艘の航行船舶あるものとして、河川幅員を定め、干潮時に於ても自由に航行し得るを目途としその深度を定むること左表の如し。

運河名	同時航行船數	運河幅員	深度
一、楓川、櫻川、京橋川、汐留川、東堀留川、築地川(一部)築地川楓川連絡新堀運河	二	三三米	一・八米
二、横十間川、大島川	三	四〇	一・八
三、神田川、日本橋川、築地川(一部)	四	四七	一・八
四、小名木川	五	五五	二・一

〔參考〕大正十年五月十三日內閣認可公告東京都市計畫事業河川運河の部に云ふ。

第一、河川運河ノ等級及幅員ハ、左ノ標準ニ依ル。

(一) 一等		六十間以上
(二) 二等		三十間以上
(三) 三等	第一類	二十六間以上
	第二類	二十二間以上
(四) 四等	第一類	十八間以上
	第二類	十間以上
	第三類	十四間以上
(五) 等外		十間未滿

第二、河川運河ノ深度ハ左ノ標準ヲ下ルコトヲ得ズ。

(一) 一等		零點下十五尺
(二) 二等		零點下七尺
(三) 三等	第一類	零點下六尺
	第二類	零點下四點
(四) 四等	第一類	零點下三尺
	第二類	零點下二尺
(五) 等外		零點下二尺

第三、河川運河ニ橋梁ヲ架設スル場合ニハ、水面ヨリ橋桁最下端迄ノ高及有効徑間ハ、左ノ標準ニ依ル。

一、高	零點上十四尺以上
二、徑間	二十七尺以上

第四、本設計ノ零點トハ靈岸島水位基準零尺ヲ謂フ。
第五、特別ノ事由アル場合ニ於テハ都市計畫東京地方委員會議ヲ經テ前各項ノ規程ニ依ラザルコトヲ得。

三、公園計畫　左の如し。

東京第一

1、大公園

大正十三年四月一日內務省告示第百七十號を以て、左の如く之を定む、內務大臣執行す。

內務省告示第百七十號

東京都市計畫竝都市計畫事業及其ノ執行年割ノ件、左記ノ通大正十三年三月三十一日內閣ノ認可ヲ得タリ。

大正十三年四月一日　內務大臣　水野錬太郎

第一　東京都市計畫公園新設ノ件、左ノ通定ム。

番號	名稱	位置	面積(約)
一	濱松公園	日本橋區濱町一丁目及濱町二丁目ノ內	一萬一千坪
二	隅田公園	本所區新小梅町、向島小梅町及向島須崎町ノ內竝淺草區花川戸町、山ノ宿町、金龍山瓦町及今戸町ノ內	三萬二千坪
三	錦絲公園	本所區大平町二丁目ノ內	一萬八千坪

第二、前項ノ計畫ハ、都市計畫事業トシテ大正十二年度ヨリ大正十七年度迄六箇年度ニ繼續執行スルモノトシ、其ノ年割左ノ通定ム。

大正十二年度	約二分四厘
大正十三年度	約三割二分四厘
大正十四年度	約三割一分五厘
大正十五年度	約一割二厘
大正十六年度	約一割一分六厘
大正十七年度	約一割一分九厘

2、小公園

大正十三年七月四日內務省告示第四百二十四號を以て、左の如く之を定め、小學校に隣接して之を設置することとす、執行は東京市長に屬す。

內務省告示第四百二十四號

東京都市計畫小公園ノ新設及其ノ事業執行年割ノ件、左ノ通大正十三年七月三日內閣ノ認可ヲ得タリ。

大正十三年七月四日　內務大臣　若槻禮次郎

第一、東京都市計畫小公園新設ノ件、左ノ通定ム。

番號	名稱	位置	面積(約)
一	上六公園	麹町區上六番町ノ內	九〇〇坪
二	西小川公園	神田區中猿樂町ノ內	七五〇
三	錦華公園	同區裏猿樂町ノ內	九〇〇
四	淡路公園	同區淡路町二丁目ノ內	七五〇
五	神田公園	同區多町二丁目及新銀町ノ內	八〇〇
六	練成公園	同區五軒町ノ內	九〇〇
七	橋本公園	同區橋本町一丁目、同二丁目、豐島町及江戸川町ノ內	九〇〇
八	芳林公園	同區末廣町ノ內	九〇〇
九	常盤公園	日本橋區本石町一丁目ノ內	九〇〇
一〇	久松公園	同區久松町ノ內	六〇〇
一一	十思公園	同區小傳馬上町ノ內	九〇〇

一二	箱崎公園	同	區箱崎町三丁目及箱崎町四丁目ノ內	八〇〇
一三	日本橋公園	同	區蠣殼町二丁目ノ內	九〇〇
一四	鐵砲洲公園	同	區新湊町二丁目及新湊町三丁目ノ內	九〇〇
一五	京橋公園	同	區木挽町一丁目ノ內	七〇〇
一六	築地公園	同	區築地二丁目ノ內	九〇〇
一七	越前堀公園	同	區越前堀一丁目ノ內	九〇〇
一八	佃島公園	同	區月島西中通二丁目ノ內	九〇〇
一九	月島公園	同	區月島西中通八丁目及月島西中通九丁目ノ內	一、六〇〇
二〇	櫻田公園	芝	區愛宕下町一丁目ノ內	九〇〇
二一	南櫻公園	同	區南佐久間町二丁目ノ內	九〇〇
二二	新花公園	本郷	區湯島新花町ノ內	九〇〇
二三	元町公園	同	區元町一丁目ノ內	九〇〇
二四	東盛公園	下谷	區三ノ輪町ノ內	一、〇〇〇
二五	山伏公園	同	區山伏町ノ內	七〇〇
二六	入谷公園	同	區入谷町金杉上町ノ內	一、〇〇〇
二七	西町公園	同	區南稻荷町及西町ノ內	一、〇〇〇
二八	御徒町公園	同	區御徒町二丁目ノ內	一、〇〇〇
二九	石濱公園	淺草	區玉姫町ノ內	九〇〇
三〇	千束公園	同	區千束町二丁目ノ內	八〇〇
三一	小島公園	同	區小島町ノ內	九〇〇
三二	富士公園	同	區象潟町ノ內	八〇〇
三三	田原公園	同	田原町二丁目ノ內	一、〇〇〇
三四	金龍公園	同	區新谷町ノ內	八〇〇
三五	松葉公園	同	區松葉町ノ內	九〇〇
三六	精華公園	同	區北富坂町及榮久町ノ內	九〇〇
三七	柳北公園	同	區向柳原町二丁目ノ內	九〇〇
三八	玉姫公園	同	區玉姫町及淺草町ノ內	一、〇〇〇
三九	中和公園		本所區林町三丁目ノ內	九〇〇
四〇	柳島公園	同	區柳島元町ノ內	一、〇〇〇
四一	横川公園	同	區中ノ郷横川町ノ內	九〇〇
四二	江東公園	同	區相生町三丁目ノ內	九〇〇
四三	茅場公園	同	區茅場町三丁目及柳原町二丁目ノ內	九〇〇
四四	外手公園	同	區若宮町ノ內	九〇〇
四五	菊川公園	同	區菊川町一丁目ノ內	九〇〇
四六	永倉公園	同	區永倉町ノ內	九〇〇
四七	元加賀公園	深川	區元加賀町ノ內	九〇〇
四八	八名川公園	同	區西元町ノ內	九〇〇
四九	森下公園	同	區東森下町ノ內	九〇〇
五〇	臨海公園	同	區門前仲町、黑江町及蛤町二丁目ノ內	八〇〇
五一	東陽公園	同	區東平井町ノ內	九〇〇
五二	扇橋公園	同	區石島町ノ內	九〇〇

第二、前項ノ計畫ハ、都市計畫事業トシテ大正十二年度ヨリ大正十七年度迄五箇年度ニ繼續執行スルモノトシ、其ノ年割左ノ通定ム。

小公園新設事業執行年割

大正十三年度	約二割八分五厘
大正十四年度	約一割九分
大正十五年度	約一割九分
大正十六年度	約一割九分
大正十七年度	約一割四分五厘

第三、前項ノ事業ノ一部ハ、其ノ年割ノ範圍內ニ於テ土地區劃整理事業トシテ之ヲ執行スルコトヲ得ルモノトス。

横濱第二

大正十三年十二月二十七日特別都市計畫委員會に於て、政府の執行に依り、横濱市に三公園を設くることを議定す。

番號	名稱		位置	面積(約)
一	山下公園	山下町及山下町埠先海面ノ內		二二、〇〇〇坪
二	野毛山公園	西戸部町、老松町及南太田町ノ內		二二、〇〇〇
三	神奈川公園	青木町ノ內		四、〇〇〇

右事業執行年割

大正十三年度	約八分七厘
大正十四年度	約八分一厘
大正十五年度	約八分四厘
大正十六年度	約二割四分五厘
大正十七年度	約五割三厘

四、市場計畫　東京に於ける中央卸賣市場計畫は、大正十三年五月二日內務省告示第二百五號を以て、左の如く定めらる。

內務省告示第二百五號

東京市計畫中央卸賣市場ノ件、左ノ通大正十三年四月三十日內閣ノ認可ヲ得タリ。

大正十三年五月二日　內務大臣　水野錬太郎

東京都市計畫中、卸賣市場左ノ通定ム。

名稱	位置	面積(約)
築地本場	京橋區築地四丁目南小田原町一丁目ノ內	九萬八千坪
神田分場	神田區山本町、相生町、花田町、花岡町及下谷區練塀町ノ內	九千五百坪
江東分場	本所區横綱町一丁目及横綱町二丁目ノ內	五千二百坪

內務省告示第二百六號

東京市區改正設計市場ノ部中變更ノ件、左ノ通大正十三年四月三十日內閣ノ認可ヲ得タリ。

大正十三年五月二日　內務大臣　水野錬太郎

東京市區改正設計中左ノモノヲ削ル。

魚鳥市場

第一	箱崎町魚鳥市場附獸肉市場	日本橋區北新堀町箱崎町同埋立地及中洲町	面積凡五萬坪
第二	芝魚鳥市場附獸肉市場	芝區新網町湊町ノ內金杉川濱	面積凡二千坪
第三	深川魚鳥市場附獸肉市場	深川區蛤町黑江町ノ內	面積凡千八百坪

青物市場

第一	神田青物市場	神田區佐久間町二、三丁目ノ內	面積凡一萬坪
第二	京橋青物市場	京橋區水谷町及三十間堀川埋立地內	面積凡五千坪

五、區劃整理計畫　區劃整理は、即ち都市改造の實を擧ぐる所以、千古の大變災を利用して玆に始めて實施し得べきものに係り、眞に復興經營の中心事業たり。

東京第一

甲計畫

東京の土地區劃整理計畫は、大正十三年三月二十日內務省告示第百三十一號を以て公示せらる、即ち左の如し。

內務省告示第百三十一號

東京都市計畫土地區劃整理施行區域ノ件、左記ノ通大正十三年三月十九日內閣ノ認可ヲ受ケタリ。

大正十三年三月二十日　內務大臣　水野錬太郎

東京都市計畫土地區劃整理施行區域、左ノ通定ム。

一、東京市

區	域	面積（約）
麹町區	一、上六番町、元園町一丁目、麹町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、山元町、元平河町、平河町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目、同五丁目、飯田町四丁目、大手町二丁目、錦町、元衛町、有樂町三丁目ノ全部	四八三、五〇〇坪
神田區	二番町、三番町、富士見町一丁目、上二番町、下二番町、一番町、元園町一丁目、麹町五番町、五番町、元園町二丁目、麹町一丁目、飯田町一丁目、飯田町六丁目、飯田町三丁目、飯田町二丁目、大手町一丁目、内幸町一丁目、幸町、有樂町一丁目、同二丁目ノ一部	八三六、七二六坪
日本橋區	和泉町、佐久間町二丁目、同三丁目、同四丁目、平河町ヲ除ク	八一三、八九六坪
全　部	築地四丁目、佃島、新佃島西町一丁目、同二丁目、同三丁目、月島東河岸一丁目、東町二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目、同六丁目、同七丁目、同八丁目、同九丁目、同十丁目、同十一丁目、同十二丁目、月島東中通一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目、同六丁目、同七丁目、同八丁目、同九丁目、同十丁目、同十一丁目、同十二丁目、月島西中通一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目、同六丁目、同七丁目、同八丁目、同九丁目、同十丁目、同十一丁目、同十二丁目、月島西河岸一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目、同六丁目、同七丁目、同八丁目、同九丁目、同十丁目、同十一丁目、同十二丁目、月島通一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目、同六丁目、同七丁目、同八丁目、同九丁目、同十丁目、同十一丁目、同十二丁目、月島西河岸一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目、同六丁目、同七丁目、同八丁目、同九丁目、同十丁目、同十一丁目、同十二丁目、同十三丁目、同十四丁目、同十五丁目、同十六丁目、同十七丁目、同十八丁目、同十九丁目、同二十丁目、同二十一丁目、同二十二丁目、同二十三丁目、同二十四丁目、同二十五丁目、同二十六丁目、同二十七丁目、同二十八丁目、同二十九丁目、同三十丁目、同三十一丁目、同三十二丁目、同三十三丁目、同三十四丁目、同三十五丁目、同三十六丁目、同三十七丁目、同三十八丁目、同三十九丁目、同四十丁目、同四十一丁目、同四十二丁目、同四十三丁目、同四十四丁目、同四十五丁目、同四十六丁目、同四十七丁目、同四十八丁目、同四十九丁目、同五十丁目、同五十一丁目、同五十二丁目、同五十三丁目、同五十四丁目、同五十五丁目、同五十六丁目、同五十七丁目、同五十八丁目、同五十九丁目、同六十丁目、同六十一丁目、同六十二丁目、同六十三丁目、同六十四丁目、同六十五丁目、同六十六丁目、同六十七丁目、同六十八丁目、同六十九丁目、同七十丁目、同七十一丁目、同七十二丁目、同七十三丁目、同七十四丁目、同七十五丁目、同七十六丁目、同七十七丁目、同七十八丁目、同七十九丁目、同八十丁目、同八十一丁目、同八十二丁目、同八十三丁目、同八十四丁目、同八十五丁目、同八十六丁目、同八十七丁目、同八十八丁目、同八十九丁目、同九十丁目、同九十一丁目、同九十二丁目、同九十三丁目、同九十四丁目、同九十五丁目、同九十六丁目、同九十七丁目、同九十八丁目、同九十九丁目、同百丁目、同百一丁目、同百二丁目、同百三丁目、同百四丁目、同百五丁目、同百六丁目、同百七丁目、同百八丁目、同百九丁目、同百十丁目、同百十一丁目、同百十二丁目、同百十三丁目、同百十四丁目、同百十五丁目、同百十六丁目、同百十七丁目、同百十八丁目、同百十九丁目、同百二十丁目、同百二十一丁目、同百二十二丁目、同百二十三丁目、同百二十四丁目、同百二十五丁目、同百二十六丁目、同百二十七丁目、同百二十八丁目、同百二十九丁目、同百三十丁目、同百三十一丁目、同百三十二丁目、同百三十三丁目、同百三十四丁目、同百三十五丁目、同百三十六丁目、同百三十七丁目、同百三十八丁目、同百三十九丁目、同百四十丁目、同百四十一丁目、同百四十二丁目、同百四十三丁目、同百四十四丁目、同百四十五丁目、同百四十六丁目、同百四十七丁目、同百四十八丁目、同百四十九丁目、同百五十丁目、同百五十一丁目、同百五十二丁目、同百五十三丁目、同百五十四丁目、同百五十五丁目、同百五十六丁目、同百五十七丁目、同百五十八丁目、同百五十九丁目、同百六十丁目、同百六十一丁目、同百六十二丁目、同百六十三丁目、同百六十四丁目、同百六十五丁目、同百六十六丁目、同百六十七丁目、同百六十八丁目、同百六十九丁目、同百七十丁目、同百七十一丁目、同百七十二丁目、同百七十三丁目、同百七十四丁目、同百七十五丁目、同百七十六丁目、同百七十七丁目、同百七十八丁目、同百七十九丁目、同百八十丁目、同百八十一丁目、同百八十二丁目、同百八十三丁目、同百八十四丁目、同百八十五丁目、同百八十六丁目、同百八十七丁目、同百八十八丁目、同百八十九丁目、同百九十丁目、同百九十一丁目、同百九十二丁目、同百九十三丁目、同百九十四丁目、同百九十五丁目、同百九十六丁目、同百九十七丁目、同百九十八丁目、同百九十九丁目、同二百丁目、同二百一丁目、同二百二丁目、同二百三丁目、同二百四丁目、同二百五丁目、同二百六丁目、同二百七丁目、同二百八丁目、同二百九丁目、同二百十丁目、同二百十一丁目、同二百十二丁目、同二百十三丁目、同二百十四丁目、同二百十五丁目、同二百十六丁目、同二百十七丁目、同二百十八丁目、同二百十九丁目、同二百二十丁目、同二百二十一丁目、同二百二十二丁目、同二百二十三丁目、同二百二十四丁目、同二百二十五丁目、同二百二十六丁目、同二百二十七丁目、同二百二十八丁目、同二百二十九丁目、同三百丁目、同三百一丁目、同三百二丁目、同三百三丁目、同三百四丁目、柴井町、宇田川町、宮本町、宇田川横町、三島町、神明町、新錢座町、濱松町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目、同六丁目、同七丁目、同八丁目、同九丁目、同十丁目、同十一丁目、同十二丁目、同十三丁目、同十四丁目、同十五丁目、同十六丁目、同十七丁目、同十八丁目、同十九丁目、同二十丁目、同二十一丁目、同二十二丁目、同二十三丁目、同二十四丁目、同二十五丁目、同二十六丁目、同二十七丁目、同二十八丁目、同二十九丁目、同三十丁目、同三十一丁目、同三十二丁目、同三十三丁目、同三十四丁目、同三十五丁目、同三十六丁目、同三十七丁目、同三十八丁目、同三十九丁目、同四十丁目、同四十一丁目、同四十二丁目、同四十三丁目、同四十四丁目、同四十五丁目、同四十六丁目、同四十七丁目、同四十八丁目、同四十九丁目、同五十丁目、同五十一丁目、同五十二丁目、同五十三丁目、同五十四丁目、同五十五丁目、同五十六丁目、同五十七丁目、同五十八丁目、同五十九丁目、同六十丁目、同六十一丁目、同六十二丁目、同六十三丁目、同六十四丁目、同六十五丁目、同六十六丁目、同六十七丁目、同六十八丁目、同六十九丁目、同七十丁目、同七十一丁目、同七十二丁目、同七十三丁目、同七十四丁目、同七十五丁目、同七十六丁目、同七十七丁目、同七十八丁目、同七十九丁目、同八十丁目、同八十一丁目、同八十二丁目、同八十三丁目、同八十四丁目、同八十五丁目、同八十六丁目、同八十七丁目、同八十八丁目、同八十九丁目、同九十丁目、同九十一丁目、同九十二丁目、同九十三丁目、同九十四丁目、同九十五丁目、同九十六丁目、同九十七丁目、同九十八丁目、同九十九丁目、同百丁目、同百一丁目、同百二丁目、同百三丁目、同百四丁目、同百五丁目、同百六丁目、同百七丁目、同百八丁目、同百九丁目、同百十丁目、同百十一丁目、同百十二丁目、同百十三丁目、同百十四丁目、同百十五丁目、同百十六丁目、同百十七丁目、同百十八丁目、同百

八	七八、二〇一	一〇八、八五五	一八七、〇五六
一一	一三、二三七	六七、九五四	八一、一九一

（圖面省略）

第三　前記ノ計畫ハ、之ヲ都市計畫事業トシテ既定年割ノ範圍内ニ於テ執行スルモノトス。

若夫れ土地區劃整理に依る街路の新設改修計畫は、大正十三年四月一日内務省告示第百七十一號を以て之を定め、其後七月四日内務省第四百二十五號告示、十月二十七日同第六百七十八號告示、十二月十五日同第七百七十一號第七百七十二號告示を以て一部の變更を爲したること、上文既に之を記す。

乙　事業分擔

東京の土地區劃整理事業は、六十四地區中、内務大臣其の十五地區を執行し、東京市長其五十一地區を執行す。

（一）　政府執行事業

大正十三年三月二十七日内務省告示第百五十號を以て、左の如く公示す。

内務省告示第百五十四號

大正十三年三月二十日内務省告示第百三十一號東京都市計畫土地區劃整理施行區域ノ内、内務大臣ニ於テ執行スル地區左ノ如シ。

大正十三年三月二十七日　内務大臣　水野錬太郎

第六地區

神田區

猿樂町一丁目、裏猿樂町、駿河臺鈴木町、駿河臺袋町、駿河臺西紅梅町、駿河臺東紅梅町、駿河臺北甲賀町紅梅河岸、駿河臺南甲賀町ノ一部、淡路町二丁目ノ一部。

第十地區

日本橋區

馬喰町一丁目、二丁目、三丁目、四丁目、元柳町、新柳町、吉川町、横山町一丁目、二丁目、三丁目、通塩町、橋町、一丁目、二丁目、三丁目、四丁目、藥研堀町、米澤町一丁目、二丁目、三丁目、若松町、村松町、矢ノ倉町、濱町一丁目ノ一部、久松町ノ一部、東緣河岸、元柳河岸、龜井町ノ一部、小傳馬町上町、小傳馬町一丁目、二丁目、三丁目、通油町、通旅籠町、大傳馬町二丁目、堀留町二丁目、三丁目、新材木町、新乘物町、岩代町、葺屋町、堺町、芳町ノ一部、田所町、長谷川町、新和泉町、新大坂町、元濱町、彌生町、富澤町、高砂町、住吉町ノ一部、浪花町ノ一部、新茅町ノ一部、東萬河岸ノ一部、西緣河岸ノ一部。

神田區

橋本町一丁目、二丁目、三丁目、久右衞門町、富松町、江川町、豐島町、柳原河岸ノ一部。

第十二地區

日本橋區

濱町二丁目ノ一部、濱町三丁目、濱町一丁目ノ一部、久松町ノ一部、蒼蒲河岸。

第十二地區（日本橋區）

浪花町、住吉町、元大坂町、芳町ノ一部、松島町、蠣殼町一丁目、二丁目、三丁目、小網伸町、小網町二丁目、三丁目、四丁目、新茅町ノ一部、東萬河岸、鎧河岸、行德河岸、西緣河岸ノ一部。

第十四地區

日本橋區

西河岸町、吳服町、元大工町、檜物町、數寄屋町、上槇町、萬町、平松町、青物町、元四日市町、本材木町一丁目、佐内町、川瀨石町、新右衞門町、薄正町、箔屋町、下槇町、本材木町二丁目、通一丁目、二丁目、三丁目、四丁目、城邊河岸、四日市河岸、西河岸、本材河岸。

第十六地區

日本橋區

中洲町、箱崎町一丁目、二丁目、三丁目、四丁目、北新堀町、北新堀河岸、永久河岸。

第十七地區

京橋區

北槇町、南槇町、桶町、南大工町、南鍛冶町、五郎兵衞町、北紺屋町、大根河岸、南傳馬町一丁目、二丁目、三丁目、桑町、中橋廣小路町、中橋和泉町、大鋸町、南鞘町、松川町、鈴木町、因幡町、常盤町、柳町、具足町、炭町、竹河岸、本材木町三丁目、本材河岸、城邊河岸。

第三十一地區

神田區

佐久間河岸、佐久間町一丁目、花房町ノ一部、花岡町、仲町一丁目ノ一部、松永町、相生町ノ一部、花田町ノ一部。

下谷區

練塀町ノ一部、仲御徒町一丁目ノ一部、同町二丁目ノ一部、同町二丁目ノ一部、御徒町一丁目、二丁目、竹町、二長町。

第三十四地區

淺草區

南松山町、阿部川町、北三筋町ノ一部、永住町、七軒町、南清島町。

下谷區

南稲荷町、西町、車坂町ノ一部、御徒町三丁目、仲御徒町三丁目ノ一部、上野山下町ノ一部、仲御徒町四丁目、上野町一丁目ノ一部、上野町二丁目、五條町、下谷町一丁目、二丁目、上野三橋町、上野廣小路町ノ一部。

第三十六地區

淺草區

北松山町、北清島町、神吉町、松葉町ノ一部。

下谷區

北稲荷町、上車坂町、萬年町一丁目、下車坂町ノ一部、車坂町ノ一部。

第四十九地區

本所區

龜澤町一丁目ノ一部、相生町一丁目、二丁目、三丁目、四丁目、五丁目、松坂町一丁目、二丁目、元町、小泉町、藤代町、横綱町一丁目ノ一部、尾上河岸、北竪河岸ノ一部。

第五十八地區

深川區

佐賀町一丁目、二丁目、中川町、今川町、富田町、西永代町、堀川町、永堀町、東永代町、大住町、材木町、松賀町、小松町、富吉町、相川町、焦井町、渚町、中島町、大島町、蛤町一丁目、蛤町二丁目ノ一部、一色町、伊澤町、松村町、福住町、黑江町、門前仲町ノ一部、古石場町ノ一部、大島河岸、濱邊河岸、巽河岸、奥ノ河岸、永代河岸、佐賀町河岸、西永代河岸、松賀河岸、小松河岸、南仙臺堀河岸ノ一部、伊澤河岸、松村河岸、一色河岸、近江屋河岸、加賀河岸、門前河岸ノ一部、油堀河岸ノ一部。大住河岸。

第六十三地區

東京府北豐島郡日暮里町大字金杉ノ一部、同郡三河島町大字三河島ノ一部、同郡南千住町大字三之輪ノ一部。

第六十四地區

東京府北豐島郡南千住町大字三之輪ノ一部、同郡同町大字千住南ノ一部、同郡同町大字千東、同郡同町大字地方橋場ノ一部。

第六十五地區

東京府南葛飾郡砂町大字八右衞門ノ一部、同郡同町大字木砂町ノ一部、同郡同町大字永代。

（圖面省略）

一部變更　大正十三年五月十四日内務省告示第二百二十四號、七月

十二日同第四百五十五號、十二月二十七日同第七百九十二號を以て、左の如く公示す。

內務省告示第二百二十四號

大正十三年三月內務省告示第百五十四號ノ東京都市計畫土地區劃整理施行地區中、左ノ通リ變更ス。

大正十三年五月十四日　內務大臣　水野錬太郎

第三十一地區　神田區中「花岡町」ヲ「花岡町ノ一部」ニ變更ス。

內務省告示第四百五十五號

大正十三年三月內務省告示第百五十四號東京都市計畫土地區劃整理施行地區中第六十三地區、六十四地區及第六十五地區ヲ、左ノ通リ改ム。

大正十三年七月十二日　內務大臣　若槻禮次郎

第六十三地區

東京府北豐島郡日暮里町大字金杉ノ一部、同郡三河島町大字三河島ノ一部、同郡同町大字千住南ノ一部、同郡同町大字三之輪ノ一部、同郡南千住町大字三之輪ノ一部、同郡同町大字千住南ノ一部。

第六十四地區

東京府北豐島郡南千住町大字千住南ノ一部、同郡同町大字三之輪ノ一部、同郡同町大字千東、同郡同町大字地方橋場ノ一部、同郡同町大字下谷通新ノ一部、

第六十五地區

東京府南葛飾郡砂町大字八右衞門ノ一部、同郡同町大字本砂町ノ一部、同郡同町大字永代。

（圖面省略）

內務省告示第七百九十二號

大正十三年三月內務省告示第百五十四號東京都市計畫土地區劃整理施行地區中、左ノ通變更ス

大正十三年十二月二十七日　內務大臣　若槻禮次郎

第三十一地區　下谷區中「竹町」ヲ、「竹町（但シ十二番地ヲ除ク）」ニ變更ス

（二）東京市執行事業

大正十三年三月二十七日東京市公報第百十一號を以て左の如く公示す。

東京市告示第百十一號

大正十三年三月二十日內務省告示第百三十一號東京都市計畫土地區劃整理施行區域ノ內東京市長ニ於テ執行スル地區左ノ如シ。

大正十三年三月二十七日　東京市長　永田秀次郎

第一地區

麴町區

富士見町一丁目ノ一部、三番町ノ一部、上六番町、上二番町ノ一部、下二番町ノ一部、一番町ノ一部、五番町ノ一部、元園町一丁目、元園町二丁目ノ一部、麴町一丁目、二丁目、三丁目、四丁目、麴町五丁目ノ一部、山元町一丁目、二丁目、平河町一丁目、二丁目、三丁目、四丁目、平河町五丁目ノ一部、隼町ノ一部、元平河町。

第二地區

麴町區

飯田町一丁目ノ一部、飯田町二丁目ノ一部、飯田町三丁目ノ一部、飯田町四丁目、飯田町五丁目、飯田町六丁目ノ一部、飯田河岸ノ一部。

第三地區

麴町區

元衞町、大手町二丁目、大手町一丁目ノ一部、道三町、錢瓶町。

第四地區

麴町區

有樂町一丁目ノ一部、有樂町二丁目ノ一部、有樂町三丁目。

第五地區

神田區

今川小路三丁目、今川小路二丁目ノ一部、北神保町、中猿樂町、西小川町一丁目、二丁目、三崎町一丁目、二丁目、三丁目、表猿樂町ノ一部、猿樂町二丁目、三丁目、三崎河岸。

第七地區

神田區

表猿樂町ノ一部、通神保町、南神保町、今川小路一丁目、今川小路二丁目ノ一部、一ツ橋通町、小川町ノ一部、表神保町ノ一部、錦町三丁目ノ一部。

第八地區

神田區

美土代町一丁目、二丁目、三丁目、四丁目、錦町一丁目、二丁目、錦町三丁目ノ一部、表神保町ノ一部、淡路町一丁目、淡路町二丁目ノ一部、駿河臺南甲賀町ノ一部、三河町一丁目、二丁目、三丁目、四丁目、雉子町、新銀町、關口町、皆川町、松下町、鎌倉町、鎌倉河岸、佐柄木町、蛾燭町、旭町、永富町、千代田町ノ一部、西今川町ノ一部、新石町ノ一部、上白壁町ノ一部、堅大工町、鍛冶町ノ一部、黑門町ノ一部、鍋町、多町一丁目、二丁目、通新石町、須田町、小柳町、連雀町、平永町ノ一部、柳町ノ一部、柳原河岸ノ一部。

第九地區

神田區

元柳原町、東松下町、岩本町、松田町、下白壁町、塗師町、南乘物町、美倉町、西福田町、紺屋町、北乘物町、富山町、東紺屋町、東今川町、材木町、東福田町、元岩元町、松枝町、大和町、東龍閑町、柳原河岸ノ一部、岩井河岸、千代田町ノ一部、西今川町ノ一部、新石町ノ一部、鍛冶町ノ一部、柳町ノ一部、平永町ノ一部、上白壁町ノ一部、黑門町ノ一部、

日本橋區

第二篇　善後措置　第二章　各紀

龜井町ノ一部

第十一地區

日本橋區

本銀町一丁目、二丁目、三丁目、四丁目、本石町一丁目、二丁目、三丁目、四丁目、本町一丁目、二丁目、三丁目、四丁目、金吹町、十軒店町、岩附町、室町一丁目、二丁目、三丁目、本兩替町、北鞘町、駿河町、本革屋町、品川町、品川町裏河岸、伊勢町、瀨戸物町、小田原町、長濱町、米河岸、安針町、本船町、魚河岸、大傳馬壓町、鐵砲町、大傳馬町一丁目、堀留町一丁目、小舟町一丁目、二丁目、三丁目、小網町一丁目、堀江町一丁目、二丁目、三丁目、四丁目、西萬河岸、小舟河岸、末廣河岸、常盤町。

第十五地區

日本橋區

茅場町河岸、楓河岸、龜島河岸、兜町、坂本町、三代町、南茅場町、北島町一丁目、二丁目、龜島町一丁目、二丁目。

第十八地區

京橋區

松屋町一丁目、二丁目、三丁目、高代町、岡崎町一丁目、二丁目、元島町、水谷町、八丁堀仲町、永島町、日比谷町、幸町、長澤町、本八丁堀一丁目、二丁目、三丁目、四丁目、五丁目、北櫻河岸、楓河岸、日比谷河岸、龜島河岸。

第十九區

京橋區

大川端町、南新堀町一丁目、二丁目、富島町、鹽町、濱町、四日市町、銀町一丁目、二丁目、鑿岸町、川口町、長崎町一丁目、二丁目、東湊町一丁目、二丁目、越前堀町一丁目、二丁目、新船松町、將監河岸、稻荷河岸、南新堀河岸、北新河岸、南新河岸、越前堀河岸。

第二十地區

京橋區

元數寄屋町一丁目、二丁目、三丁目、四丁目、三十間堀一丁目、二丁目、采女町、尾張町一丁目、二丁目、木挽町一丁目、二丁目、三丁目、四丁目、五丁目、六丁目、七丁目、八丁目、九丁目、十丁目、山下町、山城町、加賀町、八官町、丸屋町、日吉町、出雲町、竹川町、南金六町、宗十郎町、瀧山町、南佐柄木町、南鍋町一丁目、二丁目、東豐玉河岸、西豐玉河岸、西紺屋町、南紺屋町、弓町、銀座一丁目、二丁目、三丁目、四丁目、新肴町、彌左衞門町、鈴屋町、金六町、南水谷町、新富町一丁目、二丁目、五丁目、新富町三丁目ノ一部、白魚河岸、蛸河岸、南櫻河岸ノ一部、南八丁堀一丁目ノ一部。

第二十一地區

京橋區

新富町三丁目ノ一部、新富町四丁目、新富町六丁目ノ一部、新富町七丁目、入船町一丁目、二丁目、三丁目、四丁目、五丁目、六丁目、南八丁堀一丁目ノ一部、南八丁堀二丁目、三丁目、東湊町、新榮町一丁目、二丁目、三丁目、四丁目、五丁目、南櫻河岸ノ一部、新湊町一丁目、二丁目、三丁目、四丁目、五丁目、船松町、湊河岸、新富河岸、船松河岸。

第二十二地區

京橋區

築地一丁目、二丁目、三丁目、南小田原町一丁目ノ一部、南小田原町二丁目、三丁目、四丁目、小田原河岸ノ一部、上柳原町、南本郷町、南飯田町、南飯田河岸。

第二十三地區

麹町區

内幸町一丁目ノ一部。

芝　區

櫻田本郷町ノ一部、兼房町、櫻田伏見町、櫻田和泉町、櫻田善右衞門町、櫻田久保町、櫻田鍛冶町、櫻田太左衞門町、櫻田備前町、南佐久間町一丁目、二丁目、琴平町ノ一部、西久保櫻川町ノ一部、西久保明船町ノ一部。

第二十四地區

芝　區

宇田川町ノ一部、汐留町一丁目ノ一部、同二丁目ノ一部、柴井町、露月町、源助町、芝口一丁目、二丁目、三丁目、日蔭町一丁目、二丁目、三丁目、四丁目、新錢座町ノ一部。

第二十五地區

芝　區

芝公園地ノ一部、愛宕町一丁目、二丁目、三丁目、田村町、西久保櫻川町ノ一部、西久保巴町、西久保明船町ノ一部、西久保廣町、神谷町ノ一部、葺手町ノ一部。

第二十六地區

芝　區

湊町、土手跡町、新網町、濱町一丁目、二丁目、三丁目、四丁目、新錢座町ノ一部、宇田川町ノ一部、宇田川横町、神明町、三河町、宮本町、七軒町、中門前一丁目、二丁目、三丁目、片門前一丁目、二丁目、北金杉河岸、芝公園地ノ一部。

第二十七地區

赤坂區

溜池町、田町二丁目、三丁目、四丁目、五丁目、六丁目、七丁目、新町一丁目ノ一部、新町二丁目、新町三丁目ノ一部。

第二十八地區

本郷區

元町一丁目、二丁目、東竹町、弓町一丁目ノ一部、本郷一丁目、金助町、春木町一丁目、二丁目、三丁目、湯島五丁目、六丁目、本郷二丁目ノ一部、同三丁目ノ一部。

第二十九地區

本郷區

湯島一丁目、二丁目、三丁目、四丁目、妻戀町、湯島三組町、湯島新花町、湯島梅園町ノ一部、湯島天神町一丁目、湯島天神町二丁目ノ一部。

神田區

宮本町、同朋町、臺所町、松住町、昌平河岸。

第三十地區

神田區

五軒町、末廣町、金澤町、旅籠町一丁目、二丁目、三丁目、仲町一丁目ノ一部、仲町二丁目、花田町ノ一部、田代町、榮町、元佐久間町、佐久間河岸ノ一部、龜住町、花房町ノ一部、相生町ノ一部。

本郷區

湯島天神町三丁目、湯島同朋町

下谷區

池ノ端仲町ノ一部、上野元黑門町、上野北大門町、數寄屋町、西黑門町、東黑門町、上野南大門町、坂町、長者町一丁目、二丁目同朋町、上野廣小路町ノ一部、上野町一丁目ノ一部、仲御徒町三丁目ノ一部、同町二丁目ノ一部、仲御徒町一丁目ノ一部、練塀町ノ一部。

第三十二地區

神田區

元久衞門町一丁目、二丁目、八名川町、餌鳥町、鞍地河岸。

淺草區

向柳原一丁目、二丁目、左右衞門町、上平右衞門町、新福井町、猿屋町、福井町一丁目、二丁目、三丁目、瓦町ノ一部、茅町一丁目ノ一部、同町二丁目ノ一部、須賀町ノ一部、福島町、元鳥越町、西鳥越町、老松町、東三筋町、西三筋町、小島町、北三筋町ノ一部、右衞門河岸、小島河岸。

淺草區

下平右衞門町、代地河岸、新森田町、榊町、新片町、新須賀町、旅籠町一丁目、二丁目、茅町一丁目ノ一部、同町二丁目ノ一部、瓦町ノ一部、須賀町ノ一部、御藏前片町、南元町、森田町、新旅籠町、南富坂町、北元町、北富坂町、八幡町、三好町、黑船町ノ一部、榮久町ノ一部、鳥越河岸、森下町ノ一部。

第三十五地區

淺草區

黑船町ノ一部、諏訪町、新福富町、森下町ノ一部、榮久町ノ一部、高原町、蓬町、新猿屋町、駒形町、三間町、田原町一丁目、二丁目、三丁目、材木町、並木町、茶屋町、東仲町、西仲町、松清町、駒形河岸。

第三十七地區

淺草區

松葉町ノ一部。

下谷區

山伏町、新坂本町、萬年町二丁目、豐住町ノ一部、下車坂町ノ一部、入谷町ノ一部。

第三十八地區

淺草區

田島町、芝崎町、北田原町、新畑町、北仲町、馬道町一丁目、二丁目、三丁目、四丁目、馬道町五丁目ノ一部、馬道町六丁目、馬道町八丁目ノ一部、花川戸町ノ一部、淺草公園地、千束町二丁目ノ一部、山ノ宿町ノ一部、猿若町一丁目ノ一部、淺草河岸、新谷町ノ一部、千束町一丁目ノ一部、淺草河岸、新谷町ノ一部、千束町一丁目ノ一部。

第三十九地區

下谷區

金杉上町ノ一部、龍泉寺町ノ一部、入谷町ノ一部。

淺草區

光月町、千束町一丁目ノ一部、同町二丁目ノ一部。

第四十地區

淺草區

千束町三丁目、千束町二丁目ノ一部、同町一丁目ノ一部、象潟町、馬道町七丁目、馬道町八丁目ノ一部、同町五丁目ノ一部、猿若町一丁目ノ一部、猿若町二丁目、三丁目、聖天町、金龍山瓦町ノ一部、山ノ宿町ノ一部、山川町、聖天横町、田町一丁目、二丁目、東町、新谷町ノ一部、地方今戸町ノ一部、淺草河岸ノ一部。

第四十一地區

淺草區

元吉町ノ一部、山谷町ノ一部、玉姫町ノ一部、橋場町ノ一部、今戸町ノ一部、龜岡町一丁目、二丁目、三丁目、吉野町、淺草町ノ一部、田中町ノ一部、地方今戸町ノ一部。

第四十二地區

淺草區

橋場町ノ一部、玉姫町ノ一部、淺草町ノ一部、田中町、山谷町ノ一部、地方今戸町ノ一部、元吉町ノ一部。

下谷區

三ノ輪町ノ一部。

第四十三地區

下谷區

龍泉寺町ノ一部、金杉下町、金杉上町ノ一部、三ノ輪町、下根岸町ノ一部。

淺草區

地方今戸町ノ一部。

第四十四地區

本所區

中ノ郷横川町、松倉町一丁目、二丁目、北新町、荒井町ノ一部、番場町ノ一部、外手町ノ一部、表町、中ノ郷原庭町、中ノ郷竹町、小梅業平町、中ノ郷八軒町、中ノ郷元町、中ノ郷瓦町、藥師前河岸、青物河岸、西横川河岸ノ一部、源森河岸。

第四十五地區

本所區

柳島横川町ノ一部、柳島元町、押上町、中ノ郷業平町。

第四十六地區

本所區

綠町一丁目ノ一部、綠町二丁目ノ一部、南二葉町ノ一部、横綱町二丁目ノ一部、龜澤町一丁目ノ一部、龜澤町二丁目、石原町ノ一部、外手町ノ一部、荒井町ノ一部、番場町ノ一部、埋堀河岸。

第四十七地區

本所區

長崎町ノ一部、永倉町ノ一部、綠町三丁目ノ一部、綠町四丁目ノ一部、綠町五丁目ノ一部、南二葉町ノ一部、北二葉町ノ一部、三笠町、長岡町、吉岡町、吉田町、清水町、横川町、若宮町、石原町ノ一部、西横川河岸ノ一部。

第四十八地區

本所區

綿絲町ノ一部、柳島町、柳島梅鶯町、太平町一丁目、太平町二丁目ノ一部、柳島横川町ノ一部、東横川町ノ一部。

第五十地區

本所區

北竪河岸ノ一部、西横川河岸ノ一部、花町、入江町、長崎町ノ一部、永倉町ノ一部、綠町一丁目ノ一部、綠町二丁目ノ一部、綠町四丁目ノ一部、綠町五丁目ノ一部。

第五十一地區

本所區

松代町一丁目、二丁目、三丁目、茅場町三丁目、柳原町一丁目、二丁目、錦絲町ノ一部、北竪河岸ノ一部、東横川河岸ノ一部、松代町河岸。

第五十二地區

本所區

千歳河岸、南竪河岸ノ一部、西六間堀河岸、北五間堀河岸、東六間堀河岸、林町一丁目、松井町一丁目、二丁目、三丁目、千歳町

深川區

東六間堀町、東森下町、西森下町、西六間堀町、八名川町、御船藏前町、安宅町、新安宅町、西元町、常盤町一丁目、二丁目、東元町ノ一部、芝翫河岸、萬年河岸、東六間堀河岸、西六間堀河岸、南五間堀河岸。

第五十三區

本所區

菊川町一丁目、二丁目、德右衞門町、林町二丁目、三丁目、菊河岸、南竪河岸ノ一部。

深川區

西町、富川町、東元町ノ一部、西町河岸

第五十四地區

深川區

本村町、晒場河岸、猿江裏町、東町、裏町河岸、猿江町、上大島町。

本所區

茅場町一丁目、二丁目、柳原三丁目、東横川河岸ノ一部、南竪河岸ノ一部。

第五十五地區

深川區

清住町、伊勢崎町、西大工町、裏大工町、仲大工町、東大工町ノ一部、西平野町、東平野町、山本町、靈岸町ノ一部、北仙臺堀河岸、清住河岸。

第五十六地區

深川區

西亥ノ堀河岸、小名木河岸、靈岸町ノ一部、東大工町ノ一部、扇橋町一丁目、二丁目、元加賀町、三好町、永町、吉永町、島崎町、久永町。

第五十七地區

深川區

東扇橋町、海邊町、千田町、石島市、東亥ノ堀河岸。

第五十九地區

深川區

萬年町一丁目、二丁目、龜住町、冬木町、和倉町、龜久町、大和町、數矢町、門前東仲町、富岡門前町、門前山本町、門前仲町ノ一部、塩町二丁目ノ一部、深川富岡公園地、門前河岸ノ一部、東門前河岸、數矢河岸、油堀河岸ノ一部、大和河岸、南仙臺堀河岸ノ一部。

第六十地區

深川區

鶴歩町、扇町、茂森町、洲崎町、木場町、島田町、入船町、鹽浜町、平久町一丁目、二丁目、島田河岸、中木場河岸、辨天前河岸。

第六十一地區

深川區

豐住町、西平井町ノ一部、東平井町ノ一部。

第六十二地區

深川區

越中島町ノ一部、古石場町ノ一部、牡丹町、佃町、平富町一丁目、二丁目。

（圖面省略）

一部變更　大正十三年五月十四日東京市告示第百七十七號、七月十二日同第二百六十六號を以て、計畫の一部を變更す。

東京市告示第百七十七號

大正十三年三月二十七日東京市告示第百十一號東京都市計畫土地區劃整理施行地域中、左ノ通變更ス。

大正十三年五月十四日　東京市長　永田秀次郎

記

第三十地區中、「松富町ノ一部」ヲ「松富町」ニ改ム。

東京市告示第二百六十一號

大正十三年三月二十七日東京市告示第百十一號東京都市計畫土地區劃整理施行地區域中、左記ノ通變更ス。

大正十三年七月九日　東京市長　永田秀次郎

記

第二十四地區(芝區)

愛宕下町四丁目ヲ愛宕下町四丁目ノ一部ト改ム、芝口河岸全部ヲ加フ。

第二十六地區(芝區)

愛宕下町四丁目ノ一部ヲ加フ。

第三十三地區(淺草區)

駒形河岸ノ一部ヲ加フ。

第三十五地區(淺草區)

駒形河岸トアルヲ、駒形河岸ノ一部ト改ム。

第二十七地區(赤坂區)

田町一丁目ノ一部ヲ加フ。

第三十八地區(淺草區)

花川戸町ノ一部トアルヲ花川戸町ト改ム。

東京市告示第二百六十三號

大正十三年三月二十七日東京市告示第百十一號土地區劃整理施行區域ノ內、東京市長ニ於テ執行スル地區ニ、左ノ一地區ヲ加フ。

大正十三年七月十二日　東京市長　永田秀次郎

第六十六地區

本所區

新小梅町ノ一部、向島小梅町ノ一部、小梅瓦町ノ一部、向島中ノ郷町ノ一部、向島須崎町ノ一部。

(圖面省略)

横濱第二

甲、計畫

横濱に於ける土地區劃整理計畫は、大正十三年七月四日內務省告示第四百二十七號を以て左の如く定めらる。

內務省告示第四百二十七號

横濱都市計畫土地區劃整理施行區域竝土地區劃整理事業及其ノ執行年割ノ件、左ノ通大正十三年七月三日內閣ノ認可ヲ得タリ。

大正十三年七月四日　內務大臣　若槻禮次郎

第一、横濱都市計畫整理施行區域、左ノ通リ定ム。

横濱市		
區名		面積(約)
一、西戸部町字石崎、同字扇田、同字宮ノ前、同字西ノ前、戸部町五丁目、同六丁目、花咲町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目、同六丁目、同八丁目、同九丁目、同十丁目、同十一丁目、福島町、野毛町一丁目、同二丁目、宮川町一丁目、同二丁目、同三丁目、黃金町一丁目、同二丁目、同三丁目、勿番町二丁目、同四丁目、三春町一丁目、同二丁目、同三丁目、勿番町二丁目、同三丁目、同四丁目、英町二丁目、同三丁目、霞町二丁目、同三丁目、南太田町字前里耕地、尾張屋町、西平沼町、平沼町二丁目、同三丁目、同三、四丁目、同四丁目、伸町二丁目、材木町二丁目、住吉町五丁目、常盤町五丁目、尾上町五丁目、同六丁目、港町五丁目、同六丁目、蓬萊町四丁目、長者町五丁目、同六丁目、同七丁目、同八丁目、同九丁目、雲井町一丁目、同二丁目、足曳町一丁目、同二丁目、久方町一丁目、同二丁目、同二丁目、賜町一丁目、同二丁目、若葉町一丁目、同二丁目、同三丁目、末吉町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目、同六丁目、駿河町一丁目、同二丁目、同三丁目、長島町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目、同六丁目、吉岡町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目、同六丁目、蒔田町字一ノ坪、同字宿、同字門田、同字宮ノ脇、同字三反田、同字井領田、同字耕地、同字矢畑、同字一本松、同字六反目、同字廻リ坪、同字町田、同字榎本坪、同字居尻、同字五反田、同字下ノ前、同字蒔田橋、大岡町字釜田、同字大橋詰、同字樋ノ口、同字北ノ前、同字鰯袋ノ全部。	八二八、〇〇〇坪
二、西戸部町字反目、同字御所、同字池ノ坂、同字鹽田、同字横杭、同字西ノ原、戸部町二丁目、同三丁目、同四丁目、同七丁目、花咲町七丁目、同十二丁目、伊勢町三丁目、同四丁目、同五丁目、野毛町三丁目、同四丁目、日出町一丁目、同二丁目、同三丁目、初音町一丁目、英町一丁目、南太田町字西中耕地、久保町字鹽田、平沼町一丁目、青木町字內海、伸町一丁目、材木町一丁目、相生町五丁目、住吉町六丁目、福富町一丁目、同二丁目、同三丁目、松ヶ枝町、若竹町、梅ヶ枝町、南吉田町字南四ッ目、同字南五ッ目、同字北五ッ目、同字西川外、蒔田町字西、同字山ノ根、同字堂西、同字東谷、大岡町字石畠、同字宮ノ前、同字中島、同字堀ノ上、同字前田、北方町字竹ノ花、同字上野同字西ノ谷、本牧町字上臺、千代崎町一丁目、同二丁目、上野町、根岸町字麥田、同字立野竹ノ丸鷹山、同字立野ノ一部。	

(圖面省略)

第二　横濱都市計畫土地區劃整理ニ依ル街路ノ新設、改修ノ件、左ノ通定ム。

幅員	延長(約) 新設	延長(約) 改修	延長(約) 計	面積(約)
四	三、三九三米	二、三三七米	五、七三〇米	
六	二八、二〇六	九、九三四	三八、一四〇	
八	一一、七二六	一〇、一九八	二一、九二四	
一一	三、一一八	一四、八五七	一七、九七五	
一五	四九五	二、二八一	二、七七六	

(圖面省略)

第三、横濱都市計畫土地區劃整理ハ、之ヲ都市計畫事業トシテ、大正十三年度ヨリ大正十六年度迄四箇年度ニ繼續執行スルモノトシ、其ノ年割左ノ通定ム。

土地區劃整理事業執行年割	
大正十三年度	約三割八分八厘
大正十四年度	約三割七分五厘
大正十五年度	約一割六分四厘
大正十六年度	約七分三厘

乙、事業分擔

(一)政府執行事業

横濱の土地區劃整理は燒失區域中約七十五萬坪、內政府の手に執行するもの約三十萬坪なり、即ち左の如し。

內務省告示第四百七十五號

大正十三年七月四日內務省告示第四百二十七號横濱都市計畫土地區

劃整理施行區域ノ内、内務大臣ニ於テ執行スル地區左ノ如シ。

大正十三年七月二十三日　内務大臣　若槻禮次郎

第一地區

西戸部町字四ノ前、同字扇田ノ一部、同字宮ノ前ノ一部、同字池ノ坂ノ一部、同字横枕ノ一部、同字四ノ原ノ一部、同字鹽田ノ一部。

第二地區

西戸部町字石崎、同字御所ノ一部、同字扇田ノ一部、戸部町五丁目、同六丁目、同三丁目ノ一部、同四丁目ノ一部、同七丁目ノ一部、花咲町八丁目、同九丁目、同十丁目、同十一丁目、同七丁目ノ一部、同十二丁目ノ一部。

第三地區

西戸部町字反目ノ一部、同字御所ノ一部、同字宮ノ前ノ一部、戸部町二丁目ノ一部、同三丁目ノ一部、伊勢町三丁目ノ一部、同四丁目ノ一部、同五丁目ノ一部。

第四地區

花咲町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目、同六丁目、福島町、野毛町一丁目、同二丁目、同三丁目ノ一部、同四丁目ノ一部、宮川町一丁目、同二丁目、同三丁目、日出町一丁目ノ一部、同二丁目ノ一部。

第五地區

日ノ出町二丁目ノ一部、同三丁目ノ一部、黄金町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、三春町一丁目、同二丁目、同三丁目、初音町二丁目、同三丁目、同四丁目、同一丁目ノ一部、英町二丁目、同三丁目、同一丁目ノ一部、霞町二丁目、同三丁目、南太田町字前里耕地、同字西中耕地ノ一部。

（圖面省略）

（二）市執行事業

横濱の土地區劃整理事業中、市の執行に屬するものは、大正十三年七月二十三日横濱市告示第百十六號に左の七地區を擧ぐ。

第六地區

久保町字鹽田ノ一部、西戸部字鹽田ノ一部、尾張屋町ノ一部、西平沼町ノ一部、平沼町一丁目ノ一部、同三丁目ノ一部。

第七地區

久保町字鹽田ノ一部、西戸部町字鹽田ノ一部、尾張屋町ノ一部、西平沼町ノ一部、平沼町二丁目、同三四丁目、同一丁目ノ一部、同三丁目ノ一部、同四丁目ノ一部、春木町字内海ノ一部、仲町二丁目、同一丁目ノ一部、材木町二丁目、同一丁目ノ一部。

第八地區

相生町五丁目ノ一部、住吉町五丁目、同六丁目ノ一部、常盤町五丁目、尾上町五丁目、同六丁目、港町五丁目、同六丁目。

第九地區

福富町一丁目ノ一部、同二丁目ノ一部、同三丁目ノ一部、松ケ枝町ノ一部、荒川町ノ一部、梅ケ枝町ノ一部、蓬萊町四丁目、長者町五丁目、同六丁目、七丁目、同八丁目、同九丁目、雲井町一丁目、足曳町一丁目、久方町一丁目、賑町一丁目、若葉町一丁目、末吉町一丁目ノ一部。

第十地區

雲井町二丁目、足曳町二丁目、久方町二丁目、賑町二丁目、若葉町二丁目、同三丁目、末吉町二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目、同六丁目、同一丁目ノ一部、駿河町一丁目、同二丁目、同三丁目、長島町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目、同六丁目、吉岡町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目、同六丁目、南吉田町字南四ッ目ノ一部、同字南五ッ目ノ一部、同字北五ッ目ノ一部。

第十一地區

南吉田町西川外ノ分、蒔田町一ノ坪、同字宿、同字門田、同字宮ノ脇、同字三反田、同字井領田、同字井領田耕地、同字矢畑、同字一本松、同字六反目、同字廻リ坪、同字町田、同字榎本坪、同字居尻、同字五反田、同字下ノ前、同字蒔田橋、同字西ノ一部、同字山ノ根ノ一部、同字堂面ノ一部、同字東谷ノ一部、大岡町字釜田、同字大橋詰、同字樋ノ口、同字北ノ前、同字鰯袋、同字石畠ノ一部、同字宮ノ前ノ一部、同字中ノ島ノ一部、同字堰ノ上ノ一部、同字前田ノ一部。

第十二地區

北方町字竹ノ花ノ一部、同字上野ノ一部、同字四ノ谷ノ一部、本牧町字上台ノ一部、千代ケ崎町一丁目ノ一部、同二丁目ノ一部、上野町ノ一部、根岸町字麥田ノ一部、同字立野字竹ノ丸字瓷山ノ一部、同字立野ノ一部。

設計第三

「帝都復興事業に就て」に據れば左の如し。

土地區劃整理設計の方針

(1)基本調査

(一)燒失區域内の土地の實測をなし、土地原簿及び權利者名簿を作製すること。

(二)上下水道、電信、電話、電氣、瓦斯等の地下埋設物の現狀調査をなすこと。

(三)殘存建物及び其他の敷地の調査をなすこと。

(四)耕地整理法第四十三條第一乃至第七號の土地の調査をなすこと。

(2)區劃設計

(一)區廓の配例

イ、區廓の配例を定むるに當りては、在來の地下埋設物並に下水設備等を考慮し、支障なき道路は成可く之を存置し、新に開設すべき街路の規準とすること。

ロ、區廓の長軸は成可く主要道路に平行せしむる樣、區廓の配列を定むること。

(二)區廓の形狀

一區廓の長軸の長さは其短軸の二倍乃至四倍となすこと。

(三)一敷地の奥行並に開設すべき道路の最小幅員

一敷地の奥行並に開設すべき道路の最小幅員は地域、地區並に土地の實情を參酌し之を決定すべきも、大略左記標準に依ること。

	住宅地域		商業地域		工業地域		倉庫地域	
	敷地の奥行	最小道路の幅員	敷地の奥行	最小道路の幅員	敷地の奥行	最小道路の幅員	敷地の奥行	最小道路の幅員
一等地	二〇間	八米	一五間	八米	三〇間	八米	三〇間以下	八米
二等地	一五	八	一二	八	一五	八	—	—
三等地	一〇	八	一〇	八	—	—	—	—
四等地	八	六	八	六	—	—	—	—
五等地	六	四	六	六	—	—	—	—

備考

一、指定せざる地域に於ては、土地の情況に應じ、前記標準を參酌して定むること。

二、商業地域内特種の地域は、前表の道路の最小幅員を四米まで逓減し得ること。

(四)建築線の指定

區廓設計を爲すに當り、土地の實情を考察して、建築物の建築に際し、更に建築線の指定を要する箇所は、寧ろ整理設計として幅員四米以上の道路を開設し、土地の實情不明確の箇所は、區廓の奥行稍々過大と認めらるゝときも、之を建築物の指定に俟つこと。

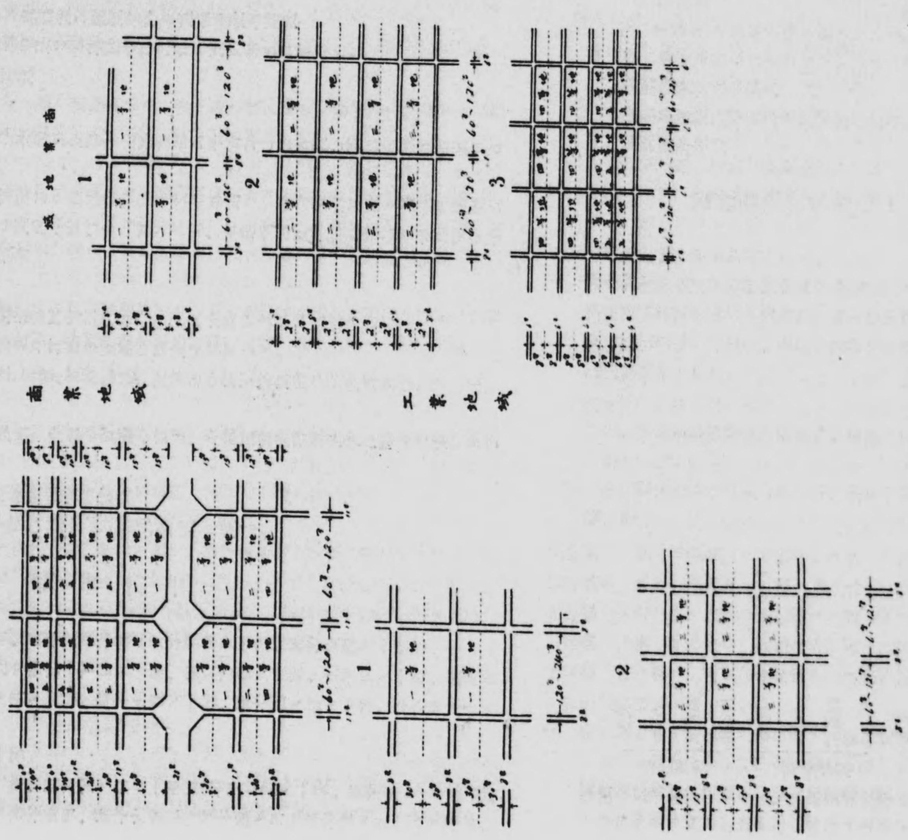
區劃整理設計順序

一、現況圖の作製

土地區劃整理事務取扱規定案に依る。

二、議定幹線道路の記入

現況圖の作製を終りたるときは、直ちに出張所土木係に於て、議定幹線道路（二十二米以上）を實測に依り記入すべし。



三、現況圖に原寸用紙を重ね、之に地區の周圍、固定工作物、要存置物件、幹線道路等を記載し、尙之に補助街路並に區劃整理街路を記入し、區劃整理設計上の當否を決定するの外、必要に應じ四米又は三米道路を新設記入すべし。

四、整理前後の路線價指數の決定を本部に請求すべし。

五、整理前の路線價指數を委員會に附議すべし。

（路線價指數圖及同調書を委員會に提出のこと）。

六、整理前後の宅地總面積（非地整理法第四十三條の編入を含む）を算出し、該地區の宅地減少率を決定すべし。

七、整理後の各ブロックに付ブロックの整理前後の宅地減少歩合を算出し、當該地區の宅地減少率と大差なき場合に於ては、其各ブロックに付其の減少歩合を標準とし各筆の換地を豫定し、次で借地權の區分を現したる豫定圖を作製すべし。

前項の歩合にして著しく差異ある場合に於ては二ブロック以上を合併し、減少歩合を該當地區の宅地減歩率に近づかしめたる上、豫定圖を作製すべし、但し整理前後の路線價指數著しく差異ある場合に於ては、該ブロックの減少歩合と當該地區の宅地減歩率との間に差異あるも妨なし。

八、以上の方法に依り豫定圖完了したるときは、整理後路線價指數圖、指數調書、現況圖、豫定圖を作製し、整理委員會に提出すべし。

九、豫定圖完成後、直ちに整理前の各筆並に借地權區分毎に評定指數を算出すべし。

一〇、委員會を經て決定せる豫定圖に付き、整理後の各筆並に借地權區分毎に評定指數を算出し、別紙區劃整理設計書第　號樣式に依り調書を作製すべし。（樣式省略）

一一、整理前各筆指數調書を委員會に指出し、指數に對する金錢改算率の決定を求むべし。

一二、特別都市計畫法第八條に依る補償金總額を豫定し、各人に對する配當率調書を整理委員會に提出し其決定を求むべし。

一三、物件の除却、地均等に要する費用を調査し、別紙區劃整理設計書第　號樣式の調書を作製すべし。（樣式省略）

一四、假設建築物移轉の順序方法及移轉費を調査し、別紙區劃整理設計書第　號樣式に依り調書を作製すべし（補償費査定者附議）。（樣式省略）

一五、假設建築物移轉。

一六、區町界區域變更案作成（市町村會の決議）。

一七、國有地無償編入及無償交付の調書作成。

一八、區劃整理設計書作成（第　號樣式）（樣式省略）。

一九、整理確定圖作成（第　號樣式）（樣式省略）。

六、下水計畫　復興事業としての下水事業は、東京に在りては、現設下水道の復舊、第二期工事の殘部其他の施行に在りて、既定設計變更あり、橫濱に在りては、新に施行するものとす。

東京市下水事業

1、復舊事業　左の如し。

内務省告示第百七十二號

東京都市計畫下水道復舊事業及其ノ執行年割ノ件、左記ノ通大正十二年三月三十一日内閣ノ認可ヲ得タリ。

大正十三年四月一日　内務大臣　水野錬太郎

第一、東京市計畫下水復舊ノ件、左ノ通定ム。

一、三河島汚水處分場

沈澱池並驛水渠合流渠修理

壁　基　据　置	約　五、三三三尺
笠　石　据　替	約　五、四〇〇尺
壁　龜　裂	約　六四箇所
沈　澱　池　床	約　六箇所
驛水渠合流橋渠	約　八箇所

濾過池修築	約	二四箇所
高置給水槽折損修築		
排水渠竝コンクリート管修理	約	二五箇所
主喞筒送水管据付修理	約	九本
護岸木柵修築其他		
二、淺草喞筒場		
雨水渠門扉修理		一組
喞筒竝附屬喞筒機械修理		九臺
起重機		一臺
電動機配電盤		電動機九臺 配電盤一〇臺
場内電線路其ノ他		
喞筒場本館	約	一五八坪
事務所	約	五四、五坪
倉庫及便所	約	四八坪
公舍		三棟
門電灯水道設備其他		
三、下水管渠		
事務所、附屬家、倉庫、門其ノ他		
人孔修理	約	三〇〇箇所
桝竝取付管修理	約	一、二〇〇箇所
角落竝柄蓋修理	約	一〇箇所
橋梁修理	約	二箇所
雨水開渠修理	約	一、八〇〇尺
藍染排水路修理	約	三〇〇尺
枝線路修理	約	一〇、〇〇〇尺
幹線路修理	約	一、〇〇〇尺
速成線路修理	約	一、〇〇〇尺

第二、前項ノ計畫ハ、都市計畫事業トシテ大正十二年度ヨリ大正十三年度迄二箇年度ニ繼續執行スルモノトシ、其年割左ノ通定ム。

下水道復舊事業執行年割

大正十二年度　約八割一分二厘

大正十三年度　約一割八分八厘

年割變更

内務省告示第六百七十七號

大正十三年四月一日内務省告示第百七十二號東京都市計畫下水道復舊事業大正十三年度執行年割、左ノ通變更スルノ件、大正十三年十月二十四日内閣ノ認可ヲ得タリ。

大正十三年十月二十七日　内務大臣　若槻禮次郎

大正十三年度　約九割九分九厘

2、殘部第二期事業　左の如し。

東京都市計畫事業下水道設計第二區工事執行年限延長及年度割變更ノ件、左記ノ通大正十三年三月二十八日内閣ノ認可ヲ得タリ。

大正十三年三月二十九日　内務大臣　水野錬太郎

東京都市計畫事業東京市下水道設計第二區工事ハ、明治四十四年度ヨリ大正十二年度ニ至ル十三箇年度ニ繼續執行スルコトニ更メ、大正十二年度ノ年度割ヲ左ノ通定ム。

大正十二年度　約二分四厘

内務省告示第七百九十七號

東京都市計畫事業東京市下水道設計第二區工事ハ、明治四十四年度ヨリ大正十三年度ニ至ル十四ケ年度ニ繼續執行スルコトニ更メ、大正十三年度ノ年度割ヲ約一分五厘トナスノ件、大正十三年十二月二十四日内閣ノ認可ヲ得タリ。

大正十三年十二月二十九日　内務大臣　若槻禮次郎

3、設計變更　左の如し、

内務省告示第七百九十五號

東京都市計畫東京市下水道設計左ノ通リ變更スルノ件、大正十三年十二月二十四日内閣ノ認可ヲ得タリ。

大正十三年十二月二十九日　内務大臣　若槻禮次郎

東京都市計畫東京市下水道

第一　下水排除區域ハ東京市區域内トス、但シ地勢ノ關係ニヨリ、雨水汚水ノ市内ニ流入スル隣接町村一部ノ下水ハ、之ヲ收容スル計畫トス。

第二　下水排除量ハ、汚水量ハ全市人口ヲ三百萬ト豫想シ、一人當リ一日平均六立方尺ノ半量ヲ八時間内ニ排泄スルモノトシ、雨水量ハ一時間内ニ排泄スルモノトシ、雨水量ハ一時間量大降雨量ヲ五十粍トシテ之ヲ定ム。

第三　下水排除方法ハ、主トシテ合流法ニ依リ、雨水及汚水ヲ同一管渠ニ導キ收容排除シ、地勢ニ應シ、之ヲ各別ノ管渠ニ依リ排除スル分流法ヲ併用ス、而シテ高地區ノ下水ハ自然流下ニ依リ、低地區ノ下水ハ喞筒ヲ用ヰ之ヲ排出ス。

第四　下水處分ニ付テハ、雨水ハ適所ニ雨水吐ヲ設ケ、河川濠池等ニ放流スルモ、汚水ハ凡テ之ヲ處分場ニ導キ處理シタル後、品川灣隅田川及中川沖ニ排出ス、但シ合流法ニ依ル地域ニ在リテハ、最大汚水量ニ達スル迄ノ雨水ハ汚水ト共ニ之ヲ處理ス。

第五　下水管渠ノ構造ニ付テハ、雨水渠雨水吐等特殊ノ場合ノ外總テ暗渠式トシ、排水量ノ多少ニ應シ、陶管鐵筋混凝土管竝ニ鐵筋混凝土暗渠ノ三種ヲ併用ス。

第六　地勢ニ依リ、全市排除區域ヲ第一第二第三ノ三大區ニ分チ、第一區ハ更ニ高段中段低段ノ三區ニ分割ス。

各區ノ面積下水道配布ノ延長及設備ノ大要左ノ如シ、但シ實際工事ノ情況ニ依リ多少變更ヲ見ルコトアルヘシ。

第一區

イ、高段

區域　麻布、赤坂ノ全部、麴町、芝、四谷ノ一部。

面積　約四百四十三萬七千坪。

下水道延長　約十一萬七千百間。

ロ、中段

區域　本郷ノ大部、小石川、牛込、四谷、麴町、神田、下谷、芝ノ一部。

面積　約六百七十九萬三千坪。

下水道延長　約二十四萬三千間。

ハ、低段

區域　日本橋、京橋(月島ヲ除ク)ノ全部、神田、麴町ノ一部竝江戸川沿岸。

面積　約三百二十五萬六千坪。

下水道延長　約十三萬千六百間。

ニ、錢瓶町喞筒場

位置　麴町區錢瓶町。

面積　約四千百五十坪。

ホ、芝浦喞筒場

位置　芝浦第四號埋立地先。

面積　約五千四百六十坪。

第一區汚水處分場完成ニ至ル迄、芝浦喞筒場ニ吐口竝一時的假處分施設ヲ附設ス。

ヘ、芝浦羽田間汚水幹線　芝浦喞筒場ヨリ鮫洲地先迄、埋立地經由鮫洲以南海面ヲ埋立テ埋築ス。

延長　約五千八百間。

ト、第一區汚水處分場

位置　六郷河口。

面積　約十萬坪。

主要設備　沈砂池、喞筒場、沈澱池、消毒設備等。

第二區

イ、

區域　淺草ノ全部及下谷、神田、本郷ノ一部。

面積　約二百四十九萬五千坪。

下水道延長　約九萬八千間。

ロ、和泉町喞筒場

位置　神田區和泉町。

面積　約百四十坪。

ハ、田町喞筒場

位置　淺草區田町。

面積　約九百五十坪。

二、第二區汚水處分場

位置　三河島町。

面積　約五萬九千坪。

主要設備　沈砂池、喞筒場、沈澱池、細菌床等。

第三區

イ、

區域　本所、深川ノ全部、京橋ノ内月島。

面積　約三百七十八萬七千坪。

下水道延長　約十二萬三百間。

ロ、業平橋喞筒場

位置　本所區業平橋附近。

面積　約二千坪。

ハ、三之橋喞筒場

位置　本所區三之橋附近。

面積　約千九百坪。

ニ、木場喞筒場

位置　深川區末廣橋附近。

面積　約三千九百坪。

ホ、月島喞筒場

位置　初見橋附近。

面積　約二百九十坪。

ヘ、木場砂町間汚水幹線　二十間川竝砂町運河ノ南岸ニ沿ヒテ東シ砂町八幡社北ヨリ南折處分場ニ入ル。

延長約二千五百四十間。

ト、第三汚水處分場

位置　荒川放水路口。

面積　約七萬五千坪。

主要設備　沈砂池、喞筒場、沈澱池、消毒設備等。

（圖面省略）

4、下水復興事業範圍及年割　左の如し。

内務省告示第七百九十六號

東京都市計畫東京市下水道事業及其ノ執行年割、左ノ通決定スルノ件、大正十三年十二月二十四日内閣ノ認可ヲ得タリ。

大正十三年十二月二十九日　内務大臣　若槻禮次郎

第一、東京都市計畫東京市下水道ハ、之ヲ都市計畫事業ト爲ス。

第二、前項事業中、第二期事業殘工事、及震災ニ因ル燒失區域中、神田區ニ屬スル幹線ノ全部、同枝線ノ一部、麹町區芝區ニ屬スル高段幹線ノ全部、本所深川兩區ニ屬スル喞筒場處分場、幹線枝線ノ内排水上必要ナル基礎工事ハ、之ヲ復興事業トシテ大正十三年度ヨリ大正十七年度迄五箇年度ニ繼續執行スルモノトシ、其ノ年割左ノ通リ定ム。

大正十三年度	約二割	
大正十四年度	約二割	
大正十五年度	約二割	
大正十六年度	約二割	
大正十七年度	約二割	

東京都市計畫下水道第二期事業既定執行年割ハ、大正十二年度ヲ以テ打切ルモノトス。

四　執　行

帝都復興事業は上來記述する所の如く、大正十二年度より十七年度に至る六箇年繼續を以て、

國執行		三四二、一九二、八〇〇圓
（外に防火地區建築補助）		二〇、〇〇〇、〇〇〇圓
地方執行		三五七、六八三、三七九圓
内	國庫負擔	一二八、〇八〇、九一七圓
	地方負擔	二二九、六〇二、四六二圓

の事業を擧ぐるに在り、精しく言へば、

東京の分

一、街路

國執行	路線＝一二線、延長＝約五一粁、事業費＝二五、三八二、四〇〇圓。	
市執行	路線＝一〇線（内一線計畫に止る）、延長＝約一三粁	
	事業費＝六、〇一八、〇〇〇圓。	
二、運河	運河＝二線、幅員二七米以上六九米以下、延長＝約五粁、事業費＝五、六一二、〇〇〇圓。	
幹線（國執行）	路線＝五三線、延長＝約＝一一八粁、事業費二五七、四五八、四〇〇圓。	
補助線（市執行）	路線＝一二二線（内一線は計畫に止る）、延長＝約一三八粁、事業費＝六〇、八五二、〇〇〇圓	
二、運河（國執行）	運河＝一三線、幅員＝三〇米以上五五米以下、延長＝約一五粁、事業費＝二八、五七〇、〇〇〇圓	
三、公園		
大公園（國執行）	箇所＝三箇所、面積＝約六一、〇〇〇坪、事業費一一、九〇〇、〇〇〇圓。	
小公園（市執行）	箇所＝五二箇所、面積＝約四六、六〇〇坪、事業費＝一〇、〇〇〇、〇〇〇圓	
四、土地整理		
施行區域面積	國施行	約一、八二二、〇〇〇坪
	市施行	約七、四一七、〇〇〇坪
區劃整理に依る街路		延長＝約四六六粁
事業費	國執行	八、七五〇、〇〇〇圓
	市執行	三三、九五一、〇〇〇圓

横濱の分

一、街路

國執行	路線＝一二線、延長＝約五一粁、事業費＝二五、三八二、四〇〇圓。	
市執行	路線＝一〇線（内一線計畫に止る）、延長＝約一三粁	
	事業費＝六、〇一八、〇〇〇圓。	
二、運河	運河＝二線、幅員二七米以上六九米以下、延長＝約五粁、事業費＝五、六一二、〇〇〇圓。	

三、公　園　箇所＝三箇所、面積＝約四八、〇〇〇坪、事業費＝一、九五九、〇〇〇圓。

四、土地整理

施行區域面積　國　約三二〇、〇〇〇坪
　　市　約五〇八、〇〇〇坪

區劃整理に依る街路　延長＝約八七粁

事業費　國　二、五六一、〇〇〇圓
　　市　四、一七九、〇〇〇圓

府縣市執行の分

(一) 東京府

國　道（京濱連絡國道外三線）　事業費＝九、五八三、二〇四圓

府　縣　道（東京市郊環狀放射線道路改修ノ一部）　事業費＝七、五〇〇、〇〇〇圓

教育施設（中學校新營五校）　事業費＝三、二五〇、〇〇〇圓

(二) 東京市

道路橋梁（復舊改修）　事業費＝一六、〇五五、一〇〇圓

上水道（復舊擴張）　事業費＝一〇、〇〇〇、〇〇〇圓

下水道（復舊改良）　事業費＝四三、五〇〇、〇〇〇圓

塵芥處分（新設）　事業費＝一、八五〇、〇〇〇圓

中央卸賣市場（新設）　事業費＝一五、〇〇〇、〇〇〇圓

衛生施設（實費診療所及病院）　事業費＝三、一〇〇、〇〇〇圓

教育施設（小學校新營一一七校）　事業費＝三八、六一〇、〇〇〇圓

社會事業（職業紹介所、兒童健康相談所、婦人授産場、兒童場、公衆食堂、簡易宿泊場、質屋及浴場等）　事業費＝四、五二五、〇〇〇圓

電氣事業（軌道及電氣供給事業復舊工事）　事業費＝四〇、〇〇〇、〇〇〇圓

(三) 神奈川縣

國　道（京濱間國中縣ニ屬スル分）　事業費＝一、三一八、〇七五圓

教育施設（中學校新營修築五校）　事業費＝二、〇〇〇、〇〇〇圓

(四) 横濱市

道路橋梁（復舊改築）　事業費＝七、四四二、〇〇〇圓

河　川（護岸改築）　事業費＝六、〇〇〇、〇〇〇圓

上水道（復舊）　事業費＝三、〇〇〇、〇〇〇圓

下水道（復舊）　事業費＝一、二五〇、〇〇〇圓

衛生施設（病院及結核療養所）　事業費＝一、五〇〇、〇〇〇圓

教育施設（小學校一卅一校商業學校一校新營）　事業費＝一〇、九五〇、〇〇〇圓

社會事業（職業紹介所、公設市場、簡易食堂、託兒所、公設浴場及授産場）　事業費＝七五〇、〇〇〇圓

電氣事業（復舊改良）　事業費＝八、五〇〇、〇〇〇圓

瓦斯事業（復舊）　事業費＝三、〇〇〇、〇〇〇圓

中央卸賣市場（新設）　事業費＝四、〇〇〇、〇〇〇圓

の各事業を執行せんとするものに係る、而して大正十二年より十三年に亘る關係各機關の作業は、事業の計畫立案に努力の大部を用ゐたりしなり、然れども一面計畫決定の部分に對しては、著々執行の途に入り若干の功程を進み、或は事業に根石を置きたり、左に其一斑を擧ぐ。

I　土地整理

上、東　京

イ、執行概要

A、權利申告　區劃整理區域內に、未登記の所有權以外の權利を有する者は、特別都市計畫法施行令第三十六條に依り、地區告示後、十日以內に權利種別及其目的たる土地の所在を申告せざるべからず、乃ち大正十三年三月二十七日より四月五日に之が申告を受理し、政府施行全地區を通じ、其數凡十二萬件に達す。

B、營築願　耕地整理法第二十九條都市計畫法施行令第十一條に據れば、地區告示後、土地の形狀を變更し、工作物を新築改築增築若くは大修繕を爲さんとするものは、地方長官の認可を經ざるべからず、乃ち關係各廳と協議して出願處理の方針手續を定めて、事業の進捗を圖れり。

〔參　考〕

土地區劃整理區內ニ於ケル工作物ノ築造ニ關スル件

大正十三年五月三十一日
東京府告示第二百六十號

都市計畫法施行令第十一條及土地整理法第二十九條ノ規定ニ依リ、東京都市計畫整理施行地區內ニ於テ、工作物ヲ新築改築增築大修繕ハ物件ノ附加增置ヲ爲シ、又ハ土地ノ形資ヲ變更セムトスル者ハ、左記ノ樣式ニ準據シタル書面ニ願地附近ノ見取圖、工作物ノ平面圖及同構造圖ヲ添ヘ、所轄區役所町村役場ヲ經由シ、東京府知事ニ提出スベシ。

樣式

東京都市計畫土地區劃整理施行地內（工作物新築、改築、增築、大修繕、又ハ土地形質變更）願

工作物設置ノ位置　郡　町　大字　番地
　　區　町　丁目　番地

工作物ノ種類及用途

木造二階建、住宅倉庫）新築（改築、增築又ハ大修繕）

工作物ノ坪數及其ノ建築費

延坪　坪、總建築費

工作物ノ構造ノ概要

設計仕樣ノ大要

右ノ通東京都市計畫土地區劃整理施行地內ニ於テ、工作物ヲ新築（改築、增築、又ハ大修繕）致度候ニ付、御許可相成度、別紙圖面相添、此段及申請候也

大正　年　月　日　住所
　　出願者　氏名
　　住所
　　土地管理者　氏名

東京府知事　殿

土地區劃整理地區內ニ於ケル工作物ノ築造ニ關スル件

大正十三年五月三十一日告示第二〇三號
各郡長宛東京府內務部長通牒

本年三月二十七日內閣ノ認可告示ニ係ル東京都市計畫土地整理施行地區內ニ於テ、工作物ヲ新築改築增築若ハ大修繕ヲナシ、土地ノ形資ヲ變更シ、又ハ物件ヲ附加增置を爲サントスル場合ハ、都市計畫法施行令第十一條及土地整理法第二十九條ノ規定ニ依リ、知事ノ許

可ヲ要スベク、其ノ手續ヲ履行セザル者ハ、損害補償ヲ請求シ得ザル次第ニ有之候處、左記ノ如キ土地區劃整理施行上重大ナル障害トナル虞アルモノハ、已ムヲ得ザル場合ヲ除クノ外、許可セラレザルモ、其ノ他ノモノニアリテ、可成許可セラルベキ見込ニ有之候條、爾今工事ニ着手セムトスルモノハ勿論、右内閣ノ認可告示後、現ニ工事ニ着手シタル者ト雖モ、此際相當手續ヲ履行シ、後日損害補償ノ請求ニ遺憾ナキ樣、一般ニ周知方御取計相成度、此段依命及通牒候也

追テ、本願受領シタルトキハ、直ニ進達方御取計相成度候

一、左ニ掲グル建築物ノ新築改築增築又ハ大修繕

イ、煉瓦造、石造、鐵骨造、又ハコンクリート造ノ建造物。

ロ、延坪合計五十坪ヲ超ユル建物。

ハ、建築費延坪坪當リ平均單價金百二十圓ヲ超ユル建物。

二、東京都市計畫事業幹線街路、補助線街路及運河ノ新設又ハ改修ニ要スル土地ノ境域内ニ於テ爲スモノ。

三、前各號ニ掲グル場合ヲ除クノ外、著シク移轉ノ困難ナル、又ハ移轉ニ付著シキ費用ヲ要スル物件ノ附加增置。

東京土地區劃整理進捗狀況

地區	擔當出張所	換地設計	付議	換地位置決定	付議	換地面積決定
六(神田駿河臺方面)	二	完了	大正十二年七月七日	大正十三年八月九日	大正十三年八月九日	—
十(日本橋馬喰町方面)	二	完了	〃 十月一日	二月中ニ決定ノ見込	—	—
十二(同　濱町方面)	二	完了	〃 九月三日	〃 十月十九日	—	—
十三(同　蠣殼町方面)	二	完了	〃 九月七日	一月中ニ決定ノ見込	—	—
十四(同　吳服町方面)	二	完了	〃 八月廿五日	一月中ニ決定ノ見込	—	—
十六(同　箱崎町方面)	二	完了	〃 十月廿四日	〃 十一月十二日	—	—
十七(京橋南傳馬町方面)	一	完了	〃 五月十八日	一月中ニ決定ノ見込	—	—
三十一(神田松永町方面)	三	完了	〃 八月十五日	〃 十二月十九日	—	—
三十四(下谷區上野方面)	三	完了	一月中ニ附議ノ見込	—	—	—
三十六(同　淸島町方面)	三	完了	〃 八月十九日	—	—	—
四十九(本所回向院方面)	四	完了	〃 八月五日	〃 十一月廿一日	—	—
五十八(深川黑江町方面)	四	完了	〃 八月二十日	—	—	—
六十三(府下日暮里方面)	三	完了	〃 九月廿五日	〃 十二月廿三日	—	—
六十四(府下南千住方面)	三	完了	〃 十月六日	一月中ニ決定ノ見込	—	—
六十五(府下砂町方面)	四	完了	〃 十月廿八日	〃 十一月廿四日	—	—

C、現況調査　區劃整理施行區域の現況調査は、大正十二年より之を施行し、之が基本測量は、第四十七議會終了後直に陸軍の協力を得て實施し、同時に殘存及假設建築物其他の工作物、地下埋設物、土地所有權其他の權利、地區編入に同意を要する土地等の精細なる調査を爲し、土地の價格は、關係官署、銀行、會社の意見を徵し、又賣買の實例を調べて評價の根柢を作り、新に路線價に基く評價方法を定め、以て各宅地を合理的に評價す、而して整理施行地區決定後は、各地區に於ける幹線街路補助線街路、運河公園市場の施設、及住居工業商業等の地區種別を基準とし、土地の實狀を斟酌し、街廓の形狀、廣袤、配列に關する計を爲し、更に換地の設計に着手せり。

D、換地設計　換地の位置及面積に關する設計は、整理前後の土地價格面積、借地權の關係、建築物の狀況、營業關係、淸算金問題等、諸種の事情を顧慮し、減歩率緩和の爲めの土地買收、土地臺帳の誤謬訂正、寺院境内の地區編入の諸問題を處理し、政府執行十五地區中十四地區の換地位置を土地區劃整理委員會に附議し、五地區分を決定し、換地面積亦一地區の付議決定を爲したり。

E、建物移轉　土地區劃整理の施行に伴ふ建物其他工作物の移轉處分は、復興事業中最も重要なる事項の一にして、換地に關する設計案區劃整理委員會に於て決定するや、更に換地豫定地の精密なる實測を遂げ、各筆所有權並に借地權界の杭打を爲し、乃ち建物其他工作物所有者に對し、移轉命令を發するものにして、大正十三年十月二十三日第六地區神田駿河臺方面に移轉命令を發したるもの、實に之が第一回たり。

ロ、土地區劃整理委員

A、選擧　土地區劃整理委員は、大正十三年四月十四日五月十四日七月二十二日の内務省告示に依り、選擧期日投票所、投票時間、選擧人名簿縱覽所、縱覽期間、縱覽時間を定められ、五月六日の第六地區第十四地區第十七地選擧を初め、八月十八日の第六十四地區第六十五地區選擧を最終とし、第六地區地主側の淸水釘吉以下補缺委員を合せて五百三十五名の當選を見たり。

内務省告第百九十一號

大正十三年三月内務省告示第百五十四號ノ東京都市計畫土地區劃整理施行地區ノ内、第六地區、第十四地區、第十六地區、及第十七地區

土地區劃整理地區	選擧期日	投票所	投票時間	選擧人名簿縱覽場所	選擧人名簿縱覽期間	選擧人名簿縱覽時間
第六地區	大正十三年五月六日	神田區役所	自午前八時至午後六時	神田區役所	大正十三年自四月三十日至五月二日	自午前九時至午後五時
第十四地區	大正十三年五月六日	日本橋區役所	自午前八時至午後六時	日本橋區役所	大正十三年自四月三十日至五月二日	自午前九時至午後五時
第十七地區	大正十三年五月六日	京橋區役所	自午前八時至午後六時	京橋區役所	大正十三年自四月三十日至五月二日	自午前九時至午後五時
第十六地區	大正十三年五月七日	日本橋區役所	自午前八時至午後六時	日本橋區役所	大正十三年自四月一日至五月三日	自午前九時至午後五時

内務省告示第二百二十五號

大正十三年三月内務省告示第百五十四號ノ東京都市計畫土地區劃整理施行地區ノ内、第十地區、第十三地區、第三十一地區、第三十四地區、第三十六地區、第三十四地區及第五十八地區ニ於テ選擧スヘキ土地區劃整理委員ノ選擧期日、投票所、及投票時間、竝選擧人名簿縱覽場所、縱覽期間、縱覽時間ヲ左ノ通定ム。

大正十三年四月十四日　内務大臣　水野錬太郎

縱覽場所、縱覽時間、左ノ通リ定ム。

大正十三年五月十四日　內務大臣　水野錬太郎

一、選擧期日、投票所、投票時間

地區ノ名稱	選擧期日	投票所	投票時間
第十地區	大正十三年六月十四日	日本橋區役所	自午前八時至午後六時
第十三地區	大正十三年六月三日	同	自午前八時至午後六時
第三十一地區	大正十三年六月十三日	下谷區役所	自午前八時至午後六時
第三十四地區	大正十三年六月五日	同	自午前八時至午後六時
第三十六地區	大正十三年六月十四日	淺草公園傳法院	自午前八時至午後六時
第四十九地區	大正十三年六月三日	本所區役所	自午前八時至午後六時
第五十八地區	大正十三年六月十三日	深川區役所	自午前八時至午後六時

二、選擧人名簿縱覽場所、縱覽期間、縱覽時間

地區ノ名稱	縱覽場所	縱覽期間	縱覽時間
第十地區	日本橋區役所	自大正十三年六月八日至大正十三年六月十日	自午前九時至午後五時
第十三地區	同	自大正十三年五月二十八日至大正十三年五月三十日	自午前九時至午後五時
第三十一地區	下谷區役所	自大正十三年六月七日至大正十三年六月九日	自午前九時至午後五時
第三十四地區	同	自大正十三年五月三十日至大正十三年六月一日	自午前九時至午後五時
第三十六地區	淺草區役所	自大正十三年六月八日至大正十三年六月十日	自午前九時至午後五時
第四十九地區	本所區役所	自大正十三年五月廿八日至大正十三年五月卅日	自午前九時至午後五時
第五十八地區	深川區役所	自大正十三年六月七日至大正十三年六月九日	自午前九時至午後五時

內務省告示第四百七十四號

大正十三年三月內務省告示第百五十四號東京都市計畫土地區劃整理施行地區ノ內、第十二地區、第六十三地區、第六十四地區、及第六十五地區ニ於テ選擧スヘキ土地區劃整理委員ノ選擧期日、投票所、及投票時間竝選擧人名簿縱覽場所、縱覽期間及縱覽時間左ノ通リ定ム

大正十三年七月二十二日　內務大臣　若槻禮次郎

一、選擧期日、投票所、投票時間

地區ノ名稱	選擧期日	投票所	投票時間
第十二地區	大正十三年八月十三日	日本橋區役所	自午前八時至午後四時
第六十三地區	大正十三年八月十三日	北豐島郡三河島町役場	自午前八時至午後四時
第六十四地區	大正十三年八月十八日	北豐島郡南千住町役場	自午前八時至午後四時
第六十五地區	大正十三年八月十八日	南葛飾郡砂町役場	自午前八時至午後四時

二、選擧人名簿縱覽場所、縱覽期間、縱覽時間

地區ノ名稱	縱覽場所	縱覽期間	縱覽時間
第十二地區	日本橋區役所	自大正十三年八月七日至大正十三年八月九日	自午前八時至午後四時
第六十三地區	北豐島郡三河島町役場	自大正十三年八月七日至大正十三年八月九日	自午前八時至午後四時
第六十四地區	北豐島郡南千住町役場	自大正十三年八月十二日至大正十三年八月十四日	自午前八時至午後四時
第六十五地區	南葛飾郡砂町役場	自大正十三年八月十二日至大正十三年八月十四日	自午前八時至午後四時

內務省告示第二百十四號

大正十三年四月內務省告示第百九十一號ニ依リ、東京都市計畫土地區劃整理施行地區ノ內、第六地區第十四地區及第十七地區ニ於テ選擧シタル土地區劃整理委員、及同補闕委員ノ當選者氏名、左ノ如シ。

大正十三年五月十二日　內務大臣　水野錬太郎

土地所有者選出當選者

第六整理施行地區

整理委員

清水釘吉　島田宏
濱田次郎　辻歌之輔
五味保　金高良助
瀨川昌世　屋代安平
小畑惟清　深井安藏
小林長次郎　佐藤一十郎
服部廣太郎　吉岡藤助
山本留次　內田清吉
明治大學　守屋祐章

同補闕委員

日下部志勇　酒井兼吉
井上達二　山本一平
三輪竹次郎　加藤精一
白井千助　酒井庄吉
中村直次郎　日比二一
金杉英五郎　森伊三吉
阿久津三郎　石川三郎
廣川和一　近藤六藏
薩摩治兵衛　黑瀨正彌

第十四整理施行地區

整理委員

吉田久庵　加藤勢太郎
津村重舍　伊藤仙助
望月軍四郎　岩田錄三
細田安兵衛　柏原新之助

借地權者選出當選者

高能貞次郎　柳田諒三
井上安次郎　遠城兵造
菊地長四郎　岡野務
丸善株式會社　株式會社白木屋呉服店
三木與吉郎　森屋太吉
木村甚三郎　飯田清之助

同補闕委員

岡本武美　牛山武兵衛
外池五郎三郎　青山鐵之助
稻延利兵衛　奥田廣助
合名會社國分商店　泉田鑄吉
龜井唯二郎　高宮圭一
中村淺吉　松田啓太郎
崎岸喜三郎　入山梅次郎
濤川惣助　川井清
中井新右衛門　橋爪房太郎
堀越角次郎　合名會社芳川商店

第十七整理施行地區

整理委員

星野友七　中井富藏
泉熊次郎　野田嶺吉
中澤佐市　渡邊長吉
田中平治　石川民三郎
田村彦兵衛　後藤新二
島村藤七　石關寶太郎
遠藤權次郎　藪原鐵五郎
小林清次郎　伊藤和三郎
諏訪松之助　瀨尾新吉

整理委員補闕委員

大住喜右衛門　矢田耕造
山崎松之助　江間松五郎
大野宗太郎　服部喜兵衛
株式會社武州銀行　新藤信平
菊田幸吉　高野吉次郎
井上恆吾　近藤市太郎
千葉龜之助　前田鶴太郎
東京建物株式會社　野村六三郎
合資會社清水組　西脇嘉市

內務省告示第三百二十號

大正十三年五月內務省告示第二百二十五號ニ依リ東京都市計畫土地區劃整理施行地區ノ內第十三地區第四十九地區ニ於テ選擧シタル土地區劃整理委員及同補闕委員ノ當選者氏名左ノ如シ。

大正十三年六月九日　內務大臣　水野錬太郎

土地所有者選出當選者　借地權者選出當選者

第十三地區

整理委員

堀口米次郎　小山庄次郎
駒木銀三郎　廣瀨權平
株式會社東京米穀商品取引所　森富三郎
吉川百太郎　岩下良吉
中村慶次郎　藤井憲
成島菊次郎　重木文二郎
村越庄左衛門　高井末吉
小川專助　渡邊彦三郎
高木興兵衛　青山有一
同補闕委員

細沼傳次郎　五十嵐芳之助
森友德兵衛　富士治左衛門
有松尙龍　中津川虎之進
坪內桂三　杉山福太郎
牧田清之助　櫻井六右衛門
小西合名會社　高橋龍平
鹿島千代　鳩田正三
濱口吉右衛門　北原數吉
杉村甚兵衛　原千代松

第四十九地區

整理委員

式守蝸牛　小原淳孝
杉浦傳吉　福島元筣
太田彌五郎　奧田龜太郎
橫田鋼一　角野庄太郎
小倉長太郎　北條彦四郎
齋藤乙次郎　芥川萬作
大竹仁三郎　泉伊勢三郎
植村三郎　酒井敬太郎
福島三吉　高橋奧助
若林保全合名會社　森留藏
同補闕委員

石井仲藏　伊藤善吉
角谷貞之助　石井岩吉
坂口福太郎　松林泰三
山田宗之助　野崎傳兵衛
秋永久太郎　辻正文
岡本彌兵衛　川井茂三郎

武田善吉　片岡勇次
池邊棟三郎　大崎權藏
村越庄左衛門　野口卯之助
江原德三郎

內務省告示第三百五十一號

大正十三年五月內務省告示第二百二十五號ニ依リ、東京都市計畫地區劃整理施行ノ內第三十四地區ニ於テ選擧シタル土地區劃整理委員及同補闕委員ノ當選者氏名左ノ如シ。

大正十三年六月十六日　內務大臣　若槻禮次郎

土地所有者選出當選者　借地權者選出當選者

整理委員

石井芳太郎　山越長七
池田形藏　村上源太郎
小林爲松　前田治八郎
岡野誠三郎　安東守男
宮坂孫四郎　宗愈甚藏
太田淺吉　吉瀨運之進
吉川克己　石川藤太郎
西田嘉兵衛　足立庶幾
清水清藤　田中新太郎
津山敬亮　小林藤吉
奧村善吉　平井秀男
同補闕委員

猪瀨計之進　淡輪博信
網代善兵衛　本澤甚藏
保坂眞太郎　見上直吉
山田榮次郎　松尾橘郎
山梨政平　濱田仙太郎

古川庄太郎　梅澤安太郎
清水市兵衛　八木松太郎
篠田玉吉　庄田庄造
岡本長光　星合啓之助
岸八郎　山本耕之助
山本龜太郎　久万芳太郎

內務省告示第三百七十號

大正十三年五月內務省告示第二百二十五號ニ依リ、東京都市計畫土地區劃整理施行ノ內第十地區、第三十一地區及第五十八地區ニ於テ選擧シタル土地區劃整理委員及同補闕委員ノ當選者人名、左ノ如シ。

大正十三年六月十九日　內務大臣　若槻禮次郎

土地所有者選出當選者　借地權者選出當選者

第十地區

整理委員

藤井得三郎　坂本喜三郎
前田兼七　淡島嘉兵衛
菊池長四郎　末田憲義
西澤善七（合資會社スターメタル）　小林安右衛門
秋田直吉（商店）　岡本宏
澤井藤助　宮入正則
伊藤彌三郎　宮崎新三郎
高木興八郎　小川專之助
小川專助　秋葉伊兵衛
小菅恭太郎　久保田松之助
小諸久兵衛　瀨部多藏
中村喜平次　法木德兵衛
同補闕委員

白石甚兵衛　林松治郎
鈴木房吉　坪内廣治郎
芳賀吉之助　藤ノ木清太郎
桑原七兵衛　伊藤榮太郎
吉井安吉　小島百藏
木原傳兵衛　橋本文次郎
来津松造　島崎庄太郎
松本七五郎　牧田源太郎
上野繁太郎　三橋長吉
石野力太郎　高坂與太郎
内山清七　秋山善藏
樋口春吉　伊藤浚吉

第三十一地區

整理委員

佐野朝宜　伊藤林作
俣野國三郎　金子東一
石黒又四郎　長野高一
戸苅喜三郎　永井龜之助
山崎金五郎　田村隆三郎
長岡景英　中林軍平
上野啓吉　黒川義勝
金井德右衛門　吉田太郎吉
岩井樹太郎　佐藤啓太郎
小野寺重兵衛　小谷野平助

同補闕委員

飯田代作　小竹金藏
高木保　内島安次郎
阿久澤友助　松崎助七

上野巖　吉田秀吉
笹本孫太郎　田中貞一
有山定次郎　染谷藤治郎
黒川新次　藤島廣吉
岡田熊吉　奥山幸次郎
中島龜次郎　藤島治郎吉
岡部保全合名會社　酒井要一郎

第五十八地區

整理委員

三菱倉庫株式會社　津谷一治郎
木村德兵衛　御正信友
村崎鹿藏　小板久馬吉
和田金次郎　伊藤宇平
關口安五郎　杉田勸太郎
東神倉庫株式會社　蘆川長次郎
榎本義重　篠崎將次
渡邊長一郎　村林秀藏
坂本竹藏　井上留三郎
名子東市　津谷治助

同補闕委員

田中喜太郎　佐々木保治
株式會社鈴鹿商店　長谷川要一郎
鹿取源太郎　林源太郎
今氏清右衛門　島慎一
牧野忠次郎　曾原傳次郎
藤田赤藏　宮下知一郎
小林保三　鈴木傳之助
伊原榮助

齋藤丑松　浦田源一郎
若林榮次郎　村上市太郎

内務省告示第三百八十四號

大正十三年五月内務省告示第二百二十五號ニ依リ、東京都市計畫土地區劃整理施行地區ノ内第三十六地區ニ於テ選出シタル土地區劃整理委員及同補闕委員ノ當選者氏名、左ノ如シ。

大正十三年六月二十日　内務大臣　若槻禮次郎

土地所有者選出當選者　借地權者選出當選者

整理委員

加藤龍門　内田義平
高橋喜一郎　宮本秀政
蓮城寺　桑島嘉平
由崎留太　新居與作
岩松兼經　島田新次郎
淺井義正　山田知晃
大野源次郎　山田寛次
田中保男　波瓦坪井
原善文　朝倉鐵之助
中山理賢　和田重雄

同補闕委員

有田善吉　渡邊泰治郎
高橋鐵五郎　松本綱五郎
大川竹次郎　角岡大善
長泉寺　伊藤半平
高木正雄　荻野庄太郎
吉谷彌吉　安藤八郎
脇田源藏　澁谷政市
水野支八　葛井武夫

桂德院　櫻井元太郎
朝倉善助　三島金藏

内務省告示第四百八十號

大正十三年七月内務省告示第四百七十四號ニ依リ、東京都市計畫土地區劃整理施行地區ノ内十二地區及第六十三地區ニ於テ選擧シタル土地區劃整理委員及同補闕委員ノ當選者氏名、左ノ如シ。

大正十三年八月十六日　内務大臣　若槻禮次郎

土地所有者選出當選者　借地權者選出當選者

第十二地區

整理委員

中島爲喜　伊藤藤吉
佐藤長祐　櫻井鹿造
淺井保財株式會社　鈴木大次郎
山本嘉七　津田終吉
齋藤武五郎　野村兼吉
三野村合名會社　野波彌助
梶川伊兵衛　小澤吉智
峯島茂兵衛　寺本主助

同補闕委員

木下正中　田中松三郎
牧田清之助　安田利兵衛
吉井俊二　杉山魯九郎
鈴木新兵衛　服井一郎
吉岡七郎　齋藤豐次郎
荒井駒太郎　橋本繁枝
小栗紀兵衛　田野井多吉
堀越角次郎　増田新三郎

第六十三地區

整理委員

伊藤市太郎　小篠義男
神山勝三　小松傳一郎
宮本平十郎　高田翰太郎
中村眞太郎　飯島好邦
栗原朝三　森尾豊太
松本幾次郎　加納菊三
伊藤宗太郎　大橋春藏
小柴兼太郎　藤生忠太郎

同補闕委員

柴崎久太郎　細野力藏
横山友次郎　高山農三郎
美須鐵　吉川伊右衞門
鈴木富藏　大場武松
石井良輔　丸山鑑治郎
橋本三代吉　亀間久吉
鹿島金太郎　松原儀三郎
町田角太郎　石井權吉

內務省告示第四百九十二號

大正十三年七月內務省告示第四百七十四號ニ依リ、東京都市計畫土地區劃整理施行地區ノ內第六十四地區及第六十五地區ニ於テ選擧シタル土地區劃整理委員ノ當選者氏名、左ノ如シ。

大正十三年八月二十一日　內務大臣　若槻禮次郎

第六十四地區　土地所有者選出當選者　借地權有選出當選者

整理委員

山本豐吉　野原豊次郎
田中榮藏　上原政五郎
北岡龜松　岩井好吉
横山政吉　田中金次
小山欣一郎　草間又一
中林眞太郎　覺田猿三郎
佐藤茂兵衞　岡崎直次
高田龜次郎　杉山晨
酒井宗太郎　福田伊十郎

同補闕委員

高橋文吉　森捨雄
小林房太郎　齊藤金五郎
齊藤德治　牟田忠三
大熊仁三郎　畑山重次郎
岩田修三　室崎悅太郎
大瀧勝三郎　寺田清七
長塚治兵衞　庄山榮作
田口富藏　池田榮作
福島惣松　佐藤淺吉

第六十五地區

整理委員

杉浦金次郎　皆川平次
東京亞鉛鐵金株式會社　久保田善重
秋山六三郎　大塚藤太郎
東京運河土地株式會社　大湊富太郎
秋山金五郎　福井久三郎
大塚米吉　栗原啓太夫
杉浦金左衞門　山崎三次郎
宇田川起助　山崎雄藏
橋本忠藏　加藤惣三郎

同補闕委員

倉地末吉　松島常次郎
山崎新藏　稻垣竹次郎
村井鍋治郎　伊藤彦太郎
山口喜三郎　茂田三四郎
秋山松三郎　倉地兼松
池ヶ谷兼太郎　大塚松次郎
大澤米吉　山崎廣吉
松倉彌助　馬場光三郎
本田喜之助　石川新次郎

B、會議　委員會は、選擧を終へたる地區より逐次招集し、最初の會合に於て、議長副議長を選び、議事規則其他會內部の事項を定め、次會より區劃整理、街路整理前土地面積決定期日、整理前後の土地各筆坪當地價の指數、換地位置、換地面積等を順次附議し、五月二十九日來開會六十七回に及ぶ、換地位置及面積の設計は、整理前後の土地價格及面積の外、借地權の關係、建物の建築狀況、營業上の關係、清算金の問題等、複雜なる事情を顧慮する必要あり、又減歩率緩和の爲めの土地買收、土地臺帳の誤謬訂正、寺院境內地の地區編入と云ふが如き幾多の問題ありしも、次第に事業を進めて、換地位置に關する設計は既に十五地區全部を完了し、第三十四地區（淺草區永住町下谷區上野方面）の外は、悉く委員會に附議し、內第六地區（神田區駿河臺方面）、第十二地區（日本橋區濱町方面）、第十六地區（日本橋區箱崎町方面）、第三十一地區（神田區松永町、下谷區御徒町方面）、第四十九地區（本所區回向院方面）、第六十三地區府下日暮里、三河島方面）、第六十五地區（府下砂町方面）は、已にこれを決定し、其他の地區亦遠からず決定せんとしつゝあり、而して換地位置に關する案の整理委員會に於て決定し、及未だ決定せざるも、換地豫定地に本建築を爲して異議なき申合を爲したるものは、本建築を許可する方針を以て、復興建築は促進せらる。

此くの如くにして換地位置面積設計案區劃整理委員會の決定を見るや、更に換地豫定地の精密實測、各筆所有權借地權界の杭打を爲し、斯に建物其他工作物所有者に移轉命令を發するものにして、第六地區の如き、八月十八日の委員會に於て換地面積を決定したるに依り、直に三百分一の實測圖を作り及杭打を爲し、十月二十三日以來移轉命令を發せり。

區劃整理委員會規則

各地區に依りて多少の異同あり、左に其標準規則とも稱すべきものを揭ぐ。

第　地區土地區劃整理委員會議事規則

第一條　委員ニシテ委員會ニ參集スルコト能ハサル者ハ其ノ旨開會時刻迄ニ議長ニ屆出ツヘシ。

第二條　委員ノ議席ハ豫メ抽籤ヲ以テ之ヲ定メ番號ヲ附ス。

第三條　議長ハ議場ノ秩序ヲ保持スル爲適當ノ處置ヲ爲スコトヲ得

第四條　本會ノ議事ハ公開セス。

第五條　發言セントスル者ハ議長ノ許可ヲ受クヘシ。

第六條　議長ハ議事整理上必要ト認ムルトキハ、發言ヲ止メ又ハ議事ヲ中止スルコトヲ得。

第七條　委員開會前退場セントスルトキハ其ノ事由ヲ告ケ議長ノ承認ヲ受クヘシ。

第八條　動議ハ贊成者アルニ非サレハ議題ト爲スコトヲ得ス。

第九條　修正說ハ書面ヲ以テ提出スヘシ、但シ簡單ナルモノハ口頭

ヲ以テ陳述スルコトヲ得。

修正說ハ二名以上ノ贊成アルニ非サレハ之ヲ議題ト爲スコトヲ得ス

第十條　修正說ハ原案ニ先チ表決スヘシ。其ノ表決ノ順序ハ最モ原案ニ遠キモノヨリ先ニス若シ其ノ順序アルトキハ會議ニ諮リ之ヲ決スヘシ。

第十一條　議長ニ於テ必要ト認ムルトキ又ハ會議ノ議決アルトキハ特別委員ヲ設ケ之ニ特定ノ事項又ハ議案ノ調査ヲ附託スルコトヲ得。

第十二條　特別委員ハ委員中ヨリ之ヲ互選ス但シ會議ノ決議ニ依リ議長ニ於テ之ヲ指名スルコトヲ得。

特別委員ハ委員長ヲ互選ス。

委員長事故アルトキハ出席委員中ノ年長者委員長ノ職務ヲ代理ス。

第十三條　特別委員會ノ會議ノ方法ニ付テハ本會ノ例ニ依ル。

第十四條　委員長ハ委員會ノ經過及結果ヲ會議ニ報告スヘシ。

第十五條　議長ハ書記ヲシテ議事錄ヲ作製シ會議ノ顚末及會議ニ出席シタル者ノ氏名共ノ他必要ト認ムル事項ヲ記載セシム。

議事錄ハ議長及委員二名以上署名スルコトヲ要ス、其ノ委員ハ議長之ヲ指名ス。

第十六條　本規則ニ依リ難キ事項又ハ規定ナキ事項ハ議長ノ決スル所ニ依ル

區劃整理委員會議長副議長

第六地區	議長　明治大學	副議長　屋代安平	
第十地區	議長　蒔池長四郎	副議長　岡本宏	
第十二地區	議長　佐藤長祐	副議長　野村兼吉	
第十三地區	議長　高木與兵衛	副議長　小山庄次郎	
第十四地區	議長　津村重舍	副議長　柳田諒三	
第十六地區	議長　東神倉庫株式會社	副議長　近藤三郎	
第十七地區	議長　泉熊次郎	副議長　石川民三郎	
第三十一地區	議長　山崎金五郎	副議長　金子東一	
第三十四地區	議長　太田淺吉	副議長　石井芳太郎	
第三十六地區	議長　加藤龍門	副議長　新居與作	
第四十九地區	議長　式守蝎牛	副議長　福島元節	
第五十八地區	議長　小坂久馬吉	副議長　木村德兵衛	
第六十三地區	議長　宮本平十郎	副議長　小松傳一郎	
第六十四地區	議長　岡崎直大	副議長　田中榮藏	
第六十五地區	議長　牧山六三郎	副議長　福井久三郎	

八、補償審査會

A、組織　補償審査會は、特別都市計畫法第六條第八條規定して、土地區劃整理に基く建物工作物移轉及宅地の一割以上減歩に對する補償金を決定せしむるために設くる所、其組織は同第十條、

第十條　補償審査會ハ、主務大臣ノ監督ニ屬ス。

補償審査會は、會長一人及委員十四人ヲ以テ之ヲ組織ス。

會長は、關係各廳高等官又ハ學識經驗アル者ノ中ヨリ主務大臣ノ奏請ニ依リ、內閣ニ於テ之ヲ命ス。

委員ハ、左ニ揭クル者ヲ以テ之ニ充ツ、主務大臣ノ奏請ニ依リ、內閣ニ於テ之ヲ命ス。

一、關係各廳高等官　三人
二、關係府縣高等官　二人
三、關係府縣市參事會員　六人
四、學識經驗アル者　三人

前項第二號及第三號ノ規定ニ依ル委員ハ、關係府縣市ニ關セサル事項ニ付、議事ニ參與スルコトヲ得ス。

補償審査會ニ關スル費用ハ、國庫ノ負擔トス。

と定むるに依るものとす、大正十三年八月四日會長及委員の任命あり。

補償審査會々長被仰付　勳四等　星野錫

（各通）

復興局長官	直木倫太郎
東京稅務監督局長	加藤守一
司法省民事局長	池田寅次郎
東京府內務部長	百濟文輔
神奈川縣內務部長	市村慶三
東京市參事會員	篠房輔
同	若林成昭
同	松崎英太郎
同	早川廣太郎
橫濱市參事會員	戶井嘉作
橫濱市參事會員	佐藤政五郎
從四位勳四等	加藤敬三郎
從五位勳六等	內田祥三
	井坂孝

補償審査會委員被仰付　（以上八月四日內閣）

B、會議　補償審査會第一會は、大正十三年九月三日を以て開會し、會內務の處務手續、保償審査の標準を定め、更に第六地區を初にして建物工作物移轉に關する補償金を決定しつゝあり。（大正十四年十一月一日現在、移轉命令に依る損害補償金建物五、四七一棟延坪數約一〇二、〇九〇坪に對し補償金四、六〇七、六五三圓を決定す。）

二、町界町名番地整理

土地區劃整理に伴ふ町界町名地番の整理は、特別都市委員會の希望あり、乃ち此機を利用して、組織的方法に依り之を整理する事とし、局內に特別調査員を置き、十三年十一月には懸賞を爲し、尋で調査會を設くる等鋭意調査に從事す。

町界町名地番整理方針

第一、町界町名

一、町割ノ方式　町割ハ、結合式（註一）ヲ原則トシ、必要アルトキハ街廓式ヲ斟酌スルモノトス。

二、町ノ境界線　道路河川又ハ運河ヲ境界トスル場合ニ於テハ、其ノ中心線ヲ以テ境界線トス。

三、町ノ組織ト配列　町ハ成ルヘク數丁目ヲ以テ構成シ、町割ハ町ヲ構成スル丁目ノ連接スル方向ニ依ツテ放射式（註二）又ハ環狀式ノ町ト爲スモノトス。

四、町形狀及大キサ　山ノ手ノ純住宅地域ニ於テハ、町ノ形狀ハ事

情ノ許ス限リ適當ノ長サヲ有タシメ、同一區內ニ於テ徒ラニ細分スルコトヲ避ク。

一箇町ノ大キサハ、地番整理ニ混雜ヲ來ササルヲ限度トシ、工業地域ニ於テハ、繁華ナル商業地域ニ比較シテ大キクスルモノトス。

五、町ノ起點及進路　放射式ノ町ニ於テハ、都心(註三)ニ最モ近キ點ヲ起點トシ、放射狀ニ進ムモノトス。

環狀式ノ町ニ於テハ、可成都心ヨリ向ツテ左端ヲ其ノ起點トシ、環狀ニ進ムモノトス。

六、丁目ノ境界　結合式ノ町ニ於テハ、出來得ルタケ町ノ中央街路ヲ以テシ、右ノ街路ヲ超エテ境界線ヲ設クルコトヲ避クルモノトス。

七、町名　從來ノ町名ニ準據シ、其ノ內營業上ノ關係等ヨリ見テ最重要ナルモノ歷史上由緖アルモノ、親シミ深キモノ、語調好キモノ等ヲ選擇採用シ、同一町名或ハ類似町名ハ、成ルヘク之ヲ避クルモノトス。

八、市郡界及區界　市郡界ハ現狀ヲ維持ス、區界モ同樣ニ現狀ヲ尊重スレトモ、其ノ出入錯綜シテ町割ヲ亂雜ナラシムル處アルトキハ宅地面積其ノ他ノ事情ヲ斟旋シテ、些少ノ變更ヲ爲スモノトス。

第二、地　番

一、一箇番地ノ大キサ　六米以上ノ街路ヲ以テ圍マレタル一街廓或ハ數街廓ノ一團ヲ基準街廓トシ、之ヲ地番設定線ニ依リテ適當ニ十分シ、各單位ヲ以テ各番地トス。

但シ、町全體ノ番地ヲ統一スル便宜ノ爲メ、或ハ三米以上ノ街路ヲ以テ基準街廓ノ境界ト爲スコトヲ得。

二、地番設定線ノ選ビ方　地番設定線ハ、成ルベク換地筆界ヲ利用シ、若シ利用出來サル場合ハ、適當ニ地番定線ヲ設ケテ、各基準街廓ヲ略ボ面積ノ相等シキ十箇番地ニ分割ス、但シ最初ノ基準廓ハ、之ヲ九箇番地ニ分割スルモノトス。

三、地番ノ區分　地番區分ハ次ノ如クス。

(10.11 … 19)　(30.31……39)　(50.51…… 59)
(1.2…… 9)　(20.21……29)　(40.41……49)

四、街廓番號ノ起點及進路　街廓番號ノ起點ハ町ノ起點ニ一致セシム、而シテ結合式ノ町ニ於テハ、中央街路、廓式ノ町ニ於テハ、其ノ主要街路ノ左右ニ依ツテ奇偶番號ニ振リ分ケ、都心ヨリ向ツテ左側ニ沿フ第一番目ノ街廓ヲ奇數番號ノ起點トシ、右側ノ第一番目ノ街廓ヲ偶數番號ノ起點トス、其ノ進路ハ、該中央街路又ハ主要街路ニ並行シテ往復スル千鳥式トス。

五、基準街廓內ニ於ケル地番ノ起點及進路　始番街廓內ニ於ケル地番ハ其ノ起點ヲ結合式ノ町ニアリテハ中央街路、又街廓式ノ町ニ於テハ、町ノ進路ノ方向ニ走ル主要街路ニ沿フ最初ノ隅角ノ筆地ニ置キ、其ノ進路ハ、右街路ニ沿ヒテ進ミ、左又ハ右ニ回轉スルモノトス、第二番同以下ノ基準街廓ニ於ケル地番ノ起點及進路ハ右ニ倣フ。

註一、町割ノ方式ハ、路線式ト街廓式トノ二大系統ニ分ツコトヲ得、路線式トハ街路名ヲ以テ町名トシ、街路ニ沿フ建築敷地ヲ以テ町ヲ構成スルモノヲ謂ヒ、街廓式トハ、一又ハ二以上ノ街廓ヲ以テ町ヲ構成スルモノヲ謂フ、而シテ結合式トハ、路線式ヲ加味シタル街廓式ニシテ、主要廓路ヲ差挾ミテ竝列スル街廓ノ集團ヲ以テ構成セル町ヲ名ツクルモノトス。

註二、放射式ノ町トハ、宮城ヲ中心トシテ放射狀ニ布置セラレタルモノヲ謂ヒ、環狀式ノ町トハ前者ト直角又ハ之ニ近キ角度ヲナシテ環狀ニ布置セラレタルモノヲ謂フ。

註三、宮城及宮城前ノ廣場ヲ含ム一帶ノ土地。

下、橫濱

橫濱は土地整理を行ふべき十二地區中、政府の手に施行すべきは五地區にして、同く區劃整理委員を選擧し、十月下旬より委員會を開き、第二地區第五地區は、換地設計整理委員會に附議し得るまでに進捗せり。

2　街路工事

上、東　京

東京に於ける街路工事は、政府の手に執行するもの五十三線延長十一萬八千九百米なり、內大正十三年末までに進捗したる功程左の如し。

(一)測量　全線に亙り作業し、第一號線本芝一丁目芝口一町目間、第四號線、第七號線、第八號線、第九號線、第十號線、第十二號線湯島四丁目本郷一丁目間、本郷一丁目本郷三丁目間、第十四號線大手町一丁目一ツ橋間、第十五號線、第十六號線、第十七號線、第十八號線、第十九號線、第二十號線、第二十一號線、第二十二號線、御藏前片町龜戶町間、第二十四號、第二十五號線、第二十六號線、第二十七號線、第二十九號線、第三十號線、第三十三號線、第三十六號線、第四十號線、第四十一號線、第四十二號線、第四十三號線、第四十五號線、第四十七號線、第四十八號線、第四十九號線、第五十一號線、第五十三號線を完了し、全線の七割三分を測定せり。

(二)設計　設計の完了したるもの、第八號線、第十二號線湯島四丁目本郷一丁目間、本郷一丁目本郷三丁目間、第十號線大手町一丁目一ツ橋間、第三十號線、第四十二號線にして、設計中に係るもの、第三號線、第四號線、第五號線、第六號線、第十號線相生橋南詰和倉町間、第十二號線神田橋內小川町間、小川町湯島四丁目間、第十三號線、第十六號線、第十七號線、鍛冶橋外柳町間、第十八號線、第十九號線、第二十號線、第二十一號線、第二十二號線御藏前片町龜戶町間、第二十八號線、第二十九號線、第三十三號線、第三十五號線、第三十六號線、第四十號線、第四十一號線、第四十二號線、第四十三號線、第四十五號線、第四十八號線、第二十九號線、第三十三號線、第三十六號線、第四十號線、第四十一號線、第四十二號線御藏前片町龜戶町間、第二十二號線、第二十二號線、第二

第三號　靈岸橋ヨリ永代橋ニ至ル。
福住町ヨリ門前仲町ニ至ル。
第五號　小網町一丁目ヨリ第二十九號線交叉點ニ至ル。
湯島四丁目ヨリ本郷三丁目ニ至ル。
第十二號　水道橋ヨリ春日町ニ至ル。
第十三號　櫻田本郷町ヨリ御成門ニ至ル。
第十六號　彈正橋ヨリ新高橋ニ至ル。
第十七號　芝口一丁目ヨリ虎ノ門公園ニ至ル。
第十八號　雉子橋ヨリ一石橋ニ至ル。
第十九號　富久町ヨリ市ケ谷見附ニ至ル。
第二十號　南元町ヨリ黑船町ニ至ル。
第廿六號　濱町三丁目ヨリ新大橋ニ至ル。
第廿九號　濱町一丁目ヨリ兩國橋西詰ニ至ル。
第三十三號　芝公園二十五號地ヨリ赤羽橋ニ至ル。
第三十六號　四久保神谷町ヨリ宇田川町ニ至ル。
第四十號　榎坂町ヨリ溜池町ニ至ル。
第四十三號　雉子橋ヨリ第一號線交叉點ニ至ル。
第四十九號　湯島天神町三丁目ヨリ厩橋ニ至ル。
第五十一號

而して鋪裝のため新に採用する材料に關しては、試驗の上採用するため、芝浦日出町に南洋材木塊、花岡石、小鋪石鋪裝、試驗工事を施行し、其汐留町街路にも、前記の外各種の鋪裝試驗工事を施行しつゝあり、又工事必要の諸機械、器具、材料等は、それ〳〵準備したり。

東京幹線街路

(六)工程表

大正十三年末に於ける東京幹線街路工程表左の如し。

番號	路線(起終點及經過地)	幅員	延長(約)	工事位置	着手	設計	測量	歩合	歩合	摘要
一	品川町ヨリ本芝一丁目、芝口一丁目、木挽町江戸橋、和泉橋、車坂町ヲ經テ常磐線ニ至ル	二二—四四米	一三、五九七米	—	—	—	—	—	〇、四九	
	内譯									
	品川ヨリ本芝一丁目迄	三三	三、三六〇	—	—	—	—	—	〇、四五	
	本芝一丁目ヨリ芝口一丁目迄	三六	二、〇九〇	—	—	—	—	—	完了	
	芝口一丁目ヨリ車坂町迄	四四	五、七三〇	—	—	—	—	—	〇、五二	
	車坂町ヨリ三之輪町迄	三三	二、二九〇	—	—	—	—	—		
	三之輪町ヨリ常磐線ニ至ル	二二	一二七	—	—	—	—	—		
二	九段坂下ヨリ南神保町兩國橋ヲ經テ龜戸町ニ至ル	二七—三六	六、二〇〇	—	—	—	—	—	〇、七四	郡部用地買收交渉中
	内譯									
	九段坂下ヨリ南神保町迄	三三	五六〇	—	—	—	—	—	〇、五〇	
	南神保町ヨリ兩國橋西詰迄	三六	二、七一〇	—	—	—	—	—	〇、五〇	
	兩國橋西詰ヨリ龜戸町迄	二七	二、九三〇	—	—	—	—	—	完了	
三	吳服橋外ヨリ永代橋、澤海橋ヲ經テ砂町ニ至ル	三三	五、二五五	—	—	—	—	—	〇、一六	〇、七五
四	有樂町一丁目ヨリ尾張町、木挽町三丁目築地三丁目ヲ經テ月島二號地ニ至ル(隅田川ヲ含マズ)	二七—三六	二、二七〇	—	—	—	—	—	〇、五〇	完了
	内譯									
	有樂町一丁目ヨリ木挽町三丁目迄	三六	八七〇	—	—	—	—	—	〇、四二	完了
	木挽町三丁目ヨリ築地三丁目迄	三三	四二〇	—	—	—	—	—		完了
	築地三丁目ヨリ月島二號地迄	二七	九八〇	—	—	—	—	—	〇、八〇	完了
五	築地三丁目ヨリ入船町、龜島町、濱町三丁目、淺草橋、南元町、北田原町ヲ經テ金杉下町ニ至ル	三三	八、〇四八	自金杉下町至千束町一丁目	〇、一〇	〇、一〇	〇、三六			
六	上野公園前ヨリ駒形町ヲ經テ押上町ニ至ル	三三	三、六四〇	上野公園前	〇、〇五	〇、〇二	〇、四三			
七	東京驛東口ヨリ下槇町、龜島橋ヲ經テ越前堀一丁目ニ至ル	二二—四四	一、一一〇	—	—	—	—	—		完了
	内譯									
	東京驛東口ヨリ下槇町迄	四四	四二〇	—	—	—	—	—		完了
	下槇町ヨリ龜島橋西詰迄	三三	三四五	—	—	—	—	—		完了
	龜島橋西詰ヨリ越前堀一丁目迄	二二	三四五	—	—	—	—	—		完了
八	永樂町一丁目濠端ヨリ元千代田町ニ至ル	七三	二〇〇	全線	全部	完了	完了	竣功	〇、三五	
九	櫻田門外ヨリ新議事堂前ニ至ル	五五	五八〇	—	—	—	完了			
一〇	相生橋南詰ヨリ和倉町相生町ヲ經テ中ノ郷竹町ニ至ル	二五—三三	五、〇五〇	—	—	—	〇、〇二			完了
	内譯									
	相生橋南詰ヨリ和倉町迄	三三	一、二五〇	—	—	—	〇、〇六			完了
	和倉町ヨリ中ノ郷竹町迄	二五	三、八〇〇	—	—	—	—			完了
一一	東京驛北口錢瓶町ヨリ新常磐橋、小傳馬町一丁目ヲ經テ淺草橋ニ至ル	二七	一、五八〇	—	—	—	—			〇、五〇
一二	神田橋ヨリ小川町、湯島四丁目、本郷一丁目ヲ經テ本郷三丁目ニ至ル	二七—三三	二、〇七五	自北甲賀町至東紅梅町	—	—	〇、六七			〇、八二
	内譯									
	神田橋内ヨリ小川町迄	三三	五三〇	—	—	—	—			〇、五〇
	小川町ヨリ湯島四丁目迄	二七	七二〇	自北甲賀町至東紅梅町	〇、四五	〇、八〇	〇、八五			

宮ノ下	〇・六五	—	—	—	—	—
宮ノ下	〇・〇〇	—	—	—	—	—
宮ノ下	〇・一二	—	—	—	—	—
宮ノ下	〇・八五	—	—	—	—	—
宮ノ下	〇・一三	湯上野不忍	—	—	—	—
宮ノ下	〇・〇〇	—	—	—	—	—
宮ノ下	〇・〇〇	—	—	—	—	—
宮ノ下	〇・〇〇	—	—	—	—	—
宮ノ下	〇・〇〇	—	—	—	—	—
宮ノ下	〇・三五	材木町地蔵尊	—	—	—	—
宮ノ下	〇・一〇	—	—	—	—	—
宮ノ下	〇・〇

四一	四小川ヨリ三崎町三丁目ヲ經テ砲兵工廠前ニ至ル	二二	五八〇	—	〇・三〇　完了
四二	永田町二丁目地内	二七	三四五	全線	一・〇〇　完了
四三	溜池町ヨリ田町七丁目ニ至ル	二七	一八〇	—	〇・九〇　完了
四四	壹岐坂下ヨリ本郷一丁目ニ至ル	二七	五八〇	—	〇・四〇　完了
四五	東黑門町ヨリ上野廣小路町ニ至ル	三六	一四五	—	完了
四六	須田町ヨリ萬世橋南詰ニ至ル	三六	一一〇	—	〇・五〇　完了
四七	木場町ヨリ平久町ニ至ル	二二	八〇	—	完了
四八	芝公園增上寺門前ヨリ濱松町一丁目ニ至ル	二七	六一一	—	〇・七〇　完了
四九	雉子橋ヨリ美土代町二丁目ヲ經テ豐島町ニ至ル	二二	一、八四五	—	〇・五〇　完了
五〇	村松町ヨリ豐島町ニ至ル	二二	五七三	—	〇・五〇
五一	湯島天神町三丁目ヨリ駒橋ヲ經テ押上町ニ至ル	二二	三、八七七	御徒町ヨリ竹町及押上町ヨリ北新町	〇・四一　〇・五五　完了
五二	池ノ端仲町地内	二二	三〇〇	—	—
五三	越中島町ヨリ濱園町ニ至ル	二二	一、〇二五	全線	〇・二〇
	合計	—	一一八、九〇〇	—	〇・五〇　〇・五〇　完了　地上工事
					〇・二二　〇・七三

下、横濱

横濱の幹線街路は、十二線三萬五百二十三米、亦區劃整理の進捗を俟たざる能はず、測量七割七分、設計約一割四厘を卒へ、工事は第一號路線中着水面埋立に着手し、工費總割の約二分を了せり、地下埋設物整理は、現況調査を行ひ、略東京に同じき方法を以て之を整理する事とし、調査設計中に屬す、内第五地區下水渠及同區内東京電燈會社工作物の應急施工及移轉工事は設計完了す。

3　橋梁工事

上、東　京

復興事業として執行すべき東京の橋梁は、百五十五橋なり、十二年橋、常磐橋、神田橋、一ッ橋、新雉子橋、市場橋、彈正橋、千代田橋、門跡橋、輕子橋、汐見橋、茂森橋、菊川橋、江東橋、法恩寺橋、扇森橋の二十四橋は、工事に着手し、相生橋、親父橋、神田橋、彈正橋、千代田橋、今戸橋、福島橋、汐見橋、船木橋、澤海橋、菊川橋、江東橋、法恩寺橋、黑龜橋は、假橋の竣成を告ぐ。

東京橋梁工事工程表

橋名	設計工程	工事工程	工事着手又ハ着手豫定	竣工豫定	摘要
相生橋	完了	〇・一七	十三年八月	十五年八月	假橋竣功
永代橋	〇・四〇	〇・〇六	十三年十二月	十五年十二月	
藏前橋	〇・一〇	〇・〇二	十三年九月	十五年十月	
駒形橋	〇・七〇	〇・〇七	十三年十月	十五年九月	
聖橋	〇・七五	〇・二〇	十三年九月	十五年六月	
市兵衛橋	〇・一〇	—	十四年二月	十五年三月	
江戸橋	〇・五〇	〇・〇四	十三年十二月	十五年二月	
親父橋	完了	〇・三八	十三年九月	十四年六月	假橋竣功
比丘尼橋	〇・一〇	—	十四年一月	十五年六月	
男橋	〇・八〇	〇・二三	十三年十月	十四年八月	
白銀橋	〇・六〇	—	十四年二月	十四年十月	
越前橋	完了	—	十四年二月	十四年八月	
蓬萊橋	〇・五〇	〇・〇二	十三年十二月	十五年三月	
數寄屋橋	〇・一〇	—	十四年一月	十五年三月	
八重洲橋	〇・五〇	〇・一六	十三年十二月	十四年十月	
常磐橋	〇・五〇	〇・一一	十三年十二月	十五年三月	
美倉橋	〇・六〇	—	未定	未定	
神田橋	完了	〇・五三	十三年八月	十四年九月	用地關係上假橋竣功
一ッ橋	完了	〇・二九	十三年十月	十四年九月	
新雉子橋	〇・九五	〇・〇二	十三年十二月	十四年十月	
堀留橋	〇・二〇	—	十四年二月	十五年三月	
下柳堤橋	完了	—	十四年一月	十四年七月	
中柳堤橋	完了	—	十四年一月	十四年七月	
市場橋	〇・九〇	〇・二一	十三年十月	十四年六月	
彈正橋	〇・八〇	〇・〇八	十三年十二月	十四年九月	假橋竣功
千代田橋	完了	〇・五四	十三年七月	十四年五月	假橋竣功
中ノ橋	〇・一五	—	—	—	
小川橋	〇・一五	—	—	—	
起生橋	〇・七〇	—	十四年一月	十五年二月	
門跡橋	〇・七〇	〇・一〇	十三年十月	十四年九月	
輕子橋	〇・六〇	〇・一一	十三年十二月	十五年三月	
金杉橋	〇・一〇	—	十四年三月	十五年三月	
赤羽橋	〇・二〇	〇・一二	十四年一月	十五年三月	假橋工事中
新堀橋	〇・八〇	—	十四年一月	十四年九月	
榮久橋	〇・八〇	—	十四年一月	十四年七月	
今戸橋	完了	〇・〇八	十四年二月	十五年三月	假橋竣功
福島橋	—	〇・〇四	—	—	
汐見橋	完了	〇・二四	十三年九月	十四年八月	假橋竣功
船木橋	—	〇・〇七	—	—	假橋竣功
澤海橋	〇・四〇	〇・〇七	—	—	假橋竣功
茂森橋	〇・九〇	〇・一六	十三年十二月	十五年一月	
菊川橋	完了	〇・二九	十三年十月	十四年十二月	假橋竣功
江東橋	完了	〇・二三	十三年十月	十四年十二月	假橋竣功
法恩寺橋	完了	〇・三〇	十三年九月	十四年十月	假橋竣功
本村橋	〇・一〇	—	十四年二月	十五年五月	
黑龜橋	—	〇・一一	—	—	假橋竣功
油堀橋	—	—	十四年三月	十五年五月	
扇森橋	〇・六〇	〇・〇二	十三年十二月	十五年二月	

運河改修ニ伴ヒ架設スヘキ橋梁

橋名	設計工程	工事工程	工事着手又ハ着手豫定	竣功豫定	摘要
南門橋	一・〇〇	—	十四年二月	十五年三月	
尾張橋	一・〇〇	—	十四年三月	十五年三月	
親橋	〇・九〇	—	十四年二月	十五年二月	
兜橋	〇・四〇	—	十四年二月	十五年二月	
練兵橋	〇・四〇	—	十四年二月	十五年二月	

區劃整理ニ伴ヒ架設スヘキ橋梁

橋名	設計工程	工事工程	工事着手又ハ着手豫定	竣功豫定	摘要
中洲橋	一・〇〇	—	十四年二月	十五年二月	

東京運河工事工程表

種別	名稱	區域	延長	幅員	深度	設計工程	工事工程	摘要
新鑿	築地川楓川連絡	金六町地先楓川ヨリ木挽町一丁目地先築地川ニ至ル	九二〇米	三三米	一・八米	—%	—%	
改修	小名木川	上大島町地先横十間川ヨリ新安宅町地先隅田川ニ至ル	二、四六〇	五五	二・一	〇・八	大正十四年一月中起工見込	
同	横十間川	柳島元町地先十間川ヨリ豐住町地先十間川ニ至ル	一・八	四〇	一・八	一六・〇	四・九	
同	大島川	木場町地先大横川ヨリ諸町地先隅田川ニ至ル	一、九二〇	四〇	一・八	一四・〇	四・二	
同	神田川	柳原河岸地先ヨリ新柳町地先隅田川ニ至ル	一、四二〇	四七	一・八	一・二	一・二	
同	日本橋川	富島町地先亀島川ヨリ大川端町地先隅田川ニ至ル	四七〇	四七	一・八	九・二	九・二	
同	楓川	本材河岸地先日本橋川ヨリ柳町地先櫻川ニ至ル	一、二二〇	三三	一・八	一八・〇	一一・五	
同	櫻川	金六町地先京橋川ヨリ港河岸地先亀島川ニ至ル	七五〇	三三	一・八	—	大正十四年三月中起工見込	

下、横濱

政府執行の横濱橋梁は三十七橋、內設計の完了したるもの一、設計中のもの九、工事に着手したるもの三なり。

4 運河河川工事

上、東京

東京の運河工事は、新鑿一線、改路十二線、埋立一線、計十四線中、設計完了一線、設計中のもの八線、即ち百分の十三・八の設計を了し、西堀留川埋立工事は、早くも附帶工事一部の外竣成し、横十間川、大島川、神田川、日本橋川、楓川、築地川、一、同二の七線は、現に工事中に係り、百分の四・四を進捗す。

改修	京橋川	北紺屋町地先外濠ヨリ金六町地先櫻川ニ至ル	六〇〇	三三	一・八	—	大正十四年三月中起工見込	
同	築地川(一)	木挽町八丁目地先ヨリ築地四丁目地先海ニ至ル	五五〇	四七	一・八	六一・〇	五・〇	
同	築地川(二)	木挽町一丁目地先ヨリ木挽町八丁目地先ニ至ル	一、一三〇	三三	一・八	五七・〇	一四・五	
同	汐留川	木挽町七丁目地先三十間堀川ヨリ木挽町八丁目地先築地川ニ至ル	四〇〇	三三	一・八	—	—	
同	東堀留川	日本橋區西萬河岸地先ヨリ同區末廣河岸地先日本橋川ニ至ル	五四五	三三	一・八	—	—	
計			—	—	—	一三・八	四・四	別ニ船舶機械一、〇八八、一二六圓餘ヲ購入セリ
埋立	西堀留川	日本橋區小船河岸地先ヨリ同區末廣河岸地先日本橋川ニ至ル	三七四	三〇	—	完了	完了	附帶工事一部未了

下、横濱

横濱の河川は、大岡川帷子川二川を改修するものにして、後者は現に設計百分八を了す。

5 公園

上、東京

東京公園の政府の手に新設するもの大公園三、曰く濱公園、曰く隅田公園、曰く錦絲公園。

(一)濱町公園　敷地濱町一丁目及二丁目の內一萬一千坪の買收を了し、內借地權の買收を了せるもの四件なり、其餘借地權地上物件の移轉を交涉しつゝあり。

(二)隅田公園　三萬二千坪中、已に敷地の買收を了したるもの一萬五千百四十三坪、他は交涉中に係る、借地權は三十五件を買收し、其餘は地上物件移轉と共に猶關係者と協議中なり。

(三)錦絲公園　約一萬八千坪、本所區大平町二丁目舊陸軍糧秣廠跡一部及隣接地を撰定す。

横濱に於ける公園は初め四箇所に候補地を選みしも、調査の結果左の三箇所を選定したり。

山下公園	約　二二、〇〇〇坪
野毛山公園	約　二二、〇〇〇坪
神奈川公園	約　四、〇〇〇坪

6 地域指定

上、東京

東京に於ける地域制は大正十二年八月一日の都市計畫東京地方委員會に於て議決し、將に內閣の認可を得て公布せんとしたるもの、たまたま震災に遭ひて市街の强半を燒失し、復興計畫を爲すや、嘗に議定したるものに、多少變更を加ふるの必要を生じ、乃ち變更案を特別都市計畫委員會に付議し、大正十三年十二月二十七日を以て議了したる

こと既記の如し。

下、横　濱

横濱の地域制は大正十二年七月三十一日都市計畫横濱地方委員會に於て議す、亦認可公布に至らずして震災に遭ひ、方に變更案作製の爲め、關係各方面に亘り調査中に屬す。

7　防火地區設定及防火建築助成

上、東　京

火災防止は都市計畫の重大要件なれども、木造都市を俄に耐火構造都市とするは、經濟上決して容易ならざる事なるを以て、已むを得ず防火地區設定の計畫あり、大正十一年八月一日東京の防火地區は指定せらる、而も一たび大震災を經て若干變更の必要を生じ、調査研究の結果、大正十三年十二月二十七日特別都市計畫委員會に付議し、現に審議中なり、一面災後の防火地區内に於ける建築物に對し、相當條件の下に助成促進せしめ、以て防火地區設定の目的を達するため、政府は第四十七議會の協賛を經て、大正十三年度より十七年度に至る五年間に總額二千萬圓を支出する事とし、十三年八月一日内務省令第十九號を以て防火地區建築補助規則を公布したること。既に之を記す、實施後日淺くして未だ顯著の成績を見ること、能はずと雖本建築許可と共に、出願の增加を見るべきは之を推するに難からず。

下、横　濱

横濱市の防火地區指定は、東京と同じく大正十一年八月一日なり、震火災の結果、亦變更の必要あり、之が調査中たり、防火地區内の建築を助成することも東京に同じ。

8　地質調査

上、東　京

建築其他各種事業の基礎と爲し、兼て變更の豫防調査に資すべき地質調査は、經費六十萬圓を以て、大正十二年度より十七年度に至る六箇年繼續事業として、東京横濱を通じて一千六十六箇所の試錐工事を施行し、系統的調査を爲す計畫の下に、先づ大正十二年度に金一萬七千二百十六圓を支出し、東京に三十五箇所の試錐を爲し、十三年度は豫算十九萬二千四百五十圓を以て東京に百九十一箇、横濱に五十七箇所の試錐を爲しつゝありて、十三年末までに試錐口數前年度分を合せて百十一箇所に及ぶ。

下、横　濱

横濱の地質調査は、大正十三年度に五十七箇所の試錐を爲す豫定を以て從事しつゝあり。

大正十二年度
大正十三年度

大正十二年度

種別	豫算	豫算支出	支出額
帝都復興院廳舍新營費	円 —	円 —	円 七、六一〇、〇〇〇
帝都復興事業費	六、二九一、二〇〇、〇〇〇	六、二九一、二〇〇、〇〇〇	六、二九一、二〇〇、〇〇〇

大正十三年度

種別	豫算	繰越金	支出額
帝都復興院廳舍新營費	円 —	円 —	円 —
帝都復興事業費	二、八六〇、五八一、五七〇	二、七三三、二九一、三〇〇	三〇、八〇八、二四一、二一〇
東京復興費	三、三八〇、一八四、七一〇	二、三三五、四二五、二六〇	三、三八〇、一八四、七一〇
街路費	四、四六九、六〇〇、〇〇〇	一、二九一、七八六、〇〇〇	三、二四七、八六一、八三〇
運河費	三、七七〇、〇〇〇、〇〇〇	三、七七〇、〇〇〇、〇〇〇	—
公園費	二、八三一、〇〇〇、〇〇〇	六、〇四〇、〇〇〇、〇〇〇	六、三三三、八九〇
土地整理費	六〇〇、〇〇〇、〇〇〇	三、八五五、〇〇〇、〇〇〇	四、三七二、〇〇〇、〇〇〇
横濱復興費	五六六、三〇〇、〇〇〇	九、六三〇、〇〇〇、〇〇〇	五、五〇〇、七一〇
街路費	—	七、三五四、六〇〇、〇〇〇	二、八、六八四、四三〇
運河費	五八、〇〇〇、〇〇〇	九六六、〇〇〇、〇〇〇	—
公園費	九、〇〇〇、〇〇〇	一六三、〇〇〇、〇〇〇	—
土地整理費	一五四、〇〇〇、〇〇〇	一、二六九、〇〇〇、〇〇〇	三、三四九、二六〇
復興事業費貸付金	一、二八三、三五六、〇〇〇	一、四四八、五二七、〇〇〇	—
地方復興事業費貸付金	一、二八三、三五六、〇〇〇	一、二八三、三五六、〇〇〇	—
東京府復興事業費貸付金	一、〇四〇、〇一三、〇〇〇	三、〇九三、一四六、〇〇〇	—
神奈川縣復興事業費貸付金	二三五、一三三、〇〇〇	八四二、二七一、〇〇〇	—
東京市復興事業費貸付金	九二八、〇〇〇、〇〇〇	七、七二七、〇〇〇、〇〇〇	九二八、〇〇〇、〇〇〇
横濱市復興事業費貸付金	九五、〇〇〇、〇〇〇	八四六、〇〇〇、〇〇〇	九五、〇〇〇、〇〇〇
復興事業費補助	三、八一六、八一七、〇〇〇	三九、一五三、一〇五、〇〇〇	—
地方復興事業費補助	三、八一六、八一七、〇〇〇	三九、一五三、一〇五、〇〇〇	—
東京府復興事業費補助	一、三五七、九八三、〇〇〇	一、三五七、九八三、〇〇〇	—
神奈川縣復興事業費補助	一六六、六六七、〇〇〇	一五、七〇四、〇〇〇	—
東京市復興事業費補助	二、〇六六、六六七、〇〇〇	一、二一一、〇〇〇、〇〇〇	一、二一一、〇〇〇、〇〇〇
横濱市復興事業費補助	三三五、三〇〇、〇〇〇	一二六、〇〇〇、〇〇〇	—
防火地區建築費補助	三八、八一二、〇〇〇	—	—
復興事業債利子補給	三八、八一二、〇〇〇	三〇、三三二、〇〇〇	—
地方復興事業債利子補給	八、四七九、〇〇〇	八、四七九、〇〇〇	—
東京市復興事業債利子補給	—	—	—
横濱市復興事業債利子補給	—	—	—

第二篇　善後措置　第二章　各紀

帝都復興院	—	五五四、九〇三・〇〇〇	五四、六八三・四一〇
臨時物資供給費	—	四八、〇二七・九〇〇	一八、三〇〇・〇〇〇・四四〇
復興局	—	三八四、九八五・〇〇〇	三四一、四〇二・七三〇

〔參考〕

復興事業進捗狀況

大正十二年十三年は、復興事業に取り寧ろ計畫期に屬し、大體の計畫略〻此間に定まり、兼て一部の執行に着手したるものにして、眞に執行期に入りたるは、大正十四年來の事に係る、今特に復興局調査大正十四年九月現在復興事業進捗狀況を轉錄して、其功程を知るに便す。

＊　＊　＊　＊

一、土地區劃整理（大正十四年九月末日現在）

（一）國ノ執行スル分

1、東京ノ分

施行區域面積　約一、八二二、〇〇〇坪

施行區域數　一五地區

換地位置ニ關スル設計ハ、各地區共全部完了シ、夫々各整理委員會ニ附議シ、換地位置ノ決定シタルモノ十四地區（內一部決定ノモノ三地區）、換地面積ヲ決定シタルモノ十二地區（內一部決定シタルモノ五地區）ニ及ヒ、着々其實績ヲ擧ケツヽアリ。

各地區別進捗狀況、左表ノ如シ。

土地區劃整理進捗狀況

地區	出張所	換地位置決定	換地面積決定	移轉命令
六（神田駿河臺方面）	二	一三、八、九	一三、八、八	一三、一二、二六（四五六件）
十（日本橋馬喰町方面 神田豐島町方面）	二	—	—	—
十二（同　淺草方面）	二	一三、一〇、一九	一四、三、一四	自一四、四、二五（一、〇一三件）
十三（同　蠣殼町方面）	二	一四、四、一三	自一四、九、三	—
十四（同　通方面）	二	一四、一、二一	一四、八、二一	—
十五（同　箱崎町方面）	二	一三、一一、一三	一四、三、一九	自一四、四、三〇（三一七件）
十七（京橋南傳馬町方面）	一	自一三、七、三一	自一四、七、三一	—
三十二（神田松永町方面 下谷竹町方面）	三	自一三、三、三九	—	—
三十四（下谷上野方面 淺草七軒町方面）	三	自一四、七、一八	—	—
三十六（淺草清島町方面 下谷車坂方面）	三	一四、九、一一	—	—
四十九（本所相生町方面）	四	一三、一〇、二一	自一四、一、二八	自一四、二、一三（九〇五件）
五十八（深川黑江町方面）	四	一四、五、五	自一四、六、二五	自一四、七、二五（一三件）
六十三（府下目黑里町 三河島町方面）	三	一三、一二、二四	一四、八、一五	自一四、五、二一（一、四三四件）
六十四（府下南千住町方面）	三	一四、一、一九	一四、三、一六	自一四、五、七（九二件）
六十五（府下砂町方面）	四	一三、一一、二四	自一四、七、四	自一四、八、一八（九二件）

（表中ノ數字ハ、最終決定（發令）月日ニシテ、全部決定（發令）ヲ示ス、自印付ハ開始日ニシテ、一部決定（發令）ヲ示スルモノトス、以下同シ。

移轉關係
- 移轉命令 — 件數
- 移轉工事 — 建物棟數
- 完了セルモノ — 四、四二一件
- 着手セルモノ — 四、六五〇棟

2、橫濱ノ分

施行區域面積　約四九三、〇〇〇坪

施行地區域　六地區

從來國ノ執行スル地區ハ五地區ナリシカ、新ニ左ノ第十三地區ヲ設ケ、之カ區劃整理ヲ國ニ於テ執行スルコトヽナレリ。（大正十四年三月三十日內務省告示第五五號）

第十三地區　湊町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、眞砂町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、尾上町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、常磐町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、住吉町一丁目、同二丁目、同三丁目、相生町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目、同六丁目、辨天通リ一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目、同六丁目、南仲通リ一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目、本町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目、同六丁目、北仲通リ一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目同五丁目、元濱町一丁目、同二丁目、同三丁目、同四丁目、海岸通二丁目、同三丁目、同三丁目、同四丁目、同五丁目、境町一丁目、同二丁目、住吉町四丁目ノ一部、同六丁目ノ一部、北仲通リ六丁目ノ一部、海岸通一丁目ノ一部、山下町ノ一部。

各地區共換地位置ニ關スル設計案ヲ完成シテ、夫々各整理委員會ニ附議シ、換地位置ノ決定セルモノ四地區、換地面積ノ一部決定セルモノ三地區ニ及ヒ、第五地區ハ既ニ移轉命令ヲ開始セリ。

各地區別進捗狀況左表ノ如シ。

土地區劃整理進捗狀況

地區	換地位置決定	換地面積決定	移轉命令
一（四戶部町字西ノ前方面）	—	—	—
二（同　町　字石崎方面）	一四、五、二七	—	—
三（同　町　字反目方面）	一四、六、二四	自一四、九、一八	—
四（花咲町方面）	一四、五、三〇	自一四、九、八	—
五（日出町方面）	一四、五、六	自一四、八、一四	自一四、八、二七（三六件）
一三（辨天通方面）	—	—	—
計　六地區	四地區	三地區	一地區（五六件）

（二）市ノ執行スル分

1、東京市ノ執行スル分

施行區域面積　約七、四三二、〇〇〇坪

施行地區域　五一地區

第二地區ニ新ニ富士見町五丁目ノ一部、富士見町六丁目ノ一部面積一四、八〇〇坪ヲ追加セリ。（大正十四年六月六日內務省告示第一〇四號）

換地位置ニ關スル設計ハ全部完了シ、各地區共夫々各整理委員會ノ議ニ付シ、位置決定ヲ議了セシモノ三十地區（內決定ノモノ八地區）、換地面積ヲ決定セルモノ十地區（內一部決定セルモノ九地區）、移轉命令ヲ開始セルモノ六地區ニ及ヘリ。

各地區別進捗狀況左表ノ如シ。

土地區劃整理進捗狀況

地區	出張所	換地位置決定	換地面積決定	移轉命令
（一）×麹町麹町方面）	二	一四、五、二五	一四、九、二八	—
二（同　飯田町方面）	二	—	—	—
三（同　大手町方面）	二		—	—
（四）×（同　有樂町方面）	一	一三、三、三	一四、四、一七	自一四、五、一
五（神田猿樂町方面）	二	自一四、九、一七	自一四、九、一七	—
七（同　神保町方面）	二	自一四、七、二	自一四、七、二	自一四、八、二四（一四件）
八（同　錦町方面）	二	—	—	—

| | | |

| | | |

| | | |

五二　池ノ端仲町地内
五三　越中島町ヨリ濱岡町ニ至ル

合　計　二二　三〇〇

2、横濱街路

横濱ニ於ケル圖執行ノ街路十二路線モ、風致整理ノ連携ニ伴ヒ進行スベキモノニシテ、現況ハ別表ノ如ク、

二二　一、〇二五
二九、二二七

横濱街路工事工程表

（圖執行ノ分）

一、測量ハ總延長ニ對シ約八割三分ノ進行ヲ示シ、
一、設計ハ三割二分ニ當リ、
一、工事ハ第一號線及第四號線ヲ着手セル外、起工ノ運ビニ至ラズ。

一三一六

路線番號	路線名	幅員	延長	施工 設位	施工 歩	施工 合	竣功歩合	設計歩合	測量歩合
一	道子安町ヲ上ル　内　譯	一八乃至三六	八、五〇五	—	〇・〇三		〇・〇三	〇・四四	〇・九〇
	安町市部界ヨリ神奈川町十番地迄	二七	三、一五九	—		—		〇・六四	〇・九〇
	神奈川町十番町ヨリ青木町七軒町迄	三三	一、〇五四	—		—		〇・八〇	〇・九〇
	青木町七軒町ヨリ横濱繰前迄	三六	一、二七二	裏高島町地先	〇・二	〇・二	〇・二〇	〇・二八	〇・九〇
	横濱繰前ヨリ久保町道上迄	二二	一、八四九	—		—		〇・三〇	〇・九〇
	久保町道上ヨリ保土ケ谷町岩間迄	一八	一、一七一	—		—			〇・九〇
二	辨天橋裏詰ヨリ本町四丁目ヲ經テ萬國橋南詰ニ至ル	二七	六二七	—		—		完了	完了
三	高等工業學校前ニ至ル　内　譯	二二乃至二五	四、五二〇	—		—		〇・〇五	〇・八〇
	本町四丁目ヨリ南吉田町七丁目迄	二五	二、七〇二	—		—		〇・〇八	〇・八〇
	南吉田町七丁目ヨリ大岡町高等工業學校前迄	二二	一、八一八	—		—		—	〇・八〇
四	大江橋南詰ヨリ尾上町西ノ橋北方ヲ經テ本牧町原ニ至ル　内　譯	二二乃至二五	四、七一〇	—	〇・〇三		〇・〇三	〇・二五	〇・八三
	大江橋南詰ヨリ西ノ橋北詰迄	二五	一、六五六	吉濱橋西ノ橋間	〇・〇九		〇・〇九	〇・三五	〇・八三
	西ノ橋北詰ヨリ本牧町原迄	二二	三、〇五四	—		—		〇・二〇	〇・八三
五	青木町七軒町神奈川町二ツ谷ヲ經テ市部界六角橋南詰ニ至ル	二二	二、一八二	—		—		〇・五〇	完了
六	五程ヶ谷町ヲ經テ南吉田町五丁目ニ至ル　内　譯	一八乃至二二	三、七三七	—		—		〇・三〇	〇・七〇
	程ヶ谷町權子ヨリ西戸部町迄	二二	一、三六四	—		—		〇・四〇	〇・四〇
	西戸部町ヨリ岱町迄	一八	一、四三六	—		—		〇・四〇	〇・九〇
	岱町ヨリ吉田町五丁目迄	二二	四三六	—		—		—	〇・九〇
	吉岡町五丁目ヨリ南吉田町南四ツ目迄	二〇	五〇一	—		—		—	〇・五〇
七	南西戸部町ニ至ル　内　譯	一八乃至二八	二、三五四	—		—		〇・四〇	〇・九〇
	西戸部町屏田ヨリ伊勢町迄	二二	九六二	—		—		〇・六〇	〇・九〇
	伊勢町ヨリ日出町迄	一八	六三六	—		—		〇・五〇	〇〇・九〇
	日出町ヨリ千歳橋南詰迄	二二	七五六	—		—		—	〇・九〇
八	岩井戸ケ谷町ニ至ル　内　譯	一八乃至二二	一、四二一	—		—		—	〇・四五
	井戸ケ谷町川田ヨリ大岡川村永田迄	二二	八〇三	—		—		—	〇・四五
	大岡川村永田ヨリ保土ケ谷町岩間迄	一八	六一八	—		—		—	〇・四五
九	目黒本町一丁目ニ至ル　ヨリ野毛町三丁目ヲ經テ日ノ出町一丁	二二	五四六	—		—		〇・五〇	完了
一〇	平沼橋南詰ヨリ横濱繰前ニ至ル	二二	五六七	—		—		—	〇・五〇
二一	神奈川町十番町ヨリ裏神奈川繰ニ至ル	二七	二二九	—		—		—	完了
二二	平沼橋南詰ヨリ淺間町淺田下ニ至ル	二二	七〇九	—		—		〇・五〇	完了
計			三〇、一〇七		〇・〇一		〇・〇一	〇・〇一	〇・八三

（二）市ノ執行スル分

1、東京補助線

東京市執行ノ補助線街路ハ、國ノ執行スル幹線街路ト相關シ、幅員八米以上二十二米未滿ノモノ百二十三線（內一線ハ計畫ノミニ止ム）トス。

一、測量　測量中ノモノ六十五線ニシテ（內四十一線ハ完了）總延長ニ對スル進捗歩合ハ四割八分ナリ。

一、設計　目下設計中ノモノ二十二線ニシテ、進捗歩合ハ一割四分。

一、工事　本街路モ亦區劃整理ノ進捗ト密接ナル關係アルヲ以テ、現在ニ於テハ區劃整理ニ關係ナク執行シ得ル路線ノ一部、並ニ換地設計決定セル地區內ニ於テ施工スルコトトシ、第五號路線外七線ニ付キ工事中ニシテ、殘餘ハ未ダ着手ノ運ビニ至ラズ。

東京補助街路工程表

番號	路線（起終點及經過地）	幅員	延長	工事着手位置	設計歩合	測量歩合	摘要
一	今戸橋北詰ヨリ橋場町ヲ經テ南千住地方橋場ニ至ル	一一米 一五	一、五二〇米	—	—	—	完了
	内譯						
	今戸橋北詰ヨリ橋場町迄						
	橋場町ヨリ南千住地方橋場迄						
二	土州橋東詰ヨリ鳥島橋東詰迄	一五	一、一七七	自土州橋 至湊橋	—	—	完了
三	靈岸町ヨリ石島町ヲ經テ砂町ニ至ル	一一	二、一三五	自千田町 至砂町	〇・一三	〇・六〇	完了
四	小梅町ヨリ寺島町ニ至ル	一八	一、三六五	自小梅町 至寺島町	〇・一一	〇・三七	
五	押上町ヨリ四ノ橋ヲ經テ東平井町ニ至ル	二二	四、二三六	自東駒橋町 至豐住町 自猿江町 至錦絲町	〇・五五 〇・六三	完了 〇・五二	部部ニ屬スル區間（五六〇米）ハ計畫ノミニ止ム 竣功歩合〇・六三地上工事
六	光月町ヨリ龍泉寺町ニ至ル	一六	九二五		〇・四〇		
七	富士見町一丁目ヨリ隼町ニ至ル	一六	一、六四〇		〇・五〇		
八	元衞町ヨリ御茶ノ水橋ヲ經テ春木町一丁目ニ至ル	二二	二、〇七三	自鈴木町 至猿樂町	〇・二〇	〇・二〇	竣功歩合〇・一二
九	北精町ヨリ矢ノ倉町ニ至ル	一六	一、六六七		〇・六〇		
一〇	南千住町千束ヨリ同町地方橋場ニ至ル	一一	七九二				完了
一一	小梅業平町ヨリ木場町ニ至ル	二二	四、三三八	自小梅業平町 至德右衞門町 自德右衞門町 至木場町	〇・五四	〇・八〇	竣功歩合〇・五四 地上工事
一二	愛宕下町一丁目ヨリ麥町ニ至ル	一五	一、一四二				
一三	愛宕下町四丁目ヨリ將監橋南詰ニ至ル	一五	八〇三				
一四	鐵月町ヨリ櫻川町ニ至ル	一五	九四六				
一五	千束町一丁目地内	一五	一四五				
一六	内幸町ヨリ櫻田本郷町ニ至ル	一五	二〇六				完了
一七	有樂町一丁目ヨリ西紺屋町ニ至ル	一五	四五五				
一八	豐玉橋西詰ヨリ明石町ニ至ル	一五	一、一四七				

一九	紀ノ國橋西詰ヨリ入船町六丁目ニ至ル	一五	七四六				
二〇	銀座一丁目ヨリ新湊町一丁目ニ至ル	一五	一、〇五九				
二一	桶町ヨリ長澤町ニ至ル	一五	八七〇				
二二	三十間堀三丁目ヨリ築地四丁目ニ至ル	一五	四〇〇				
二三	三十間堀二丁目ヨリ築地三丁目ニ至ル	一五	五七一				
二四	明石町ヨリ築地四丁目ニ至ル	一五	五八六				
二五	明石町ヨリ木八丁堀五丁目ニ至ル	一五	九二八				
二六	東湊町一丁目ヨリ新船松町ニ至ル	一八	三五五				
二七	數寄屋町ヨリ川口町ニ至ル	一五	一、〇四三				
二八	小網仲町ヨリ濱町二丁目ニ至ル	一五	六七三	自小網町 至濱町			
二九	猿樂町一丁目ヨリ猿樂町三丁目ニ至ル	一五	六七三				
三〇	坂本裏町ヨリ聖天町ニ至ル	一五	一、九四七				
三一	金杉上町ヨリ龍泉寺町ニ至ル（甲）	一五	九一				
三二	金杉上町ヨリ龍泉寺町ニ至ル（乙）	一五	一二四				
三三	入谷町ヨリ馬喰町四丁目ニ至ル	一五	二、八七九				
三四	向柳原町一丁目ヨリ旅龍町三丁目ニ至ル	一五	八五五				
三五	馬喰町一丁目ヨリ黑船町ニ至ル	一五	八三七				
三六	花川戸町ヨリ淺草區田町ニ至ル	二二	一、三五六				
三七	今戸橋町ヨリ橋場町ヲ經テ南千住町地方橋場ニ至ル	一一 一五	一、七〇七				
	内譯						
	今戸町ヨリ橋場町迄						
	橋場町ヨリ地方橋場迄						
三八	地方今戸町ヨリ橋場町ニ至ル	一五	一、二二五				完了
三九	龜岡町三丁目ヨリ橋場町ニ至ル	一一	四八二				完了
四〇	元町ヨリ清住町ニ至ル	一五	一、〇一九				完了
四一	中ノ郷瓦町ヨリ越中島町ニ至ル	一五	二三七				完了
四二	中ノ郷業平町ヨリ本所驛脇ヲ經テ洲崎ニ至ル	一五	一、四〇〇			〇・一七	〇・一七
四三	向島須崎町ヨリ向島押上町ニ至ル	一五	五、四三九	自若宮町 至富川町	〇・三五	〇・四一	
			四、四三七				
			八七四			〇・七三	

四四	西元町ヨリ大島町ニ至ル	一、五	二、八七六	自西元町　至西町	〇・四三　〇・四三　〇・四三　地上工事竣功歩合〇・四三
四五	東扇橋町ヨリ砂町八右衛門新田ニ至ル	一、五	七四三		
四六	古石場町ヨリ鹽濱町ニ至ル	一、五	一八九		
四七	柴井町ヨリ愛宕町一丁目ニ至ル	一、一	六九二		
四八	鳥森町ヨリ源助町ニ至ル	一、一	三六四		
四九	神明町ヨリ芝公園五號地ニ至ル	一、一	五二八		
五〇	新網町北側ヨリ芝公園十二號地ニ至ル	一、一	六一九		
五一	湊町ヨリ芝公園十五號地ニ至ル	一、一	六〇一		
五二	新櫻田町ヨリ愛宕町三丁目ニ至ル	一、一	六五一		
五三	鳥森町ヨリ宇田川町横町ニ至ル	一、一	八四八		
五四	新榮町五丁目ヨリ日比谷ニ至ル	一、一	五四六		
五五	川口町ヨリ銀座一丁目ニ至ル	一、一	二二八		
五六	采女町ヨリ白魚橋ニ至ル	一、一	七四六		
五七	新湊町三丁目ヨリ隅田川右岸ニ至ル	一、一	一五一		
五八	柳町ヨリ淺草橋南詰ニ至ル	一、一	一、二一八		
五九	芳町ヨリ箱崎町二丁目ニ至ル	一、一	七〇一	自芳町　至箱崎町	〇・二五　〇・二五
六〇	東龍閣町ヨリ蠣殼町三丁目ニ至ル	一、一	一、六八七		〇・五〇
六一	小網町三丁目ヨリ濱町三丁目ニ至ル	一、一	七八八	自濱町　至濱町川	〇・一〇　〇・五六
六二	錦町三丁目ヨリ新銀町ニ至ル	一、一	四一三		
六三	錦町三丁目ヨリ通神保町ニ至ル	一、一	三一三		
六四	西小川町一丁目ヨリ三崎町一丁目ニ至ル	一、一	三〇八		
六五	西小川町一丁目ヨリ表猿樂町ニ至ル	一、一	三七五		
六六	淡路町二丁目ヨリ三崎町一丁目ニ至ル	一、一	一、一四一	鈴木町	〇・七九　完了　完了　竣功歩合〇・四九
				自鈴木町　至猿樂町	
				自淡路町　至紅梅町	
六七	（削除）				
六八	一番町ヨリ中六番町ニ至ル	一、一	六八四		〇・五〇
六九	五番町ヨリ元園町二丁目ニ至ル	一、一	八三九		〇・五〇

七〇	龍泉寺町ヨリ三ノ輪ニ至ル	一、一	九二一		完了
七一	金杉町ヨリ揚屋町ニ至ル	一、一	五二八		完了
七二	金杉上町ヨリ淺草町ニ至ル	一、一	一、五六九	地方今戸町田中町地内	〇・一五　〇・五〇
七三	萬年町三丁目ヨリ新谷町ニ至ル	一、一	九四六		完了
七四	下車坂町ヨリ花川戸町ニ至ル	一、一	一、六七八		〇・五〇
七五	上車坂町ヨリ松清町ニ至ル	一、一	一、二七〇		〇・四〇
七六	千束町一丁目ヨリ金龍山瓦町ニ至ル	一、一	一、〇九二		完了
七七	馬道五丁目ヨリ山ノ宿町ニ至ル	一、一	一九三		〇・五〇
七八	象潟町地内	一、一	三一七		完了
七九	淺草區田町一丁目ヨリ今戸町ニ至ル	一、一	五〇四		完了
八〇	吉野町ヨリ南千住町地方橋場ニ至ル	一、一	八五五		完了
八一	山谷町ヨリ田中町ニ至ル	一、一	七一八	田中町地内	〇・一三　完了
八二	千束町二丁目ヨリ龜岡町三丁目ニ至ル	一、一	一、二七六		完了
八三	千束町一丁目ヨリ北富坂町ニ至ル	一、一	一、六二五		〇・五〇
八四	金杉上町ヨリ元鳥越町ニ至ル	一、一	二、三一一		〇・六〇
八五	神吉町ヨリ二長町ニ至ル	一、一	一、七五三		〇・七〇
八六	車坂町ヨリ御徒町二丁目ニ至ル	一、一	六七七		〇・五〇
八七	御徒町一丁目地内	一、一	五六六		完了
八八	元鳥越町ヨリ上平右衛門町ニ至ル	一、一	五九七		完了
八九	永堀町ヨリ深川區大島町ニ至ル	一、一	八六七		
九〇	御徒町一丁目ヨリ須賀町ニ至ル	一、一	一、〇八一		完了
九一	弓町一丁目ヨリ下谷區竹町ニ至ル	一、一	二、〇七五	三組町地内	完了
九二	四鳥越町ヨリ森田町ニ至ル	一、一	四七八		完了
九二	湯島天神町一丁目ヨリ下谷區竹町ニ至ル	一、一	一、二四一		完了
九四	小島町ヨリ北富坂町ニ至ル	一、一	五二二		完了
九五	上野廣小路町ヨリ永住町ニ至ル	一、一	一、〇三二		
九六	七軒町ヨリ諏訪町ニ至ル	一、一	八五五		
九七	湯島四丁目ヨリ湯島梅園町ニ至ル	一、一	六三七		完了

| | | |

下工事中ニ屬シ、既ニ約九割ノ竣功ヲ見タリ。　約一、一四〇間

(三)千葉街道(第七號國道)自龜戸町水神至同町淺草道土地買收ヲ了シ、目下工事着手準備中ニ屬ス。　約一、六二〇間

(四)中仙道(第九號國道)自巣鴨町巣鴨橋至板橋町目下土地買收中ニ屬ス。　約一、〇〇〇間

2、府縣道

本事業ハ環狀線及放射線道路ニシテ、既定計畫中震災前ニ着手シタル工事ニ引續キ、其ノ概要部分タル左記九箇所ノ改修工事ヲ自大正十三年度至大正十七年度五箇年度ニ執行スルモノニシテ、工事ノ進捗狀況左ノ如シ。

一、自品川町八ツ山橋至大崎町谷在家　約八六〇間

二、自目黑町役場前至同町氷川神社前　約六四〇間

目黑町地内ニテ側溝土盛工事中ナリ。

三、自千駄ケ谷町裏參道至四谷區界　約八二〇間

千駄ケ谷町地内ノ土地買收中ナリ。

四、自西巣鴨町池袋舊板橋間道至同町庚申塚　約八三〇間

西巣鴨町地内ノ土地買收ヲ完了セリ。

五、自三河島町三河島木ノ本至南千住東京市界　約七二〇間

目下工事中ニシテ八分通完了セリ。

六、自吾嬬町小村井至龜戸町

龜戸町地内土地買收ヲ完了セリ。

七、自大崎町舊中原街道至同町大崎驛　約二四〇間

工事完了セリ。

八、自澁谷町澁谷橋至目黑町役場前　約七九〇間

約四百三十六間ノ工事進行中ナリ。

九、自西巣鴨町東京市界至同町池袋環狀線　約八〇〇間

工事設計中ナリ。

(四)神奈川縣ノ執行スル分

國道

本事業ハ、大正十二年度及大正十三年度ニ於テ京濱國道(第一號國道)東京府界ヨリ横濱市界ニ至ル三千九百九十餘間ノ改修工事中一萬七千八百坪ノ路面工事、六郷橋擔付工事、街路樹工事、鐵道川崎支線改築工事、鶴見橋橋體工事及六郷橋架設工事ノ一部ヲ執行スルモノニシテ、僅カニ六郷橋取付支道ヲ存スルノミニシテ、他ハ全部竣功セリ。

三、運河　(大正十四年九月末日現在)

運河工事ハ、東京横濱ヲ通シ、新繁、改修、埋立共全部國ニ於テ之ヲ執行スルモノニシテ、埋立工事ハ既ニ完了シ、其ノ他ニ於テハ、着々其設計ヲ進メ之カ工事ノ進捗ヲ計レルカ、其工事工程左ノ如シ。

東京運河工事工程表

種別	名稱	區域	延長	幅員	深度	設計工程	工事工程	摘要
新繁	築地川楓川連絡	金六町地先櫻川ヨリ木挽町二丁目地先築地川ニ至ル	二九〇米	三三米	一・八米	%	%	
改修	小名木川	上大島町地先北十間川ヨリ新安宅町地先隅田川ニ至ル	二、四六〇	五五	二・一	九・〇	五・〇	
同	横十間川	柳島元町地先北十間川ヨリ豐住町地先十間川ニ至ル	三、六七〇	四〇	一・八	一九・二	一三・二	
同	大島川	木場町地先大横川ヨリ諸町地先隅田川ニ至ル	一、九二〇	四〇	一・八	三〇・六	一〇・〇	
同	神田川	柳原河岸地先ヨリ新柳町地先隅田川ニ至ル	一、四二〇	四七	一・八	一五・六	一二・八	
同	日本橋川	富島町地先龜島川ヨリ大川端町地先隅田川ニ至ル	四七〇	四七	一・八	二二・七	二二・七	
同	楓川	本材河岸地先日本橋川ヨリ柳町地先櫻川ニ至ル	一、二二〇	三三	一・八	二九・二	一七・八	
同	櫻川	金六町地先京橋川ヨリ港河岸地先龜川ニ至ル	七五〇	三三	一・八	六一・九	八・四	
同	京橋川	北紺屋町地先外濠ヨリ金六町地先櫻川ニ至ル	六〇〇	三三	一・八	六・五	六・五	
同	築地川(一)	木挽町八丁目地先ヨリ築地四丁目地先海ニ至ル	五五〇	四七	一・八	完了	完了	
同	築地川(二)	木挽町一丁目地先ヨリ木挽町八丁目地先ニ至ル	一、一三〇	三三	一・八	八二・七	三六・六	
同	汐留川	木挽町七丁目地先三十間堀川ヨリ木挽町八丁目地先築地川ニ至ル	四〇〇	三三	一・八	二四・三	二四・三	
同	東堀留川	日本橋區西萬河岸地先ヨリ同區末廣河岸地先日本橋川ニ至ル	五四五	三三	一・八	—	—	
	計		一五、四二五			二二、七	一二、八	別ニ船舶機械一、三二九、九〇六圓ヲ購入セリ

埋立

種別	名稱	區域	延長	幅員	深度	設計工程	工事工程	摘要
埋立	西堀留川	日本橋區小船河岸地先ヨリ同區末廣河岸地先日本橋川ニ至ル	三七四	三〇	—	完了	完了	附帶工事一部未了

横濱運河工事工程表

種別	名稱	區域	延長	幅員	深度	設計工程	工事工程	摘要
改修	大岡川	南吉田町南七ツ目地先中村川ヨリ北仲通六丁目地先ニ至ル	二、六二九米	二七—六九米	一・五米	二五・六%	六・七%	
同	帷子川	久保町市郡境界ヨリ袁高島町地先ニ至ル	二、一五一	二七—三六	一・五	完了	二〇・三	
	計		四、七八〇			六二・八	一三・五	

四、橋梁　(大正十四年九月末日現在)

(一)國ノ執行スル分

橋梁數　東京　一五四橋　横濱　三七橋

橋梁工事ハ、其ノ基礎ノ地質ト重要ナル關係アルヲ以テ、嚴密ナル地質調査ヲ行ヒ、比較的工事ニ着手シ易キモノヨリ設計ヲ進メ、工事ノ進捗ヲ計レル結果既ニ竣功シタルモノ六橋、工事中ノモノ四十七橋、起工準備中又ハ設計中ニ屬スルモノ五十一橋ニシテ、其ノ所管別工事工程左ノ如シ。

1、東京ノ分

隅田川派出所々管

第二篇　善後措置　第二章　各紀

幹線街路ニ架設スルモノ

路線番號	記號	橋名	設計工程	工事工程	工事着手又ハ着手豫定	工事竣功又ハ竣功豫定	摘要
三	A2	永代橋	〇・八〇%	〇・四五%	一三	一一	一五
六	A5	駒形橋	〇・六五	〇・二一	一三	七	一五
一〇	A1	相生橋	完了	〇・二〇	一三	九	一五
二二	A4	藏前橋	〇・七五	〇・二三	一三	九	一五
二八	A3	清洲橋	〇・七五	〇・一八	一四	三	一六
三八	A6	言問橋	〇・五〇	〇・一五	一四	一	一六

(表中ノ數字ハ年月ヲ示ス以下同ジ)

| | | |

第二篇　著樣建置　第二章　各部

東京市執行小公園

雷號　名稱　位置　面積（約㎡）

一、上六公園　麹町区番町ノ内　九〇〇

（一）清町公園（約一一、〇〇〇坪）

1、東京ノ分

（一）園ノ執行スル分（大正四年度）

（イ）麻布区ノ一部七五〇坪ヲ八〇〇〇坪ニ、

（ロ）佃島区ノ月島第二区画ト区ノ一部九〇〇坪ヲ一、二四〇坪ニ、

（ハ）月島区ノ月島第三区画ト区ノ一部二、六〇〇坪ヲ一、四〇〇坪ニ

夫々變更セリ。

雷號　名稱　位置　面積（約㎡）

一、上六公園　麹町区番町ノ内　九〇〇

一三二九

東京市執行小公園

雷號　名稱　位置　面積（約㎡）

一、上六公園　麹町区番町ノ内　九〇〇

（二）岡田公園（約三三二坪）

（三）神楽坂公園（約四〇〇坪）

（四）月島公園（約一、六〇〇坪）

（五）清水谷公園（約一、〇〇〇坪）

（六）芝公園（約一、〇〇〇坪）

（七）麻布公園（約一、〇〇〇坪）

（八）赤坂公園（約一、〇〇〇坪）

（九）青山公園（約一、〇〇〇坪）

（十）目白公園（約一、〇〇〇坪）

（十一）巣鴨公園（約一、〇〇〇坪）

（十二）東京市ノ執行スル分（小公園五十二箇所）

小公園五十二箇所ノ全部東京市ニ於テ之ヲ執行スル所ニシテ、區劃整理ノ進捗ニ伴ヒ順次實施計ラルベシ、工事ニ着手スル豫定ニシテ、目下工事中ノモノハ

神北公園ノミナリ。

既定計畫中一部變更セルモノ左ノ如シ。

（イ）麻布区ノ一部七五〇坪ヲ八〇〇〇坪ニ、

（ロ）佃島区ノ月島第二区画ト区ノ一部九〇〇坪ヲ一、二四〇坪ニ、

（ハ）月島区ノ月島第三区画ト区ノ一部二、六〇〇坪ヲ一、四〇〇坪ニ

夫々變更セリ。

東京市執行小公園

雷號　名稱　位置　面積（約㎡）

一、上六公園　麹町区番町ノ内　九〇〇

（二）清町公園（約一一、〇〇〇坪）

實施設計完了。

整地及設備工事ハ既ニ着手シ、本年工事ニ着手スルモノ。

（三）岡田公園（約三三二、〇〇〇坪）

轉ニ關シ、現保者ト協議中ニシテ、未タ工事ニ着手スルニ至ラズ。

（三）東京市ノ執行スル分（小公園五十二箇所）

小公園五十二箇所ノ全部東京市ニ於テ之ヲ執行スル所ニシテ、區劃整理ノ進捗ニ伴ヒ順次實施計ラルベシ、工事ニ着手スル豫定ニシテ、目下工事中ノモノハ

神北公園ノミナリ。

（四）神楽坂公園（約四〇〇〇坪）

（五）清水谷公園（約一、〇〇〇坪）

（六）芝公園（約一、〇〇〇坪）

（七）麻布公園（約一、〇〇〇坪）

（八）赤坂公園（約一、〇〇〇坪）

（九）青山公園（約一、〇〇〇坪）

（十）目白公園（約一、〇〇〇坪）

（十一）巣鴨公園（約一、〇〇〇坪）

（十二）東京市ノ執行スル分

1、公園ノ執行スル分

（一）東京ノ分

（イ）麻布区ノ一部七五〇坪ヲ八〇〇〇坪ニ、

（ロ）佃島区ノ月島第二区画ト区ノ一部九〇〇坪ヲ一、二四〇坪ニ、

（ハ）月島区ノ月島第三区画ト区ノ一部二、六〇〇坪ヲ一、四〇〇坪ニ

夫々變更セリ。

（二）清町公園（約一一、〇〇〇坪）

實施設計完了。

整地及設備工事ハ既ニ着手シ、本年工事ニ着手スルモノ。

（三）岡田公園（約三三二、〇〇〇坪）

轉ニ關シ、現保者ト協議中ニシテ、未タ工事ニ着手スルニ至ラズ。

（三）東京市ノ執行スル分（小公園五十二箇所）

小公園五十二箇所ノ全部東京市ニ於テ之ヲ執行スル所ニシテ、區劃整理ノ進捗ニ伴ヒ順次實施計ラルベシ、工事ニ着手スル豫定ニシテ、目下工事中ノモノハ

神北公園ノミナリ。

既定計畫中一部變更セルモノ左ノ如シ。

（イ）麻布区ノ一部七五〇坪ヲ八〇〇〇坪ニ、

（ロ）佃島区ノ月島第二区画ト区ノ一部九〇〇坪ヲ一、二四〇坪ニ、

（ハ）月島区ノ月島第三区画ト区ノ一部二、六〇〇坪ヲ一、四〇〇坪ニ

夫々變更セリ。

第二篇　著樣建置　第二章　各部

一三二八

東京市執行小公園

雷號　名稱　位置　面積（約㎡）

一、上六公園　麹町区番町ノ内　九〇〇

（二）清町公園（約一一、〇〇〇坪）

（三）岡田公園（約三三二、〇〇〇坪）

（四）神楽坂公園（約四〇〇坪）

（五）清水谷公園（約一、〇〇〇坪）

（六）芝公園（約一、〇〇〇坪）

（七）麻布公園（約一、〇〇〇坪）

（八）赤坂公園（約一、〇〇〇坪）

（九）青山公園（約一、〇〇〇坪）

（十）目白公園（約一、〇〇〇坪）

（十一）巣鴨公園（約一、〇〇〇坪）

（十二）東京市ノ執行スル分（小公園五十二箇所）

小公園五十二箇所ノ全部東京市ニ於テ之ヲ執行スル所ニシテ、區劃整理ノ進捗ニ伴ヒ順次實施計ラルベシ、工事ニ着手スル豫定ニシテ、目下工事中ノモノハ

神北公園ノミナリ。

既定計畫中一部變更セルモノ左ノ如シ。

（イ）麻布区ノ一部七五〇坪ヲ八〇〇〇坪ニ、

（ロ）佃島区ノ月島第二区画ト区ノ一部九〇〇坪ヲ一、二四〇坪ニ、

（ハ）月島区ノ月島第三区画ト区ノ一部二、六〇〇坪ヲ一、四〇〇坪ニ

夫々變更セリ。

（三）東京市ノ執行スル分

1、公園ノ執行スル分（大正四年度）

（一）東京ノ分

（イ）麻布区ノ一部七五〇坪ヲ八〇〇〇坪ニ、

（ロ）佃島区ノ月島第二区画ト区ノ一部九〇〇坪ヲ一、二四〇坪ニ、

（ハ）月島区ノ月島第三区画ト区ノ一部二、六〇〇坪ヲ一、四〇〇坪ニ

夫々變更セリ。

（二）清町公園（約一一、〇〇〇坪）

實施設計完了。

整地及設備工事ハ既ニ着手シ、本年工事ニ着手スルモノ。

（三）岡田公園（約三三二、〇〇〇坪）

轉ニ關シ、現保者ト協議中ニシテ、未タ工事ニ着手スルニ至ラズ。

（三）東京市ノ執行スル分（小公園五十二箇所）

小公園五十二箇所ノ全部東京市ニ於テ之ヲ執行スル所ニシテ、區劃整理ノ進捗ニ伴ヒ順次實施計ラルベシ、工事ニ着手スル豫定ニシテ、目下工事中ノモノハ

神北公園ノミナリ。

既定計畫中一部變更セルモノ左ノ如シ。

（イ）麻布区ノ一部七五〇坪ヲ八〇〇〇坪ニ、

（ロ）佃島区ノ月島第二区画ト区ノ一部九〇〇坪ヲ一、二四〇坪ニ、

（ハ）月島区ノ月島第三区画ト区ノ一部二、六〇〇坪ヲ一、四〇〇坪ニ

夫々變更セリ。

第二篇　著樣建置　第二章　各部

一三二八

東京市執行小公園

雷號　名稱　位置　面積（約㎡）

一、上六公園　麹町区番町ノ内　九〇〇

（二）清町公園（約一一、〇〇〇坪）

（三）岡田公園（約三三二、〇〇〇坪）

（四）神楽坂公園（約四〇〇坪）

（五）清水谷公園（約一、〇〇〇坪）

（六）芝公園（約一、〇〇〇坪）

（七）麻布公園（約一、〇〇〇坪）

（八）赤坂公園（約一、〇〇〇坪）

（九）青山公園（約一、〇〇〇坪）

（十）目白公園（約一、〇〇〇坪）

（十一）巣鴨公園（約一、〇〇〇坪）

（十二）東京市ノ執行スル分（小公園五十二箇所）

小公園五十二箇所ノ全部東京市ニ於テ之ヲ執行スル所ニシテ、區劃整理ノ進捗ニ伴ヒ順次實施計ラルベシ、工事ニ着手スル豫定ニシテ、目下工事中ノモノハ

神北公園ノミナリ。

既定計畫中一部變更セルモノ左ノ如シ。

（イ）麻布区ノ一部七五〇坪ヲ八〇〇〇坪ニ、

（ロ）佃島区ノ月島第二区画ト区ノ一部九〇〇坪ヲ一、二四〇坪ニ、

（ハ）月島区ノ月島第三区画ト区ノ一部二、六〇〇坪ヲ一、四〇〇坪ニ

夫々變更セリ。

（三）東京市ノ執行スル分

1、公園ノ執行スル分（大正四年度）

（一）東京ノ分

（イ）麻布区ノ一部七五〇坪ヲ八〇〇〇坪ニ、

（ロ）佃島区ノ月島第二区画ト区ノ一部九〇〇坪ヲ一、二四〇坪ニ、

（ハ）月島区ノ月島第三区画ト区ノ一部二、六〇〇坪ヲ一、四〇〇坪ニ

夫々變更セリ。

（二）清町公園（約一一、〇〇〇坪）

實施設計完了。

整地及設備工事ハ既ニ着手シ、本年工事ニ着手スルモノ。

（三）岡田公園（約三三二、〇〇〇坪）

轉ニ關シ、現保者ト協議中ニシテ、未タ工事ニ着手スルニ至ラズ。

（三）東京市ノ執行スル分（小公園五十二箇所）

小公園五十二箇所ノ全部東京市ニ於テ之ヲ執行スル所ニシテ、區劃整理ノ進捗ニ伴ヒ順次實施計ラルベシ、工事ニ着手スル豫定ニシテ、目下工事中ノモノハ

神北公園ノミナリ。

既定計畫中一部變更セルモノ左ノ如シ。

（イ）麻布区ノ一部七五〇坪ヲ八〇〇〇坪ニ、

（ロ）佃島区ノ月島第二区画ト区ノ一部九〇〇坪ヲ一、二四〇坪ニ、

（ハ）月島区ノ月島第三区画ト区ノ一部二、六〇〇坪ヲ一、四〇〇坪ニ

夫々變更セリ。

第二篇　著樣建置　第二章　各部

一三二八

東京市電気鉄道

市ニ於テ執行スベキ東京市電気鉄道築中、東京ニ於テモ既ニ竣功セルモノ八橋、八橋ノ十三橋、起工準備中又ハ設計中ノモノ十五橋ニシテ、横濱ニ於テハ工事中ノモノ、四橋ヲ執行スル分、其ノ工事工程左ノ如シ。

1、東京市ノ執行スル分

路線番號	起點	終點	延長	軌道	工事着手又ハ竣功豫定	摘要
B79	江戸川橋	飯田橋	一哩	複線	大正一四年一月竣功	
B77	飯田橋	富坂	一哩	複線	大正一四年一月竣功	
B73	富坂	巣鴨	一哩	複線	大正一四年一月竣功	
B71	巣鴨	駒込	一哩	複線	大正一四年一月竣功	
A71	駒込	王子	一哩	複線	大正一四年一月竣功	
A73	駒込	藍染	一哩	複線	大正一四年一月竣功	
	在來街路ニ於テ複線ニ改メタルモノ					
	一哩	丁目	一哩	複線	大正一四年一月竣功	
	九丁目	中野	一哩	複線	大正一四年一月竣功	
	中野	荒玉水道	一哩	複線	大正一四年一月竣功	
	荒玉水道	下高井戸	一哩	複線	大正一四年一月竣功	
	下高井戸	烏山	一哩	複線	大正一四年一月竣功	
	烏山	上北沢	一哩	複線	大正一四年一月竣功	
	上北沢	八幡	一哩	複線	大正一四年一月竣功	
	八幡	代田橋	一哩	複線	大正一四年一月竣功	
	代田橋	新宿	一哩	複線	大正一四年一月竣功	
	新宿	四谷	一哩	複線	大正一四年一月竣功	
	四谷	赤坂	一哩	複線	大正一四年一月竣功	
	赤坂	麻布	一哩	複線	大正一四年一月竣功	
	麻布	高輪	一哩	複線	大正一四年一月竣功	
	高輪	品川	一哩	複線	大正一四年一月竣功	
	品川	大井	一哩	複線	大正一四年一月竣功	
	大井	蒲田	一哩	複線	大正一四年一月竣功	
	蒲田	大森	一哩	複線	大正一四年一月竣功	
	大森	馬込	一哩	複線	大正一四年一月竣功	
	馬込	青戸	一哩	複線	大正一四年一月竣功	
	青戸	小岩	一哩	複線	大正一四年一月竣功	
	小岩	市川	一哩	複線	大正一四年一月竣功	
	市川	船橋	一哩	複線	大正一四年一月竣功	
	船橋	津田沼	一哩	複線	大正一四年一月竣功	
	津田沼	佐倉	一哩	複線	大正一四年一月竣功	
	佐倉	成田	一哩	複線	大正一四年一月竣功	

2、横濱市ノ執行スル分

路線番號	起點	終點	延長	軌道	工事着手又ハ竣功豫定	摘要
	補助幾街路ニ施設スルモノ					
I 35	白楽	横浜	一哩	複線	大正一四年一月竣功	
I 33	横浜	新川	一哩	複線	大正一四年一月竣功	
F 31	新川	根岸	一哩	複線	大正一四年一月竣功	
D 35	根岸	豊玉	一哩	複線	大正一四年一月竣功	
C 31	豊玉	伊勢佐木	一哩	複線	大正一四年一月竣功	
	區劃整理ニ伴ヒ施設スルモノ					
J 73	麻布	一ノ橋	一哩	複線	大正一四年一月竣功	
J 71	一ノ橋	芝	一哩	複線	大正一四年一月竣功	
I 75	芝	明石	一哩	複線	大正一四年一月竣功	
I 74	明石	築地	一哩	複線	大正一四年一月竣功	
I 73	築地	銀座	一哩	複線	大正一四年一月竣功	
H 72	銀座	神田川	一哩	複線	大正一四年一月竣功	
F 78	神田川	今川橋	一哩	複線	大正一四年一月竣功	
F 77	今川橋	駿河台	一哩	複線	大正一四年一月竣功	
E 73	駿河台	神楽坂	一哩	複線	大正一四年一月竣功	
E 71	神楽坂	新宿	一哩	複線	大正一四年一月竣功	

二	西小川公園	神田中猿樂町ノ内	七五〇
三	錦華公園	同區裏猿樂町ノ内	九〇〇
四	淡路公園	同區淡路町二丁目ノ内	八〇〇
五	神田公園	同區多町二丁目及新銀町ノ内	八〇〇
六	練成公園	同五軒町ノ内	九〇〇
七	橋本公園	同橋本町一丁目鰹島町及江川町ノ内	九〇〇
八	芳林公園	同區末廣町ノ内	九〇〇
九	常盤公園	日本橋區本石町一丁目ノ内	九〇〇
一〇	久松公園	日本橋區久松町ノ内	六〇〇
一一	十思公園	同區小傳馬上町ノ内	九〇〇
一二	箱崎公園	同區箱崎町三丁目及箱崎町四丁目ノ内	八〇〇
一三	日本橋公園	同區蠣殼町二丁目ノ内	九〇〇
一四	鐵砲洲公園	京橋區新湊町二丁目三丁目ノ内	九〇〇
一五	京橋公園	同區本挽町一丁目ノ内	七〇〇
一六	築地公園	同區築地二丁目ノ内	九〇〇
一七	越前堀公園	同區越前堀一丁目ノ内	九〇〇
一八	月島第一公園	同區月島東中通三丁目ノ内	一、一四〇
一九	月島第二公園	同區月島西中通八丁目及九丁目ノ内	一、四〇〇
二〇	櫻田公園	芝區愛宕下町一丁目ノ内	九〇〇
二一	南櫻公園	同區南佐久間町二丁目ノ内	九〇〇
二二	新花公園	本郷區湯島新花町ノ内	九〇〇
二三	元町公園	同區元町一丁目ノ内	九〇〇
二四	東盛公園	下谷區三ノ輪町ノ内	一、〇〇〇
二五	山伏公園	同區山伏町ノ内	七〇〇
二六	入谷公園	同區入谷町及金杉上町ノ内	一、〇〇〇
二七	西町公園	下谷區南稲荷町及西町ノ内	一、〇〇〇
二八	御徒町公園	同區御徒町二丁目ノ内	一、〇〇〇
二九	石濱公園	淺草區玉姫町ノ内	九〇〇
三〇	千東公園	同區千東町二丁目ノ内	八〇〇
三一	小島公園	同區小島町ノ内	九〇〇
三二	富士公園	同區象潟町ノ内	八〇〇
三三	田原公園	同區田原町二丁目ノ内	一、〇〇〇
三四	金龍公園	同區新谷町ノ内	八〇〇
三五	松葉公園	同區松葉町ノ内	九〇〇
三六	精華公園	同區北富坂町及榮久町ノ内	九〇〇
三七	柳北公園	同區向柳原町二丁目ノ内	九〇〇
三八	玉姫公園	同區玉姫町及淺草町ノ内	一、〇〇〇
三九	中和公園	本所區林町三丁目ノ内	九〇〇
四〇	柳島公園	本所區柳島元町ノ内	一、〇〇〇
四一	横川公園	同區中ノ郷横川町ノ内	九〇〇
四二	江東公園	同區相生町三丁目ノ内	九〇〇
四三	茅場公園	同茅場町三丁目及柳原町二丁目ノ内	九〇〇
四四	外手公園	同區若宮町ノ内	九〇〇
四五	菊川公園	同區菊川町一丁目ノ内	九〇〇
四六	永倉公園	同區永倉町ノ内	九〇〇
四七	元加賀公園	深川區元加賀町ノ内	九〇〇
四八	八名川公園	同區西元町ノ内	九〇〇
四九	森下公園	同區東森下町ノ内	九〇〇
五〇	臨海公園	同區門前仲町黑江町及蛤町二丁目ノ内	八〇〇
五一	東陽公園	同區東平井町ノ内	九〇〇
五二	扇橋公園	同區石島町ノ内	九〇〇

六、地域地區ノ指定

（一）住居商業及工業地域ノ指定

1、東京ノ分

大正十四年一月二十六日内務省告示第一四號ヲ以テ指定、大正十四年二月十五日ヨリ施行。

2、横濱ノ分

大正十四年八月十一日内務省告示第一三七號ヲ以テ指定。

大正十四年九月一日施行。

（二）防火地區ノ指定

1、東京ノ分

大正十四年四月二日内務省告示第六二號ヲ以テ指定。

大正十四年四月二十二日ヨリ施行。

2、横濱ノ分

大正十四年八月十一日内務省告示第一三六號ヲ以テ指定。

大正十四年九月一日ヨリ施行。

七、防火建築助成（大正十四年九月末日現在）

防火建築費補助豫算總額二〇、〇〇〇、〇〇〇圓ヲ有セルモ、防火地區ノ指定日尚浅ク、且ツ本建築ハ區劃整理ノ進捗ニ伴フモノナルヲ以テ、防火建築ノ補助未タ其ノ時期ニ至ラサルモ、申請次第適當ニ補助金ヲ交付シ防火建築ノ助成ヲ計リツヽアリ。

現在ノ狀況左ノ如シ。

（一）補助金ヲ交付セルモノ	一件	六、四〇〇圓
（二）補助金交付ノ指令ヲ發セルモノ	九件	一五一、〇〇〇圓
（三）目下審査中ノモノ	一四件	

八、地質調査（大正十四年九月末日現在）

東京及横濱ニ於ケル地質ノ系統的調査ヲ爲サンカタメ、總額六〇〇、〇〇〇圓ノ豫算ニテ一、〇六六箇所ノ試錐工事ヲ施行スル計畫ナルカ、現在迄ノ試錐目數ハ東京二九四、横濱四七ニシテ、合計三四一箇所ノ試錐工事ヲ行ヒ、尚續々試錐中ナリ。

九、其ノ他府縣市ノ執行スル復興事業（大正十四年九月末日現在）

（一）東京府ノ執行スル分

1、教育施設　本事業ハ、第三中學校ト第一高等女學校、實科工業學校、化學工業學校及工藝學校ノ新營ヲ自大正十三年度至大正十五年度三箇年度ニ執行スルモノシテ、第一高等女學校ニ付テハ既ニ工事ニ着手シタリ、而シテ他ノ四校ニ付テモ實施設計ヲ完了シ、内第三中學校及工藝學校ハ敷地確定シ、實科工業學校及化學工業學校ハ換地未定ニシテ目下土地所有者ト協定中ニ屬スルヲ以テ、確定次第前二校ト共ニ工事ニ着手ノ豫定ナリ。

（二）東京市ノ執行スル分

1、上水道　水道復舊工事ハ、大正十二年度ヨリ四箇年繼續事業トシ、既設ノ設備ニシテ震災ニ依リ破壞シタル淀橋淨水場、新水路、市内鐵管ノ復舊ヲ爲スモノニシテ、淀橋淨水場ノ一部及水路工事中、附帶工事ヲ除キタル部分、沈澄池ノ内第一號池及濾過池二面ハ既ニ完成シ、目下着々工事進捗中ナリ。

又水道擴張工事ハ、既定計畫中大正十三年度ヨリ三ケ年間ニ施設スヘキ災害後ニ於ケル村山貯水池下堰堤ノ殘部、其ノ附屬工事ト、配水管ノ一部タル和田堀新宿間ノ鐵管工事ヲ爲スモノニシテ、既ニ主要工事タル堰堤盛土工事ハ殆ント完成シ、其ノ他附帶工事モ年度内ニハ完成スヘキヲ以テ、所期年度即大正十五年度中ニハ全部竣功ノ見込ナリ。

2、下水道　下水道復舊工事ハ、大正十二年度及大正十三年度ニ於テ、既成設備ニシテ震災ニ依リ破損シタル三河島處分場、淺草吽筒場竝淺草區全部及下谷區神田區ノ一部ニ於ケル下水管渠ノ復舊ヲ爲スモノニシテ、既ニ竣功シタルモノ十九件、施工準備中ノモノ一件ニシテ不日完成ノ見込ナリ。

下水道改良工事ハ、大正十二年度ヨリ六箇年繼續事業トシ、第一期事業トシテ前記三河島處分場ノ事務所公舍等諸建物及未成部分ノ下水管渠埋設工事、第二期事業トシテ日本橋區、京橋區（月島ヲ除ク）ノ全部、麹町區丸ノ内、芝區ノ一部ニ於ケル施設ノ未成部分、神田ノ一部及麹町區ノ一部ニ於ケル施設竝本所

深川兩區ノ施設ヲ爲スモノニシテ、第一期事業ハ既ニ竣功シ、第二期事業中竣功シタルモノ三十五件、施行中ノモノ十二件、他ハ夫々施行準備中ナリ。

第三期事業トシテハ、第一區ニ屬スル神田、麹町、芝ノ一部ニ於テ約四割、第三區ニ屬スル本所、深川方面ニ於テ約五分、及雜工事トシテハ工營所竝附屬建物新築工事等約六割五分ノ進捗ヲ見タリ。

3、塵芥處分施設　塵芥處分施設ハ、大正十三年度ヨリ三箇年繼續事業トシテ取扱所二十七箇所、處理工場三箇所ヲ新設シ、機械處理ニ依リ市內一日排出二十萬貫ノ塵芥ヲ處分セムトスルモノニシテ、月島塵芥取扱所ハ九月上旬既ニ竣功シ、設計中ナリシ赤羽橋取扱所其ノ他モ引續キ工事着手ノ豫定ニ處、月島取扱所ノ成績ニ鑑ミ、設計變更ノ必要ヲ認メ目下考究中。

處理工場中一箇所ハ深川區古石場町五號埋立地ニ建築ノ豫定ヲ以テ、茲ニ地質調査ヲ了シタリ。

尙本年度建設豫定ノ取扱所數地中、確定シタルモノ五箇所、區劃整理ニ依ル換地未定ノ爲決定セザルモノ六箇所、其ノ他用地獲得ニ就キ交涉中ノモノ八箇所ナリ。

4、中央卸賣市場　中央卸賣市場本場トシテ京橋區築地海軍省用地一帶ニ於テ面積約九萬八千坪ヲ撰定シタルモ、目下用地ノ獲得ニ付、關係當局ト交涉中ナリ。

市場ノ計畫規模其ノ他ニ付テハ具體案ノ作製中ニシテ、近ク確定ヲ得ル見込ナリ。

分場ハ神田、江東ノ二箇所ニ建設スル計畫ニシテ、神田分場ノ用地ハ眞ニ土地收用ノ認可ヲ得、既ニ一部ノ買收ヲ了シ、殘餘ノ土地ニ付テモ鋭意進行中ニシテ、江東分場モ近ク建設工事ニ着手ノ豫定ナリ、

5、衞生施設　衞生施設トシテハ大正十三年度ヨリ四箇年繼續事業トシテ施療病院實費診療所ノ兩者ヲ五箇所ニ併置シ、相互相俟チテ細民ノ救療機關タラシムル計畫ニシテ、深川區牡丹町ノ分ハ既ニ用地ノ買收ヲ了シ、約九割二分ノ地上物件ヲ移轉シ、外二箇所ハ買收交涉中ニシテ、內一箇所ハ本郷區駒込坂下町ニ撰定シタリ。

兩シテ大久保、廣尾ノ分ハ、共ニ本年中ニ設計完了シ、工事ニ着手ノ豫定ナリ。

6、教育施設　教育施設トシテ、大正十三年度ヨリ五箇年繼續事業トシテ、橋失小學校百十七校ノ復興建築ヲ爲スモノニシテ、規模ハ一校二十四學級延建坪ヲ標準トシ、耐震耐火的ナル鐵筋コンクリート三階建トス、兩シテ震災前ヨリ工事中ナリシモノ五校、其ノ他ノモノ四校ハ、既ニ完成シ、近ク工事ニ着手セントスルモノ十一校アリ、其ノ他ハ土地區劃整理ノ進行ニ伴ヒ、敷地ノ確定次第工事ニ着手スル豫定ヲ以テ目下鋭意設計中ニ屬ス。

7、社會事業施設　社會事業ハ、大正十三年度ヨリ五箇年繼續事業トシテ施設スルモノニシテ、職業紹介所十五箇所、託兒場竝兒童健康相談所十箇所、婦人授產場五箇所、公衆食堂十箇所、簡易宿泊所十箇所、貧屋七箇所、浴場十箇所ヲ建設スルモノニシテ、簡易宿泊所ノ內深川區富川町ニ增築ノ分、貧屋ノ內京橋區月島二號地ニ建設ノ分、婦人授產場ノ內芝區白金志田町ニ建設ノ分ハ、既ニ工事ニ着手シ、簡易宿泊所ハ九月中、他ハ共ニ年度內竣功ノ見込ナリ、而シテ其ノ他ハ區劃整理ノ進捗ニ伴ヒ、敷地ノ決定ト同時ニ工事ニ着手スル豫定ヲ以テ鋭意設計中ニ屬ス。

8、電氣事業施設　電氣事業トシテハ、大正十三年度ヨリ三箇年繼續事業トシテ、震災ニ因リ破壞シタル軌道事業ノ復舊ヲ、十三年度ヨリ二箇年繼續事業トシテ電氣供給事業ノ復舊ヲ行フモノニシテ、軌道事業ハ部分的ニ軌道、電線路等ノ修理ヲ終ヘ、貨物ホギー車四十五輛、車體其ノ他ノ復舊二百八十輛、空氣制動機取付四十八輛モ既ニ竣成シ、目下殘餘ノ分ヲ作製中ナリ、供給事業ハ地中線架空線ノ一部延長二萬四千四百六十九尺及電燈大部分ノ取付ヲ終ヘタル變電所ノ設備及幹線工事等ハ、區劃整理ノ進捗ニ伴ヒ施行スル方針ヲ以テ、目下其ノ準備中ナリ。

（三）神奈川縣ノ執行スル分

1、教育施設　本事業ハ、大正十三年乃至大正十六年度ノ四箇年繼續事業トシテ、中等學校タル商工實習學校、高等女學校、女子師範學校及附屬小學校、橫濱第一中學校工業學校ノ新營竝修繕ヲ爲スモノニシテ、商工實習學校ハ既ニ工事中ニ屬シ約七分ノ竣功ヲ見タリ、女子師範學校ニ付テハ實施設計モ完了シ敷地ノ決定ヲ見タルヲ以テ、十月中ニハ起工ノ運ニ至ル豫定ナリ。

（四）橫濱市ノ執行スル分

1、河川　本事業ハ、大正十三年度乃至大正十七年度ノ五箇年繼續事業トシテ、橫濱市內ノ河川中、護岸一萬七千餘間ヲ修築シ、二河川ヲ改修スルモノニシテ中村川左岸（亀ノ橋久良岐橋）間九百十二間、堀川（山下橋元町五丁目）間七百六十七間ハ、目下工事中ニ屬シ、前記中村川右岸及千代崎川延長千三百五十間、瀧ノ川延長千百四十七間ノ改修ハ、目下設計中ニシテ不日完了ノ見込ナリ。

2、上水道　本事業ハ、大正十三年度乃至大正十五年度ノ三箇年繼續事業トシテ、導水管工事五萬五千間、淨水場工事トシテ濾過池二面、配水池二面、其ノ他ノ附帶施設配水管工事トシテ幹管一萬一千餘間、支管七千七百餘間ノ伏替、管橋十一橋ノ架換、若クハ修繕、水管ノ修理、其ノ他ノ施設建物工事トシテ平沼町工場ノ新築及貫水器ノ補給等ノ各種工事ヲ施行スルノモニシテ、用地ノ買收ヲ終ヘ、線路修繕三百五十六間、配水管布設替一萬三千八百二間、量水器設置千百九十四箇、假建物一棟ハ既ニ竣成シ、他ハ全部設計完了シタルヲ以テ、所期ノ年度內ニハ竣功ノ見込ナリ。

3、下水工事　本事業ハ、大正十三年度乃至大正十七年度ノ五箇年繼續事業トシテ、面積五十六萬四千餘坪ニ於ケル汚水、雨水ヲ排水スル目的ヲ以テ、管渠、人孔、桝取付管等ヲ施設スルモノニシテ、目下排水管渠二萬一千八百四十四尺、人孔百七十二箇所、桝二百六十七箇、取付管五千五百二十七尺工事中ニ屬ス。

4、中央卸賣市場　本事業ハ、大正十三年度乃至大正十七年度ノ五箇年繼續事業トシテ、土工トシテハ盛土、建物トシテハ鐵骨場、荷造場、荷揚場、事務所、倉庫、仲買賣場等ヲ、特別設備トシテハ冷藏庫、製氷場、貯氷庫、引込線、護岸、樓橋、エレベーター、生洲、起重機、醱酵室等ヲ施設スルモノニシテ、目下買收方交涉中ニ係ル敷地ノ確定ヲ俟チ、大正十五年度ヨリ工事ニ着手シ得ル豫定ヲ以テ具體案ノ作製ニ屬ス。

5、衞生施設　本事業ハ、大正十三年度乃至大正十五年度ノ三箇年繼續事業トシテ、十全病院、傳染病院及結核療養所ヲ建設スルモノニシテ、左ノ通何レモ工事進捗中ニ屬ス。

十全病院ハ、本館、病室、隔離室等、延二千六十四坪ノ建築、病床二百二十床ノ設備ヲ爲スモノニシテ、目下工事中ニ屬ス。

傳染病院ハ、病室、隔離所、消毒所等延一千五百餘坪ヲ建築スルモノニシテ、敷地ノ買收ヲ了シ、既ニ工事ニ着手シ、約四分通進捗セリ。

肺結核療養所ハ、本館、病舍、看護婦宿舍等延九百坪ヲ建築シ、患者百五十名ヲ收容スル豫定ニシテ、屍室、炊事場等既ニ着手シタル外、本館、病舍、看護婦宿舍等ハ目下設計中ニ屬ス。

6、教育施設　本事業ハ、大正十三年度乃至大正十七年度ノ五箇年繼續事業トシテ、二十四學級規模ノ小學校三十一校、商業學校一校ヲ建設スルモノニシテ、道場、本牧、南吉田ノ三校ハ既ニ工事ニ着手シ、目下進工中ニ屬ス、其ノ他設計完了シタルモノ五校ノ中、工事ニ着手準備中ノモノ四校、設計中ノモノ三校アリ、商業學校ハ、講堂其ノ他ノ設備ヲ除キ、目下本館ノ工事中ニシテ四分五厘ノ進捗ヲ見タリ。

商業學校ノ建設費ニ對シテハ、補助ヲ爲サヽルモノトス。

7、社會事業施設　本事業ハ、大正十三年乃至大正十五年度ノ三箇年繼續事業トシテ、職業紹介所三箇所、公設市場四箇所、簡易食堂二箇所、託兒所二箇所、公設浴場三箇所、授產場三箇所ヲ建設スルモノニシテ、公設市場四箇所ノ內既ニ二箇所ノ設計完了シ、敷地ノ確定ト共ニ着手シ得ル豫定ナリ。

8、電氣事業施設　本事業ハ、大正十三年度乃至大正十七年度ノ五箇年繼續事業トシテ、用地一萬六千餘坪ノ買收、軌道電線路各四十餘粁ノ新設移築位置換撤去、橋梁ノ修繕、建設物ノ新築、變流機ノ據付、其ノ他施設ノ復舊ヲ爲スモノニシテ、建物ニ於テハ既ニ全工程ノ六分ヲ竣成シ、軌道位置換、橋梁修繕ノ一部及變流機ノ据付ハ目下工事中ニシテ、共ニ年度內竣功ノ見込ナリ、

9、瓦斯事業施設　本事業ハ大正十三年度乃至大正十七年度ノ五箇年繼續事業トシテ、瓦斯製造、副生物精製、瓦斯貯藏及各附帶裝置ノ新設移設、各種建物ノ修築修繕、導管ノ新設埋替修繕、計量器ノ補器等ヲ爲スモノニシテ、既ニ幹管修繕七萬二千七百五十四間、支管復舊二萬八百十四戸ヲ竣功シ、其ノ他建物ノ新築、機械ノ新設及修繕等全工程ノ約四割五分ヲ進捗シ、目下着々工事進行中ニ屬ス。

第二項　復舊施設

上　計　畫

震災善後の措置は、其初復興復舊全事業を擧げて一大特設機關の手に執行するの議ありたりしも、後之を各省に分掌し、復興事業は內務省外局復興局及府縣市之を執行し、復舊事業は、各省各共主司する所を執行することゝ爲り、大正十三年を第一年とし、事業の性質に依り、最長十年に亘る間に之を完了するの計畫を定め、大正十三年七月一日政府は經費の協贊を第四十七議會に求めたり。

第二號　大正十三年度歲入歲出追加豫算案

追第二號　豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スルノ件

是なり、是日衆議院に於て、國務大臣濱口雄幸演說して云ふ、

大正十三年歲入歲出總豫算追加第二號ハ、震災復舊ニ要スル經費デアリマシテ、主トシテ政府所有ノ建築物、物件等復舊費及地方公共團體ノ損害救濟費等ノ經費デアリマス、其總額ハ七億五百九十餘萬圓デアリマスルガ、此內ノ一部ハ既ニ豫算外ノ支出ヲ了シタルモノガアリマスルカラ將來ノ所要額ハ、六億六千四百五十餘圓デアリマシテ、大正十二年度マデ十箇年度ニ亘ツテ支出ヲ要スルモノデアリマス、右ノ內一億二千二百三十餘萬圓ヲ大正十三年度追加豫算トシテ要求致シタノデアリマス、（略）次ニ政府ノ公債計畫ニ就テ說明致シマスレハ、大正十三年度所要經費ニ充ツル爲メ新規募債ヲ要シマスル全額ハ、一般會計所屬ニ於テ帝都復興諸費一億三千四十餘萬圓、震災復舊諸費一億一千九百四十餘萬圓、計二億四千九百九十餘萬圓、特別會計所屬ニ於テ朝鮮總督府事業費一千萬圓、帝國鐵道復舊諸費三千五百萬圓、計四千五百萬圓、合計二億九千四百九十餘萬圓デアリマスルガ、政府ハ經濟界ノ現狀ニ鑑ミ、斯ノ如キ巨額ノ公債ヲ一般市場ニ於テ公募スルノ不可ナルヲ認メマシテ、先以テ爰ニ英米市場ニテ募集シタル外債ノ內一億五百餘萬圓ヲ之ニ充當シ、又預金本部ヲシテ其資金ノ餘力ヲ利用シ、一億五千四百四十餘萬圓ヲ引受ケシメ、其殘額三千五百萬圓ハ、之ヲ郵便局賣出ノ方法ニ依ツテ調達致シ、結局本年度ニ於テハ、一般市場ニ於ケル新規公債ノ募集ハ、一切之ヲ行ハナイコトヽ致シタノデアリマス。

而して案は豫算委員の審査を經て、七月八日報告す。

一、第二號　大正十三年度歲入歲出總豫算追加

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議定致候此段及報告候也。

大正十三年七月八日　豫算委員長　片岡直溫

衆議院議長　粕谷義三殿

報告書

一、（追第二號）豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也。

大正十三年七月八日　豫算委員長　片岡直溫

衆議院議長　粕谷義三殿

九月の議會に豫算委員長片岡直溫委員會の經過結果を報告し中「第二號議案一億二千二百三十五萬六千六百七十五圓は、大正十三年度の要求に係り、實は七億五百九十萬を大正二十二年度までの十箇年に支出するものとす」と云ひ、議員吉植庄一郎より修正意見出でたれども、原案を可決したる旨を報す、議論の末原案を可決す。

貴族院は、七月九日衆議院の送付を受け、十日審査期間を議し、濱口國務大臣說明後、林豫算委員長の發議に基き、審査結了次第之を報告する事に決し、期限を付せす。

（追第二號）大正十三年度歲入歲出豫算追加案

右本院ニ於テ可決セリ因テ議院第五十四條ニ依リ及送付候也。

大正十三年七月九日　衆議院議長　粕谷義三

貴族院議長　公爵　德川家達殿

（追第二號）豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件

右本院ニ於テ可決セリ、因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也。

大正十三年七月九日　衆議院議長　粕谷義三

貴族院議長　公爵　德川家達殿

（追第二號）大正十三年度各特別會計歲入歲出豫算追加案

右本院ニ於テ可決セリ、因テ議院法第五十四條ニ依リ、及送付候也。

大正十三年七月九日　衆議院議長　粕谷義三

貴族院議長　公爵　德川家達殿

濱口國務大臣說明中左の言あり。

大正十三年度歲入歲出總豫算追加第二號、震災復舊ニ要スル所ノ經費デアリマシテ、主トシテ政府所有ノ建築物物件等ノ復舊費及地方公共團體ノ損害救濟等ノ經費デアリマス、其總額七億五百九十餘萬圓デアリマスルガ、此內一部ハ既ニ豫算外ノ支出ヲ了シタルモノガアリマスルカラ、將來ノ所要額ハ、六億六千四百五十餘萬圓デアリマシテ、大正二十二年度マデ十箇年度ニ亘ツテ支出ヲ要スルモノデアリマス。右ノ內一億二千二百三十餘萬圓ヲ大正十三年度追加豫算トシテ要求イタシマシタノデアリマス。

大正十三年度所要ノ經費ニ充ツルガタメ、新規募債ヲ要シマスル金額ハ、一般會計所屬ニ於テ、帝都復興諸費一億三千四十餘萬圓、震災復舊諸費一億一千九百四十餘萬圓、計二億四千九百九十餘萬圓、特別會計所屬ニ於テ、朝鮮總督府事業費一千萬圓、帝國鐵道復舊諸費三千五百萬圓、計四千五百萬圓、合計一億九千四百九十餘萬圓デアリマスガ、政府ハ經濟界ノ現狀ニ鑑ミ、斯クノ如キ巨額ノ公債ヲ一般市場ニ於テ公募スルノ不可ナルヲ認メマシテ、先ヅ以テ爰ニ英米市場ニ於テ募集シタル外債ノ內、一億五百餘萬圓ヲ之ニ充當シ、又預金部ヲシテ其資金ノ餘力ヲ利用シ、一億五千四百八十餘萬圓ヲ引受ケシメ、其殘額三千五百萬圓ハ之ヲ郵便局賣出ノ方法ニ依テ調達イタシ、結局本年度ニ於テハ、一般市場ニ於ケル新規公債ノ募集ハ、一切之ヲ行ハナイコトト致シタノデアリマス。

豫算委員會の報告ハ、

一、大正十三年度歲入歲出總豫算追加案（第二號）（前後略）

一、豫算外國庫負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件（追第二號）（中略）

一、大正十三年度各特別會計歲入歲出豫算追加案（第二號）（中略）

今衆議院ヨリ送付シタル各案ヲ審査シ、總テ衆議院議決案ノ通可決スヘキモノナリト議決セリ、依テ及報告候也。

大正十三年七月十六日　豫算委員長　伯爵　林博太郎

貴族院議長　公爵　德川家達殿

十七日議場に委員長より報告する所あり、討議して之を可決す。

高等諸學校復舊豫算施行上特例を設くるの必要あるものに對し、政府は下の如く議會の協贊を求めたり。

高等諸學校震災復興諸費ニ屬スル豫算ノ施行ニ關スル法律案（政府提出）

大正十二年九月ノ震災ニ基ク復舊諸費ニシテ、東京帝國大學東京商科大學及千葉醫科大學ニ關スルモノハ、大學特別會計法第一條ノ規定ニ拘ラス、之ヲ一般會計ノ所屬トス。

東京帝國大學特別會計資金中、東京帝國大學農學部及航空研究所ノ用ニ供スル土地及建造物並學校及圖書館特別會計ノ資金中、東京女子高等師範學校及東京高等蠶絲學校ノ用ニ供スル土地及建造物ニシテ、此等諸學校ノ震災復舊諸費ニ屬スル豫算施行ノ結果、不用ニ歸スヘキモノハ、該資金ヨリ之ヲ拂出スコトヲ得。

附則

本法ハ、公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス。

大正十三年七月九日衆議院の議事に上るや、國務大臣岡田良平說明すらく、

昨年九月大震災ニ因リマシテ、東京帝國大學始メ震災地ニ在ル高等教育機關ハ、悉ク多大ノ損害ヲ被ツタノデアリマス、而シテ是等ノ諸學校ノ復舊ハ之ヲ一日モ忽ニスルコトノ出來ナイ狀態ニ在リマス、之ニ要スル豫算ハ、既ニ本院ニ提出セラレテ居ルノデアリマス、是等ノ豫算ハ、之ヲ文部本省ニ於キマシテ、統一シテ施行スルコトガ便利デアリマスルシ、又經濟上有利デアリマス、故ニ大學特別會計法ニ對シマシテ、特例ヲ設ケントスルノデアリマス、又是等諸學校ハ都市計畫施行ノ結果ト致シマシテ、舊位置ニ復舊スルコトノ出來ナイモノモアリマシテ、又從前カラ移轉改樂ノ機運ニ迫ラレテ居ルモノモアリマス、爲ニ他ノ場所ヘ之ヲ移轉シテ改築致スノモアルノデアリマス、其結果不用ニナル土地ガ出テ參ルノデアリマシテ、是等ノ不用ニナツタ土地ハ之ヲ處分スルヤウニ致サナケレバナラヌガナイノデアリマスカラ、大學特別會計法並ニ學校及圖書館特別會計法ニ特例ヲ設ケントスルノデゴザイマス。

と、案は議員作間耕逸の發議に基き、九名の特別委員に付託す、即左の如し。

荒川五郎、齋藤仁太郎、小川儀重、吉村伊助、島本信二、山下谷次、土屋清三郎、細梅三郎、本田義成。

審査の結果は、十一日を以て報告せらる。

報告書

一、高等諸學校震災復舊諸費ニ屬スル豫算ノ施行ニ關スル法律案（政府提出）

今ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候、此段及報告候也。

大正十三年七月十一日

衆議院議長　粕谷義三殿

高等諸學校震災復舊諸費ニ屬スル豫算ノ施行ニ關スル法律案委員長　荒川五郎

七月十二日の議場に於て委員長荒川五郎委員會の經過結果を報告し、震災に燒失したる帝國大學農科大學商科大學千葉醫科大學の復舊は特別會計に依らず一般會計を以てするが、事業進捗上利あるを以て特例を設けんとするもの一、大學の一部たる航空研究所、竝に東京女子高等師範學校東京高等蠶絲學校等の燒失に依り移轉するにつき不用地を生ずるに方り、之を特別會計に置くの要なきを以て、同時に之を一般會計に移さんとするもの二、此の二理由を尤もなりとし、委員會は滿場一致を以て之を協贊したりと、滿場異議なく之を可決す。

貴族院は、七月十二日

高等諸學校震災復舊諸費ニ屬スル豫算ノ施行ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ、因テ及送付候也。

大正十三年七月十二日　衆議院議長　粕谷義三

貴族院議長　公爵　德川家達殿

高等諸學校震災復舊諸費ニ屬スル豫算ノ施行ニ關スル法律案（略）。

政府委員松浦鎭次郎說明す、

帝國大學其他各大學ニ於キマスル建築費ハ、現在ノ大學特別會計法ノ規定ニ依リマシテ、各特別會計所屬ノ事業トスルト云フコトニ成ツテ居ルノデアリマス、然ル所昨年ノ震災ノ結果ト致シマシテ、東京帝國大學東京商科大學及ビ千葉醫科大學ニ於ケル復舊ノ工事ガアルノデアリマスルガ、是ハ他ノ一般會計所屬トシテヤリマスル他ノ學校ノ復興工事ト一所ニ致シマシテ、之ヲ一般會計ノ所屬トシテ施行イタス方ガ都合ガ宜シイト云フ關係ガアリマスルノデ、此工事ニ限リマシテ、大學ノ特別會計カラ離レテ、之ヲ一般會計工事トシテ施行シタイ、從テ大學特別會計法ノ例外規定ヲ設ケタイト云フコトガ一ツデアリマス、尙同ジク震災ノ關係カラ參リマスルノデアリマシテ、帝國大學其他學校圖書館ノ敷地建物ハ、是モ大學特別會計法及學校圖書館特別會計法ノ規定ニ依リマシテ、各特別會計ノ所屬トナツテ居リマシテ、之ヲ費消スルコトヲ得ナイ規定ニナツテ居ルノデアリマスルガ、今回震災復舊工事ヲヤリマスル關係上、東京帝國大學ノ農學部、又航空研究所、女子高等師範學校、高等蠶絲學校、是等ノ學校ニ於キマシテハ、敷地ヲ移轉スルト云フ關係ガ起リマスノデ、從テ現在ノ敷地ガ不用ニ歸スル部分ヲ生ジテ來ルノデアリマス、是ハ現在ノ規定ニ依レバ、之ヲ特別會計ニ殘シテ置カナケレバナラヌノデアリマスガ、是ハ一般會計ノ方ニ拂出ス方ガ適當デアルノデアリマスルカラ、之ニ付キマシテモ、特別會計法及學校圖書館特別會計法ノ例外規定ヲ設ケタイト云フノデ、本案ヲ提出イタシマシタ次第デアリマス。

案は大學特別會計法中改正法律案外二件の特別委員に付託せらる、伯爵松木宗隆、子爵大河內輝耕、荒井賢太郎、男爵千秋秀隆、男爵福原俊丸、澤柳政太郎、阪本釤之助、鎌田勝太郎、高橋隆一、之が委員たり、十四日審査の結果を報告す。

高等諸學校震災復舊諸費ニ屬スル豫算ノ施行ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ、依テ及報告候也。

大正十三年七月十四日

右特別委員副委員長　澤柳政太郎

貴族院議長　公爵　德川家達殿

十七日の議場に澤柳副委員長より、委員會に於ける經過結果の報告あり、異議なく可決す。

若夫纏に財政上の緊急處分として、勅令第四十六號を以て公債を發行し、府縣郡市町村の復舊施設を補助貸付けたるに對し、政府は第四十九議會の承諾を求め、七月九日衆議院、十七日貴族院を通過し、之に承諾を與ふる事となりたること既記の如し。

斯くて七月二十二日に至り、復舊費豫算は左の如く公布せらる。

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル大正十三年度歲入歲出總豫算追加ヲ裁可シ、玆ニ之ヲ公布セシム。

御名御璽

攝政名

大正十三年七月廿二日　內閣總理大臣子爵　加藤高明

農商務大臣　高橋是清

遞信大臣　犬養毅

陸軍大臣　宇垣一成

海軍大臣　財部彪

內務大臣　若槻禮次郎

文部大臣　岡田良平

大藏大臣　濱口雄幸

司法大臣　横田千之助

豫算

第一條　大正十三年度歲入歲出追加額ヲ各壹億貳千貳百參拾五萬六千六百七拾五圓ト定ム、其ノ款項ノ金額ハ、別冊甲號歲入歲出豫算ニ據ルヘシ。

第二條　別冊乙號所揭ノ費途ハ、各其ノ規畫スル所ニ隨ヒ、大正十三年度以降ノ繼續費ト爲ス。

第三條　大正十三年度歲出豫算追加中、別冊丙號所揭ノ費途ハ、年度末支出殘額ヲ翌大正十四年度ニ繰越使用スルコトヲ得。

（別冊）

甲號

歲入臨時部

第九款　公債金		一一九、四五一、五七五円
第三項　復興公債及繰替借入金		一一九、四五一、五七五
第十款　前年度剩餘金繰入		二、九〇五、一〇〇
第一項　前年度剩餘金繰入		二、九〇五、一〇〇
歲入臨時部合計		一二二、三五六、六七五

歲出臨時部

內務省所管

第三十二款　震災復興諸費	四、四一九、八七一
第一項　內務本省其他復興事務費	一八五、〇〇〇
第二項　相模川外四箇川流域砂防費	四八六、八七一
第三項　橫濱港復興及修繕費	二、九八〇、〇〇〇
第四項　官國幣社復興費	一四五、〇〇〇
第五項　神奈川縣爆揮發物貯庫其他復興費	六二三、〇〇〇
第三十三款　震災貸付金	二六、〇一九、〇〇〇
第一項　震災貸付金	二六、〇一九、〇〇〇
第三十四款　震災復興費補助	七、六〇〇、〇〇〇
第一項　震災土木費補助	六、五〇〇、〇〇〇
第二項　震災地道路改良費補助	一、〇〇〇、〇〇〇
第三項　東京府立精神病院震災復興費補助	一〇〇、〇〇〇
第三十五款　震災借入金利子補給	一、五六六、二九〇
第一項　震災借入金利子補給	一、五六六、二九〇
內務省所管合計	三九、六〇五、一六一

大藏省所管

第二十二款　震災復興諸費	四、五〇五、三五五
第一項　橫濱稅關上屋其他復興費	八九八、〇〇〇
稅務署廳舍其他復興費	一〇七、〇〇〇
第二項　貴族院及衆議院廳舍其他復興費	三八五、二〇〇
第三項　印刷局廳舍及工場其他復興費	一、八一八、九二一
第四項　專賣局所屬工場其他復興費	九〇〇、〇〇〇
第五項　震災善後會計檢査及檢査資料復興費	五八、二一〇
第六項　震災地租稅調査及處分費	一四五、二三九
第七項　土地臺帳其他簿書及器具類復興費	一九二、七八五
第八項	

陸軍省所管

第十七款　震災復興諸費	八、五〇〇、〇〇〇
第一項　各部隊建造物其他復興費	三、五一二、八八〇
第二項　防禦營造物復興費	二、六六六、七五七
第三項　陸軍造兵廠建造物其他復興費	二、〇二〇、三六三
第四項	三〇〇、〇〇〇
第十八款　靖國神社震災復興費寄附金	一〇〇、〇〇〇
第一項　靖國神社震災復興費寄附金	一〇〇、〇〇〇
陸軍省所管合計	八、六〇〇、〇〇〇

海軍省所管

第二十款　震災復興諸費	三、一八六、〇九八
第一項　官衙學校其他建造復興費	一、四八九、四二〇
第二項　軍需品其他復興費	一、六九六、六七八

司法省所管

第六款　震災復興諸費	二、四六六、九七三
第一項　裁判所復興費	三〇八、九八五
第二項　刑務所復興費	一、二一七、九八八
第三項　裏鴨刑務所移築費	九四〇、〇〇〇

文部省所管

第十四款　震災復興諸費	九、九一九、〇三九
第一項　文部省本省其他復興事務費	二三八、四〇〇
第二項　東京帝國大學復興諸費	三、九七五、六八〇
第三項　東京商科大學其他復興諸費	四、一八二、七五九
第四項　東京高等工業學校其他復興諸費	一、三八二、二〇〇
第五項　古社寺臨時保存金	一四〇、〇〇〇
第十五款　震災復興費貸付金	七、一〇五、〇〇〇
第一項　公立學校震災復興費貸付金	四、一〇五、〇〇〇
第二項　私立學校震災復興費貸付金	三、〇〇〇、〇〇〇
文部省所管合計	一七、〇二四、〇三九
第十八款　震災復興及新營費	四、四六七、四〇五
第一項　農商務本省其他復興費	一、五一〇、二九五
第二項　生絲檢査所新營費	二、九〇五、一〇〇
第三項　耕業試驗所新營費	二〇、〇〇〇
第四項　林業試驗場其他復興費	三二、〇一〇
第十九款　震災地產業其他復興及復興助成費	二、八九一、四五六
第一項　農業復興助成費	六三五、九〇九
第二項　工業復興助成費	一、一九五、二九三
第三項　荒廢林地復興助成費	六八五、二五四
第四項　漁業復興助成費	三七五、〇〇〇
第二十款　震災地復興用鋼材製造設備費	四六〇、〇〇〇
第一項　製鐵所設備補足費	四六〇、〇〇〇
農商務省所管合計	七、八一八、八六一

遞信省所管

第十九款　震災復興及新營費	三九、一五〇、一八八
第一項　電信電話施設費	二九、五四一、五六〇
第二項　郵便局舍其他新營費	二、二五六、六二八
第三項　航路標識復興費	二〇七、〇〇〇
第四項　貯金原簿其他復興及整理費	一、五二五、〇〇〇
第五項　物品購買其他設備復興費	五、六二〇、〇〇〇
歲出臨時部合計	一二二、三五六、六七五

（別冊）

乙號

內務省所管

務內省其他復興事務費	
總額	

東京震災後の	
（款）震災復舊諸費	
（項）內務本省其他復舊費	
年度	額
大正十三年度	
大正十四年度	一、八五〇、〇〇〇
大正十五年度	二、〇〇〇、〇〇〇
相模川外四ヶ川流域砂防費	
總額	二、〇〇〇、〇〇〇
（款）震災復舊諸費	
（項）相模川外四ヶ川流域砂防費	
年度	額
大正十三年度	四、八六六、八七一
大正十四年度	四、八六六、八七一
大正十五年度	五、〇〇〇、〇〇〇
大正十六年度	五、〇〇〇、〇〇〇
大正十七年度	五、〇〇〇、〇〇〇
大正十八年度	五、〇〇〇、〇〇〇
大正十九年度	五、〇〇〇、〇〇〇
大正二十年度	五、〇〇〇、〇〇〇
大正廿一年度	五、〇〇〇、〇〇〇
橫濱港復舊及修築費	
總額	
（款）震災復舊諸費	
（項）橫濱港復舊及修築費	
年度	額
大正十三年度	一、四九八、〇〇〇
大正十四年度	二、九八〇、〇〇〇
大正十五年度	二、五〇〇、〇〇〇
大正十六年度	二、五〇〇、〇〇〇

大正十七年度	四、二五〇、〇〇〇円
大正十八年度	一、八五〇、〇〇〇
大正十九年度	二、〇〇〇、〇〇〇
大正二十年度	二、〇〇〇、〇〇〇
大正廿一年度	二、〇〇〇、〇〇〇
橫濱稅關上屋其他復舊費	
總額	
（款）震災復舊諸費	
（項）橫濱稅關上屋其他復舊費	
年度	額
大正十三年度	五、二八五、〇〇〇
大正十四年度	一、八〇〇、〇〇〇
大正十五年度	一、八〇〇、〇〇〇
大正十六年度	一、八〇〇、〇〇〇
大正十七年度	一、八〇〇、〇〇〇
大正十八年度	一、八〇〇、〇〇〇
大正十九年度	一、六〇〇、〇〇〇
官國幣社復舊費	
總額	
（款）震災復舊諸費	
（項）官國幣社復舊費	
年度	額
大正十三年度	九四五、〇〇〇
大正十四年度	一、四五〇、〇〇〇
大正十五年度	二、〇〇〇、〇〇〇
大正十六年度	二、〇〇〇、〇〇〇
大正十七年度	二、〇〇〇、〇〇〇
神奈川縣罹災物貯蓄其他復舊費	
總額	
（款）震災復舊諸費	
（項）神奈川縣罹災物貯蓄其他復舊費	
年度	額
大正十三年度	一、二三三、〇〇〇
大正十四年度	六二三、〇〇〇
大正十五年度	三〇〇、〇〇〇
大正十六年度	三〇〇、〇〇〇

大正十六年度	一、八〇〇、〇〇〇
大正十七年度	一、八〇〇、〇〇〇
大正十八年度	一、八〇〇、〇〇〇
大正十九年度	一、六〇〇、〇〇〇

大藏省所管

專賣局所屬工場其他復舊費	
總額	
（款）震災復舊諸費	
（項）專賣局所屬工場其他復舊費	
年度	額
大正十三年度	一、八一八九二
大正十四年度	四、〇七八、六三三
大正十五年度	四、〇七八、六三三
大正十六年度	四、〇七八、六三三
大正十七年度	一、〇七八、六三三
大正十八年度	一、七〇八、六三三
大正十九年度	一、七〇八、六三三

陸軍省所管

各部隊建造物其他復舊費	
總額	
（款）震災復舊費	
（項）各部隊建造物其他復舊費	
年度	額
大正十三年度	三、五一二、八八〇
大正十四年度	六、八〇〇、〇〇〇
大正十五年度	六、〇〇〇、〇〇〇
大正十六年度	五、〇〇〇、〇〇〇

	大正十三年度	大正十四年度	大正十五年度	大正十六年度	大正十七年度	大正十八年度	大正十九年度	大正二十年度	大正廿一年度	大正廿二年度	大正十三年度	大正十四年度	大正十五年度	大正十六年度	大正十七年度	大正十八年度	大正十九年度	大正二十年度	大正廿一年度	大正廿二年度
防禦營造物復舊費																				
總額																				
（款）震災復興費																				
（項）防禦營造物復舊費																				
年額																				
陸軍造兵廠建造物其他復舊費	大正十三年度	大正十四年度	大正十五年度	大正十六年度	大正十七年度	大正十八年度	大正十九年度	大正二十年度	大正廿一年度	大正廿二年度	大正十三年度	大正十四年度	大正十五年度	大正十六年度	大正十七年度	大正十八年度	大正十九年度	大正二十年度	大正廿一年度	大正廿二年度
陸軍造兵廠建造物其他復舊費	二、〇二〇、三六三	四四、八七〇、三六三	三、〇六三、九五五	四四、〇〇〇、〇〇〇	四四、〇〇〇、〇〇〇	四四、〇〇〇、〇〇〇	四四、〇〇〇、〇〇〇	四四、〇〇〇、〇〇〇	四四、〇〇〇、〇〇〇	四四、〇〇〇、〇〇〇	二、六六六、七五七	四、〇〇〇、〇〇〇	四、〇〇〇、〇〇〇	四、〇〇〇、〇〇〇	四、〇〇〇、〇〇〇	四、〇〇〇、〇〇〇	四、〇〇〇、〇〇〇	四、〇〇〇、〇〇〇	四、〇〇〇、〇〇〇	四、〇〇〇、〇〇〇
總額	五、三〇〇、〇〇〇										三七、七三〇、七一二									
（款）震災復興費																				
總額																				
官衙學校其他建造物復舊費																				
（項）官衙學校其他建造物復舊費	二二、四八九、四二〇	一、四八九、四二〇	三、〇〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	年額												
（款）震災復興費																				
總額																				
千住製絨所建造物其他復舊費																				
（項）千住製絨所建造物其他復舊費	一、七五〇、〇〇〇	三〇〇、〇〇〇	七〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	二五〇、〇〇〇	年額														
（款）震災復興費																				
總額																				
海軍省所管																				
官衙學校其他建造物復舊費																				
（項）官衙學校其他建造物復舊費	四、九〇〇、〇〇〇	四、七五〇、〇〇〇	五、〇〇〇、〇〇〇	六、〇〇〇、〇〇〇	六、〇〇〇、〇〇〇	五、〇〇〇、〇〇〇	年額													
（款）震災復興費																				
總額																				
軍需品其他復舊費																				
（項）軍需品其他復舊費	一、二二七、八八六	七六二、六〇九	九〇三、〇四三	九〇〇、〇〇〇	九三三、八九四	年額														
（款）震災復興費																				
總額																				
利務所復舊費																				
（項）利務所復舊費	四、七一七、五三四	二五七、一二〇																		
（款）震災復舊費																				
總額																				
東鴨利務所移築費																				
（項）東鴨利務所移築費	三、一〇〇、〇〇〇	年額																		
（款）震災復舊費																				
總額																				
文部省所管																				
文部本省其他復舊事務費																				
（項）文部本省其他復舊事務費	三八〇、〇〇〇	年額																		
（款）震災復舊費																				
總額																				
司法省所管																				
裁判所復舊費																				
總額																				
（款）震災復舊費																				
（項）裁判所復舊費	一、二六四、四二〇	年額																		
（款）震災復興費																				
總額																				
軍需品其他復舊費																				
總額																				
（款）震災復興費																				
（項）軍需品其他復舊費	三〇八、九八五	四四八、三一五	二五〇、〇〇〇	年額																
大正十三年度	大正十四年度	大正十五年度	大正十六年度	大正十七年度	大正十八年度	大正十九年度	大正二十年度	大正廿一年度	大正廿二年度	大正十三年度	大正十四年度	大正十五年度	大正十六年度	大正十七年度	大正十八年度	大正十九年度	大正二十年度	大正廿一年度	大正廿二年度	大正十三年度

大正十四年度	
大正十五年度	一二六、六〇〇
東京帝國大學復舊諸費	
總額	一五、〇〇〇
（款）震災復舊諸費	
（項）東京帝國大學復舊諸費	
年額	
大正十三年度	四三、八九九、一二〇
大正十四年度	三、九七五、六八〇
大正十五年度	五、一五二、二〇〇
大正十六年度	六、一六三、八七〇
大正十七年度	四、〇三九、二五〇
大正十八年度	三、八九九、五七〇
大正十九年度	五、一一五、五三〇
大正二十年度	二、四七八、四二〇
大正廿一年度	三、九五〇、〇〇〇
大正廿二年度	四、五七三、九七〇
東京商科大學其他復舊諸費	四、五〇、七三〇
總額	
（款）震災復舊諸費	
（項）東京商科大學其他復舊諸費	
年額	
大正十三年度	二八、一七七、〇一〇
大正十四年度	四、一八二、七五九
大正十五年度	三、二二八、四〇〇
大正十六年度	三、〇四三、一三〇
大正十七年度	四、九三六、二五〇
大正十八年度	五、〇四四、三九一
	三、五五四、七〇

大正十九年度	
大正二十年度	二、五八七、九一〇
大正廿一年度	一、〇五〇、〇〇〇
大正廿二年度	四二六、〇三〇
東京高等工業學校其他復興諸費	二三二、六七〇
總額	
（款）震災復舊諸費	
（項）東京高等工業學校其他復興諸費	
年額	一一〇七七、一七〇
大正十三年度	
大正十四年度	一、三八二、二〇〇
大正十五年度	一、四九二、八〇〇
大正十六年度	七七八、〇〇〇
大正十七年度	二〇二四、五〇〇
大正十八年度	二一一三七、〇〇〇
大正十九年度	二、三二九、〇〇〇
	一、九三三、六七〇

農商務省所管

農商務本省其他復舊費	
總額	
（款）震災復舊及新營費	
（項）農商務本省其他復舊費	
年額	七、四七〇、二九五
大正十三年度	
大正十四年度	一、五一〇、二九五
大正十五年度	一、八九〇、〇〇〇
大正十六年度	一、〇四四、〇〇〇
大正十七年度	九六〇、〇〇〇
大正十八年度	九〇七、〇〇〇
大正十九年度	六五〇、〇〇〇
大正十八年度	六五〇、〇〇〇
大正十九年度	五五〇、〇〇〇
生絲檢査所新營費	
總額	
（款）震災復舊及新營費	
（項）生絲檢査所新營費	四、九四五、一〇〇
年額	
大正十三年度	二、九〇五、一〇〇
大正十四年度	二、〇四〇、〇〇〇
糊業試驗所新營費	
總額	
（款）震災復舊及新營費	
（項）糊業試驗所新營費	一、三五〇、〇〇〇
年額	
大正十三年度	二〇、〇〇〇
大正十四年度	二八〇、〇〇〇
大正十五年度	三〇〇、〇〇〇
大正十六年度	三〇〇、〇〇〇
大正十七年度	三〇〇、〇〇〇
大正十八年度	一五〇、〇〇〇
工業復興助成費	
總額	
（款）震災殖產業其他復舊及復興助成費	
（項）工業復興助成費	二、三九五、二九三
年額	
大正十三年度	一、一九五、二九三
大正十四年度	一、二〇〇、〇〇〇
荒廢林地復舊助成費	
總額	
（款）震災殖產業其他復舊及復興助成費	
（項）荒廢林地復舊助成費	三、九八五、二五四
年額	
大正十三年度	六八五、二五四
大正十四年度	七〇〇、〇〇〇
大正十五年度	七〇〇、〇〇〇
大正十六年度	七〇〇、〇〇〇
大正十七年度	七〇〇、〇〇〇
大正十八年度	五〇〇、〇〇〇
製纖所設備補足費	
總額	
（款）震災殖復興用銅材製造設備費	
（項）製纖所設備補足費	九〇〇、〇〇〇
年額	
大正十三年度	四四六〇、〇〇〇
大正十四年度	四四〇、〇〇〇

遞信省所管

電信電話施設費	
總額	
（款）震災復舊及新營費	
（項）電信電話施設費	九〇、四〇〇、〇〇〇
年額	
大正十三年度	二九、五四一、五六〇
大正十四年度	四五、二二三、九四〇
大正十五年度	一五、六三四、五〇〇
郵便局舍其他新營費	

總額

（款）震災復舊及新營費

（項）郵便局舍其他新營費

年額	
大正十三年度	三五、四五六、六二八
大正十四年度	二、二五六、六二八
大正十五年度	七、五〇〇、〇〇〇
大正十六年度	七、二〇〇、〇〇〇
大正十七年度	六、〇〇〇、〇〇〇
大正十八年度	五、五〇〇、〇〇〇

航路標識復舊費

總額

（款）震災復舊及新營費

（項）航路標識復舊費

年額	
大正十三年度	五〇七、〇〇〇
大正十四年度	二〇七、〇〇〇
大正十五年度	三〇〇、〇〇〇

貯金原簿其他復舊及整理費

總額

（款）震災復舊及新營費

（項）貯金原簿其他復舊及整理費

年額	
大正十三年度	三、〇五〇、〇〇〇
大正十四年度	一、五二五、〇〇〇
大正十五年度	一、五二五、〇〇〇

物品購買其他設備復舊費

總額

（款）震災復舊及新營費

（項）物品購買其他設備復舊費　一七、七二〇、〇〇〇

年額	
大正十三年度	五、六二〇、〇〇〇
大正十四年度	六、二〇〇、〇〇〇
大正十五年度	二、二〇〇、〇〇〇
大正十六年度	一、七〇〇、〇〇〇
大正十七年度	一、〇〇〇、〇〇〇
大正十八年度	一、〇〇〇、〇〇〇

（別冊）

丙號

內務省所管

震災貸付金　歲出臨時部第三十三款第一項

大藏省所管

震災善後會計檢査及檢査丟料復舊費　歲出臨時部第二十二款震災復舊諸費第六項

震災地租稅調査處分費　歲出臨時部第二十二款震災復舊諸費第七項

土地臺帳其他簿書及器具類復舊費　歲出臨時部第二十二款震災復舊費第八項

文部省所管

公立學校震災復舊費貸付金　歲出臨時部第十五款

震災復舊費貸付金第一項

農商務省所管

農業復舊助成費　歲出臨時部第十九款震災地産業

其他復舊及復興助成費第一項

漁業復興助成費　歲出臨時部第十九款震災地産業

其他復舊及復興助成費第四項

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件ヲ裁可シ、茲ニ之ヲ公布セシム。

御名御璽

摂政名

大正十三年七月二十二日

內閣總理大臣子爵　加藤高明

農商務大臣　高橋是清

陸軍大臣　宇垣一成

內務大臣　若槻禮次郎

文部大臣　岡田良平

大藏大臣　濱口雄幸

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件

一般會計

內務省所管

震災貸付金

東京府神奈川縣埼玉縣千葉縣靜岡縣及山梨縣ノ一府五縣及東京、横濱兩市ニ對シ、震災復舊施設費等ノ資金ニ充ツル爲、左ノ條件ニ依リ、總額六千貳百五拾貳萬圓ヲ限リ貸付スルノ契約ヲ結フコトヲ得。

一、貸付金額ハ、左ノ年割ノ範圍トス。

大正十三年度	二六、〇一九、〇〇〇円
大正十四年度	一六、四七〇、〇〇〇
大正十五年度	七、三〇〇、〇〇〇
大正十六年度	七、二四六、〇〇〇
大正十七年度	五、四八五、〇〇〇
計	六二、五二〇、〇〇〇

二、利率年五分、但シ據置期間中ハ無利子トス。

三、據置期間ハ、大正十八年三月三十一日限トス。

四、償還期限及償還方法ハ、大正十八年四月一日ヨリ起算シ、三十箇年間ニ元利均等償還ノ方法ニ依リ之ヲ償還セシムルモノトス。

震災借入金利子補給

東京府神奈川縣埼玉縣千葉縣靜岡縣及山梨縣ノ一府五縣及東京横濱兩市ニ對シ震災借入金利子補給トシテ、總額七百八拾參萬千四百五拾圓ヲ限リ、左ノ年割ノ範圍內ニ於テ支出スルノ契約ヲ結フコトヲ得。

大正十三年度	一、五六六、二九〇
大正十四年度	一、五六六、二九〇
大正十五年度	一、五六六、二九〇
大正十六年度	一、五六六、二九〇
大正十七年度	一、五六六、二九〇
計	七、八三一、四五〇

震災土木費補助

東京府神奈川縣埼玉縣千葉縣靜岡縣及山梨縣ノ一府五縣ニ對シ、震災土木費補助トシテ總額貳千九百貳拾六萬八千圓ヲ限リ、左ノ年割ノ範圍內ニ於テ支出スルノ契約ヲ結フコトヲ得。

大正十三年度	六、五〇〇、〇〇〇
大正十四年度	六、五〇〇、〇〇〇
大正十五年度	八、五〇〇、〇〇〇
大正十六年度	七、七六八、〇〇〇
計	二九、二六八、〇〇〇

震災地道路改良費補助

神奈川縣及横須賀市ニ對シ、震災地道路改良費補助トシテ、總額四百參拾萬圓ヲ限リ、左ノ年割ノ範圍內ニ於テ支出スルノ契約ヲ結フコトヲ得。

大正十三年度	一、〇〇〇、〇〇〇
大正十四年度	一、〇〇〇、〇〇〇

大正十五年度	一、〇〇〇、〇〇〇
大正十六年度	一、〇〇〇、〇〇〇
大正十七年度	三〇〇、〇〇〇
計	四、三〇〇、〇〇〇

東京府立精神病院震災復舊費補助費

東京府立精神病院震災復舊費補助費トシテ、總額貳拾萬圓ヲ限リ左ノ年割ノ範圍內ニ於テ支出スルノ契約ヲ結フコトヲ得。

大正十三年度	一〇〇、〇〇〇
大正十四年度	一〇〇、〇〇〇
計	二〇〇、〇〇〇

陸軍省所管

靖國神社震災復舊費寄附金

靖國神社建造物震災復舊費寄付金トシテ、總額參拾萬圓ヲ限リ、左ノ年割ノ範圍內ニ於テ支出スルノ契約ヲ結フコトヲ得。

大正十三年度	一〇〇、〇〇〇
大正十四年度	一〇〇、〇〇〇
大正十五年度	一〇〇、〇〇〇
計	三〇〇、〇〇〇

文部省所管

公立學校震災復舊費貸付金

東京府神奈川縣埼玉縣千葉縣及靜岡縣ノ一府四縣及東京橫濱兩市ニ對シ、公立中等學校及小學校等ノ建造物及設備品復舊事業費ノ資金ニ充ツル爲、左ノ條件ニ依リ總額千七百拾萬圓ヲ限リ貸付スルノ契約ヲ結フコトヲ得。

一、貸付金額ハ、左ノ年割ノ範圍內トス。

大正十三年度	四、一〇五、〇〇〇
大正十四年度	三、六一〇、〇〇〇
大正十五年度	二、七八〇、〇〇〇
大正十六年度	二、八一〇、〇〇〇
大正十七年度	三、七九五、〇〇〇
計	一七、一〇〇、〇〇〇

二、利率年五分、但シ据置期間中ハ無利子トス。

三、据置期間ハ、大正十八年三月三十一日限トス。

四、償還期限及償還方法ハ、大正十八年四月一日ヨリ起算シ、三十箇年間ニ元利均等償還ノ方法ニ依リ之ヲ償還セシムルモノトス。

農商務省所管

用排水幹線復舊事業費補助

用排水幹線復舊事業費補助トシテ、總額參百四拾七萬貳千貳百四拾圓ヲ限リ、左ノ年割ノ範圍內ニ於テ支出スルノ契約ヲ結フコトヲ得。

大正十三年度	一四七、六一三
大正十四年度	四〇七、一〇七
大正十五年度	三七六、一四三
大正十七年度	三四五、一七九
大正十八年度	三四五、一七九
大正十九年度	三四五、一七九
大正二十年度	三四五、一七九
大正廿一年度	五〇〇、〇〇〇
大正廿二年度	三〇〇、〇〇〇
計	三、四七二、二四〇

開墾地復舊助成金

開墾地復舊助成金トシテ、總額百貳萬千八百拾九圓ヲ限リ、左ノ年割ノ範圍ニ於テ支出スルノ契約ヲ結フコトヲ得。

大正十三年度	四六、四四六
大正十四年度	九二、八九三
大正十五年度	一二三、八五七
大正十六年度	一三九、三三九
大正十七年度	一五四、八二一
大正十八年度	一五四、八二一
大正十九年度	一五四、八二一
大正二十年度	一五四、八二一
計	一、〇二一、八一九

漁業復興助成費

漁業復興助成費トシテ、總額六拾萬圓ヲ限リ、左ノ年割ノ範圍內ニ於テ支出スルノ契約ヲ結フコトヲ得。

大正十三年度	三〇〇、〇〇〇
大正十四年度	三〇〇、〇〇〇
計	六〇〇、〇〇〇

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル大正十三年度特別會計歲入歲出豫算追加ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム。

御名　御璽

攝政名

大正十三年七月廿二日　內閣總理大臣子爵　加藤高明

鐵道大臣　仙石貢

大藏大臣　濱口雄幸

特別會計豫算

第一條　大正十三年度鐵道省所管帝國鐵道ノ歲出追加額及其ノ款項ノ金額ハ別冊甲號算出豫算ニ據ルヘシ。

第二條　別冊乙號所揭ノ費途ハ、其ノ規畫スル所ニ隨ヒ既定ノ總額年限現金額ヲ改定ス。

（別冊）

甲號

鐵道省所管

帝國鐵道資本勸定歲出

第一款　鐵道建設及改良費　三四、〇八七、〇〇〇円

第二項　改良費　三四、〇八七、〇〇〇

別冊

乙號

鐵道省所管

帝國鐵道資本勸定

鐵道建設及改良費

既定總額　二、七〇四、二三九、九二六

追加額　九九、六一〇、〇〇〇

計　二、八〇三、八四九、九二六

內

大正十二年度支出額　一、四一四、五三二、七二六

大正十三年度以降支出額

（款）鐵道建設及改良費　一、三八九、三一七、二〇〇

（項）建設費　六〇六、二三六、〇〇〇

（項）改良費　七八三、〇八一、二〇〇

改定年額

大正十三年度	
建設費	二三六、九一八、〇〇〇
改良費	七〇、〇〇〇、〇〇〇
大正十四年度	
建設費	一六六、九一八、〇〇〇
改良費	二四六、二四四、〇〇〇
大正十五年度	
建設費	九〇、〇〇〇、〇〇〇
改良費	一五六、二四四、〇〇〇
大正十六年度	
建設費	二四八、三一九、〇〇〇
改良費	九〇、〇〇〇、〇〇〇
大正十七年度	
建設費	一五八、三一九、〇〇〇
改良費	二〇一、三〇四、六〇〇
大正十九年度	
建設費	八〇、〇〇〇、〇〇〇
改良費	一二一、三〇四、六〇〇
大正二十年度	
建設費	一八五、六二五、六〇〇
改良費	八〇、〇〇〇、〇〇〇
大正二十年度	
建設費	一〇五、六二五、六〇〇
改良費	四五、九一五、〇〇〇
此內震災追加額、左の如し。	
建設及改良費	三六、四六五、〇〇〇
震災ニ依ル追加額	九、四五〇、〇〇〇
總係費	四六、三五九、〇〇〇
線路及建造物復興費	三六、四六五、〇〇〇
電氣復興費	九、八九四、〇〇〇
車輛復興費	一二〇、〇〇〇、〇〇〇
工場復興費	七、三六三、〇〇〇
內	八八、二三二、〇〇〇
大正十三年度	一六、七八三、〇〇〇
總係費	五、三八四、〇〇〇
線路及建造物復興費	三五、〇〇〇、〇〇〇
電氣復興費	一、八六六、〇〇〇
車輛復興費	二一、〇二七、〇〇〇
工場復興費	六、四六一、〇〇〇
大正十四年度	五、三八四、〇〇〇
總係費	二六二、〇〇〇
線路及建造物復興費	二五、〇〇〇、〇〇〇
電氣復興費	一、五五六、〇〇〇
工場復興費	一六、五二六、〇〇〇
大正十五年度	五、六一六、〇〇〇
總係費	一、三〇二、〇〇〇
線路及建造物復興費	二〇、〇〇〇、〇〇〇
電氣復興費	一、三〇〇、〇〇〇
工場復興費	一六、六五三、〇〇〇
大正十六年度	一、三七三、〇〇〇
總係費	六七四、〇〇〇
線路及建造物復興費	二〇、〇〇〇、〇〇〇
電氣復興費	一、三一七、〇〇〇
大正十七年度	一七、〇九六、〇〇〇
總係費	一、五八七、〇〇〇
線路及建造物復興費	二〇、〇〇〇、〇〇〇
電氣復興費	一、三二四、〇〇〇
	一六、九三〇、〇〇〇
	一、七四六、〇〇〇

而して之が施行上に關する法令、亦同じく公布を見たり。

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル高等諸學校震災復舊諸費ニ屬スル豫算ノ施行ニ關スル法律ヲ裁可シ、茲ニ之ヲ公布セシム。

御名　御璽

摂政名

大正十三年七月廿五日　內閣總理大臣子爵　加藤高明

文部大臣　岡田良平

大藏大臣　濱口雄幸

法律第十號

大正十二年九月ノ震災ニ基ク復舊諸費ニシテ、東京帝國大學、東京商科大學及千葉醫科大學ニ關スルモノハ、大學特別會計法第一條ノ規定ニ拘ラス、之ヲ一般會計ノ所屬トス、

東京帝國大學會計ノ資金中東京帝國大學農學部及航空研究所ノ用ニ供スル土地及建造物竝學校及圖書館特別會計ノ資金中、東京女子高等師範學校及東京高等蠶絲學校ノ用ニ供スル土地及建造物ニシテ、此等諸學校ノ震災復舊諸費ニ屬スル豫算施行ノ結果不用ニ歸スヘキモノハ、當該資金ヨリ之ヲ拂出スコトヲ得。

附則

本法ハ、公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス。

〔參照〕

大正十三年三月三十日公布法律第十號大學特別會計法抄錄

第一條　帝國大學ハ、各別ニ其ノ他ノ官立大學ハ之ヲ通シテ一ノ特別會計ヲ立テ、資金ヲ所有シ、政府ノ支出金ヨリ生スル收入、授業料、寄附金其ノ他ノ收入ヲ以テ、其ノ一切ノ費出ニ充テシム。

朕東京府立精神病院ノ震災復舊費ニ對スル國庫補助ニ關スル件ヲ裁可シ、茲ニ之ヲ公布セシム。

御名　御璽

摂政名

大正十三年九月廿七日　內閣總理大臣子爵　加藤高明

內務大臣　若槻禮次郎

勅令第二百二十九號

國庫ハ精神病院法施行令第一條第一項ノ規定ニ拘ラス、大正十二年九月ノ震災ニ基ク東京府立精神病院ノ災害復舊費ニ對シ、其ノ支出精算額ノ二分ノ一ヲ補助ス、但シ貳拾萬圓ヲ越ユルコトヲ得ス。

前項ノ支出精算額トハ、工事ニ伴フ收入又ハ工事指定ノ寄附金アルトキハ、其ノ額ヲ控除シタルモノヲ謂フ。

要するに復舊事業は、大正十二年度に豫算外支出を爲して着手したる緊急事業の外、大正十三年度より二十二年度に至る十年を期し、經費六億六千四百五拾貳萬七千七百四拾九圓を以て、左の各事業を執行せんと欲するものにして、豫算外支出を合せて實に七億五百九拾貳萬六千參百七拾參圓、之に帝國鐵道復興費壹億貳千萬圓を加ふれば、總計八億貳千五百九拾貳萬六千參百七拾參圓を要する。

費目	經費豫算	經費豫算 十大三年正	十大四年正	十大五年正	十大六年正	十大七年正	十大八年正	十大九年正	二大十年正	廿大一年正	廿大二年正
內務省復興費	三六、七九、三円	五、六〇、一六円	二九、三五六、三五円	二、八六六、三五円	一〇、〇八〇、三五円	九、八四一、三五円	二、〇〇〇、〇〇〇円	二、一〇〇、〇〇〇円	五〇〇、〇〇〇円	五〇〇、〇〇〇円	五〇〇、〇〇〇円
一、震災復興費	三、五九、八七一	四、四一九、八七一	五、六三〇、〇〇〇	五、六三〇、〇〇〇	二、五〇〇、〇〇〇	二、五〇〇、〇〇〇	二、五〇〇、〇〇〇	二、一〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇
震災復興費	四三、〇〇〇	一八、〇〇〇	一一〇、〇〇〇	一一〇、〇〇〇	—	—	—	—	—	—	—
內務省所管橋梁港灣防波堤復興費	四、九六六、八七一	四、八六六、八七一	五〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇
橋梁港灣防波堤復興費	一、九六〇、〇〇〇	一、九六〇、〇〇〇	一、五〇〇、〇〇〇	一、五〇〇、〇〇〇	一、八〇〇、〇〇〇	一、八〇〇、〇〇〇	一、八〇〇、〇〇〇	一、八〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇
內務省所管橋梁港灣防波堤復興費	四四〇、〇〇〇	一、四四〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇
二、震災復興費	九三、三三〇、〇〇〇	二六、〇五六、〇〇〇	一六、四四九、〇〇〇	七、三三〇、〇〇〇	七、三三〇、〇〇〇	五、四八五、〇〇〇					
內務省所管復興費	九三、三三〇、〇〇〇	二六、〇五六、〇〇〇	一六、四四九、〇〇〇	七、三三〇、〇〇〇	七、三三〇、〇〇〇	五、四八五、〇〇〇					
內務省所管復興費	四、三三〇、〇〇〇	九、〇〇〇、〇〇〇	九、〇〇〇、〇〇〇	九、〇〇〇、〇〇〇	九、〇〇〇、〇〇〇						
內務省所管復興費	二、一〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇							
內務省所管復興費	三、〇〇〇、〇〇〇	八、〇〇〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇、〇〇〇								
內務省所管復興費	四、四〇〇、〇〇〇	一、四〇〇、〇〇〇									
三、(一)震災復興費	一七、八三一、四三〇	一、三六六、三五〇	一、三六六、三五〇	一、三六六、三五〇	一、三六六、三五〇	一、三六六、三五〇					
內務省所管復興費	一七、八三一、四三〇	一、三六六、三五〇	一、三六六、三五〇	一、三六六、三五〇	一、三六六、三五〇	一、三六六、三五〇					
內務省所管復興費	三九、三〇一、三三	四、三〇五、三三三	九、九一一、七三六	八、六六三、三三六	八、三三六、三三三	三、四三〇、八六九	三、四三〇、八六九	一、〇八、六三三			
內務省所管復興費	三九、三〇一、三三	四、三〇五、三三三	九、九一一、七三六	八、六六三、三三六	八、三三六、三三三	三、四三〇、八六九	三、四三〇、八六九				
內務省所管復興費	三、二八六、一六〇	八、八〇〇、〇〇〇	二、九四〇、六六七	一、九三七、六六七	一、〇三三、六六七						
內務省所管復興費	一、八六、一六〇	一〇、〇〇〇、〇〇〇	三三、三三六	三三、三三六	三三、三三六	三三、三三六	三三、三三六				
內務省所管復興費	四〇、〇〇〇	三八、一〇〇、〇〇〇	三八、一〇〇、〇〇〇								
內務省所管復興費	一、一六六、九三一	一三、九四九、八七一	一九、三五六、三五〇	一〇、〇八〇、三五〇	一〇、〇八〇、三五〇	九、八四一、三五〇	二、〇〇〇、〇〇〇	二、一〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇
內務省所管復興費	一、一六六、九三一	一三、九四九、八七一	一九、三五六、三五〇	一〇、〇八〇、三五〇	一〇、〇八〇、三五〇	九、八四一、三五〇	二、〇〇〇、〇〇〇	二、一〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇
內務省所管復興費	一、一六六、九三一	一三、九四九、八七一	一九、三五六、三五〇	一〇、〇八〇、三五〇	一〇、〇八〇、三五〇	九、八四一、三五〇	二、〇〇〇、〇〇〇	二、一〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇

費目	經費豫算	經費豫算 十大三年正	十大四年正	十大五年正	十大六年正	十大七年正	十大八年正	十大九年正	二大十年正	廿大一年正	廿大二年正
內務省復興費	一、一六六、九三一	一三、九四九、八七一	一九、三五六、三五〇	一〇、〇八〇、三五〇	一〇、〇八〇、三五〇	九、八四一、三五〇	二、〇〇〇、〇〇〇	二、一〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇
(三)(二)(一)震災復興費	一、一六六、九三一	一三、九四九、八七一	一九、三五六、三五〇	一〇、〇八〇、三五〇	一〇、〇八〇、三五〇	九、八四一、三五〇	二、〇〇〇、〇〇〇	二、一〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇
其他教育復興費	一、一六六、九三一	一三、九四九、八七一	一九、三五六、三五〇	一〇、〇八〇、三五〇	一〇、〇八〇、三五〇	九、八四一、三五〇	二、〇〇〇、〇〇〇	二、一〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇
教育復興費	一、一六六、九三一	一三、九四九、八七一	一九、三五六、三五〇	一〇、〇八〇、三五〇	一〇、〇八〇、三五〇	九、八四一、三五〇	二、〇〇〇、〇〇〇	二、一〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇
教育復興費	一、一六六、九三一	一三、九四九、八七一	一九、三五六、三五〇	一〇、〇八〇、三五〇	一〇、〇八〇、三五〇	九、八四一、三五〇	二、〇〇〇、〇〇〇	二、一〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇
教育復興費	一、一六六、九三一	一三、九四九、八七一	一九、三五六、三五〇	一〇、〇八〇、三五〇	一〇、〇八〇、三五〇	九、八四一、三五〇	二、〇〇〇、〇〇〇	二、一〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇
教育復興費	一、一六六、九三一	一三、九四九、八七一	一九、三五六、三五〇	一〇、〇八〇、三五〇	一〇、〇八〇、三五〇	九、八四一、三五〇	二、〇〇〇、〇〇〇	二、一〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇
教育復興費	一、一六六、九三一	一三、九四九、八七一	一九、三五六、三五〇	一〇、〇八〇、三五〇	一〇、〇八〇、三五〇	九、八四一、三五〇	二、〇〇〇、〇〇〇	二、一〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇
教育復興費	一、一六六、九三一	一三、九四九、八七一	一九、三五六、三五〇	一〇、〇八〇、三五〇	一〇、〇八〇、三五〇	九、八四一、三五〇	二、〇〇〇、〇〇〇	二、一〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇
教育復興費	一、一六六、九三一	一三、九四九、八七一	一九、三五六、三五〇	一〇、〇八〇、三五〇	一〇、〇八〇、三五〇	九、八四一、三五〇	二、〇〇〇、〇〇〇	二、一〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇
教育復興費	一、一六六、九三一	一三、九四九、八七一	一九、三五六、三五〇	一〇、〇八〇、三五〇	一〇、〇八〇、三五〇	九、八四一、三五〇	二、〇〇〇、〇〇〇	二、一〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇
教育復興費	一、一六六、九三一	一三、九四九、八七一	一九、三五六、三五〇	一〇、〇八〇、三五〇	一〇、〇八〇、三五〇	九、八四一、三五〇	二、〇〇〇、〇〇〇	二、一〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇
教育復興費	一、一六六、九三一	一三、九四九、八七一	一九、三五六、三五〇	一〇、〇八〇、三五〇	一〇、〇八〇、三五〇	九、八四一、三五〇	二、〇〇〇、〇〇〇	二、一〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇

| | | |

下執行

(一)外務省

外務省の復旧事業は、大正十三年度に震災復旧費として、豫決定後豫備費外臨時支出十五萬圓を支出し、十四萬九千九百九十九圓九十八錢を以て、省廳舍及官舍の整理を了せり。

(二)内務省

内務省に於ける復旧事業は、大正十二年度に皇城外郭地護岸震災復旧費補給二萬九千二百三圓の臨時支出を爲したる外、同年度に

目	豫備金外臨時支出	支出濟
震災復旧費	四、六九七、五六六・〇〇〇円	四、三四七、六四〇・七〇円
横濱港震災復旧費	二、八二六、七二二・〇〇〇	二、八二六、七二二・〇〇〇
神奈川縣其他震災復旧費	四九一、四一〇・〇〇〇	三〇九、六〇〇・五五〇
利根川外四川震災復旧費	一、二六一、三五・〇〇〇	一、三一、二六三・三〇〇

を以て緊急復旧事業を爲し、地方の復旧費其他に充つる爲め、左の貸付金及利子補給を爲す。

目	豫備金外臨時支出	支出濟
震災貸付金	三〇、〇〇〇、〇〇〇円	三〇、〇〇〇、〇〇〇円
東京府貸付金	八、四〇六、一〇〇・〇〇〇	八、四〇六、一〇〇・〇〇〇
東京市貸付金	二、九一〇、〇〇〇・〇〇〇	二、九一〇、〇〇〇・〇〇〇
神奈川縣貸付金	五、〇〇〇、〇〇〇・〇〇〇	五、〇〇〇、〇〇〇・〇〇〇
横濱市貸付金	三、五〇〇、〇〇〇・〇〇〇	三、五〇〇、〇〇〇・〇〇〇
埼玉縣貸付金	一、五〇〇、〇〇〇・〇〇〇	一、五〇〇、〇〇〇・〇〇〇
千葉縣貸付金	一、〇〇〇、〇〇〇・〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇・〇〇〇
靜岡縣貸付金	一、〇〇〇、〇〇〇・〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇・〇〇〇
山梨縣貸付金	一、〇〇〇、〇〇〇・〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇・〇〇〇
震災復旧費補助	七、九四三、三一・〇〇〇	六、四三二、六〇〇・〇〇〇
震災土木費補助	六、四三二、六〇〇・〇〇〇	六、四三二、六〇〇・〇〇〇
東京府土木費補助	〇〇〇、〇〇〇・〇〇〇	〇〇〇、〇〇〇・〇〇〇
神奈川縣土木費補助	三、八〇〇、〇〇〇・〇〇〇	三、八〇〇、〇〇〇・〇〇〇
埼玉縣土木費補助	三〇〇、〇〇〇・〇〇〇	三〇〇、〇〇〇・〇〇〇
千葉縣土木費補助	三〇〇、〇〇〇・〇〇〇	三〇〇、〇〇〇・〇〇〇

埼玉縣貸付金	三、三〇〇、〇〇〇・〇〇〇	三、三〇〇、〇〇〇・〇〇〇
千葉縣貸付金	二、四〇〇、〇〇〇・〇〇〇	二、四〇〇、〇〇〇・〇〇〇
靜岡縣貸付金	三、五〇〇、〇〇〇・〇〇〇	三、五〇〇、〇〇〇・〇〇〇
山梨縣貸付金	四、〇〇〇、〇〇〇・〇〇〇	四、〇〇〇、〇〇〇・〇〇〇
震災借入金利子補給	三、三一〇、〇〇〇・〇〇〇	一〇六、三四〇、七四〇
東京府借入金利子補給	八、八一九、〇二〇・〇〇〇	二九、三六〇、八四〇
東京市借入金利子補給	一、三三、三四六・〇〇〇	一三、三三、三四六・〇〇〇
神奈川縣借入金利子補給	五、〇二〇、〇〇〇・〇〇〇	五〇、〇二〇、〇〇〇・〇〇〇
横濱市借入金利子補給	四、三九六・〇〇〇	一、六六四・〇〇〇
埼玉縣借入金利子補給	五、三九一・〇〇〇	—
千葉縣借入金利子補給	二、六九一・〇〇〇	四四六・三一〇
靜岡縣借入金利子補給	八、三九一・〇〇〇	—
山梨縣借入金利子補給	三、三三・〇〇〇	—

十三年度は、皇城外郭地護岸復旧費補助豫算二十九萬二千三百圓支出の外、震災復旧費豫算四百四十一萬九千八百七十一圓に繰越金三十二萬九千八百九十四圓十六錢、豫備費二百十六萬九千六百五圓、豫備費外臨時支出百二十七萬一千九百九十九圓を合せ、現額八百十九萬二千三百六十六圓十六錢を以て、年度内支出濟七百三十二萬四千三百八圓二十四錢の事業を擧げ、地方復旧事業其他に充つべき震災貸付金豫算二千六百一萬九千圓中一千二百九十萬六千四百圓を貸付け、震災復旧費補助豫算七百六十萬圓中六百九十四萬四千五百二十四圓二十九錢を補助し、震災借入金利子補給豫算一百五十六萬六千二百九十四圓中一百五十九萬二千百八十八圓二十錢の利子補給を爲したり、即ち左の如し。

目	豫算現額(繰越金及豫備費支出濟を除く)	支出濟
震災復旧費	四、四二九、七二〇・〇〇〇円	七、三四〇、八〇四・〇〇〇円
横濱港復旧費及修築費	二、九二六、三二二・〇〇〇	二、九二六、三二二・〇〇〇
官國幣社復旧費	一四六、〇〇〇・〇〇〇	一、七二七、三四一・〇〇〇
横浜神奈川縣復旧費	六三、〇〇〇・〇〇〇	〇、六六六、五六〇・〇〇〇
横浜他復旧費	〇〇〇・〇〇〇・〇〇〇	〇、〇〇〇・〇〇〇・〇〇〇
地方震災旅費	二、〇〇〇・〇〇〇・〇〇〇	〇、九九九・九九九・九九〇
職業紹介費	三〇、〇〇〇・〇〇〇	〇、九九九・九九九・九九〇
利根川外二川復旧費	一、三一二・三三〇・〇〇〇	一、三六七・三五〇・三〇〇
社寺震災復旧費及養蠶場	五〇〇・〇〇〇・〇〇〇	三〇〇・〇〇〇・〇〇〇
神奈川縣其他震災復旧費	一、〇〇〇・〇〇〇・〇〇〇	〇、〇〇〇・〇〇〇・〇〇〇
利根川外四川震災復旧費	一、〇〇〇・〇〇〇・〇〇〇	〇、〇〇〇・〇〇〇・〇〇〇
震災貸付金	二六、〇〇〇・〇〇〇	一一、〇〇〇・〇〇〇
東京府貸付金	七、九四六、〇〇〇・〇〇〇	七、六六五、一一〇・〇〇〇
東京市貸付金	七、七四五、〇〇〇・〇〇〇	六、七六八、〇〇〇・〇〇〇
神奈川縣貸付金	五、八八〇、一〇〇・〇〇〇	六、三〇九、一〇〇・〇〇〇
横濱市貸付金	二、七四二、〇〇〇・〇〇〇	二、三三五、〇〇〇・〇〇〇
埼玉縣貸付金	一、五〇〇、〇〇〇・〇〇〇	四四八、〇〇〇・〇〇〇
千葉縣貸付金	七、三〇〇、〇〇〇・〇〇〇	七、六〇〇、〇〇〇・〇〇〇
靜岡縣貸付金	三、〇〇〇、〇〇〇・〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇・〇〇〇
山梨縣貸付金	三、〇〇〇、〇〇〇・〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇・〇〇〇
震災復旧費補助	七、九四三、三一・〇〇〇	六、四三二、六〇〇・〇〇〇
震災土木費補助	六、四三二、六〇〇・〇〇〇	六、四三二、六〇〇・〇〇〇
東京府土木費補助	〇〇〇、〇〇〇・〇〇〇	〇〇〇、〇〇〇・〇〇〇
神奈川縣土木費補助	三、八〇〇、〇〇〇・〇〇〇	三、八〇〇、〇〇〇・〇〇〇
埼玉縣土木費補助	三〇〇、〇〇〇・〇〇〇	三〇〇、〇〇〇・〇〇〇
千葉縣土木費補助	三〇〇、〇〇〇・〇〇〇	三〇〇、〇〇〇・〇〇〇
内務省本省其他復旧事務費	一六、〇〇〇・〇〇〇	〇、八八七・三三〇
横濱砂防横浜貸付川外四川流域	四八、八七一・〇〇〇	三三、九七五・三一〇
復旧及修築費	二、九二六、〇〇〇・〇〇〇	一、九九七、三三二・三二〇
官國幣社復旧費	一四六、〇〇〇・〇〇〇	〇、七七七、三四一・〇〇〇
横浜神奈川縣復旧費	六三、〇〇〇・〇〇〇	〇、六六六、五六〇・〇〇〇
横浜他復旧費	〇〇〇・〇〇〇・〇〇〇	〇、〇〇〇・〇〇〇・〇〇〇
地方震災旅費	二、〇〇〇・〇〇〇・〇〇〇	〇、九九九・九九九・九九〇
職業紹介費	三〇、〇〇〇・〇〇〇	〇、九九九・九九九・九九〇
利根川外二川復旧費	一、三一二・三三〇・〇〇〇	一、三六七・三五〇・三〇〇
社寺震災復旧費及養蠶場	五〇〇・〇〇〇・〇〇〇	三〇〇・〇〇〇・〇〇〇
神奈川縣其他震災復旧費	一、〇〇〇・〇〇〇・〇〇〇	〇、〇〇〇・〇〇〇・〇〇〇
利根川外四川震災復旧費	一、〇〇〇・〇〇〇・〇〇〇	〇、〇〇〇・〇〇〇・〇〇〇
震災貸付金	二六、〇〇〇・〇〇〇	一一、〇〇〇・〇〇〇
東京府貸付金	七、九四六、〇〇〇・〇〇〇	七、六六五、一一〇・〇〇〇
東京市貸付金	七、七四五、〇〇〇・〇〇〇	六、七六八、〇〇〇・〇〇〇
神奈川縣貸付金	五、八八〇、一〇〇・〇〇〇	六、三〇九、一〇〇・〇〇〇
横濱市貸付金	二、七四二、〇〇〇・〇〇〇	二、三三五、〇〇〇・〇〇〇
埼玉縣貸付金	一、五〇〇、〇〇〇・〇〇〇	四四八、〇〇〇・〇〇〇
千葉縣貸付金	七、三〇〇、〇〇〇・〇〇〇	七、六〇〇、〇〇〇・〇〇〇
靜岡縣貸付金	三、〇〇〇、〇〇〇・〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇・〇〇〇
山梨縣貸付金	三、〇〇〇、〇〇〇・〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇・〇〇〇
震災復旧費補助	七、九四三、三一・〇〇〇	六、四三二、六〇〇・〇〇〇
震災土木費補助	六、四三二、六〇〇・〇〇〇	六、四三二、六〇〇・〇〇〇
東京府土木費補助	〇〇〇、〇〇〇・〇〇〇	〇〇〇、〇〇〇・〇〇〇
神奈川縣土木費補助	三、八〇〇、〇〇〇・〇〇〇	三、八〇〇、〇〇〇・〇〇〇
埼玉縣土木費補助	三〇〇、〇〇〇・〇〇〇	三〇〇、〇〇〇・〇〇〇
千葉縣土木費補助	三〇〇、〇〇〇・〇〇〇	三〇〇、〇〇〇・〇〇〇

(三)大藏省

大藏省の大正十三年度に於ける震災復旧事業は左の如し。

目	豫算現額	支出濟
震災復旧費	四、五〇五、三三・〇〇〇円	一、八六八、三六八・三三円
横濱港復旧費	八八、〇〇〇・〇〇〇	三八、六六八、八九〇
現業所廳舍其他復旧費	一〇、〇〇〇・〇〇〇	三六、六六〇
貴族院議院廳舍其他復旧費	三六、二〇〇・〇〇〇	一一、六六六、六四〇
印刷局廳舍及工場其他復旧費	一、八八、三一・〇〇〇	一、六六、九六一・二〇
專賣局所廳工場其他復旧費	九〇〇、〇〇〇・〇〇〇	一、九一〇、〇一一・二〇

費目	豫算現額	支出濟
震災善後會計檢査並檢査資料復舊費	五八、三一〇・〇〇〇	三八、七九二・〇九一
震災地租稅調査處分費	一四五、三六九・〇〇〇	二三八、六四五・九六〇
土地臺帳其他簿書及器具類復舊費	一九二、七五〇・〇〇〇	二三五、〇三一・六五〇
橫濱稅關上屋及道路其他復舊費	一〇〇、〇〇〇・〇〇〇（臨）	五八一、八九八・九六〇
印刷局工場設備復舊費	二〇〇、〇〇〇・〇〇〇（臨）	一九八、八〇〇・〇二〇
專賣局所屬工場復舊費	一七〇、〇〇〇・〇〇〇（臨）	一二九、八七九・八五〇
土地臺帳復舊費	三九、二四六・〇〇〇（臨）	三八、一三〇・〇〇〇
震災地所得稅其他調査處置費	一〇〇、〇〇〇・〇〇〇（臨）	一〇〇、〇〇〇・〇〇〇

內稅務所は橫濱稅務所にして、印刷局廳舍工場は王子抄紙部建物工場、專賣局所屬工場は、淀橋工場を取崩し盛岡工場を復舊したるものに係る。

(四)陸軍省

大正十三年度に於ける陸軍省の震災復舊事業は、豫算八百五十萬圓、臨時支出二百五十萬圓、現額一千百萬圓を以て五百八十八萬六千三十六圓八十一錢の事業を擧ぐ。

費目	豫算現額	支出濟
震災復舊費	八、五〇〇、〇〇〇・〇〇〇円	五、八八六、〇六六・八一〇円
各部隊建造物其他復舊費	三、五二二、八六〇・〇〇〇	一、〇〇三、八一八・八五〇
防禦營造物復舊費	二、六六六、七七七・〇〇〇	一、三六六、九一〇・二一〇
陸軍造兵廠建造物其他復舊費	二、一〇〇、三六三・〇〇〇	九九八、二八〇・三三〇
千住製絨所器具機械其他復舊費	三〇〇、〇〇〇・〇〇〇	三九、四三六・三九〇
軍隊官衙學校建造物其他復舊費	一、九八七、二一〇・〇〇〇（臨）	一、九八七、二一〇・〇〇〇
砲臺其他復舊費	三三三、三四三・〇〇〇（臨）	三三〇、八四六・八〇〇
陸軍造兵廠建造物及器具機械復舊費	二二九、六三七・〇〇〇（臨）	二二九、六三七・〇〇〇
千住製絨所器具機械復舊費	四〇、〇〇〇・〇〇〇（臨）	四九、九九八・七九〇
靖國神社震災復舊費寄附金	一〇〇、〇〇〇・〇〇〇	一〇〇、〇〇〇・〇〇〇

(五)海軍省

大正十三年度に於ける海軍省の震災復舊事業は、豫算金三百十八萬六千九十八圓、臨時支出八十一萬三千九百二圓を以て、二百三十一萬四十七圓七十二錢三厘の事業を爲したるものに係る、其內容左の如し。

費目	豫算現額	支出濟
震災復舊費	三、一八六、〇九八・〇〇〇円	四、〇〇〇、〇〇〇・〇〇〇円
官衙學校其他建造物復舊費	一、四八九、四一〇・〇〇〇	二、五一〇、〇四五・七二三
軍需品其他復舊費	一、六九九、六六六・〇〇〇	五三二、三三四・六五〇
部隊官衙其他建造物復舊費	五一〇、五六〇、〇〇〇（臨）	五一〇、五四〇・九九〇
水路用品其他復舊費	三〇三、三二一・〇〇〇（臨）	三〇三、三二一・八六三
省の復舊事業は多く橫濱橫須賀方面に於てするものなるのみならず、其執行大正十四年度後に於てするもの多く、東京方面に於て、十三年度に執行したるは、海軍省中央郵便電信復舊工費四百四十八圓五十二錢大正十四年三月竣成	一、〇〇三、八一八・八五〇	一、三六六、九一〇・二一〇
軍令部船橋無線電話所間電路復舊工費二千七百三十七圓六十九錢大正十三年八月着手	九九八、二八〇・三三〇	九九八、二八〇・三三〇
等なり。	三九、四三六・三九〇	三九、四三六・三九〇

(六)司法省

司法省震災復舊事業は、大正十二年度に、

費目	豫算現額	支出濟
震災復舊費（小菅刑務所其他震災復舊費）	一、三二〇、九〇二・〇〇〇円（臨）	六三〇、七一五・五五〇円

十三年度に、

費目	豫算現額	支出濟
震災復舊費	二、四六六、九七三・〇〇〇円	一、二四三、八〇〇・八三〇円
裁判所復舊費	三〇八、九八五・〇〇〇	一、二五五・二〇一
刑務所復舊費	一、二七七、九八八・〇〇〇	七二四、〇九二・三二〇
奏任俸給	六、四〇〇・〇〇〇	—
判任俸給	一八、九〇〇・〇一〇	九、〇六八・二一〇
事務費	六〇、八一四・〇〇〇	五四、五八四・三〇〇
小菅刑務所居房其他復舊費	二〇四、四九〇・〇〇〇	二六、一四〇・〇〇〇（臨）
豐多摩刑務所居房其他復舊費	一七〇、五二一・〇〇〇	一四二、五九一・一一〇
橫濱刑務所居房其他復舊費	五六、三五四・〇〇〇	三二、一六六・九八〇
浦和刑務所工場其他新營	五二、一七四・〇〇〇	—
水戸刑務所工場其他新營	四〇、五〇〇・〇〇〇	三四、一八一・〇〇〇
甲府刑務所官舍新營	二、八八〇・〇〇〇	二、二〇〇・〇〇〇（流）
小田原少年刑務所其他新營	六〇、八四〇・〇〇〇	六〇、八四〇・〇〇〇
賞與		三、七二一・〇〇〇（流）
巢鴨刑務所移築費	九四〇、〇〇〇・〇〇〇	五〇八、四三五・一一〇
震災復舊費		六三四、五六〇・四四〇
小菅刑務所其他震災復舊費	六四〇、一八五・〇〇〇（越）	六三四、五六〇・四四〇

中に就て東京に於ける巢鴨小菅豐多摩三刑務所の工程を擧ぐれば、左の如し。

巢鴨刑務所移築進行ノ工事（大正十四年三月末日現在）

種別	出來歩合	着手月日	經過	出來豫期	摘要
大正十三年度所屬					
假居房	10	大正十三年九月三十日	一八三	大正十三年十月十三日	十三年十月二十五日竣工
假居房	9	大正十三年十月九日	一七四	大正十四年六月十五日	二棟竣工シ、一棟ハ切組ミ地形工事中
假食堂兼教誨堂	8	〃	五八	〃	大正十三年十二月七日竣工
假渡リ廊下	7	〃	一七四	大正十四年三月卅一日	建方屋根葺ヲ了リ造作中

一	〃	〃	〃	〃
一	〃	〃	〃	〃
一	〃	〃	〃	〃

目	豫算	現額	支出済
震災復旧費	円	円	円
大学及高等学校貸付金	一、五〇〇、〇〇〇、〇〇〇	一、五〇〇、〇〇〇、〇〇〇（臨）	一、五〇〇、〇〇〇、〇〇〇
中等学校及高等学校復興費補助費貸付金	一〇〇、〇〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇、〇〇〇（臨）	一〇〇、〇〇〇、〇〇〇

文部省の震災復旧事業は、大正十二年度に、左の貸付を為し、十三年度に左の事業を挙ぐ。

目	豫算	現額	支出済
震災復旧費	円	円	円
本省其他復旧事務費	九、九一九、〇九九・〇〇〇	一、一七九、四六三・〇〇〇	一、一七九、四六三・〇〇〇
東京帝国大学復旧費	三、八四〇、〇〇〇・〇〇〇	一〇六、〇〇〇・〇〇〇	一〇六、〇〇〇・〇〇〇
東京商科大学其他復旧費	四、一八二、五九九・〇〇〇	六四、三〇一・一〇七	六四、三〇一・一〇七
東京高等工業学校其他復旧費	一、三二一、〇〇〇・〇〇〇	九〇、七六九・〇〇〇	九〇、七六九・〇〇〇

（七）文部省

目	豫算	現額	支出済
震災復旧費	円	円	円
大学及高等学校貸付金	一、五〇〇、〇〇〇、〇〇〇	一、五〇〇、〇〇〇、〇〇〇（臨）	一、五〇〇、〇〇〇、〇〇〇
中等学校及高等学校復興費補助費貸付金	一〇〇、〇〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇、〇〇〇（臨）	一〇〇、〇〇〇、〇〇〇

文部省の震災復旧事業は、大正十二年度に、

目	豫算	現額	支出済
震災復旧費	円	円	円
大学及高等学校貸付金	一、五〇〇、〇〇〇、〇〇〇	一、五〇〇、〇〇〇、〇〇〇（臨）	一、五〇〇、〇〇〇、〇〇〇
中等学校及高等学校復興費補助費貸付金	一〇〇、〇〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇、〇〇〇（臨）	一〇〇、〇〇〇、〇〇〇

目	豫算	現額	支出済
震災復旧費	円	円	円
本省其他復旧事務費	九、九一九、〇九九・〇〇〇	一、一七九、四六三・〇〇〇	一、一七九、四六三・〇〇〇
東京帝国大学復旧費	三、八四〇、〇〇〇・〇〇〇	一〇六、〇〇〇・〇〇〇	一〇六、〇〇〇・〇〇〇
東京商科大学其他復旧費	四、一八二、五九九・〇〇〇	六四、三〇一・一〇七	六四、三〇一・一〇七
東京高等工業学校其他復旧費	一、三二一、〇〇〇・〇〇〇	九〇、七六九・〇〇〇	九〇、七六九・〇〇〇

而して所謂復旧事業は、極しく云へば即ち左の諸事業たるなり。

本省及各復旧

目	豫算	現額	支出済
震災復旧費	円	円	円
本省其他復旧事務費	九、九一九、〇九九・〇〇〇	一、一七九、四六三・〇〇〇	一、一七九、四六三・〇〇〇
東京帝国大学復旧費	三、八四〇、〇〇〇・〇〇〇	一〇六、〇〇〇・〇〇〇	一〇六、〇〇〇・〇〇〇
東京商科大学其他復旧費	四、一八二、五九九・〇〇〇	六四、三〇一・一〇七	六四、三〇一・一〇七
東京高等工業学校其他復旧費	一、三二一、〇〇〇・〇〇〇	九〇、七六九・〇〇〇	九〇、七六九・〇〇〇
東京帝国大学復旧費	一、五九九、四五二・八七〇	一四三、五九一・二二〇	二六、九三〇・八〇一
東京商科大学復旧費	一、三一七、〇九九・〇〇〇	一三、一三七・一一〇	三・八九〇
東京高等工業学校復旧費	九〇九、〇〇〇・〇〇〇	九〇、〇〇〇・〇〇〇	—
本省及各復旧	一八、六三七、六四〇	一四三、五九一・二二〇	二六、九三四・七七〇
古社寺臨時保存金	一四〇、〇〇〇・〇〇〇		—
震災復旧貸付金	七、一四〇、〇〇〇・〇〇〇		—
公立学校震災復旧貸付金	四、一〇〇、〇〇〇・〇〇〇		—
東京市貸付金	三四〇、〇〇〇・〇〇〇		—
横浜市貸付金	七、〇〇〇・〇〇〇		—
東京府貸付金	五、三〇〇・〇〇〇		—
神奈川県貸付金	二、〇一九、〇〇〇		—
埼玉県貸付金	三、一一〇・〇〇〇		—
千葉県貸付金	七九〇・〇〇〇		—
静岡県貸付金	一、三八〇・〇〇〇		—
私立学校震災復旧貸付金	三〇〇・〇〇〇		—
大学及高等学校貸付金	一、三〇〇・〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇（流）	一、〇〇〇、〇〇〇
中等学校及高等学校貸付金	七〇〇・〇〇〇	一、九一〇、〇〇〇（流）	一、九一〇、〇〇〇

（八）農商務省

農商務省に於ける大正十二年度の復旧事業進捗状態は、左の如し。

目	豫算	現額	支出済
震災復旧費	円	円	円
新営費	四、四六七、四三〇・〇〇〇	—	—
農商務本省其他復旧費	一、三一〇、三五〇・〇〇〇	—	六八、三六〇・九八
農商務本省其他復旧費	一四、九九一・〇〇〇	—	一〇、三一二・一二一
農事試験場建築物其他復旧費	七、八五〇・〇〇〇	—	六、六五〇・九〇〇
植物検査所建物其他復旧費	一六、四〇〇・〇〇〇	—	一四、九一〇・一四三
蠶糸試験場建物其他復旧費	五、八五〇・〇〇〇	—	五〇、四四〇・〇〇〇
商業陳列館建物其他復旧費	一〇、〇〇〇・〇〇〇	—	八、三三〇・五三〇
東京工業試験場建物其他復旧費	三一、一八〇・〇〇〇	—	一七、九八〇・〇〇〇
鉱業研究所建物復旧費	八六、三五〇・〇〇〇	—	一四、三六〇・〇〇〇

目	豫算	現額	支出済
建物其他復旧費	円	円	円
中央度量衡検査所建物復旧費	五八、六三〇・〇〇〇	—	四七、三六八・二〇
東京大林区署施業其他復旧費	一三、八六〇・〇〇〇	—	八、一六一・三〇〇
他東京鐵道所建物復旧費	七、四四〇・〇〇〇	—	六、六六〇・四〇〇
他地質調査所建物復旧費	六〇、〇〇〇・〇〇〇	—	三、八一〇・三二〇
他水産講習所建物復旧費	一四、三〇〇・〇〇〇	—	一〇、一〇一・六六〇
他特許局登録簿復旧費	一五、三七〇・〇〇〇	—	七、四六六・六六
大臣官舎建物其他復旧費（俸給賞賞略）	四〇、〇〇〇・〇〇〇	—	一四、四六〇・三〇〇
生糸検査所新営費	二〇、〇〇〇・〇〇〇	—	二、一四一・九三〇
離宮其他新営費	二、八七〇、〇〇〇・〇〇〇	—	二、一三〇、一五〇・二〇
器具機械其他設備費	一七、〇一〇・〇〇〇	—	三、三一一・三七〇
相模試験所新営費	二〇、〇〇〇・〇〇〇	—	九、四二〇・六六〇
庁舎其他新営費	六、〇三〇・〇〇〇	—	—
器具機械其他設備費	一三、九五〇・〇〇〇	—	九、四二〇・六六〇
農林業試験場其他復旧費	三一、〇一〇・〇〇〇	—	三一、九二〇・一〇〇
他林業試験場建物其他復旧費	一〇、七二一・〇〇〇	—	一〇、七八九・一〇〇
機械研究所器具機械復旧費	一、九八〇・〇〇〇	—	一、九三一・〇〇〇
鉱業検査所建物復旧費	一九、二六〇・〇〇〇	—	一九、二三〇・〇〇〇
特別局其他震災復旧費	—	四六、七八六・〇〇〇（臨）	四六、二一九・九三
農商務省其他復旧本省器具機	—	五一、九六九・三五〇（臨）	三一、九八九・三四
農商務省其他復旧本省器具機	—	三五、三〇八・〇〇〇（臨）	三一、八四〇・〇〇

東京帝国大学各学部、病院、植物園、傳染病研究所、航空研究所復旧。

東京商科大学、東京博物館、中央気象台、柿岡地磁気観測所、布良測候所、第六臨時教員養成所、千葉医科大学、東京女子高等師範学校、第一高等学校、東京高等工芸学校及附属職工徒弟学校、東京美術学校、東京音楽学校、東京盲学校、歯科療院、帝国図書館、東京高等蠶糸学校復旧。

東京高等工業学校、横浜高等工業学校、東京外国語学校復旧。

○遷信省より轉載。

蠶業試驗場建物其他復舊	—	一四、三五〇・〇〇〇（臨）	一四、三五六・八五〇
東京工業試驗所建物其他復舊	—	一一・二八四・〇〇〇（臨）	八、七一八・五二〇
臨時窒素研究所建物其他復舊	—	一四四、〇三六・〇〇〇（臨）	一三、九五五・五五〇
中央度量衡檢査所器具機械其他復舊	—	一〇、〇〇〇・〇〇〇（臨）	九、九七九・四六〇
東京大林區署施業案其他復舊	—	三六、八一一・〇〇〇（臨）	三六、五三八・五六〇
林業試驗場建物復舊	—	六、〇四三・〇〇〇（臨）	六、〇二四・八〇〇
東京鐵道署器具機械其他復舊	—	三五、二五〇・二四〇（臨）	三五、二五〇・二四〇
燃料研究所建物其他復舊	—	二八、〇〇〇・〇〇〇（臨）	二七、七九八・七一〇
水產講習所建物其他復舊	—	四五、七六〇・〇〇〇（臨）	四五、七六〇・九四〇
馬野種馬所建物其他復舊	—	四、〇六八・〇〇〇（臨）	四、九四〇・〇〇〇
獸疫調査所建物復舊	—	八、四〇三・〇〇〇（臨）	八、七〇一・〇〇〇
橫濱檢疫收容事務所建物復舊	—	四、七〇九・四三五（臨）	四、六八九・八六〇
特許登錄原簿其他復舊	—	一五七、〇四九・〇〇〇（臨）	一五七、〇四九・六〇九
生絲檢査所器具機械其他復舊（俸給費與略）	—	五四、九〇〇・〇〇〇（臨）	五四、八九九・七五〇
震災地產業其他復舊及復興助成費	三、四〇八、九四〇・〇〇〇	三、四〇八、九四〇・〇〇〇（臨）	一、六九六、五七五・一七〇
農業復舊助成費	六三五、九〇九・〇〇〇	—	五一四、五四〇・一三〇
耕地復舊整理費補助	四三一、五四〇・〇〇〇	—	四三一、二四〇・〇〇〇
用排水幹線復舊事業費補助	一四七、六一三・〇〇〇	—	六六、〇一七・八〇〇
開墾地復舊助成金共同搾乳所營繕費補助	四六、四四六・〇〇〇	—	七、六九三・九五〇
工業復興助成費	九、八〇〇・〇〇〇	—	九、六〇〇・〇〇〇
工場建設費及器具機械購入費補助（俸給廳費其他略）	一、一九五、二九三・〇〇〇	—	六、七九二、八九〇
	一、八四四・九一〇	—	—
荒廢林地復舊助成費	六八五、二四四・〇〇〇	—	五一六、七六六・五二〇
荒廢林地復舊費補助（俸給廳費其他略）	六五七、五三〇・〇〇〇	—	四九三、一四七・〇〇〇
漁業復興助成費	三二五・〇〇〇・〇〇〇	—	一四一、三八四・〇〇〇
漁船建造費補助	八九・〇四一・〇〇〇	—	三一、四〇九・〇〇〇
漁具購入費補助	七六、三〇八・〇〇〇	—	四二、一七一・〇〇〇
船曳揚築造費補助	三四一、七二一・〇〇〇	—	四五、三六九・〇〇〇
漁港復舊修築費補助	七五、〇〇〇・〇〇〇	—	三三、四三五・〇〇〇
農地復舊助成費	—	五〇五、九四一・〇〇〇（臨）	五〇五、九四一・〇〇〇
耕地復舊整理費補助	—	五〇五、九四一・〇〇〇（臨）	五〇五、九四一・〇〇〇
林地復舊助成費	—	一一、五七五・〇〇〇（臨）	一〇、一一八・〇四〇
震災地復興用銅材製造設備費	四六〇、〇〇〇・〇〇〇	—	三一八、四八〇・九五〇
製鐵所設備補足費	四六〇、〇〇〇・〇〇〇	—	二三八、四八〇・九五〇
製品工場	四六〇、〇〇〇・〇〇〇	—	二三八、四八〇・九五〇

（九）遞信省

遞信省の大正十三年度に於ける復舊事業は第四十九議會の協贊を經たるもの三千九百十五萬百八十八圓、第四十八議會衆議院解散のため大正十三年四月より七月まで責任支出を爲したるもの一千五十九萬三千圓中、功程の進捗左の如し。

費目	豫算現額	支出濟
震災復舊及新營費	三九、一四〇、一八八円	四九、七四三、一八八円
電信電話施設費	二九、五四一、五六〇	—
郵便局舍其他新營費（東京中央郵便局新營、市內二等局其他郵便局新營、貯金局新營、電氣試驗所其他廳舍新營ヲ含ム）	二、二五六、六二八	—
航路標識復舊費（野島崎燈臺外十一箇所復舊）	二〇七、〇〇〇	—
貯金原簿其他復舊及整理費	一、三二五、〇〇〇	—
物品購買其他設備復舊費	三、九二〇、〇〇〇	—
品川燈臺其他復舊費	—	九三、〇〇〇（臨）
郵便局舍其他復舊及新營準備費	—	一〇、〇〇〇（臨）
貯金原簿及船員原簿其他復舊費	—	三一〇、〇〇〇（臨）
電氣試驗所其他設備復舊費	—	一八〇、〇〇〇（臨）
電信電話復舊費	—	一〇、〇〇〇、〇〇〇（臨）

（十）鐵道省

鐵道省の復舊事業は、大正十三年度までに、線路及建造物復興費十二年度九十七萬九千七百九圓、十三年度一千三百五十七萬百六十七圓計一千四百五十四萬九千八百七十六圓を支出し、電氣復興費十二年度五十九萬三千二百二十五圓、十三年度五百十八萬一千九百四十一圓、計五百七十八萬百六十六圓、車輛復興費十二年度二百七十一萬九千四百四圓、十三年度九百六十四萬二千八百三十三圓、計一千二百三十六萬二千二百三十七圓、工場復興費十二年度十六萬二千十九圓、十三年度九十八萬二千四百五十二圓、計百十四萬四千四百七十一圓を支出す。

復舊工事は、東海道線に於て、横濱驛本屋復舊、東横濱驛貨物積卸場擁壁積替工事を完成し、有樂町及新宿驛擴張工事、六鄕川橋梁復舊、高崎驛構內復舊工事は、施行中に在り、馬入川橋梁復舊共の一工事、下曾我復舊工事は完成し、大船山北間、山北駿河間線路復舊工事は施行中に屬す、駿河足柄間第五相澤川附近の線路變更工事は五分通進捗し、足柄御殿場間は、第七相澤川橋梁の外竣成す。

横須賀線名越隧道延伸工事は完成し、熱海線酒匂川橋梁は傍落桁引上架設を了り、白絲川橋梁は、軌道敷設を除きて完了し、同線米神山隧道外一箇所復舊及根府川眞鶴間第一、二、三工區線路復舊工事も成り、國府津小田原間の線路復舊は猶施工中に係る。

中央線御茶ノ水水道橋間の土留擁壁共の一工事及興瀨隧道震害箇所改築工事完了し、東京萬世橋間橋梁復舊及神田驛本改築は施工中也。

東北本線荒川橋梁復舊、山手線線路及諸建物復舊工事、並に常磐線利根川橋梁復舊工事成る、工事中に在るは、田端驛電話室設置工事なりとす。

總武線に在りては、第一瀨戸川附近の線路變更、天神山隧道の延長工事を了り、兩國橋及錦絲町驛官舍復舊、湊川橋梁附近の土工工事、高架線橋臺橋脚復舊及兩國橋驛擴張用地買收は、施行中に係る。

廳舍官舍倉庫其他の建造物工事は、竣了したるもの、鐵道省教習所新築、飯田町芝公園汐留官舍設置工事、千葉改良事務所、千葉運輸保線事務所廳舍新築、同上所員官舍新築工事、國府津改良事務所並に國府津保線事務所及官舍新築、國府津治療所新築、田端車掌官舍設置工

事等にして、施行中のものは、高島驛構内復舊及東京鐵道局教習所新築工事なり。

線路增設工事に於ては、田端東京間、東京柳原河岸間、神田川上野間線路增設用地、兩國橋御茶ノ水間線路新設用地、及兩國龜戸間二線增設用地の買收に著手し、電氣復興關係工事に於ては、矢口發電所復舊工事を完成す、工場復興關係工事に於ては大宮工場製罐職場移轉改築工事、及錦絲町工場復舊を了し、被服工場復舊工事を略完了し、大宮工場鑄物職場增設並に同組立職場新築工事に著手したり。

若夫れ電氣事業中通信電力の復興施設を擧ぐれば、左の如し。

種目	前年度決算額	十三年度決算額	次年度以降所要見込額
電氣復興費	円	円	円
通信及信號設備			
東京鐵道局			
各通信區改良工事用燒失決算品復舊	三三一、一〇一	二一三、〇四一	一四四、七七五
田端共電式交換機設備	四一五	一三七、三六六	一八、三八一
横濱共電式交換機設備	—	四二、六二七	二一、〇四〇
國府津共電式交換機設備	—	六九、八九二	四、〇四〇
新橋横濱兩驛電氣時計設備	—	一六、六六五	三五、五三五
諸廳舍詰所復舊ニ伴フ通信設備	一、五七一	八六、三一八	一七、八七七
北條線電線路復舊	—	一九、六二八	四、二六九
東海道線電線路復舊	—	一五六、一六六	二三、九三〇
東京及横濱附近ケーブル復舊	—	一〇〇、三九六	一七、六九一
東京及横濱附近外線復舊	—	四五、一一九	二七、〇八九
大船國府津及國府津山北間ケーブル架設	—	一八二、八三一	—
川崎東神奈川間ケーブル架設	—	二九、三四五	一、六〇〇
地下ケーブル施設	—	一七九、六三〇	四六九、四〇〇
電氣復興費	一三六、六六	一、六二七	一、四〇五
錦絲町龜戸間電線路復舊	—	一、六二七	一、四〇五
電氣運轉設備			
東京電氣事務所			
神奈川川崎大船二宮蒲田變電所電車庫建家復舊	四、三六六	五五、五七六	
東京小田原大船横須賀間電線路復舊	六九、二八一	一八、一四六	—
汐留變電所新設	—	一八七、八六七	一、一六五、四〇〇
上野變電所新線	—	一六九、四五七	八一〇、三〇〇
大井町變電所新設	—	七五八、〇三五	五九五、三三一
東京鐵道局			
永樂町變電所復舊	二〇三、一五七	三八、三三九	一、六〇〇
川崎變電所蓄電池其他復舊	—	一〇、九七三	—
萬世橋櫻木町間電車線路改修	—	一四、九四三	五、八五〇
萬世橋濱松町間鐵電線昇架工事	—	七〇、一〇四	三六、四〇〇
小柳町工事場決算品復舊	—	一八、九八八	—
永樂町外四變電所高速度自動遮斷器設備	—	三六、三五三	三、三一〇
東京中野間鐵電線增設其他	—	八〇、〇四〇	五四、三六〇
蒲田川崎間鐵電線增設其他	—	一四四、四四六	一、〇〇〇
鐵電自動開閉器取付	—	三二、三五五	六、七〇〇
東京品川間鐵電線增設其他	—	四六、一七	四、三〇〇
中野吉祥寺間鐵電線增設其他	—	五〇、三五六	二一、〇〇〇
發變電設備			
東京電氣事務所			
赤羽田端川崎間送電線路	—	一、一九四、四三二	三〇五、〇〇〇
東京鐵道局			
赤羽發電所復舊	—	一三、三三四	八、〇〇〇
田端發電所開閉裝置	—	二〇、三七一	二九五、七七五
赤羽發電所蓄電池改良	—	一三、七三〇	三六〇
大久保變電所開閉裝置	—	二九、九七五	三六、九九〇
赤羽發電所電氣設備增設	二九七、七一八	三三九、六七九	二六、五〇〇
田端赤羽間線路增設ニ伴フ送電線移轉	—	三三四、八七八	一四、〇〇〇
大久保淀橋間地中送電線	—	一三六、三四〇	八四四、九〇〇
電燈電力設備			
東京鐵道局			
品川電力區管內電燈電力復舊	二三七、九二四	九〇、六七一	六三、六四〇
新宿電力區管內電燈電力復舊	一五、三三一	二一、一一九	二九、〇〇〇
田端電力區管內電燈電力復舊	九、〇六六	三〇、〇九一	二六、九六七
兩國橋電力區管內電燈電力復舊	一八、三二一	三〇、九一三	一〇、五〇〇

第二節　東京府施設

第一項　復興施設

第一　機關

東京府は、復興施設を爲すがため理事機關を特設するに至らざるも議政機關中帝都復興實行委員會の設置あり、是より先東京府會は、全員委員會を以て震災に對する諸般の施設に參議し、大正十二年十二月十日に至り、全員委員會を廢すると同時に、帝都復興實行委員會を設置したり、委員左の如し。

須原　大助　吉井濱治郎　野村　此平　大井　玄洞
田中恭三郎　矢野　鉉吉　松村　清吾　福島　元節

御正　信友　小川時太郎　森田　節　朝倉虎治郎
上杉　章雄　小島重太郎　小川　平吉　向山庄太郎
草場九十九　峯間　信吉　伊藤武七郎　市倉　兼吉

十三年に至り、臨時產業調査會を設く。

東京府臨時產業調査委員會會則、左ノ通之ヲ定ム。

東京府臨時產業調査委員會會則

大正十三年三月二十日　東京府知事　宇佐美勝夫

第一條　震災ニ困ル產業ノ復興、其ノ他本府產業改良發達ニ關スル對策ヲ講究スル爲、本府ニ臨時產業調査委員會ヲ置ク。

第二條　委員會ハ知事ノ諮問ニ應ヘ及意見ヲ開申ス。

第三條　委員會ハ會長幹事及委員ヲ以テ之ヲ組織ス。

第四條　會長ハ產業部長、幹事ハ商工課長農林課長商工奬勵館次長ヲ以テ之ニ充テ、委員ハ知事之ヲ任命又ハ囑託ス。

第五條　會長ハ會務ヲ總轄シ議事ヲ整理ス。

會長事故アルトキハ指定セラレタル幹事其ノ職務ヲ代理ス。

幹事ハ會長ノ指揮ヲ受ケ庶務ヲ掌ル。

委員ハ各種ノ調査研究ニ從事ス。

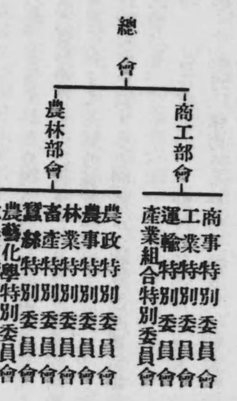
第六條　本會ニ書記若干人ヲ置キ會長之ヲ命ス。

書記ハ上司ノ命ヲ受ケ庶務ニ從事ス。

第七條　本會ハ必要ニ應ジ顧問ヲ置クコトヲ得。

顧問ハ汎ク學識經驗アル人ヨリ會長之ヲ推薦ス。

第八條　本會ノ會議ヲ分チテ總會部會及特別委員會トス其ノ區分左ノ如シ。



部會及特別委員會ハ各指定ノ委員ヲ以テ之ヲ組織シ、其ノ主掌ニ屬スル事項ヲ協議ス。

部會ニ部會長及副部會長、特別委員會ニハ主査及副主査各一人ヲ置キ、會長之ヲ指名ス。

第九條　總會、部會及特別委員會ハ、必要ニ應シ會長部會長又ハ主査ニ於テ夫々之ヲ招集ス。

第十條　會議ノ手續ハ普通會議ノ例ニヨル。

附　則

第十一條　本則ハ公布ノ日ヨリ施行ス。

第二事業

一　計畫

東京府の都市計畫事業は、政府の復興計畫中に含まるゝもの少なく經費の補助多額ならざるべしと傳ふるを以て、府知事及府會議長は、左の意見書を其筋に呈出したり。

意見書

帝都復興ハ、獨リ東京ノ復興ニ止マラス、實ニ國家ノ興隆ニ關スルコト大ナリ、震災ノ慘害ニ鑑ミ、復興ノ計畫ハ、帝都復興院ヲ新設シテ復興計畫ヲ樹立セラル、ニ當リ、本府財政ノ實情ヲ考察シテ、此ノ大計ノ達成ヲ企圖セラル、ヲ期待シタリ、然ルニ政府ノ復興計畫トシテ實現セラレントスル所ヲ仄聞スルニ、本府民ノ多年完成ヲ期待シタル東京府都市計畫事業ハ殆ント其計畫中ニ包含セラレサルノミナラス、其計畫中ニ包含セラレタリト聞ク京濱國道、三國道橋梁、竝ニ教育機關ノ復興ニ就キテモ、政府ノ援助極メテ微弱ニシテ補助率ノ如キ從前ト何等異ル處ナキカ如キハ、實ニ遺憾トスル所ナリ、京濱國道三國道橋梁竝ニ教育機關ノ復興ニ關シテハ、其ノ補助率ヲ增額セラル、ハ切望ニ堪ヘサル所ナルモ、國庫ノ財政到底之ヲ許ササルニ於テハ、無已本府ノ乏シキ財政ヲ擧ケテ之ヲ執行スルノ外ナシ、唯政府ヨリ供給セラレムトスル長期資金ニ就キテハ、將來ニ亙リテ全額利子補給セラレ、府民將來ノ負擔ヲ輕減セラルルハ眞ニ熱望スル所ナリ、若シ夫レ本府都市計畫事業、就中環狀道路、及放射道路ヲ復興計畫中ヨリ除外サルヽニ至リテハ、府民ノ期待ニ副ハサルノ甚タシキモノニシテ、實ニ本府ノ堪ヘ得サル苦痛ナリ、災後ノ實跡ヲ省ミルニ、東京市隣接郡部ニ於ケル街衢ノ改善ハ益々緊急ノ必要ヲ加ヘ、今ヤ帝都ノ交通治安經濟文化ノ上ニ、一日モ緩ウスヘカラサルヲ痛感セスンハ非ラス、然カモ本府ノ財政ハ、震災ノ影響ニヨリ其ノ財源ノ大部分ヲ失ヒタルヲ以テ、政府特別ノ援助ナキニ於テハ、之ヲ中止スルノ止ムナキニ至ルヘシ、如斯ハ悔ヲ將來ニ貽スモノニシテ、帝都ノ爲メ誠ニ寒心ニ堪ヘス、國庫多端ノ際ナルヘキモ、閣下冀クハ府民ノ至情ト此ノ實情ヲ洞察セラレ、府都市計畫事業ニシテ既定計畫ニカ、ルモノハ之ヲ復興計畫ニ編入セラレ從前ノ補助ハ之ヲ增額成ラル、等、特別ノ援助ヲ賜ハリ、帝都復興ノ大業ヲ達成セラレムコトヲ、右府縣制第七十條ニヨリ意見書提出候也。

大正十二年十一月　日　東京府參事會議長　宇佐美勝夫

內務大臣　子爵　後藤新平殿

帝都復興事業ニ關スル意見書

今回ノ震災ニ由リ本府民ノ受ケタル損害ハ甚大ニシテ、本府財政ノ打擊亦極メテ大ナリ、本府ハ此ノ財政ノ狀況ニ鑑ミ、事業ノ緩急ヲ圖リテ、中止繰延シ得ラル、モノハ極力緊縮スヘキモ、治安教育其他法令ノ結果ニ基ク當然ノ支出ノ外、帝都復興ニ寄與スヘキ道路橋梁等ニシテ既定事業ニカ、ルモノハ、速ニ之ヲ完成シテ、帝都ノ面目ト府民ノ幸福ヲ期セサルヘカラス、政府ハ曩ニ帝都復興院ヲ新設セラレ、帝都復興ニ必要ナル施設ヲ企畫實施セラル、ハ、府民ノ齊シク感謝スル所ニシテ、且其計畫ニ多大ノ期待ヲ囑シタル所ナリ、本府モ亦共乏シキ財政ヲ擧ケテ帝都復興事業ニ盡サンコトヲ期ス、即チ京濱國道、三國道、教育機關、其ノ他ノ復興事業ノ如キ、適當ナル政府ノ援助ヲ得ルニ於テハ、素ヨリ之ヲ實施スヘキ意圖ヲ有ス、然ルニ政府ノ帝都復興計畫トシテ實現セラレントスル所ヲ仄聞スルニ、其ノ計畫中ニハ本府民ノ多年完成ヲ期シタル東京府都市計畫事業ハ殆ント包含セラレサルノミナラス、本府ニ屬スル國道其他ノ復興事業ヲ助長スヘキ政府ノ援助ハ極メテ微弱ニシテ、其補助率ノ如キ、從前ト何等ノ異ナル所ナキカ如キハ、誠ニ遺憾トスル所ナリ、就中環狀道路及放射道路ノ改修ハ、災後ノ實跡ニ鑑ミ、交通上、治安上、經濟上、極メテ必要ニシテ、實ニ一日モ緩ウス可カラサルヲ痛感ス、而カモ本府財政ノ實情ハ、政府ノ特別ノ援助ナキニ於テハ之ヲ中止スルノ已ムナキニ立到ルヘシ。如斯ハ實ニ帝都ノタメ誠ニ寒心ニ堪ヘス、冀クハ本府財政ノ現狀ヲ調察セラレ、既定計畫ニカ、ルル本府都市計畫事業ハ、之ヲ復興計畫ニ編入シ、又復興事業ニ對スル國庫ノ補助ハ、之ヲ增額シ、而シテ尙足ラサル部分ニ對シテハ、金額利子補給ノ長期資金ヲ供給シ、以テ帝都復興ノ大業ヲ完成セラレンコトヲ。

右府會議員全員協議會ノ決議ニヨリ、意見書提出候也。

大正十二年十一月　日　東京府會議長　堀江正三郎

內閣總理大臣　伯爵　山本權兵衛殿

內務大臣　子爵　後藤新平殿

大藏大臣　井上準之助殿

帝都復興院總裁　子爵　後藤新平殿

政府が帝都復興審議會に內示したる東京府復興事業費補助は五百八萬參千五百六圓、同貸付金七百七拾四萬九千六百九拾八圓なりしも、第四十七議會に要求して協賛を得たるは、補助額七百五拾八萬參千五百六圓、貸付金壹千貳百七拾四萬九千六百九拾八圓にして、其事業は

道路改修			一七、〇七三、二〇四圓
國道	道路（東海道、陸羽街道、千葉街道、中山道改修費支出殘額）	七、八三一、七七八	
橋梁（六郷橋、千住大橋及千住新橋架橋費支出殘額）		一、七五一、四二六	
道路	環狀線（四、五四四間）	工費殘額　七、五〇〇、〇〇〇	
	放射線（三、一五二間）		
教育施設（中等學校新營五校）			三、二五〇、〇〇〇
計			二〇、三三三、二〇四

なり、即ち工費貳千參拾參萬參千貳百四圓中、七百五拾八萬參千五百六圓は政府の補助を得、府負擔壹千貳百七拾四萬九千六百九拾八圓は之を政府より借入れて事業を執行せんとするものに係る。